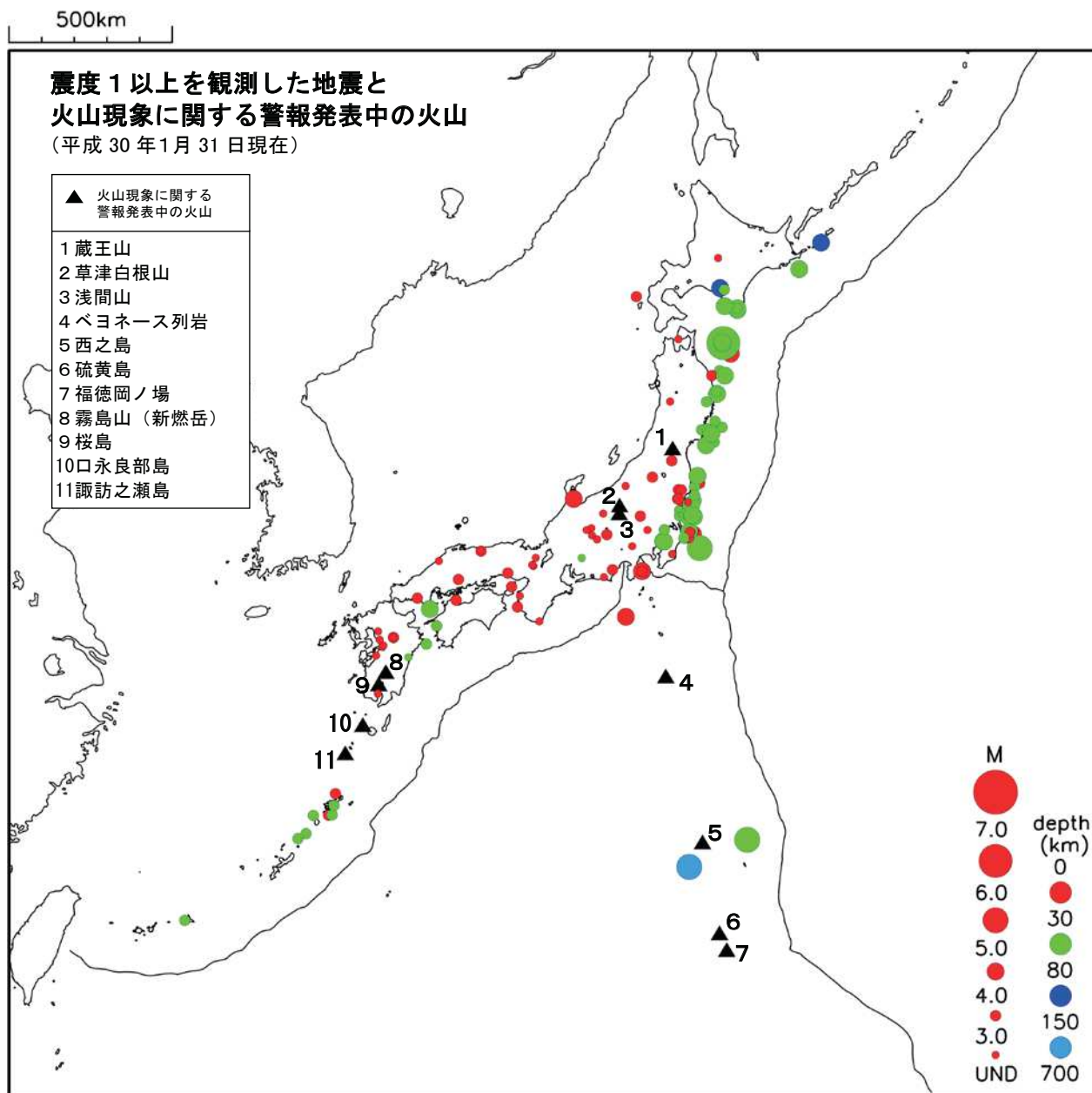


平成 30 年 1 月 地震・火山月報(防災編)

Monthly Report on Earthquakes and Volcanoes in Japan

January 2018



気 象 庁

Japan Meteorological Agency

利用にあたって

本書は、地震・火山に関連した各種防災情報や地震・火山活動に関する分析結果の最新版を防災機関等における効果的な利用に供するため、毎月刊行している。

気象庁では、平成9年11月10日より、国・地方公共団体及び住民が一体となった緊急防災対応の迅速かつ円滑な実施に資するため、気象庁の震度計の観測データに合わせて地方公共団体*及び国立研究開発法人防災科学技術研究所から提供されたものも震度情報として発表している。

また、気象庁では、地震防災対策特別措置法の趣旨に沿って、平成9年10月1日より、大学や国立研究開発法人防災科学技術研究所等の関係機関から地震観測データの提供を受け**、文部科学省と協力してこれを整理し、整理結果等を、同法に基づいて設置された地震調査研究推進本部地震調査委員会に提供するとともに、気象業務の一環として防災情報として適宜発表する等活用している。

本誌で使用している震源位置・マグニチュードは世界測地系 (Japanese Geodetic Datum 2000) に基づいて計算したものである。

注* 平成30年1月31日現在：北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県、札幌市(北海道)、仙台市(宮城県)、千葉市(千葉県)、横浜市(神奈川県)、川崎市(神奈川県)、相模原市(神奈川県)、名古屋市(愛知県)、京都市(京都府)の47都道府県、8政令指定都市。

注**平成30年1月31日現在：国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県、温泉地学研究所及び気象庁のデータを基に作成している。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点(河原、熊野座)、米国大学間地震学研究連合(IRIS)の観測点(台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東)のデータを利用している。

□本書利用上の注意

・震央分布図中の語句について

M：マグニチュード(通常、揺れの最大振幅から推定した気象庁マグニチュードだが、気象庁CMT解のモーメントマグニチュードの場合がある。)

Mw：モーメントマグニチュード(特にことわりがない限り、気象庁CMT解のモーメントマグニチュードを表す。)

depth：深さ(km)

UND：マグニチュードの決まらない地震が含まれていることを意味する。

N=XX：図中表示している地震の回数を表す(通常図の右肩上に示してある)

・発震機構解について

本書での発震機構解の図は下半球投影である。また、本書での発震機構解は、特にことわりがない限り、初動による発震機構解である。初動発震機構解が求められない場合や、十分な精度が得られない場合には、初動発震機構解に替えてCMT解を掲載する場合がある。

・発震機構解の図中の語句について

P：P軸(圧力軸)

T：T軸(張力軸)

N：N軸(中立軸)

・Global CMT解について

Global CMT解は、米国のコロンビア大学とハーバード大学で行っている、世界で発生した規模の大きな地震のCMT解を求めるプロジェクト(Global CMT Project)により求められた解である。

・M-T図について

縦軸にマグニチュード(M)、横軸に時間(T)を表示した図であり、地震活動の経過を見るために用いる。

・震央地名について

本書での震央地名は、原則として情報発表時に使用したものをを用いるが、震央を精査した結果等により、情報発表時とは異なる震央地名を用いる場合がある。なお、情報発表時の震央地名及びその領域については、各年の「地震・火山月報(防災編)」1月号の付録「地震・火山月報(防災編)で用いる震央地名」を参照のこと。

・震源と震央について

震源とは地震の発生原因である地球内部の岩石の破壊が開始した点であり、震源の真上の地点を震央という。

・地震の震源要素等について

2016年4月1日以降の震源では、Mの小さな地震は、自動処理による震源を表示している場合がある。自動処理による震源は、震源誤差の大きなものが表示されることがある。

震源の深さを「CMT解による」とした場合は、気象庁CMT解のセントロイド(破壊の重心)の深さをを用いている。

地震の震源要素、発震機構解、震度データ等は、再調査後、修正することがある。確定した値、算出方法については、地震月報(カタログ編)[気象庁ホームページ：<http://www.data.jma.go.jp/svd/eqev/data/bulletin/index.html>]に掲載する。

・火山の活動解説の火山性地震回数等について

火山性地震や火山性微動の回数等は、再調査後、修正することがある。確定した値については、火山月報(カタログ編)[気象庁ホームページ：http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/bulletin/index_vcatalog.html]に掲載する。

・本書で使用した地図等について

本書中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図25000(行政界・海岸線)]を使用した(承認番号平29情使、第798号)。また、震央分布図等に表記した活断層は、地震調査研究推進本部の長期評価による。

・図版作成には一部GMT(Generic Mapping Tool[Wessel, P., and W. H. F. Smith, New, improved version of Generic Mapping Tools released, *EOS Trans. Amer. Geophys. U.*, vol. 79 (47), pp. 579, 1998])を使用した。

目次

● 日本及びその周辺での主な地震活動	1
北海道地方の地震活動	5
東北地方の地震活動	7
関東・中部地方の地震活動	9
近畿・中国・四国地方の地震活動	12
九州地方の地震活動	13
沖縄地方の地震活動	14
その他の地域の地震活動	15
● 南海トラフ周辺の地殻活動	16
● 日本の主な火山活動	35
北海道地方の火山活動	45
東北地方の火山活動	47
関東・中部地方及び伊豆・小笠原諸島の火山活動	49
近畿・中国・四国地方の火山活動	53
九州地方の火山活動	54
沖縄地方の火山活動	58
火山現象に関する特別警報、警報、予報及び情報等の発表履歴	59
● 世界の主な地震	61
● 世界の主な火山活動	65
● 特集. 噴火警戒レベル運用開始から10年	66
● 付録	68
1. 震度1以上を観測した地震の表	68
2. 過去1年間に震度1以上を観測した地震の最大震度別の月別回数	90
3. 日本及びその周辺におけるマグニチュード(M)別の月別地震回数	91
4. 緊急地震速報の提供状況	92
5. 長周期地震動階級1以上を観測した地震	95
6. 地震・火山月報(防災編)で用いる震央地名	97

●日本及びその周辺での主な地震活動

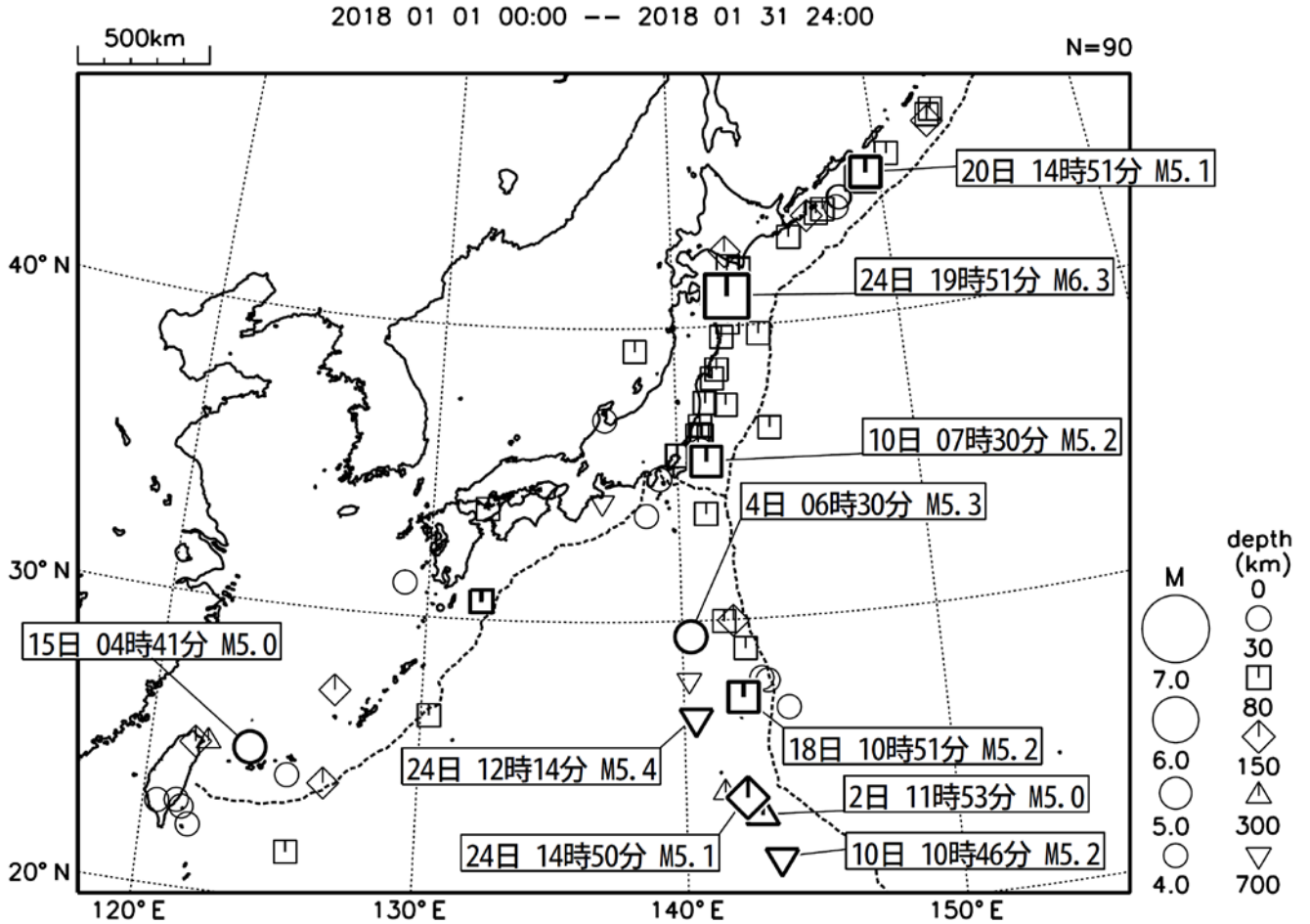


図1 平成30年1月に日本及びその周辺で発生したM4.0以上の地震の震央分布図

(図中に日時分、マグニチュードを付した地震はM5.0以上の地震、またはM4.0以上で最大震度5弱以上を観測した地震である)

平成30年(2018年)1月に日本国内で震度4以上を観測した地震の回数は3回(12月は3回)、日本及びその周辺で発生したM4.0以上の地震の回数は90回(12月は90回)であった(図1)。1月中に発生した主な地震を表1、震度1以上を観測した地震の震央を図2、M4.0以上の地震の震央を図3、震度4以上を観測した地震の震度分布図を図4に示す。1月中に震度5弱以上を観測した地震及び津波を観測した地震はなかった(12月も震度5弱以上を観測した地震及び津波を観測した地震はなかった)。

平成30年1月 地震・火山月報(防災編)

表1 平成30年1月に日本及びその周辺で発生した主な地震 (注1)(注2)(注3)

No.	震源時 月 日 時 分	震央地名	M	Mw (注4)	M H S T (注5)	最大震度・被害状況等 (注6)	掲載 ページ
1	1 6 0 54	東京湾 (注7)	4.7	4.8	・ ・ S ・	4：東京都 東京渋谷区本町* 神奈川県 相模原南区相模大野* など1都1県17地点	4、10
2	1 6 5 47	伊豆半島東方沖 (注8)	4.5	4.3	・ ・ ・ ・	3：静岡県 伊豆市中伊豆グラウンド 東伊豆町奈良本* 千葉県 鋸南町下佐久間* 南房総市富浦町青木*	11
3	1 14 18 7	浦河沖	4.7	4.5	・ ・ S ・	4：北海道 浦河町潮見	4、6
4	1 24 19 51	青森県東方沖	6.3	6.4	M ・ S ・	4：青森県 五戸町古館 北海道 様似町栄町* 岩手県 盛岡市藪川* など1道2県10地点 緊急地震速報(警報)を発表	4、8

(注1) 主な地震とは、図1の領域内で発生した①M6.0以上、②震度4以上、③内陸M4.5以上かつ震度3、④海域M5.0以上かつ震度3、⑤その他注目した地震を指す。

(注2) 震源時、震央地名、マグニチュードは再調査後、修正することがある。

(注3) 空欄については、複数の地震による活動のため、記載していない場合がある。

(注4) Mw欄の「-」はMwが求められていないことを示す。

(注5) M H S Tの各項目について、M:M6.0以上の地震、H:被害を伴った地震、S:震度4以上を観測した地震、T:津波を観測した地震、として該当項目にそれぞれの記号を記した。

(注6) 最大震度の観測点名にある*印は地方公共団体もしくは国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点であることを表す。被害状況について出典の記載がないものは総務省消防庁による。

(注7) 情報発表に用いた震央地名は「千葉県北西部」である。

(注8) 情報発表に用いた震央地名は「伊豆大島近海」である。

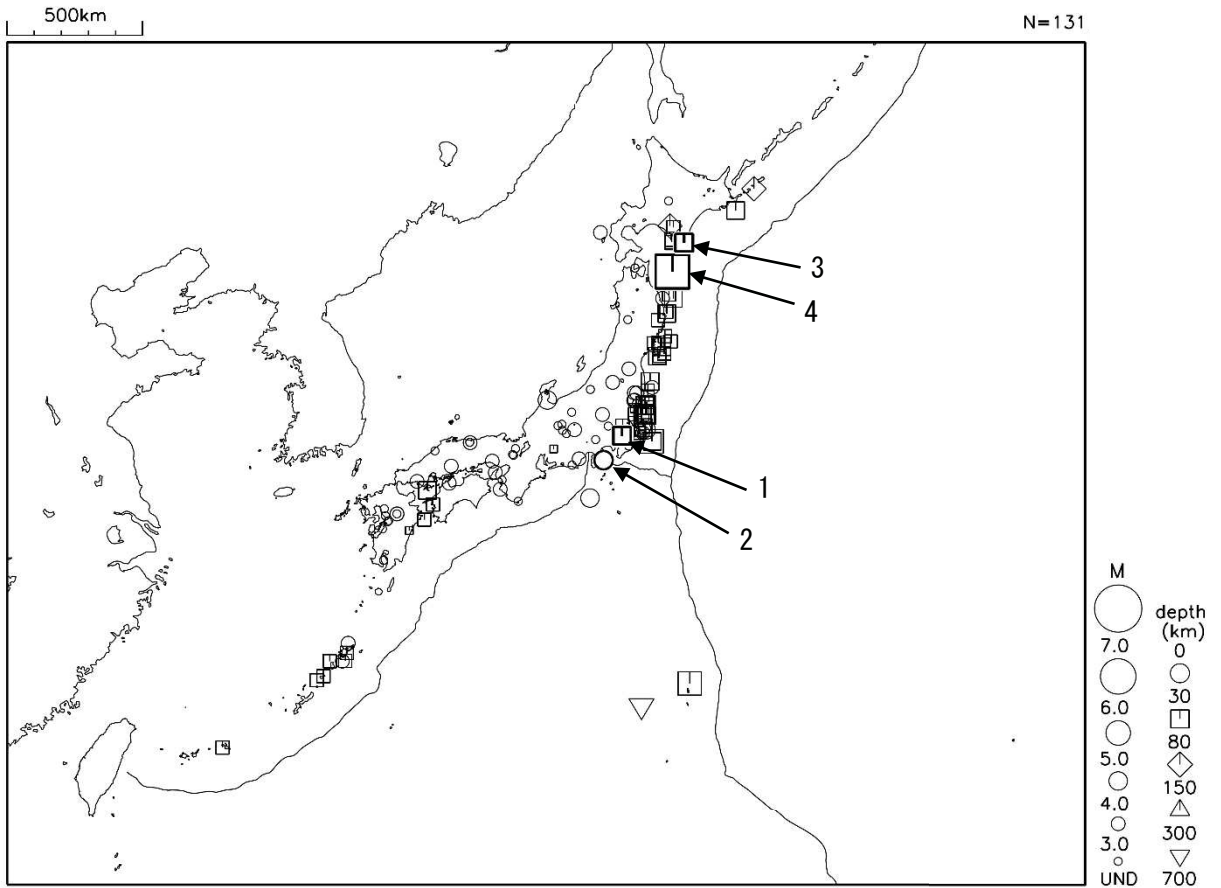


図2 平成30年1月に震度1以上を観測した地震
 (図中の番号は、「平成30年1月に日本及びその周辺で発生した主な地震」の表の番号に対応)

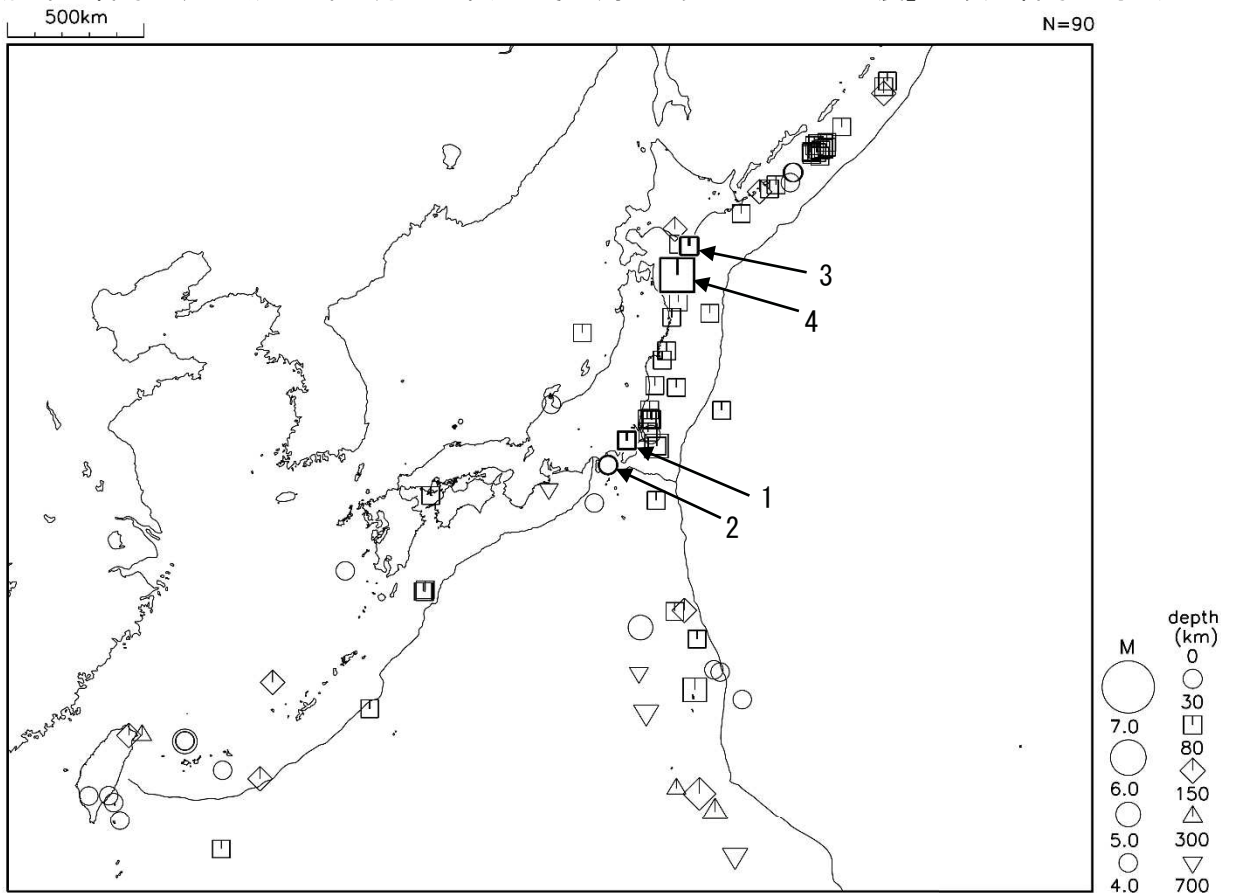
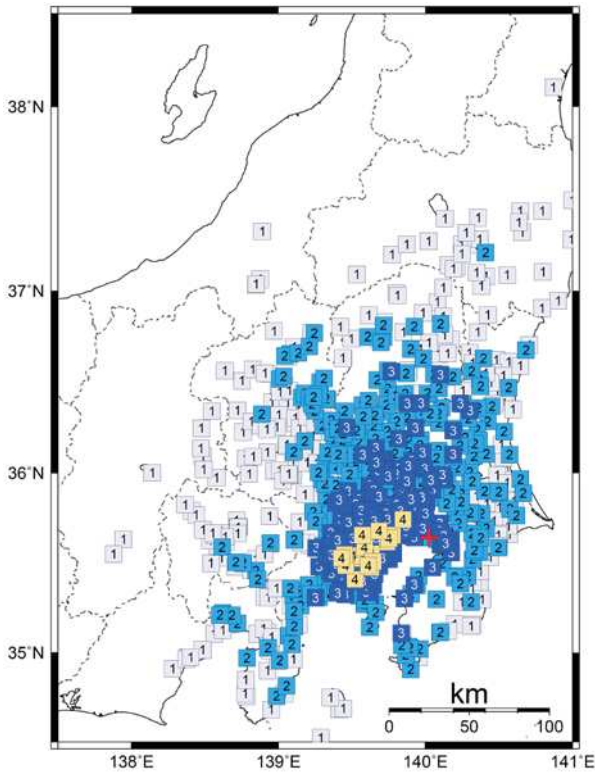
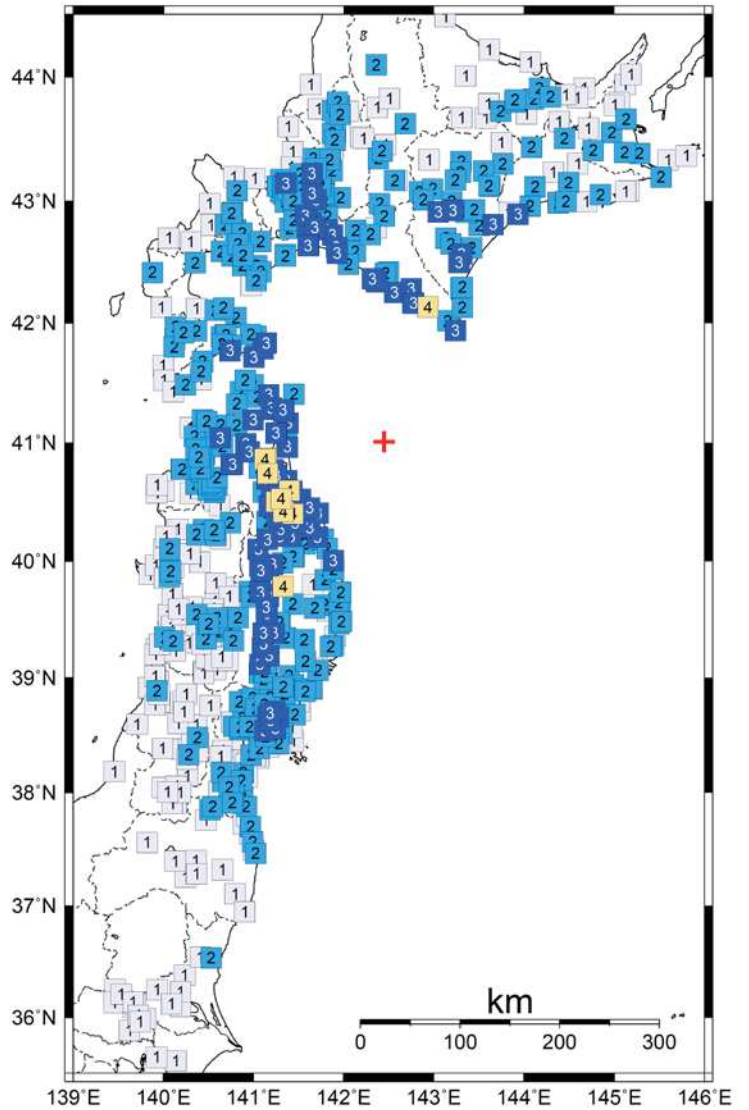


図3 平成30年1月に発生したM4.0以上の地震
 (図中の番号は、「平成30年1月に日本及びその周辺で発生した主な地震」の表の番号に対応)

1 1月6日00時54分 東京湾
(M4.7、深さ71km、最大震度4)



4 1月24日19時51分 青森県東方沖
(M6.3、深さ34km、最大震度4)



3 1月14日18時07分 浦河沖
(M4.7、深さ41km、最大震度4)

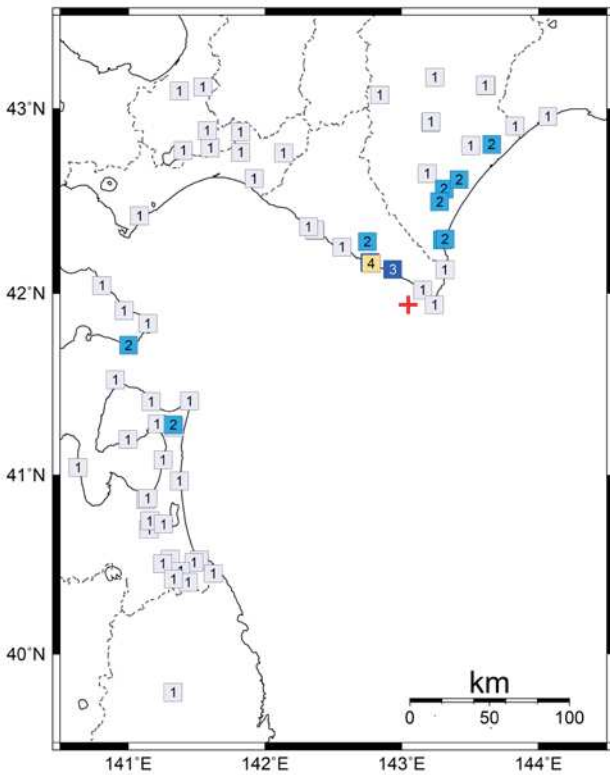


図4 震度分布図 (各図の左上の数字は表1、図2、図3の番号に対応する。+印は震央を示す)

※その他の地震の震度分布図については、気象庁HPの震度データベース
(<http://www.data.jma.go.jp/svd/eqdb/data/shindo/index.php>) をご覧ください。

○北海道地方の地震活動

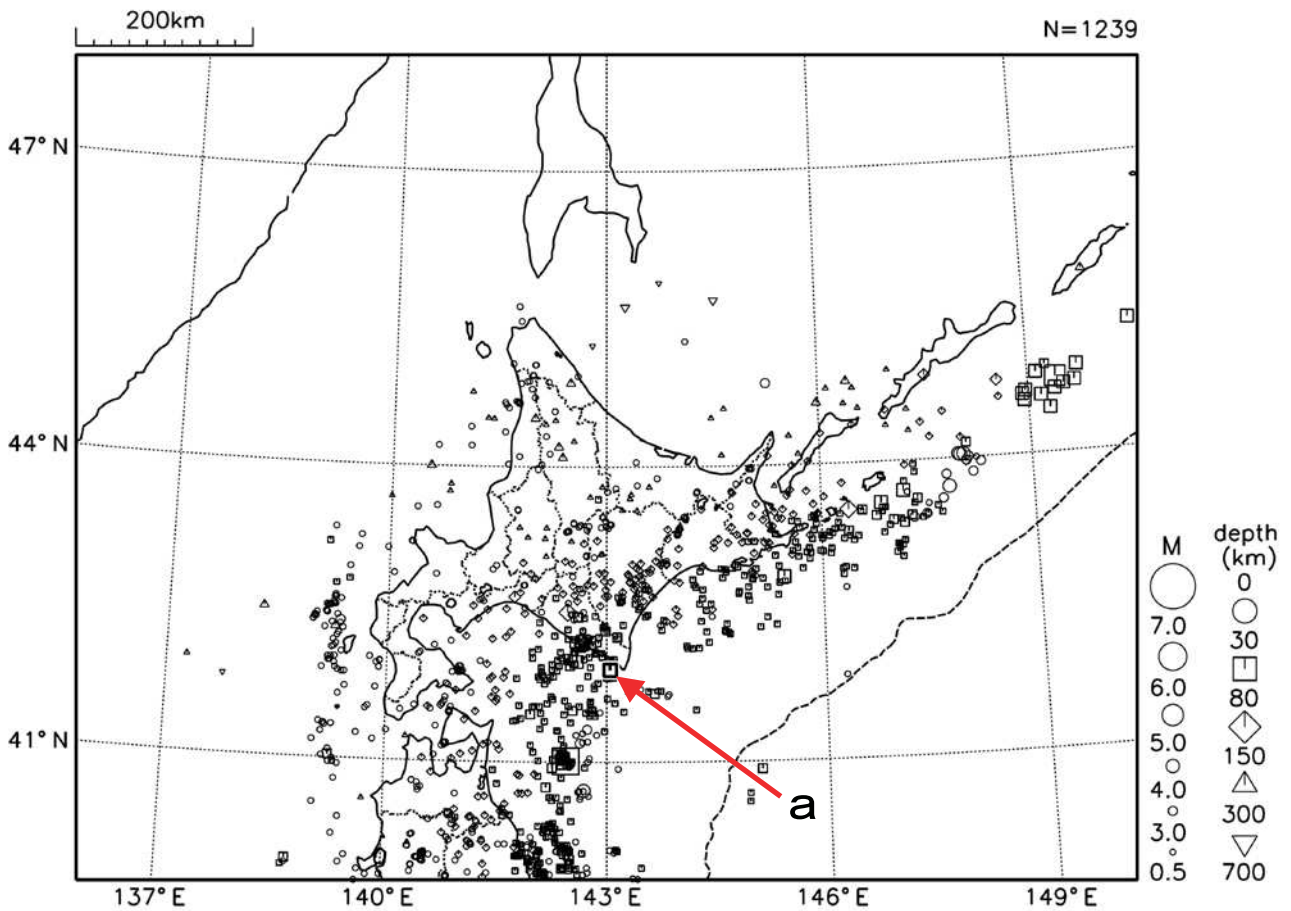


図5 北海道地方の震央分布図 (2018年1月1日～1月31日、 $M \geq 0.5$)

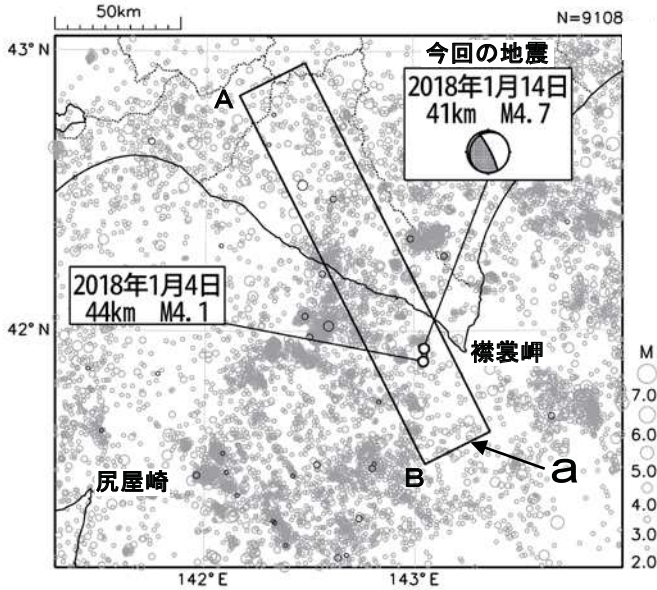
[概況]

1月に北海道地方で震度1以上を観測した地震は17回(2017年12月は21回)であった。1月中の主な地震活動は次のとおりである。

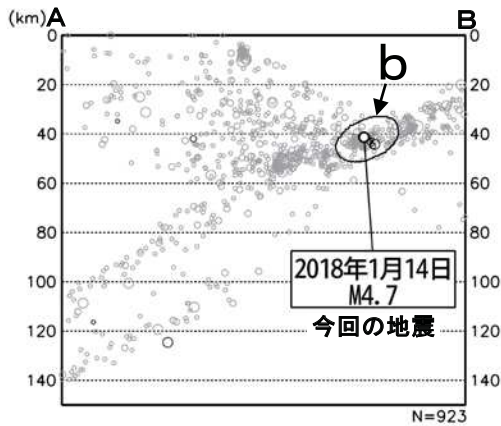
14日18時07分に浦河沖の深さ41kmでM4.7の地震(図5中のa)が発生し、北海道浦河町で震度4を観測したほか、北海道と青森県、岩手県で震度3～1を観測した(p4、6参照)。

1月14日 浦河沖の地震

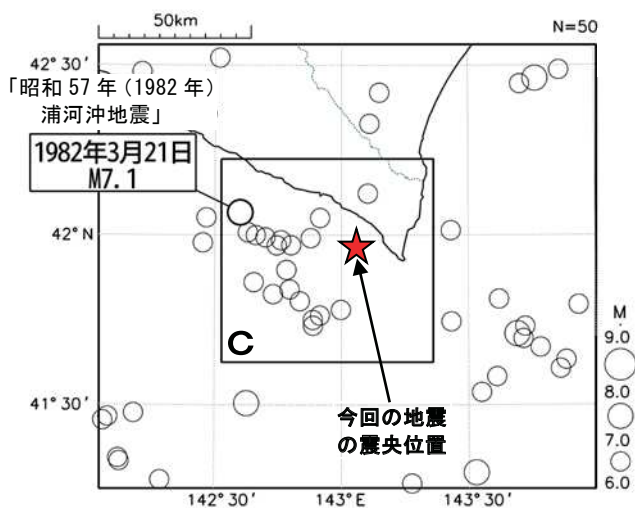
震央分布図
(2001年10月1日～2018年1月31日、
深さ0～150km、 $M \geq 2.0$)
2018年1月の地震を濃く表示



領域a内の断面図 (A-B投影)



震央分布図
(1923年1月1日～2018年1月31日、
深さ0～100km、 $M \geq 6.0$)

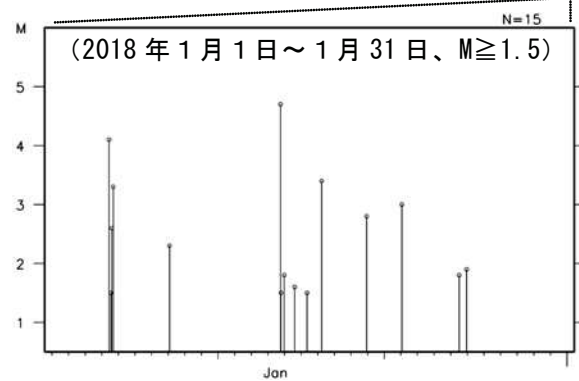
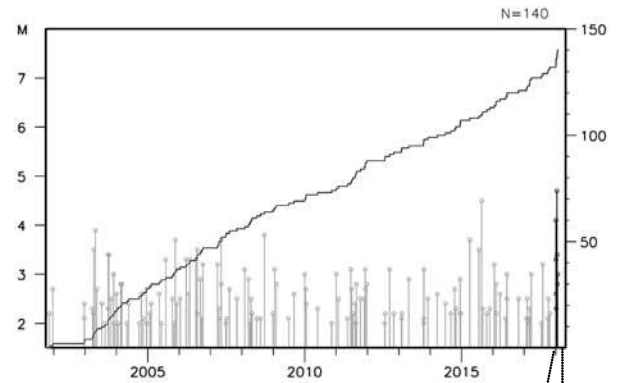


2018年1月14日18時07分に浦河沖の深さ41kmで $M 4.7$ の地震 (最大震度4) が発生した。この地震の発震機構は東北東-西南西方向に圧力軸を持つ型である。今回の地震の震源付近 (領域b) では、4日に $M 4.1$ の地震 (最大震度2) が発生するなど、地震回数がやや増加した。

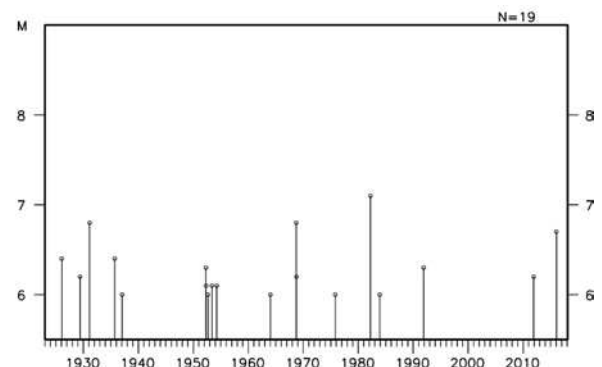
2001年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近 (領域b) では、 $M 4$ 程度の地震が時々発生している。

1923年1月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺 (領域c) では、 $M 6.0$ 以上の地震がしばしば発生している。「昭和57年 (1982年) 浦河沖地震」 ($M 7.1$ 、最大震度6) では、北海道で重軽傷者167人、住家全半壊41棟などの被害が生じた (「昭和57・58年災害記録」 (北海道、1984) による)。

領域b内のM-T図及び回数積算図



領域c内のM-T図



○東北地方の地震活動

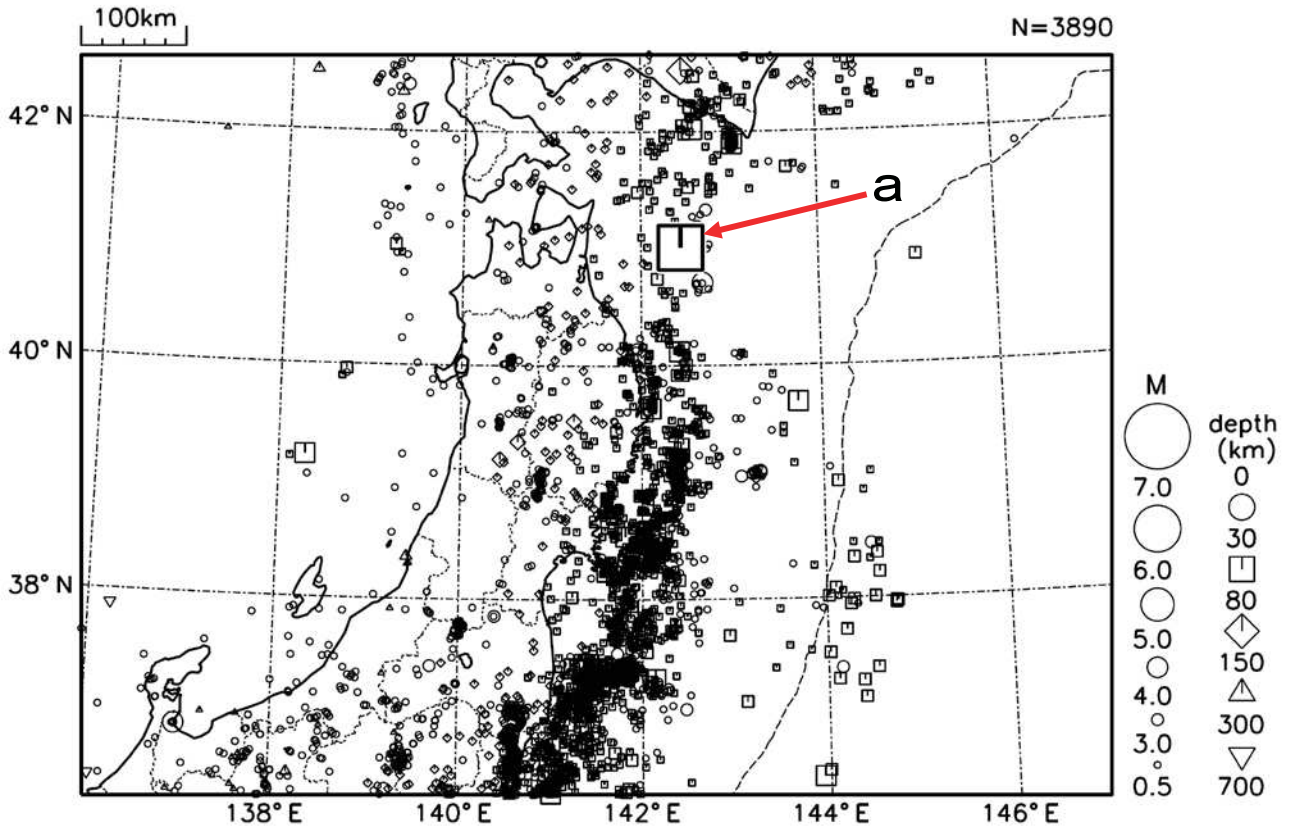


図6 東北地方の震央分布図（2018年1月1日～1月31日、 $M \geq 0.5$ ）

[概況]

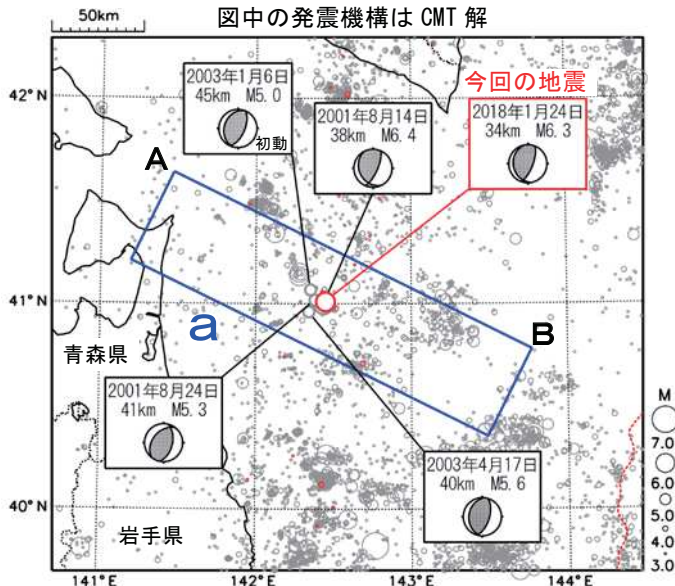
1月に東北地方で震度1以上を観測した地震は42回（2017年12月は39回）であった。1月中の主な活動は次のとおりである。

24日19時51分に青森県東方沖の深さ34kmでM6.3の地震（図6中のa）が発生し、北海道、青森県及び岩手県で最大震度4を観測したほか、北海道から関東地方及び新潟県にかけて震度3～1を観測した（p4、8参照）。

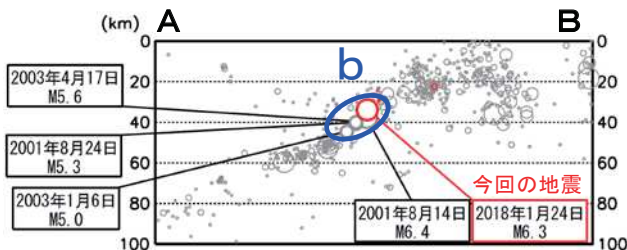
1月24日 青森県東方沖の地震

震央分布図
(1997年10月1日～2018年1月31日、
深さ0～100km、 $M \geq 3.0$)

2018年1月に発生した地震を○で表示
図中の発震機構はCMT解

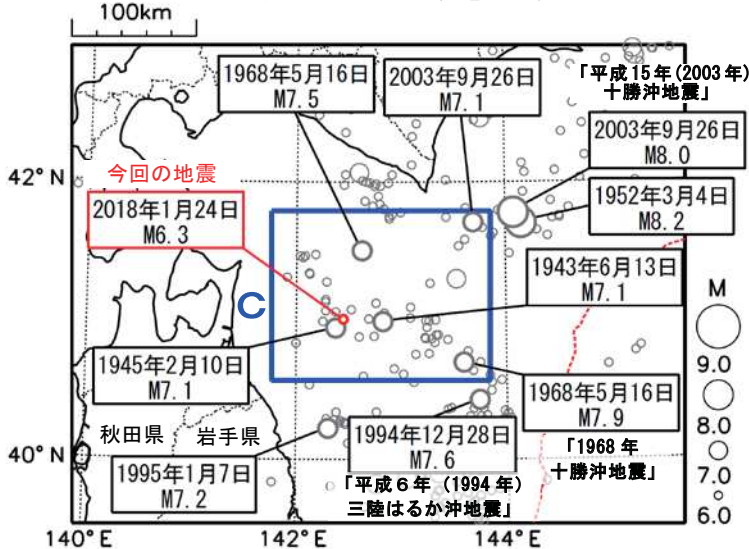


領域 a 内の断面図 (A-B 投影)



震央分布図
(1923年1月1日～2018年1月31日、
深さ0～100km、 $M \geq 6.0$)

2018年1月に発生した地震を○で表示

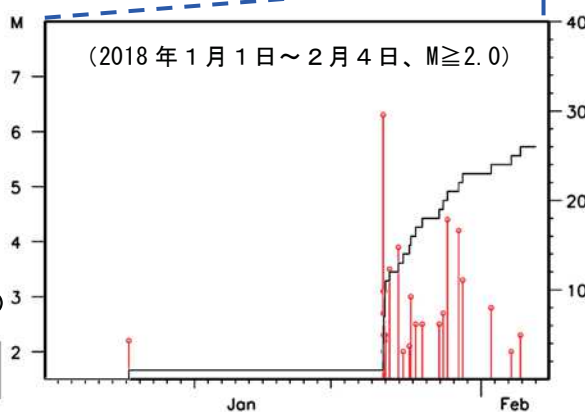
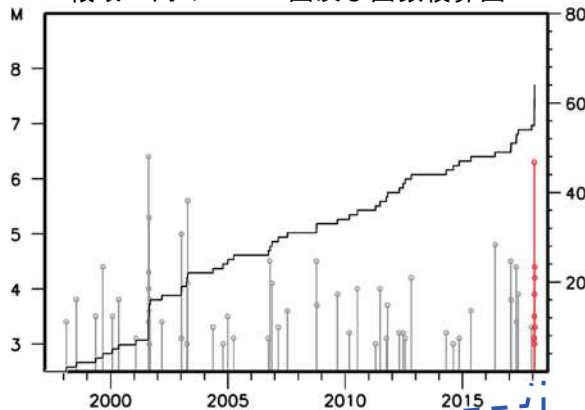


2018年1月24日19時51分に青森県東方沖の深さ34kmで $M6.3$ の地震(最大震度4)が発生した。この地震は、発震機構(CMT解)が東西方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

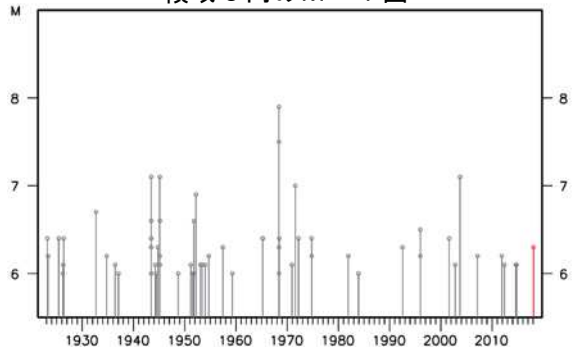
1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近(領域b)では、 $M5.0$ 以上の地震が今回の地震を含め5回発生しており、 $M6.0$ を超える地震は2001年8月14日以来である。

1923年1月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺(領域c)では、「1968年十勝沖地震」($M7.9$ 、最大震度5)により、死者52人、負傷者330人、住家全壊673棟等の被害が生じる(被害は「日本被害地震総覧」による)など、 $M7.0$ 以上の地震が6回発生している。

領域 b 内の M-T 図及び回数積算図



領域 c 内の M-T 図



○関東・中部地方の地震活動

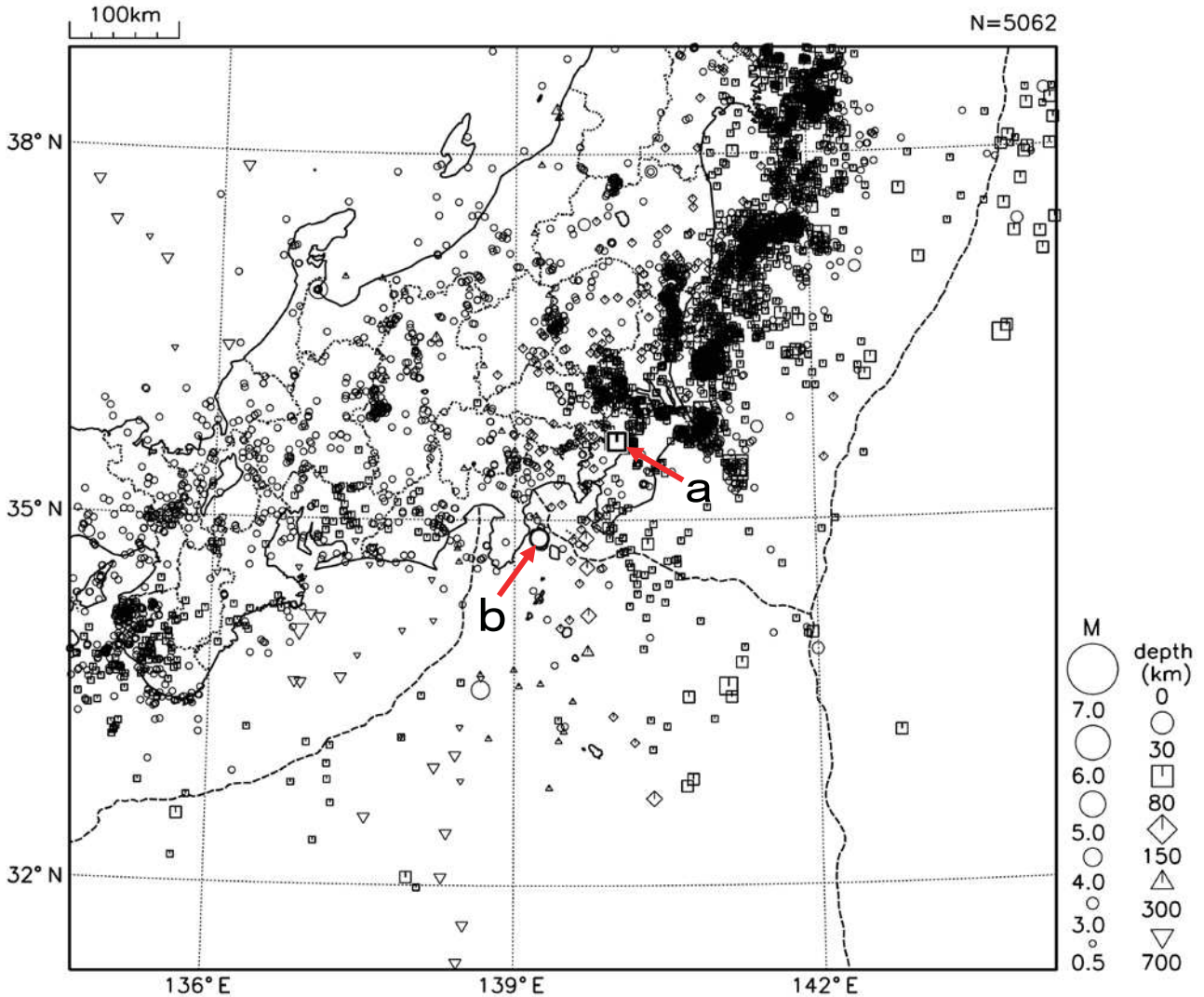


図7 関東・中部地方の震央分布図 (2018年1月1日～1月31日、M \geq 0.5)

[概況]

1月に関東・中部地方(三重県を含む)で震度1以上を観測した地震は54回(2017年12月は39回)であった。

1月中の主な活動は次のとおりである。

6日00時54分に東京湾の深さ71kmでM4.7の地震(図7中のa)が発生し、東京都、神奈川県で最大震度4を観測したほか、東北地方南部から関東甲信越地方及び静岡県で震度3～1を観測した(p4、10参照)。

情報発表に用いた震央地名は〔千葉県北西部〕である。

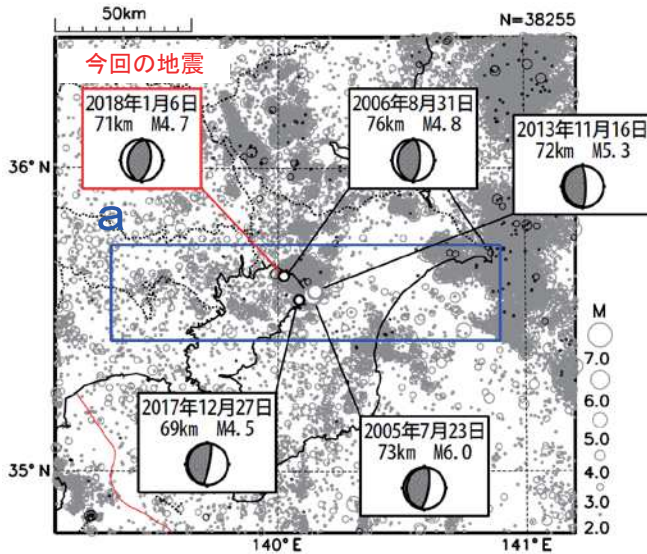
6日05時47分に伊豆半島東方沖の深さ11kmでM4.5の地震(図7中のb)が発生し、千葉県南房総市、鋸南町、静岡県伊豆市、東伊豆町で震度3を観測したほか、関東地方、山梨県及び静岡県で震度2～1を観測した(p11参照)。

情報発表に用いた震央地名は〔伊豆大島近海〕である。

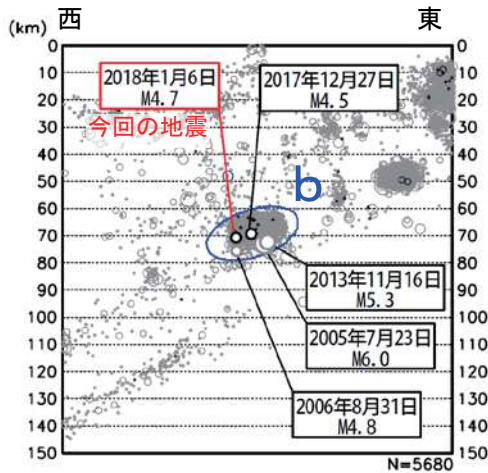
1月6日 東京湾の地震

※情報発表に用いた震央地名は〔千葉県北西部〕である。

震央分布図
(1997年10月1日～2018年1月31日、
深さ0～150km、 $M \geq 2.0$)
2017年12月以降の地震を濃く表示



領域a内の断面図(東西投影)

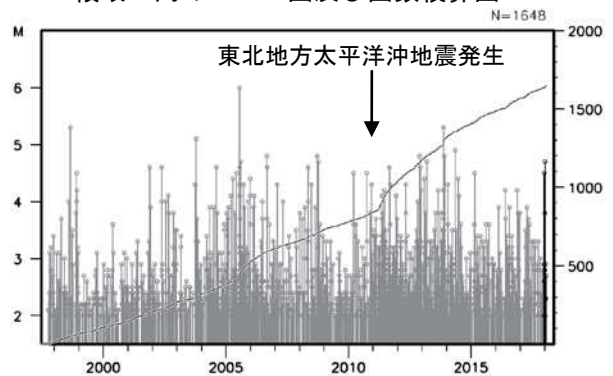


2018年1月6日00時54分に東京湾の深さ71kmでM4.7の地震(最大震度4)が発生した。この地震は、発震機構が東西方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートとフィリピン海プレートの境界で発生した。今回の地震の震源付近では、2017年12月27日にもM4.5の地震(最大震度3)が発生した。

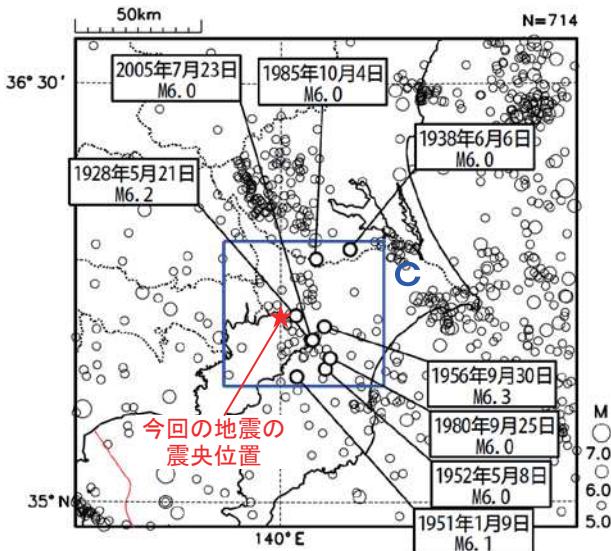
1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近(領域b)は、M5.0以上の地震が時々発生するなど地震活動が活発な領域であり、東北地方太平洋沖地震の発生以降、地震活動がより活発になっている。最近では、2005年7月23日に発生したM6.0の地震(最大震度5強)により、負傷者38人、住家一部破損12棟などの被害が生じた(総務省消防庁による)。

1923年1月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺(領域c)では、M6.0程度の地震が時々発生している。このうち、1980年9月25日に発生したM6.0の地震(最大震度4)では、死者2人、負傷者73人などの被害が生じた(「日本被害地震総覧」による)。

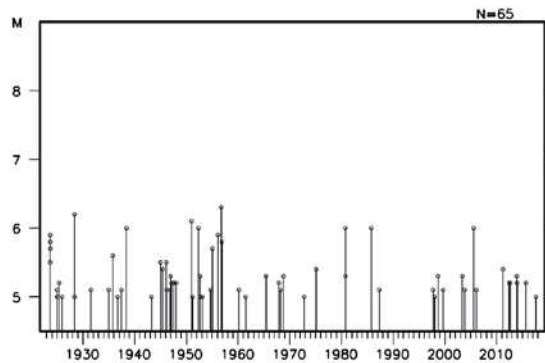
領域b内のM-T図及び回数積算図



震央分布図
(1923年1月1日～2018年1月31日、
深さ0～150km、 $M \geq 5.0$)



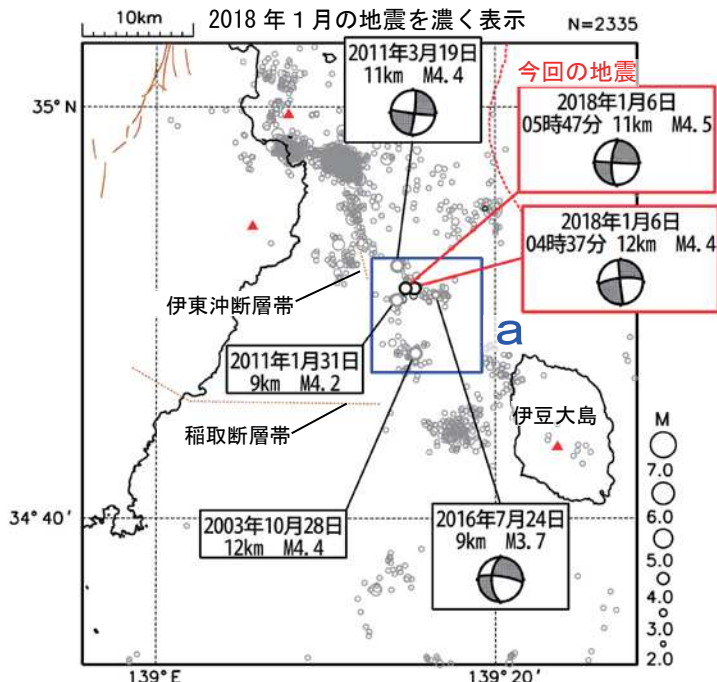
領域c内のM-T図



1月6日 伊豆半島東方沖の地震

※情報発表に用いた震央地名は【伊豆大島近海】である。

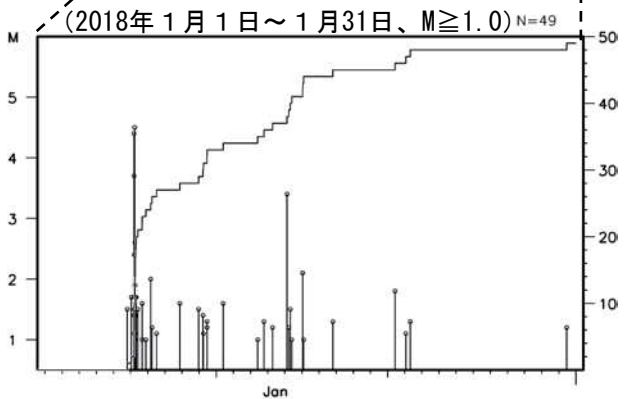
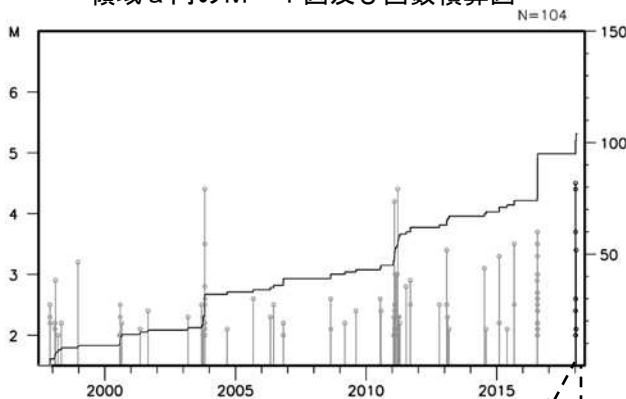
震央分布図 (1997年10月1日～2018年1月31日、
深さ0～20km、 $M \geq 2.0$)



2018年1月6日05時47分に伊豆半島東方沖の深さ11kmでM4.5の地震(最大震度3)が発生した。この地震はフィリピン海プレートの地殻内で発生した。発震機構は北西-南東方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型であった。また、同日04時37分にM4.4の地震(最大震度3)が発生するなど、今回の地震の発生前後には、地震活動がやや活発となった。

1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震央付近(領域a)では、2003年、2011年、2016年にもやや活発な地震活動がみられている。

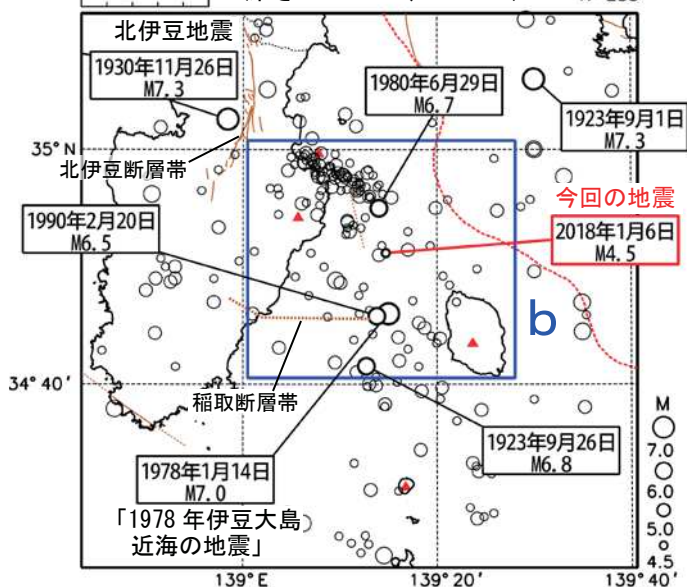
領域a内のM-T図及び回数積算図



図中の茶色の細線は地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を、赤色の破線は海溝軸を示す

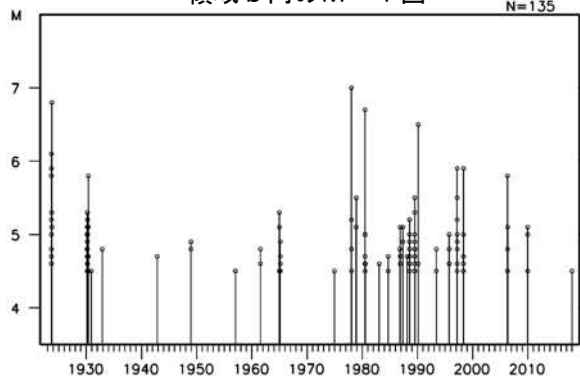
※▲は活火山を示す

震央分布図 (1923年1月1日～2018年1月31日、
深さ0～50km、 $M \geq 4.5$)



図中の茶色の細線は地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を、赤色の破線は海溝軸を示す

領域b内のM-T図



1923年1月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺(領域b)では、M6.5以上の地震が4回発生している。最大規模の地震は、稲取断層帯の最新の活動である「1978年伊豆大島近海の地震」のM7.0で、この地震により、伊豆半島で死者25人、負傷者211人、住家全壊96棟等の被害が生じた(「日本被害地震総覧」による)。また、伊豆大島岡田で約70cm(最大全振幅)等の津波が観測された(「験震時報第43巻」による)。

○近畿・中国・四国地方の地震活動

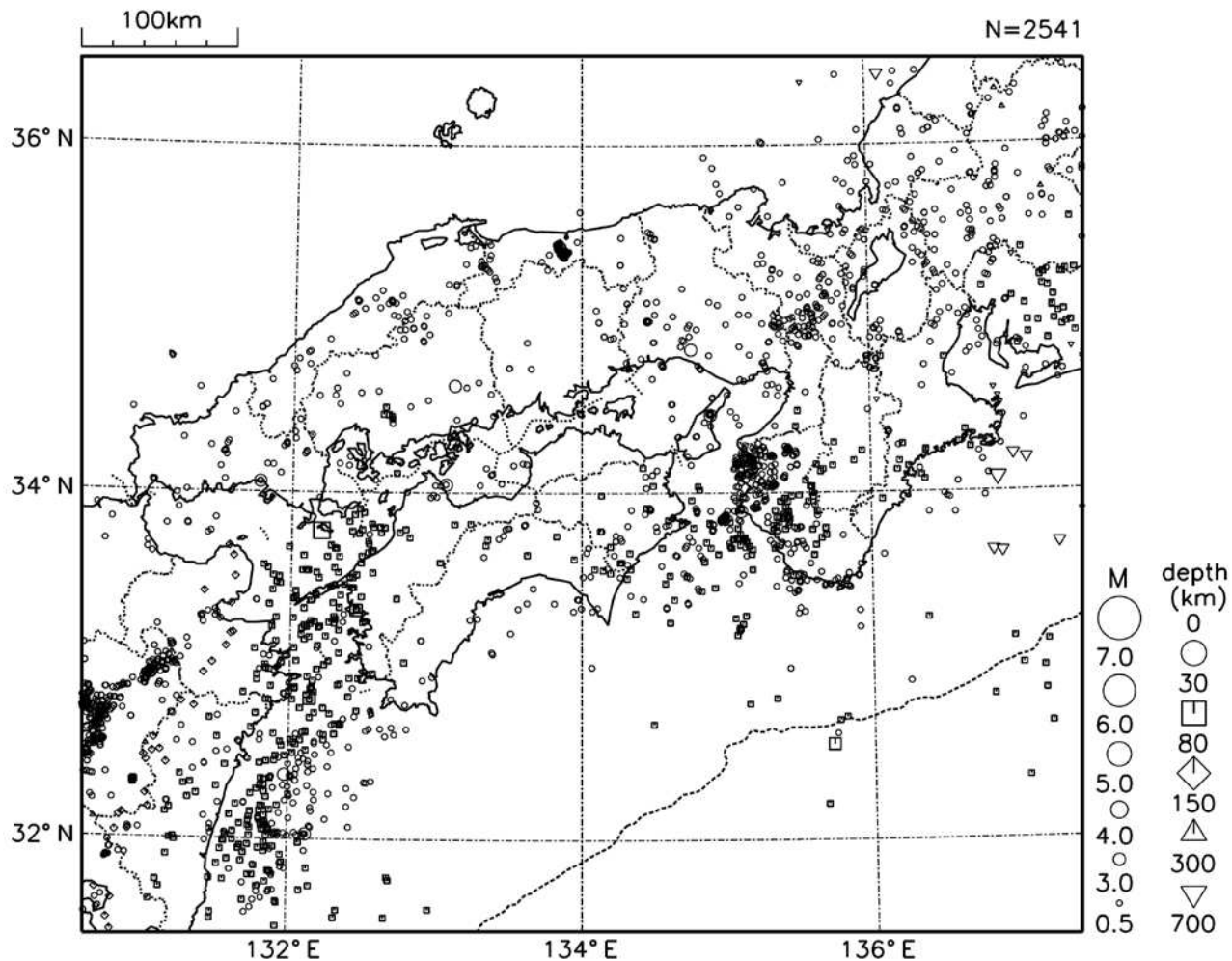


図8 近畿・中国・四国地方の震央分布図（2018年1月1日～1月31日、 $M \geq 0.5$ ）

[概況]

1月に近畿・中国・四国地方で震度1以上を観測した地震は17回（2017年12月は21回）であった。

1月中、特に目立った活動はなかった。

○九州地方の地震活動

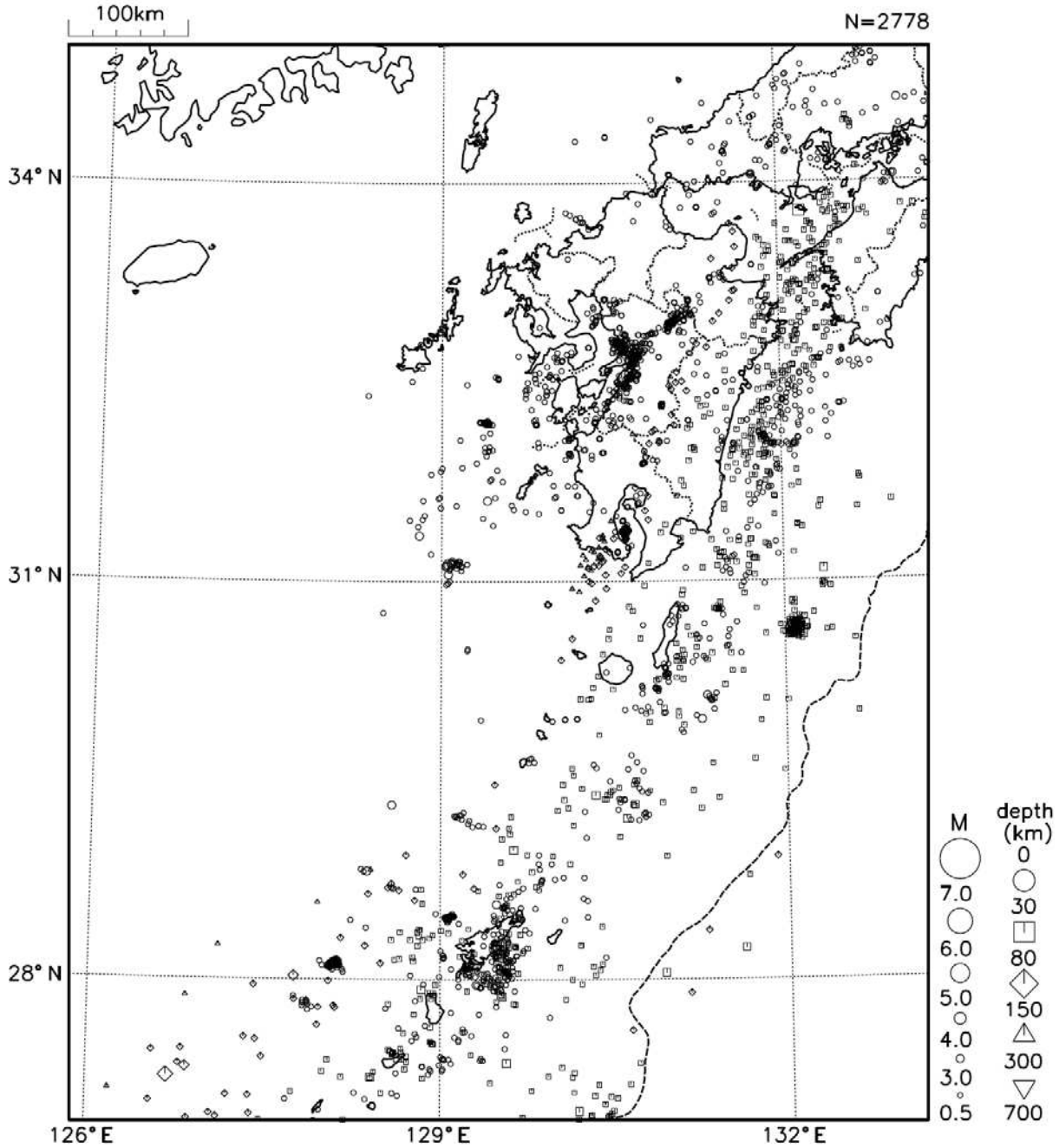


図9 九州地方の震央分布図 (2018年1月1日～1月31日、 $M \geq 0.5$)

[概況]

1月に九州地方で震度1以上を観測した地震は21回(2017年12月は29回)であった。1月中、特に目立った活動はなかった。

○沖縄地方の地震活動

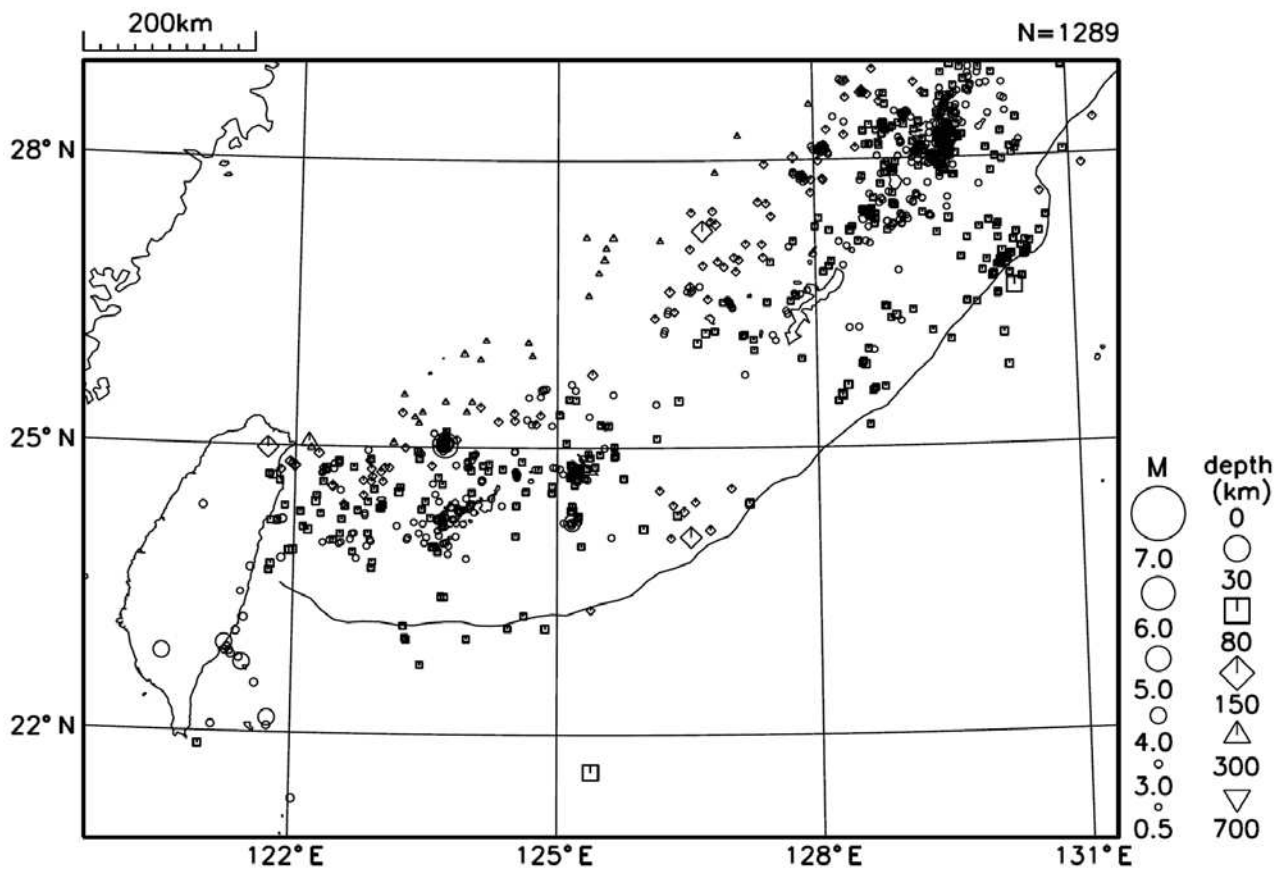


図10 沖縄地方の震央分布図 (2018年1月1日～1月31日、 $M \geq 0.5$)

[概況]

1月に沖縄地方で震度1以上を観測した地震は1回(2017年12月は7回)であった。
1月中、特に目立った活動はなかった。

○その他の地域の地震活動

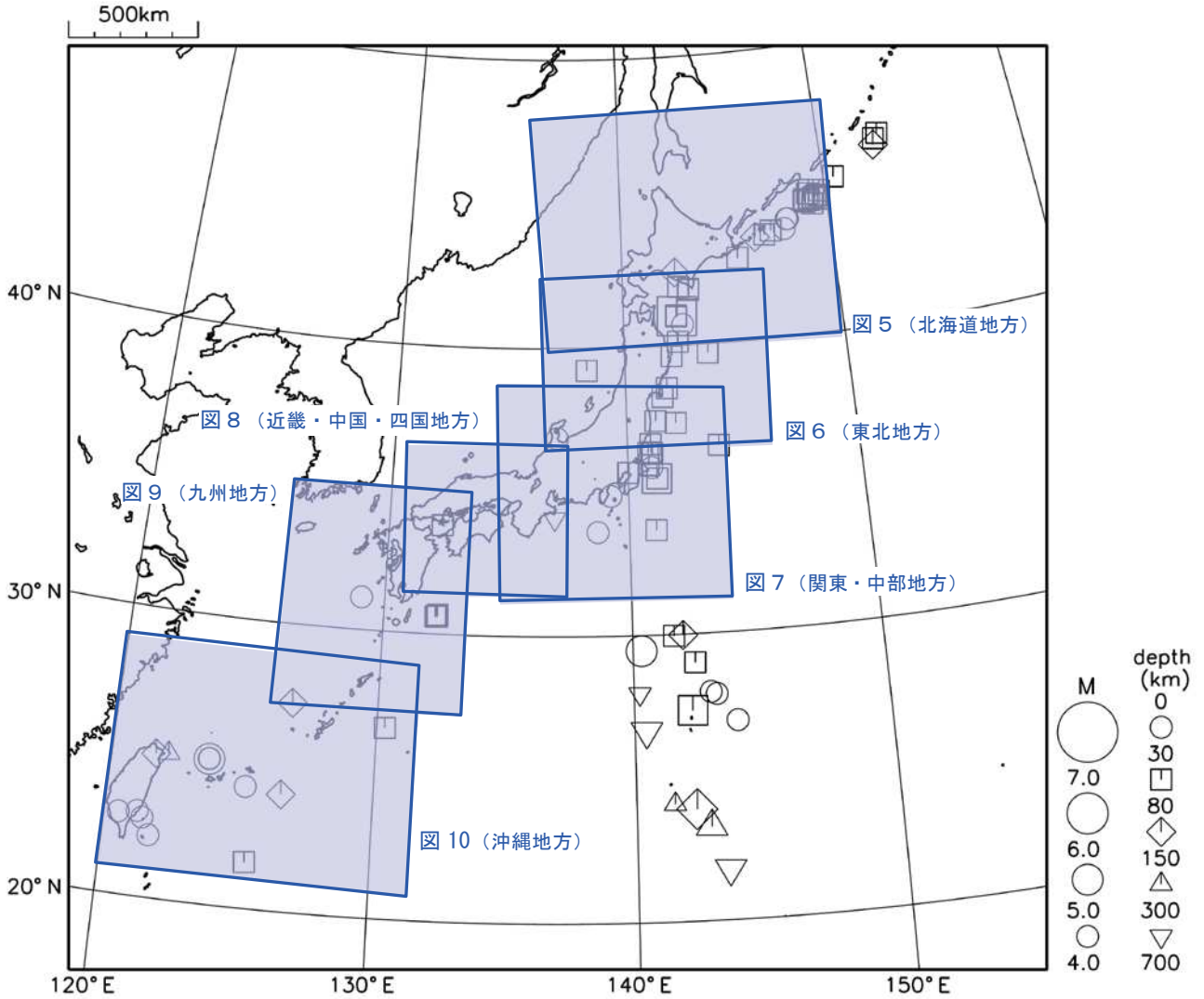


図11 日本周辺で発生した主な地震の震央分布図 (2018年1月1日~1月31日、 $M \geq 4.0$)

[概況]

1月に日本周辺で発生した $M6.0$ 以上の地震は1回 (2017年12月は1回) であった。
1月中、図5~10の領域外で特に目立った活動はなかった。

●南海トラフ周辺の地殻活動

南海トラフ沿いの地震活動

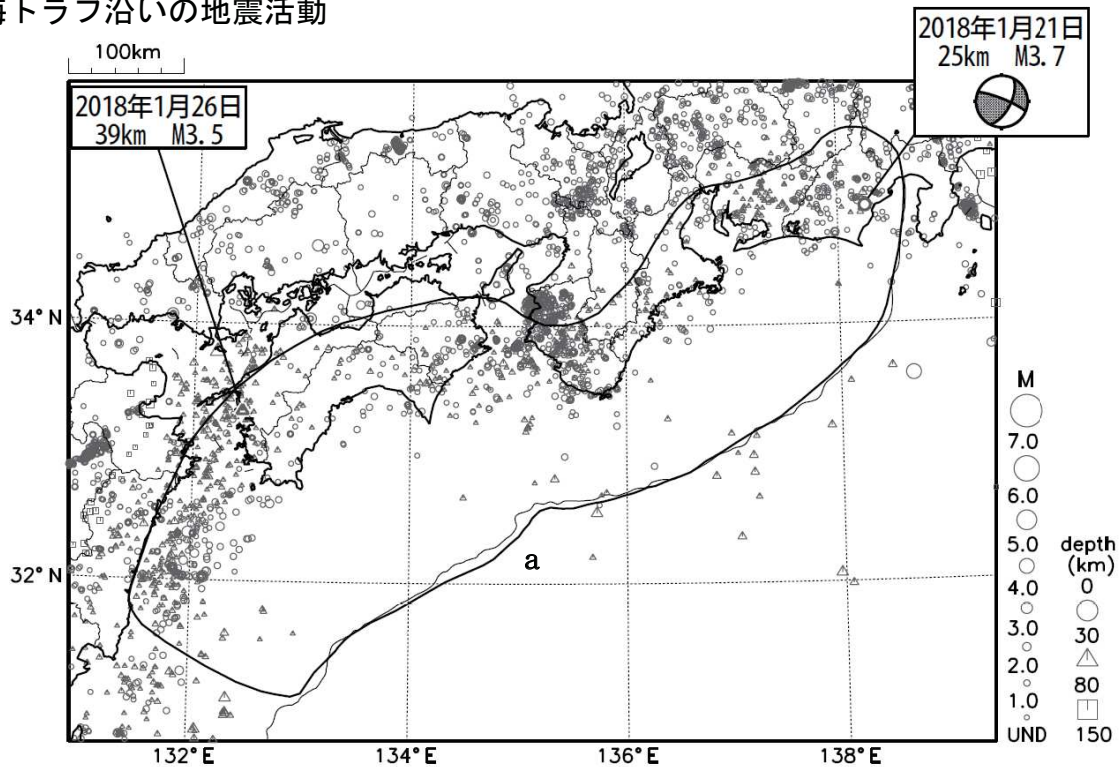


図1 震央分布図(2018年1月1日～1月31日、深さ0～150km、Mすべて、図中の領域aは、南海トラフ巨大地震の想定震源域)
 ※図中の吹き出しは、領域a内のM3.5以上、それ以外の陸域M5.0以上・海域M6.0以上とその他の主な地震

○南海トラフ巨大地震の想定震源域およびその周辺：M3.5以上の地震及びその他の主な地震

月/日	時:分	震央地名	深さ(km)	M	最大震度	発生場所
1/21	15:15	静岡県中部	25	3.7	2	フィリピン海プレート内部
1/26	07:59	愛媛県南予	39	3.5	1	フィリピン海プレート内部

○深部低周波地震(微動)活動期間

四国	紀伊半島	東海
1月2日～4日	<u>1月3日～5日</u>	
1月7日	1月7日	
1月22日～23日	1月21日	
1月25日		
1月31日		

※深部低周波地震(微動)活動期間は特定の場所での一連の活動期間を記載する。

※深部低周波地震(微動)活動と同期してひずみ変化が観測された活動(期間)に下線を付している。

※深部低周波地震(微動)活動の地域は、次頁で示している。

深部低周波地震活動 (2000年1月1日～2018年1月31日)

深部低周波地震は、「短期的ゆっくりすべり」に密接に関連する現象とみられており、プレート境界の状態の変化を監視するために、その活動を監視している。

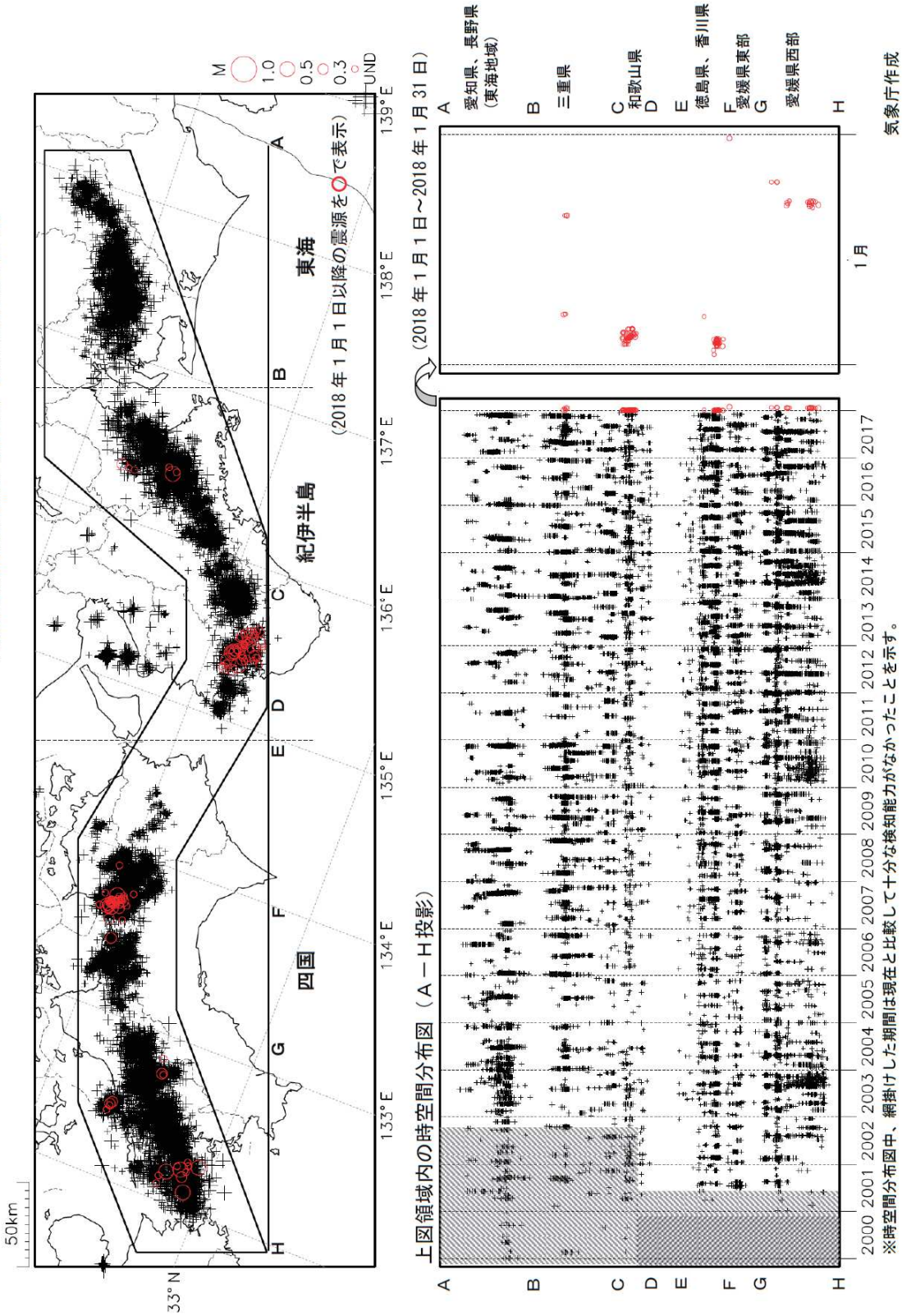


図2 深部低周波地震活動 (2000年1月1日～2018年1月31日)

「最近の南海トラフ周辺の地殻活動」について

平成30年1月29日に気象庁において第3回南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会、第381回地震防災対策強化地域判定会(定例)を開催し、気象庁は「最近の南海トラフ周辺の地殻活動」として次の内容の南海トラフ地震に関連する情報(定例)を発表した。これに関連する資料をp19～p34に掲載する。

現在のところ、南海トラフ沿いの大規模地震の発生の可能性が平常時と比べて相対的に高まったと考えられる特段の変化は観測されていません。

1. 地震の観測状況

主な深部低周波地震(微動)として、1月2日から6日頃にかけて和歌山県のプレート境界付近を震源とする深部低周波地震(微動)を観測しました。

2. 地殻変動の観測状況

GNSS観測等によると、御前崎、潮岬及び室戸岬のそれぞれの周辺では長期的な沈降傾向が継続しています。

また、1月4日から5日にかけて、和歌山県及び三重県の複数のひずみ観測点でわずかな地殻変動を観測しました。

3. 地殻活動の評価

上記観測結果を総合的に判断すると、南海トラフ地震の想定震源域ではプレート境界の固着状況に特段の変化を示すようなデータは今のところ得られていません。

一方、上記の深部低周波地震(微動)及びひずみ観測点で観測した地殻変動は、想定震源域のプレート境界深部において発生した「短期的ゆっくりすべり」に起因すると推定しています。

以上のように、現在のところ、南海トラフ沿いの大規模地震の発生の可能性が平常時と比べて相対的に高まったと考えられる特段の変化は観測されていません。

気象庁では、大規模地震の切迫性が高いと指摘されている南海トラフ周辺の地震活動や地殻変動等の状況を定期的に評価するため、南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会、地震防災対策強化地域判定会を毎月開催して委員の意見提供等を受け、現在の状況を「最近の南海トラフ周辺の地殻活動」として取りまとめ南海トラフ地震に関連する情報(定例)を発表している。

【「最近の南海トラフ周辺の地殻活動」についての頁で使われる用語】

・「想定震源域」

南海トラフ沿いの大規模地震発生時に、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界が破壊されると想定される領域。「想定震源域」全体もしくは一部が破壊されると考えられている。

・「クラスタ」、「クラスタ除去」

地震は時間空間的に群(クラスタ: cluster)をなして起きることが多くある。「本震とその後に起きる余震」、「群発地震」などが典型的なクラスタで、余震活動等の影響を取り除いて地震活動全体の推移を見ることを「クラスタ除去」と言う。例えば、相互の震央間の距離が3km以内で、相互の発生時間差が7日以内の地震群をクラスタとして扱い、その中の最大の地震をクラスタに含まれる地震の代表とし、地震が1つ発生したと扱う。

・「長期的ゆっくりすべり(長期的スロースリップ)」

想定震源域の深部で、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界が数ヶ月～数年間かけてゆっくりとすべる現象で、数年～十年程度の間隔で繰り返し発生していると考えられている。例えば、東海地域では、前々回は2000年秋頃～2005年夏頃にかけて発生し、前回は2013年はじめ頃から2017年はじめ頃にかけて発生した。

・「深部低周波地震(微動)」

深さ約30km～40kmで発生する、通常の地震より長周期の波が卓越する地震を「深部低周波地震」と言う。長野県南部～日向灘にかけては帯状につながる深部低周波地震の震央分布が見られる。深部低周波微動は、P波やS波が明瞭ではなく震動が継続するもので、現象的には深部低周波地震と同じであるが、解析手法に違いがあるため、深部低周波地震が観測されない場合にも観測されることがある。

・「短期的ゆっくりすべり(短期的スロースリップ)」

「短期的ゆっくりすべり」は、長期的ゆっくりすべりが発生する領域のさらに深部の、深部低周波地震(微動)の発生領域とほぼ同じ領域でのフィリピン海プレートと陸のプレートの境界のすべりと考えられている。数日～1週間程度継続する「短期的ゆっくりすべり(短期的スロースリップ)」が観測されるときは、ほぼ同時に深部低周波地震(微動)活動が観測されることが多い。短期的ゆっくりすべりは、数ヶ月から1年程度の間隔で繰り返し発生している。

注) 地震活動および地殻活動の解析にはHirose et al. (2008)*によるフィリピン海プレートと陸のプレートの境界データを使用している。

*Hirose, F., J. Nakajima, and A. Hasegawa (2008), Three-dimensional seismic velocity structure and configuration of the Philippine Sea slab in southwestern Japan estimated by double-difference tomography, J. Geophys. Res., 113, B09315, doi:10.1029/2007JB005274.

平成29年12月1日～平成30年1月20日の主な地震活動

○南海トラフ巨大地震の想定震源域およびその周辺の地震活動：

【最大震度3以上を観測した地震もしくはM3.5以上の地震及びその他の主な地震】

月/日	時:分	震央地名	深さ (km)	M	最大 震度	発生場所
12/4	16:54	日向灘	21	4.2	2	フィリピン海プレートと陸のプレートの境界
12/9	04:21	日向灘	44	3.5	1	フィリピン海プレート内部
12/11	05:39	紀伊水道	9	3.8	3	地殻内
12/12	11:13	四国沖	39	3.6	1	フィリピン海プレート内部
12/26	20:34	日向灘	20	3.5	-	(フィリピン海プレートと陸のプレートの境界 で発生した可能性がある)

○深部低周波地震（微動）活動期間

四国	紀伊半島	東海
12月2日～5日	12月1日～3日	11月25日～12月5日
12月7日	12月5日	12月7日
12月14日	12月16日	
12月30日		
1月2日～4日	1月3日～5日 ^{注)}	
1月7日	1月7日	

※深部低周波地震（微動）活動の活動期間は、気象庁一元化震源による。

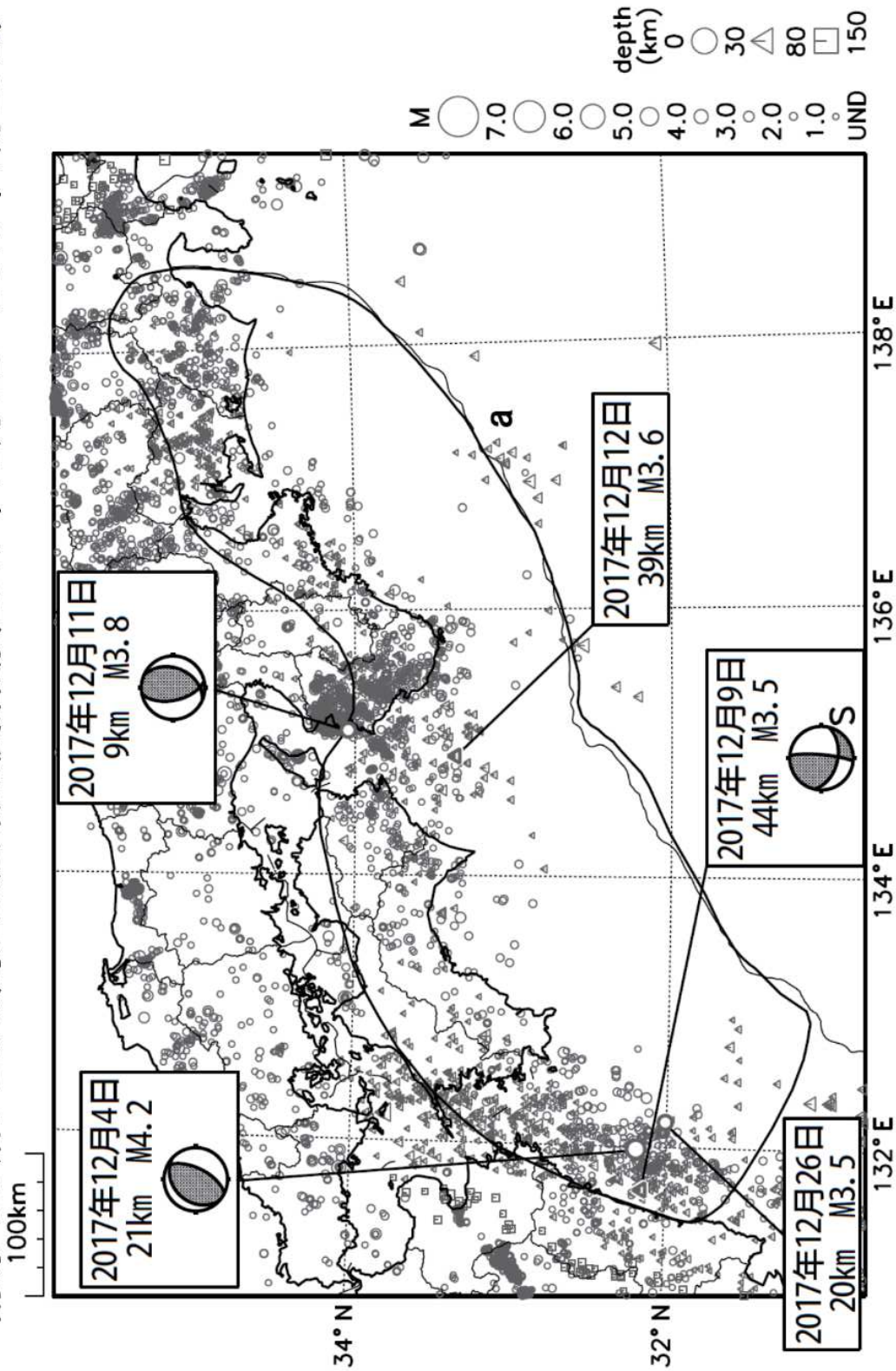
※深部低周波地震（微動）活動期間は特定の場所での一連の活動期間を記載する。

※深部低周波地震（微動）活動と同期してひずみ変化が観測された活動（期間）を赤字で示している。

※深部低周波地震（微動）活動の地域は、次々頁の震央分布図に示している。

注）防災科学技術研究所による解析では、1月2日～6日頃。

南海トラフ沿いとその周辺の広域地震活動(2017年12月1日~2018年1月20日)

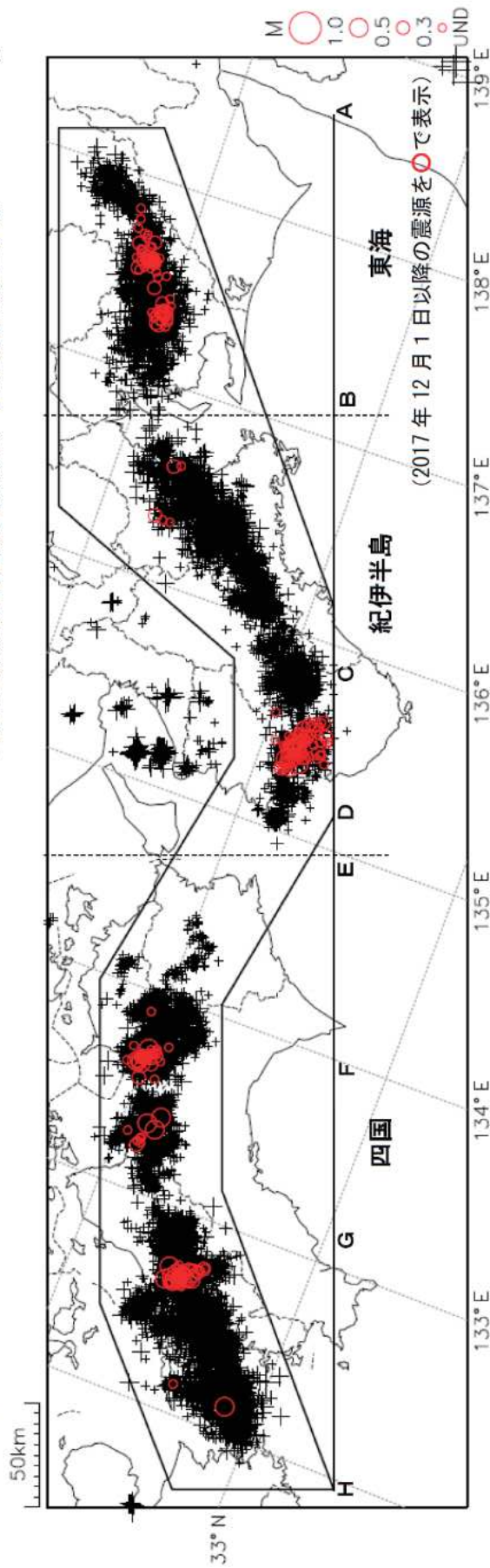


図中の吹き出しは、南海トラフ巨大地震の想定震源域(領域a内)で最大震度3以上を観測した地震もしくはM3.5以上の地震、それ以外(領域a内以外)の陸域M5.0以上・海域M6.0以上とその他の主な地震

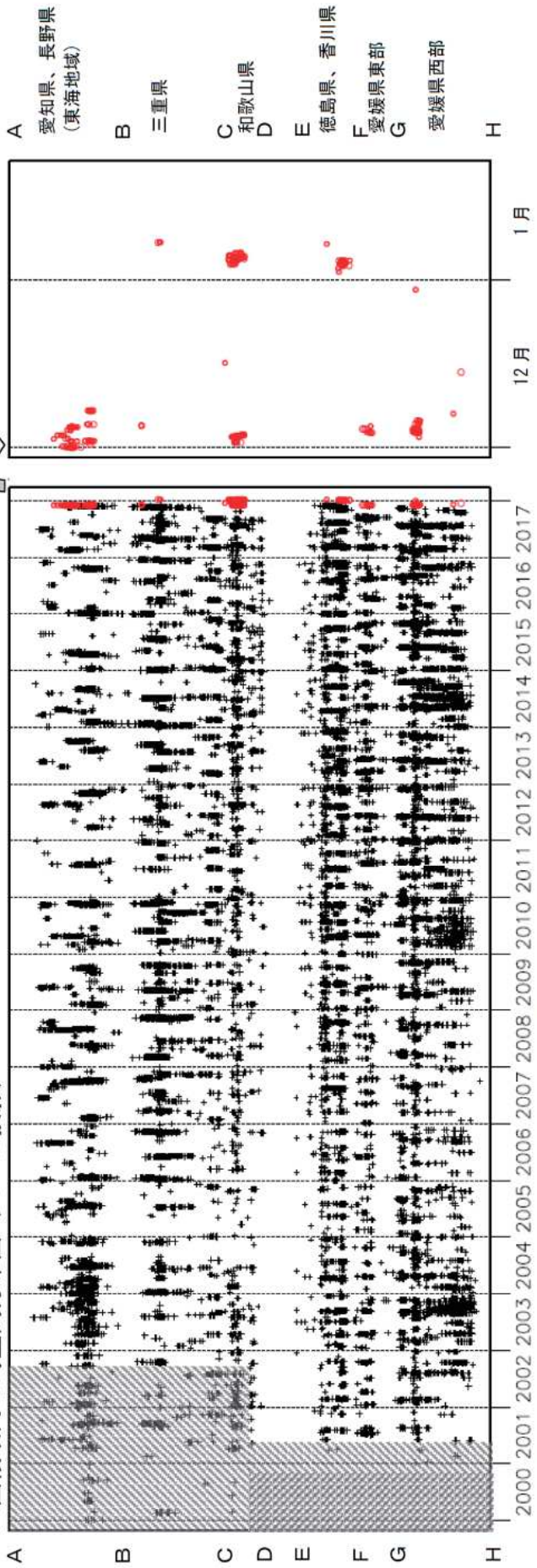
気象庁作成

深部低周波地震活動 (2000年1月1日～2018年1月20日)

深部低周波地震は、「短期的ゆっくすりすべり」に密接に関連する現象とみられており、プレート境界の状態の変化を監視するために、その活動を監視している。



上図領域内の時空間分布図 (A-H投影)



※時空間分布図中、網掛けした期間は現在と比較して十分な検知能力がなかったことを示す。

気象庁作成

紀伊半島・東海地域の深部低周波微動活動状況
(2017年12月～2018年1月)



● 紀伊半島西部において、1月2～6日頃にやや活発な微動活動。

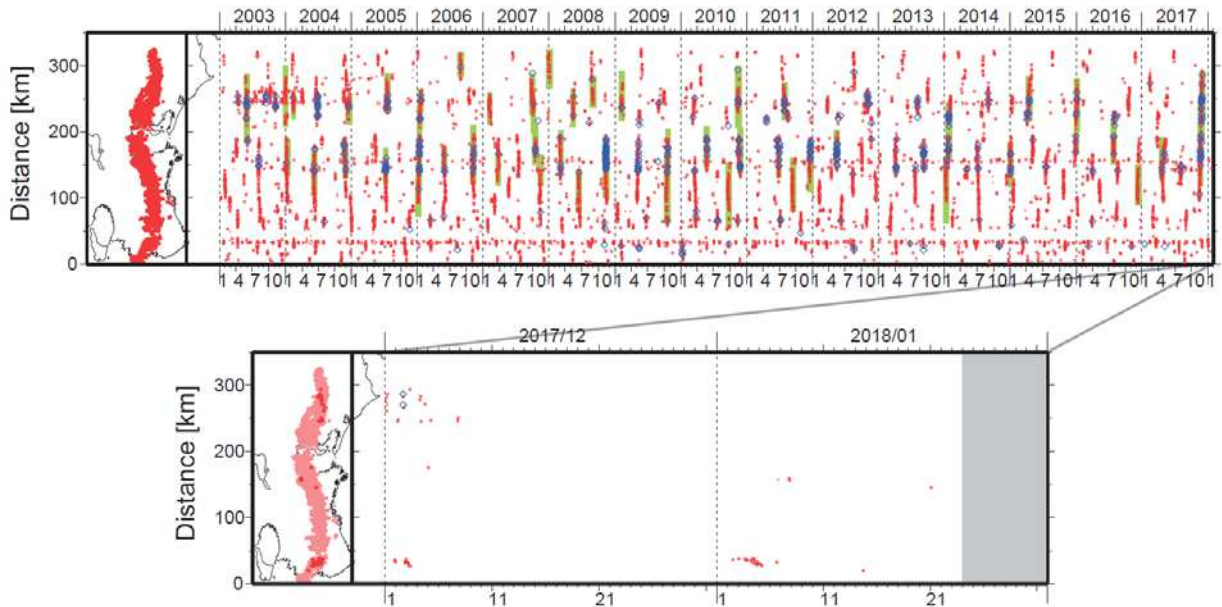


図1. 紀伊半島・東海地域における2003年1月～2018年1月23日までの深部低周波微動の時空間分布(上图). 赤丸はエンベロープ相関・振幅ハイブリッド法(Maeda and Obara, 2009)およびクラスタ処理(Obara et al., 2010)によって1時間毎に自動処理された微動分布の重心である. 青菱形は周期20秒に卓越する超低周波地震(Ito et al., 2007)である. 黄緑色の太線はこれまでに検出された短期的スロースリップイベント(SSE)を示す. 下图は2017年12月～2018年1月の拡大図である. 12月下旬以降の顕著な活動としては、1月2～6日頃に和歌山県中部でやや活発な活動が発生し、やや西方向への活動域の移動がみられた. また、1月6～7日頃には三重県北部において、ごく小規模な活動がみられた. 1月23日18:31頃(日本標準時)にアラスカ湾付近で発生したMw7.9(USGS)の地震後の19:05～19:20頃に、ハイブリッド法により微動活動が愛知県中部で検出されている(図3).



図2. 図中左上に示した期間に発生した微動分布(赤丸). 灰丸は、図1の拡大図で示した期間における微動分布を示す.



図3. 青丸は、ハイブリッド法によって推定された、2018年1月23日19:05～19:20の微動源の震央位置を示す.

防災科学技術研究所資料

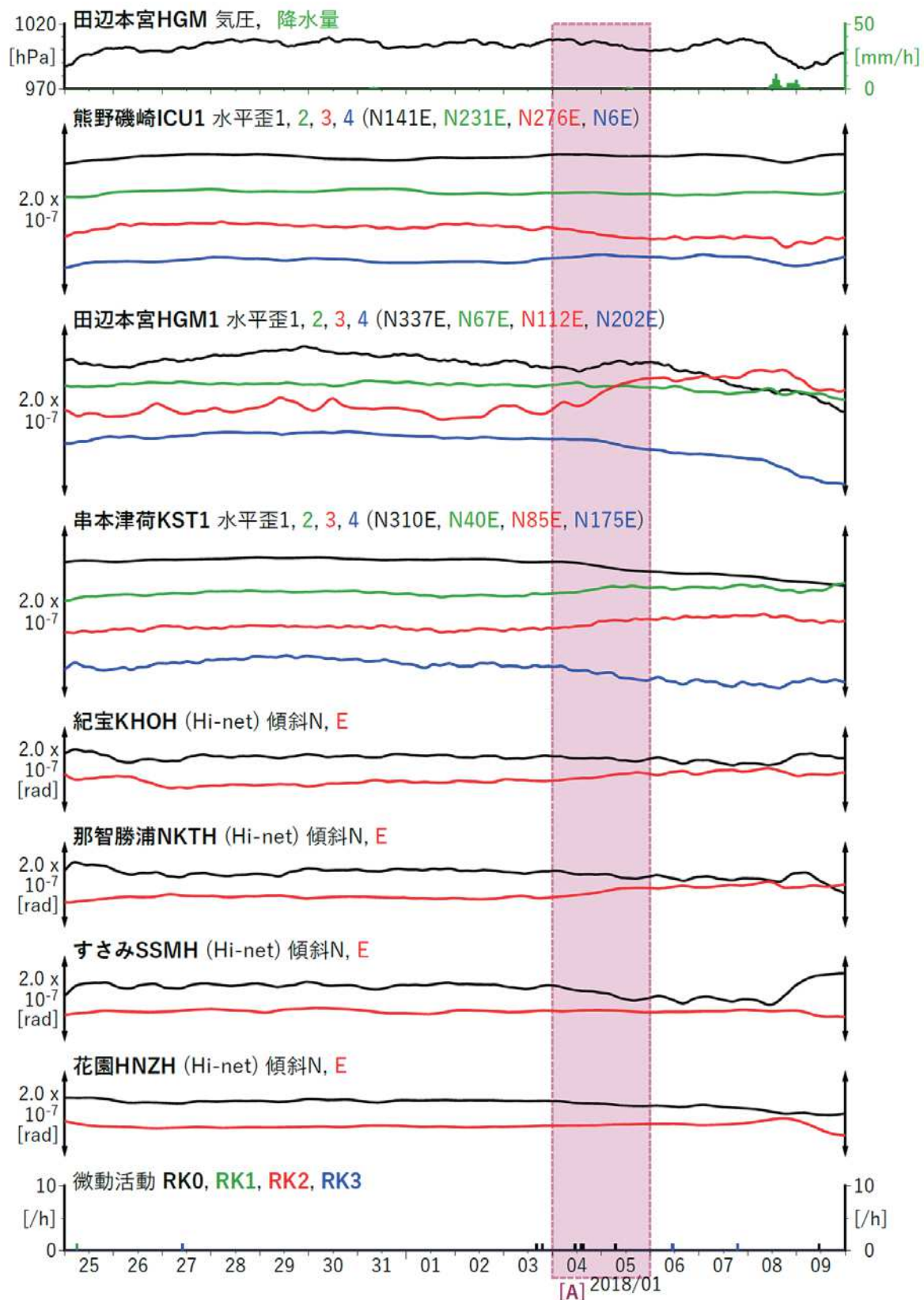
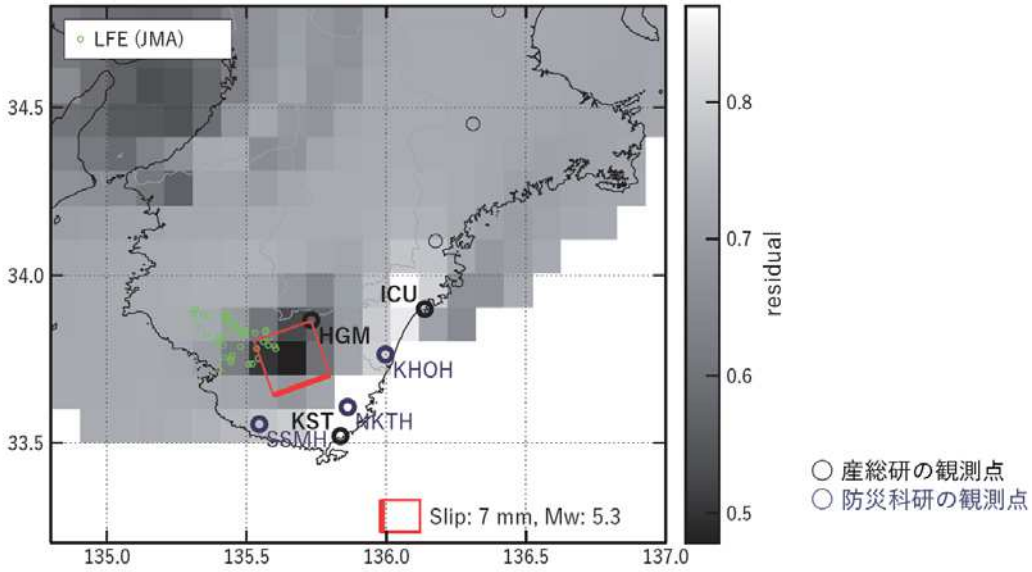


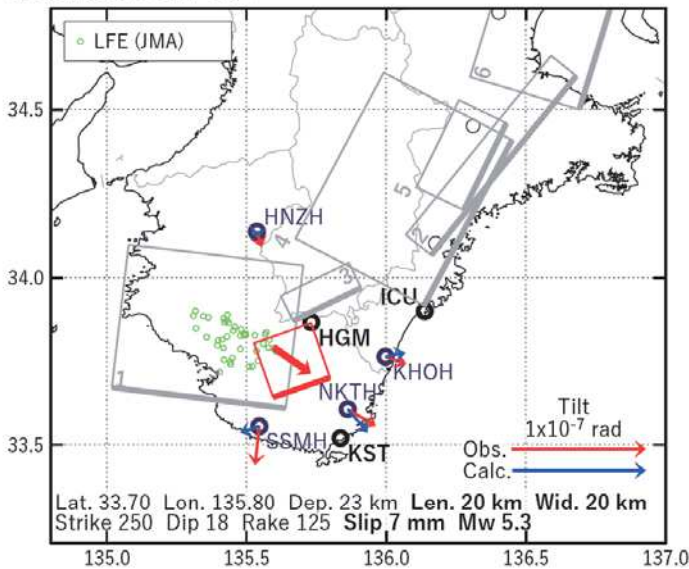
図2 歪・傾斜の時間変化 (2017/12/25 00:00 - 2018/01/10 00:00 (JST))

[A] 2018/01/04-05

(a) 断層の大きさを固定した場合の断層モデルと残差分布



(b1) 推定した断層モデル



(b2) 主歪

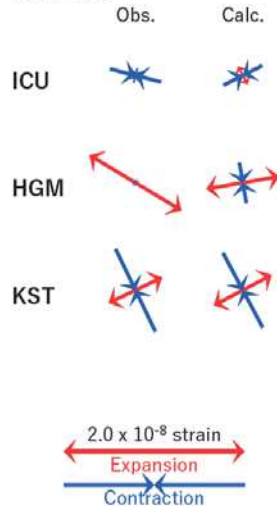


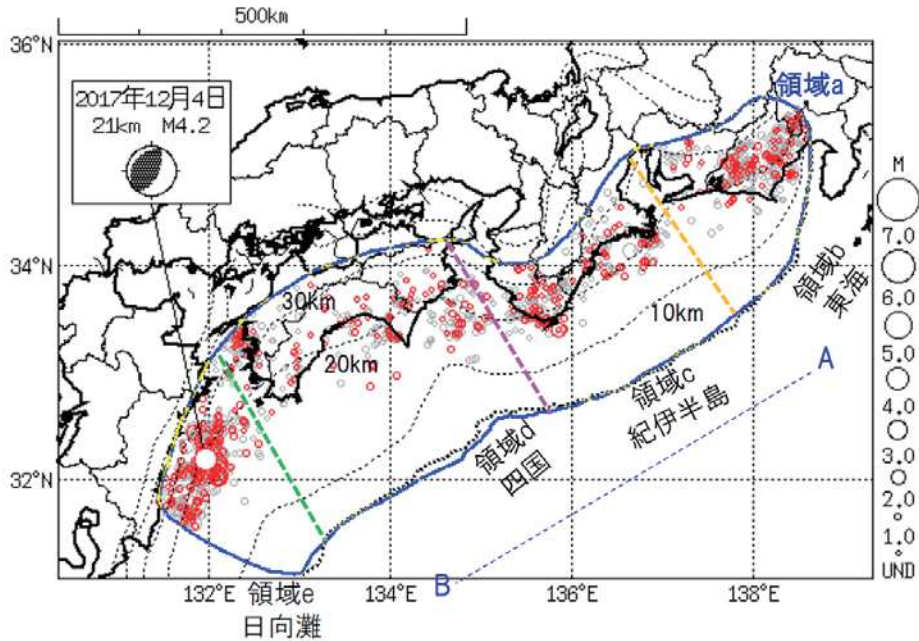
図3 2018/01/04-05の歪・傾斜変化(図2[A])を説明する断層モデル。

- (a) プレート境界面に沿って20 x 20 kmの矩形断層面を移動させ、各位置で残差の総和を最小にするすべり量を選んだときの、対応する残差の総和の分布。赤色矩形が残差の総和が最小となる断層面の位置。
- (b1) (a)の断層面付近をグリッドサーチして推定した断層面(赤色矩形)と断層パラメータ。灰色矩形は最近周辺で発生した短期的SSEの推定断層面。
 - 1: 2017/07/25-28 (Mw5.6), 2: 2017/08/02-06 (Mw5.6), 3: 2017/09/03-05 (Mw5.5), 4: 2017/11/15-17 (Mw5.8),
 - 5: 2017/11/18-19 (Mw5.6), 6: 2017/11/20-23AM (Mw6.1)
- (b2) 主歪の観測値と(b1)に示した断層モデルから求めた計算値との比較。

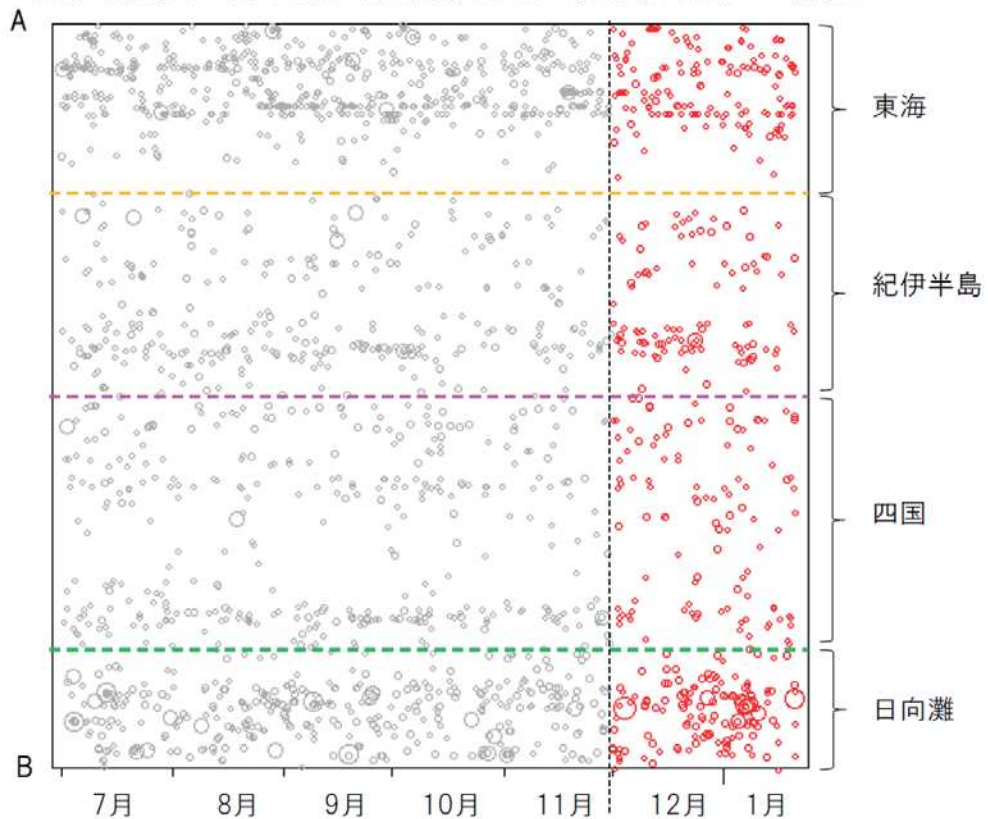
プレート境界とその周辺の地震活動

Hirose et al.(2008)によるフィリピン海プレート上面の深さから±6km未満の地震を表示している。

震央分布図
(2017年7月1日～2018年1月20日、M全て、2017年12月以降の地震を赤く表示)



領域a(南海トラフ巨大地震の想定震源域)内の時空間分布図(A-B投影)



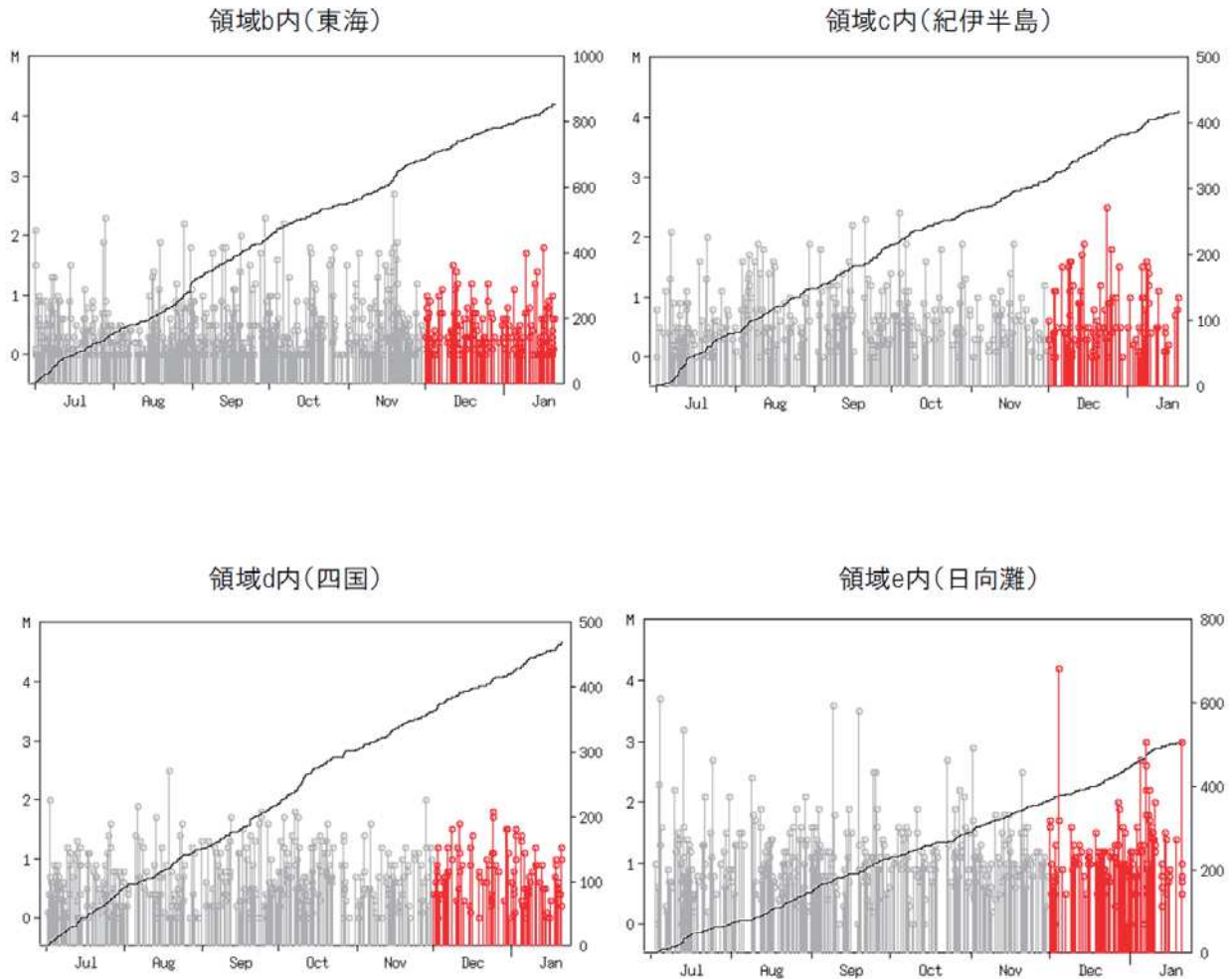
- ・震央分布図中の点線は、Hirose et al.(2008)によるフィリピン海プレート上面の深さを示す。
- ・今期間の地震のうち、M3.2以上の地震で想定南海トラフ地震の発震機構解と類似の型に吹き出しを付している。

気象庁作成

プレート境界とその周辺の地震活動

Hirose et al.(2008)によるフィリピン海プレート上面の深さから±6km未満の地震を表示している。

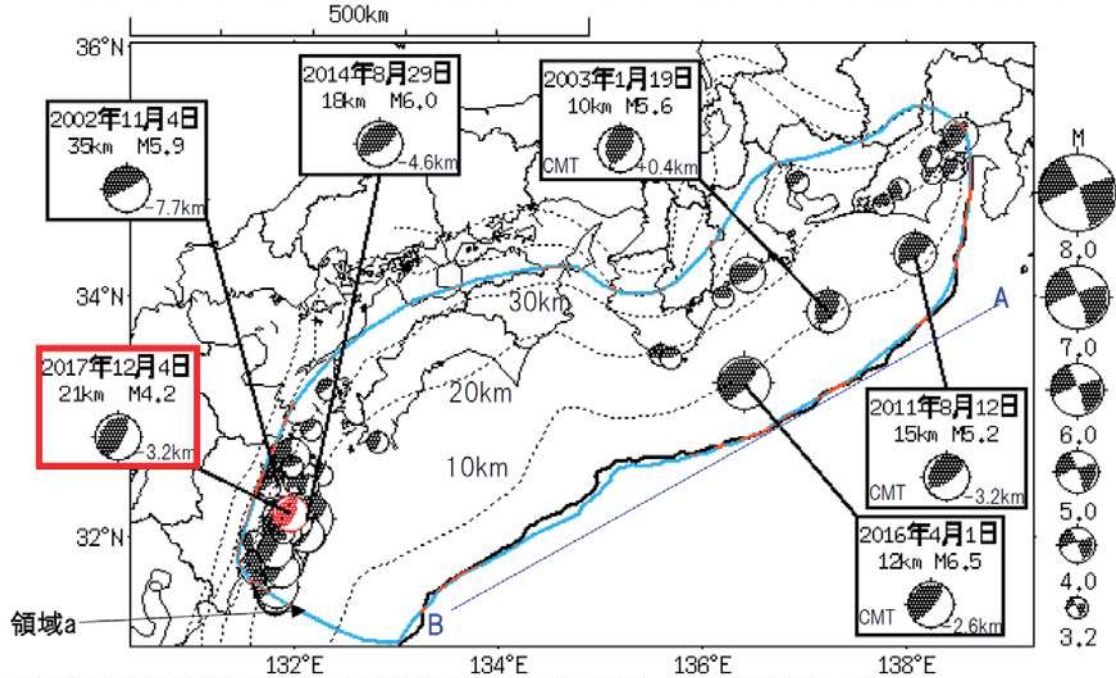
震央分布図の各領域内のMT図・回数積算図



※回数積算図は参考として表記している。M全ての地震を表示していることから、検知能力未満の地震も表示しているため、回数積算図の傾きと実際の地震活動の活発化・静穏化とは必ずしも一致しないことがある。

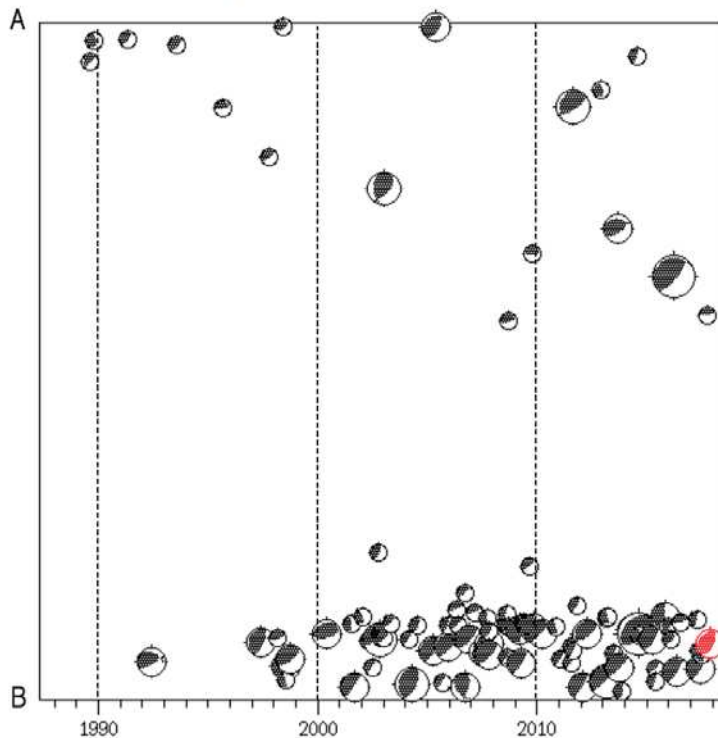
想定南海トラフ地震の発震機構解と類似の型の地震

震央分布図(1987年9月1日~2018年1月20日、M \geq 3.2、2017年12月以降を赤く表示)



- ・震央分布図中の点線は、Hirose et al.(2008)によるフィリピン海プレート上面の深さを示す。
- ・今期間に発生した地震(赤)、日向灘のM5.5以上、その他の地域のM5.0以上の地震に吹き出しを付けている。
- ・吹き出しの右下の数値は、フィリピン海プレート上面の深さからの差を示す。+は浅い、-は深いことを示す。
- ・吹き出しに「CMT」と表記した地震は、発震機構解と深さはCMT解による。Mは気象庁マグニチュードを表記している。

領域a(南海トラフ巨大地震の想定震源域)内の時空間分布図



プレート境界型の地震と類似の型のメカニズムを持つ地震は以下の条件で抽出した。

【抽出条件】

- ・M3.2以上の地震
- ・領域a内(南海トラフの想定最大規模の想定震源域内)で発生した地震
- ・メカニズムが以下の条件を全て満たしたものを抽出した。
 - P軸の傾斜角が45度以下
 - P軸の方位角が65度以上180度以下(※)
 - T軸の傾斜角が45度以上
 - N軸の傾斜角が30度以下
- ※以外の条件は、東海地震と類似の型を抽出する条件と同様
- ・メカニズムは、CMT解と初動解の両方で検索をした。
- ・Hirose et al.(2008)によるフィリピン海プレート上面の深さから±10km未満の地震のみ抽出した。CMT解はセントロイドの深さを使用した。
- ・同一の地震で、CMT解と初動解の両方で上記の条件を満たした場合はCMT解を選択している。

気象庁作成

南海トラフ巨大地震の想定震源域とその周辺の地震活動指数

2018年1月20日

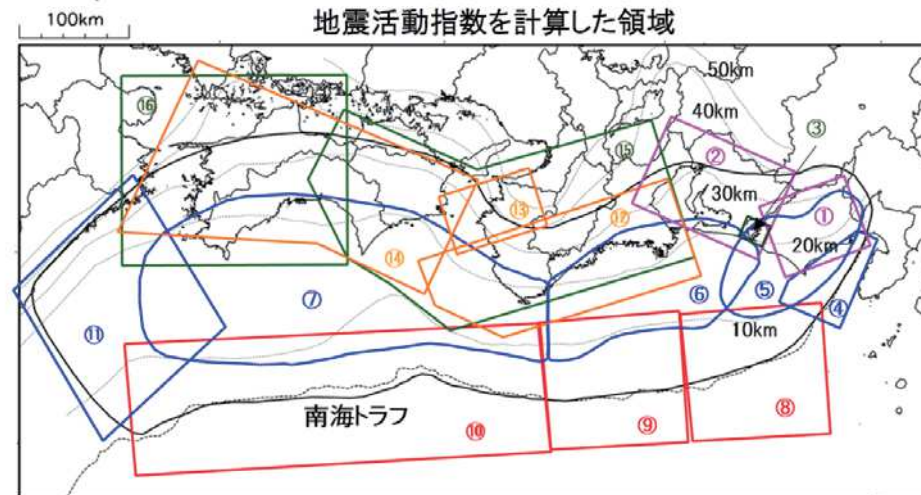
領域	①静岡県 中西部		②愛知県		③浜名湖 周辺	④駿河 湾	⑤東海	⑥東南 海	⑦南海
	地	プ	地	プ	プ	全	全	全	全
地震活動指数	3	5	5	4	2	4	4	4	4
平均回数	16.1	18.4	26.4	13.6	13.1	13.5	18.1	19.8	21.5
MLきい値	1.1		1.1		1.1	1.4	1.5	2.0	2.0
クラスタ 除去	距離		3km		3km	10km	10km	10km	10km
	日数		7日		7日	10日	10日	10日	10日
対象期間	60日	90日	60日	30日	360日	180日	90日	360日	90日
深さ	0~ 30km	0~ 60km	0~ 30km	0~ 60km	0~ 60km	0~ 60km	0~ 60km	0~ 100km	0~ 100km

領域	南海トラフ沿い		⑪日向 灘	⑫紀伊 半島	⑬和歌 山	⑭四国	⑮紀伊半 島	⑯四国	
	⑧東側	⑩西側							
	全	全	全	地	地	地	プ	プ	
地震活動指数	3	4	4	3	3	4	7	5	
平均回数	11.6	15.1	20.7	23.2	42.5	30.1	27.5	28.1	
MLきい値	2.5	2.5	2.0	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	
クラスタ 除去	距離		10km	10km	10km	3km	3km	3km	3km
	日数		10日	10日	10日	7日	7日	7日	7日
対象期間	720日	360日	60日	120日	60日	90日	30日	30日	
深さ	0~ 100km	0~ 100km	0~ 100km	0~ 20km	0~ 20km	0~ 20km	20~ 100km	20~ 100km	

* 基準期間は、全領域1997年10月1日～2018年1月20日

* 領域欄の「地」は地殻内、「プ」はフィリピン海プレート内で発生した地震であることを示す。ただし、震源の深さから便宜的に分類しただけであり、厳密に分離できていない場合もある。「全」は浅い地震から深い地震まで全ての深さの地震を含む。

* ⑨の領域(三重県南東沖)は、2004年9月5日以降の地震活動の影響で、地震活動指数を正確に計算できないため、掲載していない。



地震活動指数と地震数

地震回数の指数化		
指数	確率 (%)	地震数
8	1	多い
7	4	やや多い
6	10	
5	15	
4	40	ほぼ平常
3	15	やや少ない
2	10	
1	4	
0	1	少ない

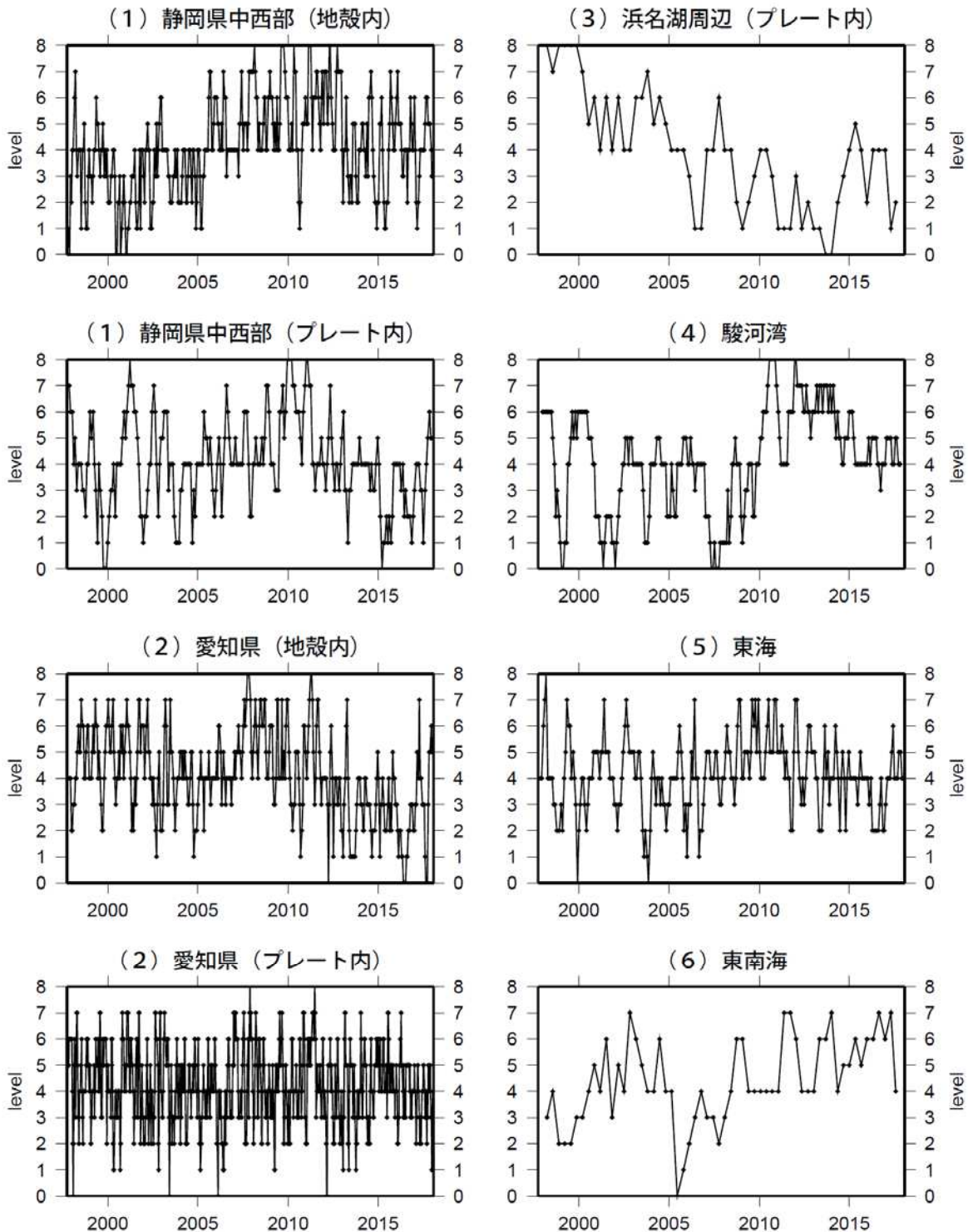
* 黒色実線は、南海トラフ巨大地震の想定震源域を示す。

* Hirose et al.(2008)によるプレート境界の等深線を破線で示す。

気象庁作成

地震活動指数一覧

2018年01月20日

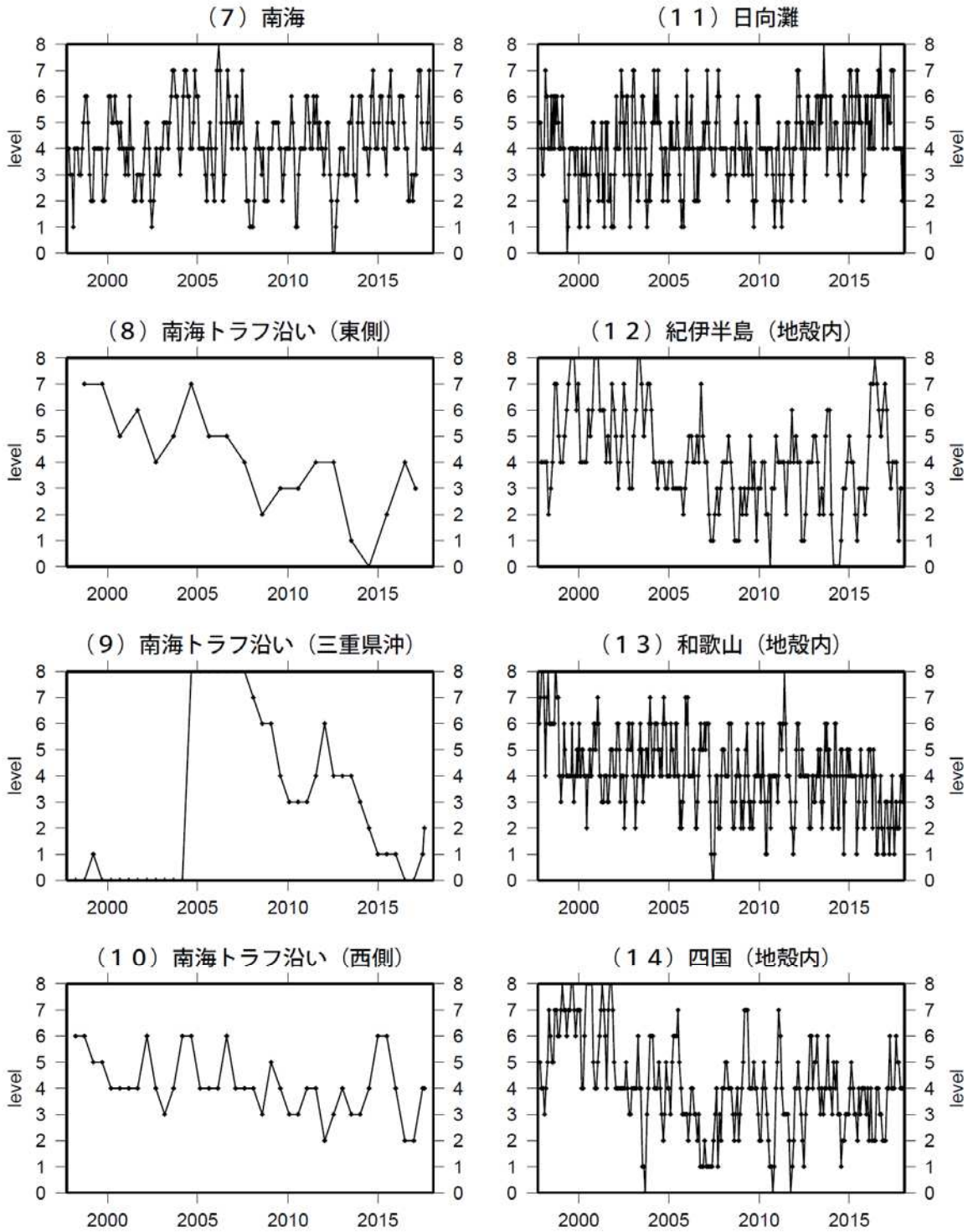


活動指数	0	1	2	3	4	5	6	7	8
確率 (%)	1	4	10	15	40	15	10	4	1
地震数	少	←		平常	→		多		

気象庁作成

地震活動指数一覧

2018年01月20日

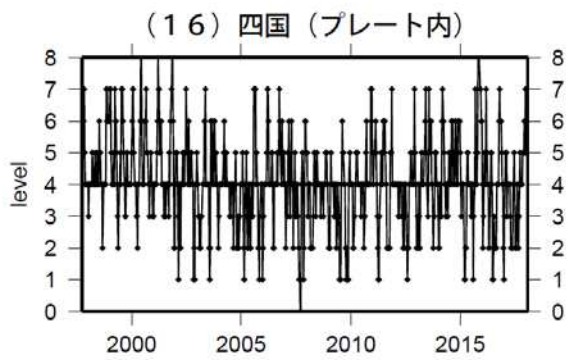
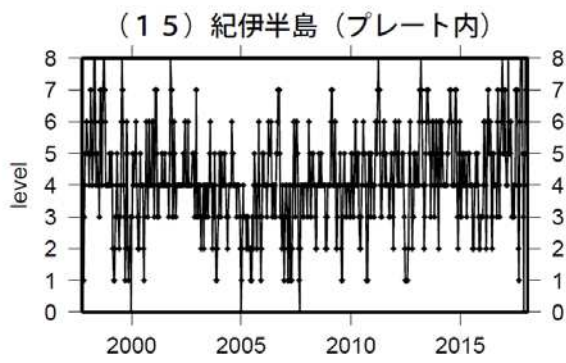


活動指数	0	1	2	3	4	5	6	7	8
確率(%)	1	4	10	15	40	15	10	4	1
地震数	少	← 平常		→		多			

気象庁作成

地震活動指数一覧

2018年01月20日



活動指数	0	1	2	3	4	5	6	7	8
確率 (%)	1	4	10	15	40	15	10	4	1
地震数	少		← 平常 →				多		

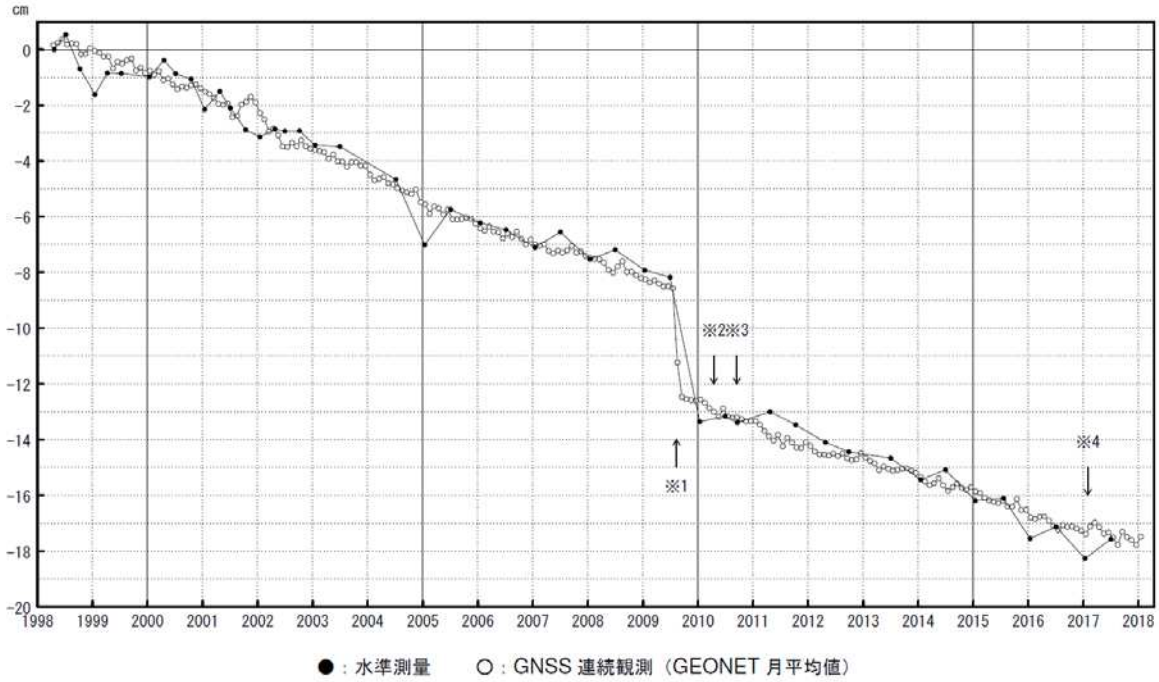
気象庁作成

御前崎 電子基準点の上下変動

水準測量と GNSS 連続観測

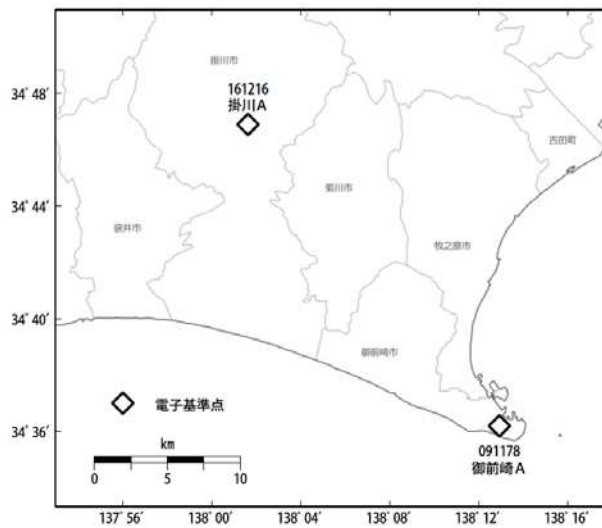
掛川に対して、御前崎が沈降する長期的な傾向が続いている。

掛川 A (161216) - 御前崎 A (091178)



・ 最新のプロット点は 01/01~01/06 の平均。

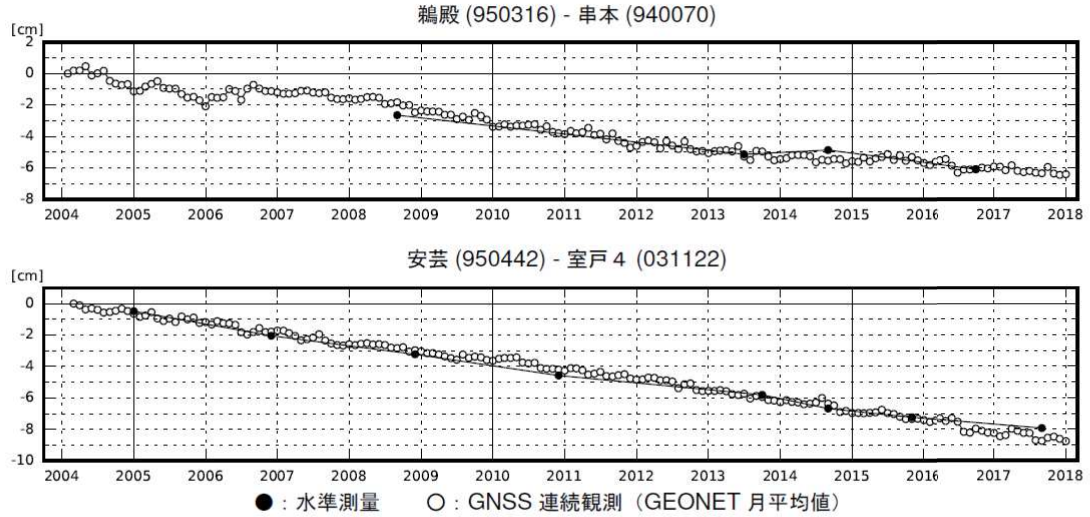
- ※ 1 電子基準点「御前崎」は 2009 年 8 月 11 日の駿河湾の地震 (M6.5) に伴い、地表付近の局所的な変動の影響を受けた。
- ※ 2 2010 年 4 月以降は、電子基準点「御前崎」をより地盤の安定している場所に移転し、電子基準点「御前崎 A」とした。上記グラフは電子基準点「御前崎」と電子基準点「御前崎 A」のデータを接続して表示している。
- ※ 3 水準測量の結果は移転後初めて変動量が計算できる 2010 年 9 月から表示している。
- ※ 4 2017 年 1 月 30 日以降は、電子基準点「掛川」は移転し、電子基準点「掛川 A」とした。上記グラフは電子基準点「掛川」と電子基準点「掛川 A」のデータを接続して表示している。



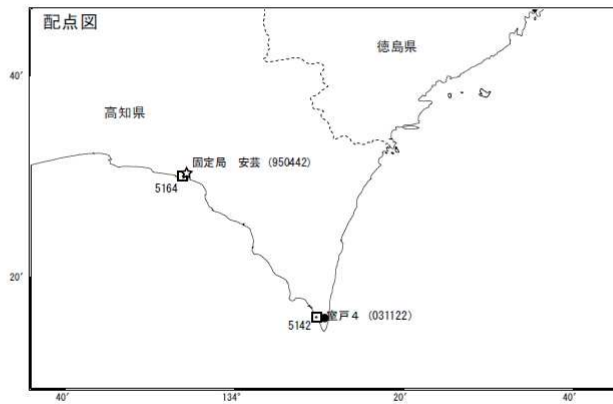
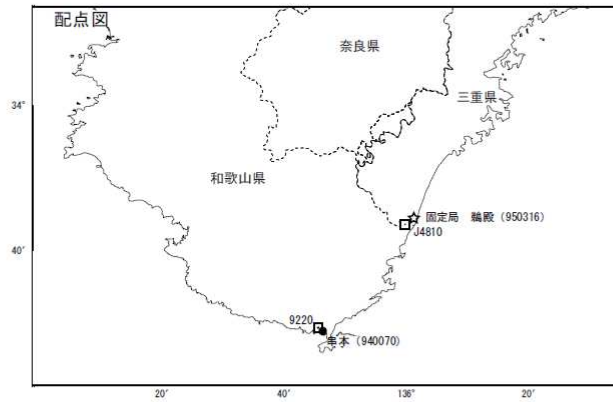
国土地理院

紀伊半島及び室戸岬周辺 電子基準点の上下変動

潮岬周辺及び室戸岬周辺の長期的な沈降傾向が続いている。

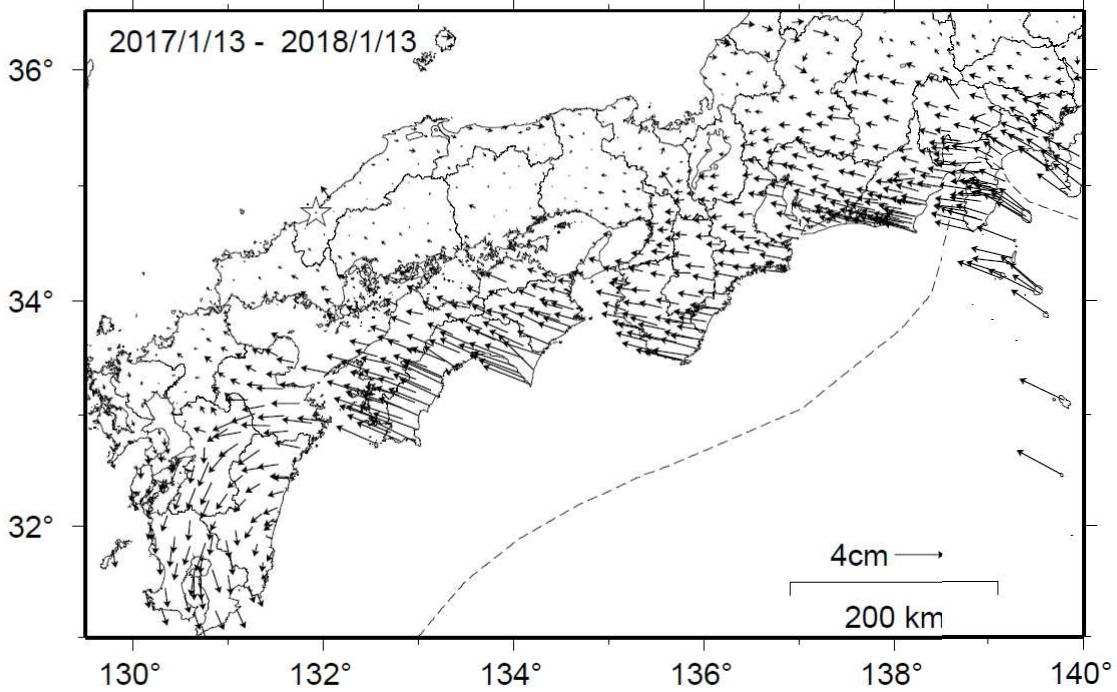


- ・ 最新のプロット点は 1/1~1/6 の平均。
- ・ 水準測量による結果については、最寄り的一等水準点の結果を表示している。

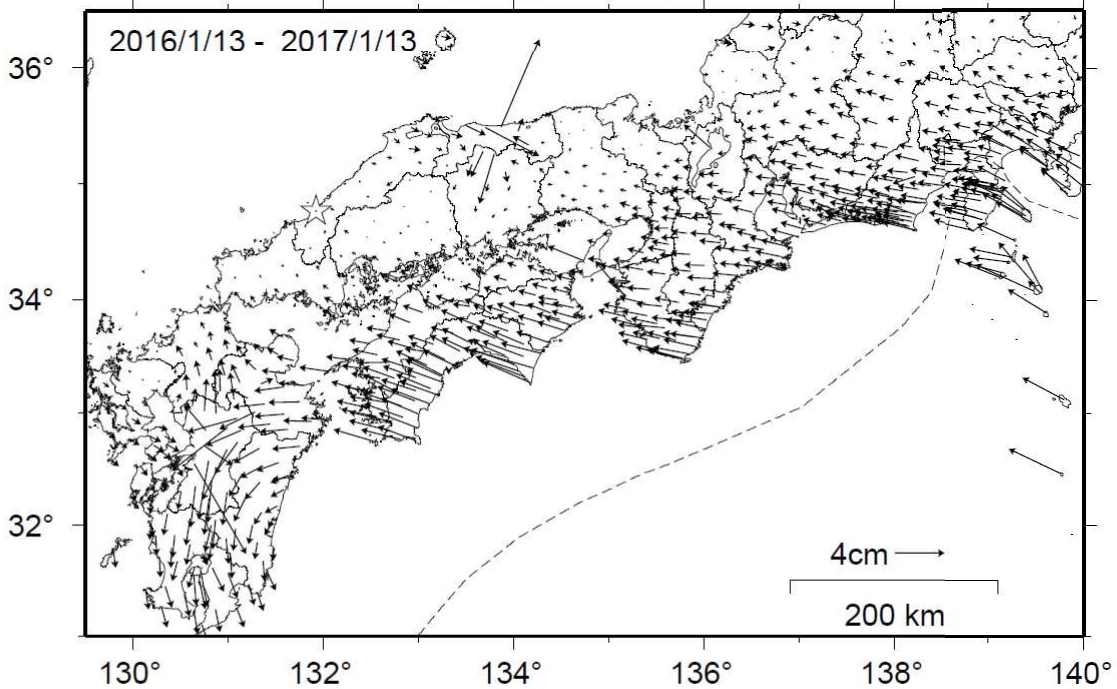


南海トラフ沿いの水平地殻変動【固定局：三隅】

【最近1年間】



【1年前の1年間】



国土地理院

●日本の主な地震活動

草津白根山では、23日10時02分頃、本白根山の鏡池北火砕丘の火口北側及び鏡池で噴火が発生しました。23日に火口周辺警報を發表し、噴火警戒レベルを3（入山規制）に引き上げました。本白根山の火山活動は高まった状態となっており、当面は同程度の噴火が発生する可能性があります。

本白根山鏡池付近から概ね2kmの範囲では噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

白根山（湯釜付近）の火山活動に特段の変化はみられず、引き続き、白根山湯釜火口から概ね500mの範囲では、ごく小規模な火山灰等の噴出に注意してください。

霧島山（新燃岳）では、火山性地震が15日から17日にかけて一時的に増加したほか、継続時間の短い火山性微動が16日から17日にかけて発生しました。また、浅い場所を震源とする低周波地震が時々発生しています。GNSS連続観測では、2017年7月頃から霧島山を挟む基線の伸びが継続しており、霧島山の深い場所でマグマの蓄積が続いていると考えられます。

弾道を描いて飛散する大きな噴石が火口から概ね2kmまで、火砕流が概ね1kmまで達する可能性があるため、火口から概ね2kmの範囲では警戒してください。

桜島の南岳山頂火口では、噴火が12回発生しました。昭和火口では、噴火が1回発生しました。始良カルデラ（鹿児島湾奥部）の地下深部へのマグマ供給が継続しており、今後も噴火活動が継続すると考えられます。

昭和火口及び南岳山頂火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。

口永良部島では、火山性地震が概ね多い状態で経過し、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は2014年8月の噴火前よりも概ねやや多い状態で経過していることから、引き続き噴火の可能性があります。

新岳火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。向江浜地区から新岳の南西にかけての火口から海岸までの範囲では、火砕流に警戒してください。

西之島では、噴火活動が2013年から2015年まで継続した後、休止期間を挟んで2017年4月に再開した経緯を踏まえると、今後も噴火が再開する可能性が考えられます。

火口から概ね1.5kmの範囲では噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

蔵王山では、28日から火山性微動が複数回発生し、28日の火山性微動に先行して山頂の南方向が隆起する傾斜変動が観測されたことから、今後小規模な噴火が発生する可能性があるかと判断し、30日に火口周辺警報を發表し、噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）に引き上げました。

想定火口域（馬の背カルデラ）から概ね1.2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

浅間山では、山頂火口直下のごく浅い所を震源とする体に感じない火山性地震の活動は、2015年4月頃から高まった状態で経過するなど、火山活動はやや活発な状態で経過しています。

今後も火口周辺に影響を及ぼす小規模な噴火が発生する可能性がありますので、山頂火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

諏訪之瀬島の御岳火口では、噴火が時々発生しました。

今後も火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されますので、火口から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺）では、19日に硫黄山付近がわずかに隆起する傾斜変動を伴う火山性微動が発生しました。微動の発生以降、火山性地震も一時的に増加しました。GNSS連続観測では、2017年7月頃から霧島山を挟む基線の伸びが継続しており、霧島山の深い場所でマグマの蓄積が続いていると考えられますので、火山活動に注意が必要です。

硫黄山火口内の活発な噴気域及び熱異常域とその周辺の概ね100mの範囲では、噴気孔からの高温の土砂や噴気、熱水等の規模の小さな噴出現象に十分注意してください。また、火山ガスにも注意が必要です。地元自治体等が行う立入規制に従うとともに、火口周辺や噴気孔の近くには留まらないでください。

表1 平成30年2月8日現在の火山現象に関する警報及び予報の発表状況

特別警報・警報・予報	噴火警戒レベル及びキーワード	該当火山
火口周辺警報	レベル3(入山規制)	草津白根山、霧島山(新燃岳)、桜島、口永良部島
	入山危険	西之島※
	レベル2(火口周辺規制)	蔵王山、浅間山、諏訪之瀬島
	火口周辺危険	硫黄島※
噴火警報(周辺海域)	周辺海域警戒	ベヨネース列岩※、福徳岡ノ場※
噴火予報	レベル1(活火山であることに留意)	アトサヌプリ、雌阿寒岳、十勝岳、樽前山、倶多楽、有珠山、北海道駒ヶ岳、恵山、岩木山、秋田焼山、岩手山、秋田駒ヶ岳、吾妻山、安達太良山、磐梯山、那須岳、日光白根山、新潟焼山、焼岳、御嶽山、白山、箱根山、富士山、伊豆東部火山群、伊豆大島、三宅島、鶴見岳・伽藍岳、九重山、阿蘇山、雲仙岳、霧島山(えびの高原(硫黄山)周辺)、霧島山(御鉢)、薩摩硫黄島
	活火山であることに留意	知床硫黄山、羅臼岳、天頂山、摩周、雄阿寒岳、丸山、大雪山、利尻山、恵庭岳、羊蹄山、ニセコ、渡島大島、恐山、八甲田山、十和田、八幡平、鳥海山、栗駒山、鳴子、肘折、沼沢、燧ヶ岳、高原山、男体山、赤城山、榛名山、横岳、妙高山、弥陀ヶ原、アカンダナ山、乗鞍岳、利島、新島、神津島、御蔵島、八丈島、青ヶ島、須美寿島、伊豆鳥島、婿婦岩、海形海山、海徳海山、噴火浅根、北福徳堆、南日吉海山、日光海山、三瓶山、阿武火山群、由布岳、福江火山群、霧島山(えびの高原(硫黄山)周辺、新燃岳及び御鉢以外)、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島、硫黄島島、西表島北北東海底火山、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、折捉焼山、折捉阿登佐岳、ベルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山

※印を付した火山は火山現象に関する海上警報も発表中。

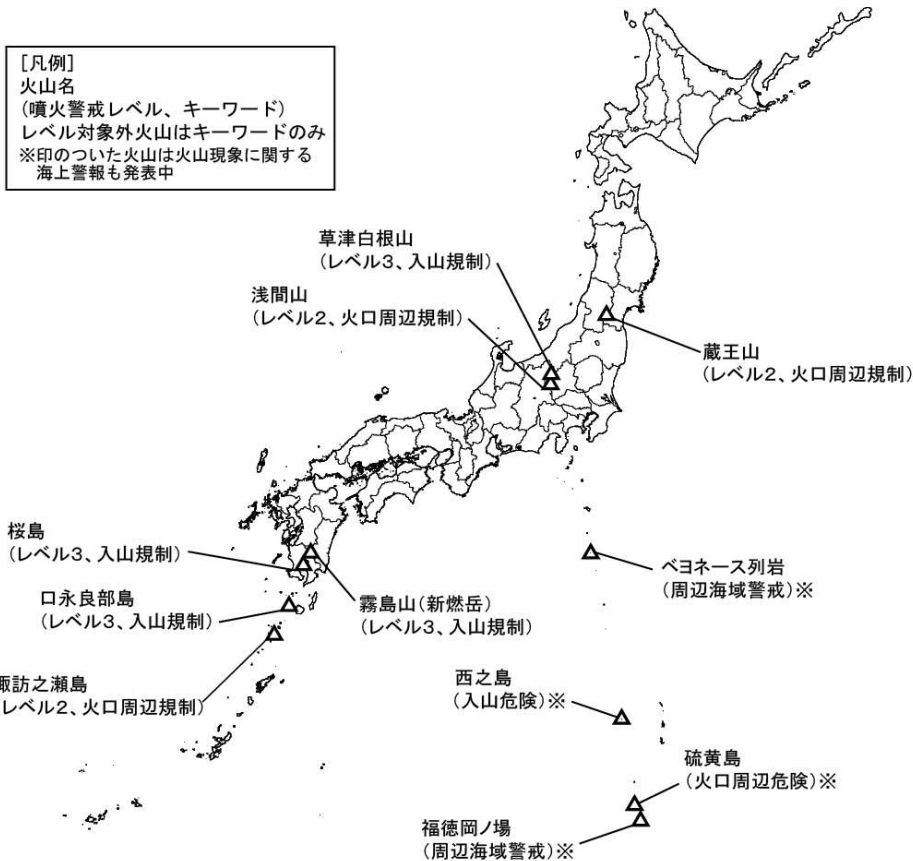


図1 火山現象に関する警報を発表中の火山

【各火山の活動状況及び警報・予報事項】

全国の主な火山の活動状況及び予報警報事項は以下のとおりです。その他の火山については、火山活動に特段の変化はなく、警報・予報事項に変更はありません。

蔵王山【火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）】←30日に噴火警戒レベルを1（活火山であることに留意）から2（火口周辺規制）に引上げ

蔵王山では、28日から2月2日（期間外）にかけて火山性微動が5回発生しました。30日14時18分に観測された火山性微動の最大振幅（坊平観測点の上下成分）は、2010年9月の観測開始以降最大となりました。坊平観測点及び熊野岳観測点に設置された傾斜計¹⁾では、28日の火山性微動に先行して山頂の南方向が隆起する地殻変動が観測され、火山性微動発生後も継続していました。

これらのことから、今後小規模な噴火が発生する可能性があるかと判断し、30日14時38分に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）に引き上げました。

想定火口域（馬の背カルデラ）から概ね1.2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石²⁾に警戒してください。地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

また、噴火時には、火口の風下側では火山灰や小さな噴石²⁾が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

草津白根山【火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）】←23日に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを1（活火山であることに留意）から3（入山規制）に引上げ

23日10時02分頃、本白根山の鏡池北火砕丘の火口北側及び鏡池で噴火が発生しました。

23日に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを3（入山規制）に引き上げました。本白根山の火山活動は高まった状態となっており、当面は同程度の噴火が発生する可能性があります。本白根山鏡池付近から概ね2kmの範囲では噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒して下さい。噴火時には、風下側で火山灰だけでなく小さな噴石が風に流されて降るおそれがあるため注意して下さい。

白根山（湯釜付近）の火山活動に特段の変化はみられず、引き続き、白根山湯釜火口から概ね500mの範囲では、ごく小規模な火山灰等の噴出に注意してください。

浅間山【火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）】

山頂火口直下のごく浅い所を震源とする体を感じない火山性地震の活動は、2015年4月頃から高まった状態で経過しています。また、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量³⁾は、やや多い状態で経過しています。

今後も火口周辺に影響を及ぼす小規模な噴火が発生する可能性がありますので、山頂火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。登山者等は地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。また、風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石に注意してください。

ベヨネース列岩【噴火警報（周辺海域警戒）及び火山現象に関する海上警報】

15日に海上保安庁が実施した上空からの観測では、明神礁付近の海水面に、変色水、気泡、浮遊物、低温部等は確認されませんでした。

海上保安庁、第三管区海上保安本部によるこれまでの観測で、明神礁付近では火山活動によるとみられる変色水や気泡が時々観測されています。今後、小規模な海底噴火が発生する可能性がありますので、明神礁付近及び周辺海域では海底噴火に警戒してください。また、周辺海域では海底噴火による浮遊物（軽石等）に注意してください。

西之島【火口周辺警報（入山危険）及び火山現象に関する海上警報】

15日に海上保安庁が実施した上空からの観測では、噴火は確認されませんでした。

西之島では、2017年8月11日以降山頂火口からの噴火は確認されていません。しかし、噴火活動が2013年から2015年まで継続した後、休止期間を挟んで2017年4月に再開した経緯を踏まえると、今後も噴火が再開する可能性が考えられます。火口から概ね1.5kmの範囲では噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

硫黄島〔火口周辺警報（火口周辺危険）及び火山現象に関する海上警報〕

火山性地震はやや少ない状態で経過しています。GNSS⁴⁾連続観測によると、地殻変動は隆起及び停滞を繰り返しています。

硫黄島の島内は全体に地温が高く、多くの噴気地帯や噴気孔があり、過去には各所で小規模な噴火が発生しています。火山活動はやや活発な状態で推移しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生すると予想されますので、従来から小規模な噴火が発生した地点（ミリオンダラーホール（旧噴火口）等）及びその周辺では噴火に警戒してください。

福徳岡ノ場〔噴火警報（周辺海域警戒）及び火山現象に関する海上警報〕

海上保安庁、第三管区海上保安本部、海上自衛隊及び気象庁によるこれまでの観測によると、福徳岡ノ場付近の海面には長期にわたり火山活動によるとみられる変色水等が確認されるなど、活動はやや活発な状態で経過しています。今後も小規模な海底噴火が発生すると予想されますので、周辺海域では海底噴火に警戒してください。また、周辺海域では海底噴火による浮遊物（軽石等）に注意してください。

霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺）〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

硫黄山付近では、19日02時30分頃、継続時間約1分の火山性微動が発生しました。火山性微動を観測したのは、2016年12月12日以来です。この微動に伴い、傾斜計で硫黄山付近がわずかに隆起する一時的な変動が認められました。微動の発生以降、火山性地震も一時的に増加し、19日には11回発生しましたが、その後は少ない状態で経過しています。

GNSS連続観測では、2017年7月頃から霧島山を挟む基線の伸びが継続しています。このことから、霧島山の深い場所でマグマの蓄積が続いていると考えられますので、火山活動に注意が必要です。

硫黄山火口内の活発な噴気域及び熱異常域とその周辺の概ね100mの範囲では、噴気孔からの高温の土砂や噴気、熱水等の規模の小さな噴出現象に十分注意してください。また、火山ガスにも注意が必要です。地元自治体等が行う立入規制に従うとともに、火口周辺や噴気孔の近くには留まらないでください。

活火山であることから、最新の火山情報の確認に努めてください。

噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

霧島山（新燃岳）〔火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）〕

新燃岳では、2017年10月17日を最後に噴火は発生していません。

火山性地震は、やや多い状態で経過し、16日に357回発生するなど15日から17日にかけて一時的に増加しました。振幅の大きな地震や低周波地震⁵⁾も時々発生しました。また、継続時間の短い火山性微動が16日から17日にかけて発生しました。

傾斜計では、2017年10月16日以降、特段の変化は認められません。

GNSS連続観測では、2017年7月頃から霧島山を挟む基線の伸びが継続しています。このことから、霧島山の深い場所でマグマの蓄積が続いていると考えられます。

弾道を描いて飛散する大きな噴石が火口から概ね2kmまで、火砕流⁶⁾が概ね1kmまで達する可能性があります。そのため、火口から概ね2kmの範囲では警戒してください。

風下側では火山灰だけでなく小さな噴石（火山れき⁷⁾）が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

また、爆発的噴火⁸⁾に伴う大きな空振による窓ガラスの破損や降雨時の土石流にも注意してください。

地元自治体等が発表する火山ガスの情報にも留意してください。

桜島〔火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）〕

桜島では、噴火活動が継続しています。

南岳山頂火口では、噴火⁹⁾が12回発生し、このうち爆発的噴火⁸⁾は4回でした。昭和火口では、8日03時59分に噴火が発生し、弾道を描いて飛散する大きな噴石が5合目（昭和火口より500～800m）まで達しました。爆発的噴火は発生しませんでした。

始良カルデラ（鹿児島湾奥部）の地下深部へのマグマ供給が継続しており、今後も噴火活動が継続すると考えられます。

昭和火口及び南岳山頂火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。

風下側では火山灰だけでなく小さな噴石(火山れき⁷⁾)が遠方まで風に流されて降るため注意してください。爆発的噴火に伴う大きな空振によって窓ガラスが割れるなどのおそれがあるため注意してください。また、降雨時には土石流に注意してください。

口永良部島【火口周辺警報(噴火警戒レベル3、入山規制)】

火山性地震は、概ね多い状態で経過しています。火山ガス(二酸化硫黄)の放出量は、1日あたり200~300トンで、2014年8月の噴火前(1日あたり概ね100トン以下)よりも概ねやや多い状態で経過しています。引き続き噴火の可能性がります。

新岳火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。向江浜地区から新岳の南西にかけての火口から海岸までの範囲では、火砕流に警戒してください。

風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

諏訪之瀬島【火口周辺警報(噴火警戒レベル2、火口周辺規制)】

御岳^{みたけ}火口では、噴火が時々発生しました。

今後も火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されますので、火口から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

(火山の順は活火山総覧(第4版)による)

- 1) 傾斜計とは、火山活動による山体の傾きを精密に観測する機器です。火山体直下へのマグマの貫入等により変化が観測されることがあります。1 μ rad(マイクロラジアン)は1km先が1mm上下するような変化量です。
- 2) 噴石は、その大きさによる風の影響の程度の違いによって到達範囲が大きく異なります。本文中「大きな噴石」とは「風の影響を受けず弾道を描いて飛散する大きな噴石」のことであり、「小さな噴石」とはそれより小さく「風に流されて降る小さな噴石」のことです。
- 3) 火口から放出される火山ガスには、マグマに溶けていた水蒸気や二酸化硫黄、硫化水素など様々な成分が含まれており、これらのうち、二酸化硫黄はマグマが浅部へ上昇するとその放出量が増加します。気象庁では、二酸化硫黄の放出量を観測し、火山活動の評価に活用しています。
- 4) GNSS(Global Navigation Satellite Systems)とは、GPSをはじめとする衛星測位システム全般を示す呼称です。
- 5) 低周波地震は、相が不明瞭なため震源が求まるものは少数ですが、火口周辺の比較的浅い場所で発生するものと、火山体等の深い部分で発生するものがあります。火口周辺の比較的浅い場所で発生するものは、火道内のガスの移動やマグマの発泡などにより発生すると考えられているものもあります。火山によっては、過去の事例から、火山活動が活発化すると多発する傾向がある事が知られています。一方、火山体の深い場所で発生するものは、発生原因はよくわかっていませんが、何らかの地下深部のマグマ活動と関連していると考えられています。
- 6) 火砕流とは、火山灰や岩塊、火山ガスや空気が一体となって急速に山体を流下する現象です。火砕流の速度は時速数十kmから時速百km以上、温度は数百 $^{\circ}$ Cにも達することがあります。
- 7) 霧島山・桜島では「火山れき」の用語が地元で定着していると考えられることから、付加表現しています。
- 8) 霧島山・諏訪之瀬島では、火道内の爆発による地震を伴い、火口周辺の観測点で一定基準以上の空気の振動を観測した噴火を爆発的噴火としています。桜島では、火道内の爆発による地震を伴い、爆発音、体を感じる空気の振動、噴石の火口外への飛散、または、气象台や島内の観測点で一定基準以上の空気の振動のいずれかを観測した噴火を爆発的噴火としています。
- 9) 桜島では噴火活動が活発なため、噴火のうち、爆発的な噴火もしくは噴煙量が中量以上(概ね噴煙の高さが火口縁上1,000m以上)の噴火の回数を計数しています。資料の噴火回数はこの回数を示します。また、基準に達しない噴火は、ごく小規模な噴火として噴火回数に含めていません。

資料1 全国の火山現象に関する特別警報・警報・予報の発表状況のまとめ(平成30年2月8日現在)

(1) 主な活火山

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
北海道地方	アトサヌプリ	噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報(平常) 2016年3月23日噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)
	雌阿寒岳	噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報(平常) 2008年9月29日火口周辺警報(火口周辺危険) 2008年10月17日噴火予報(平常) 2008年11月17日火口周辺警報(火口周辺危険) 2008年12月16日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2009年4月10日噴火予報(レベル1、平常) 2015年7月28日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2015年11月13日噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)
	大雪山	噴火予報(活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報(平常)
	十勝岳	噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報(平常) 2008年12月16日噴火予報(レベル1、平常) 2014年12月16日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2015年2月24日噴火予報(レベル1、平常)
	樽前山	噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報(レベル1、平常)
	倶多楽	噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報(平常) 2015年10月1日噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)
	有珠山	噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報(平常) 2008年6月9日噴火予報(レベル1、平常)
	北海道駒ヶ岳	噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報(レベル1、平常)
	恵山	噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報(平常) 2016年3月23日噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)
	東北地方	岩木山	噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)
秋田焼山		噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報(平常) 2013年7月25日噴火予報(レベル1、平常)
八甲田山		噴火予報(活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報(平常)
十和田		噴火予報(活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報(平常)
岩手山		噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報(レベル1、平常)
秋田駒ヶ岳		噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報(平常) 2009年10月27日噴火予報(レベル1、平常)
鳥海山		噴火予報(活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報(平常)
栗駒山		噴火予報(活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報(平常)
蔵王山		火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制)	2007年12月1日噴火予報(平常) 2015年4月13日火口周辺警報(火口周辺危険) 2015年6月16日噴火予報(活火山であることに留意) 2016年7月26日噴火予報(レベル1、活火山であることに留意) 2018年1月30日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制)
吾妻山		噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報(レベル1、平常) 2014年12月12日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2016年10月18日噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)
安達太良山		噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報(平常) 2009年3月31日噴火予報(レベル1、平常)
磐梯山		噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報(平常) 2009年3月31日噴火予報(レベル1、平常)

平成30年1月 地震・火山月報(防災編)

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
関東・中部地方	那須岳	噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報(平常) 2009年3月31日噴火予報(レベル1、平常)
	日光白根山	噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報(平常) 2016年12月6日噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)
	草津白根山	火口周辺警報(レベル3、入山規制)	2007年12月1日噴火予報(レベル1、平常) 2009年4月10日噴火予報(レベル1、平常)切替 2014年6月3日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2017年6月7日噴火予報(レベル1、活火山であることに留意) 2018年1月23日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2018年1月23日火口周辺警報(レベル3、入山規制)
	浅間山	火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制)	2007年12月1日噴火予報(レベル1、平常) 2008年8月8日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2009年2月1日火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2009年2月3日火口周辺警報(レベル3、入山規制)切替 2009年4月7日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2010年4月15日噴火予報(レベル1、平常) 2015年6月11日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制)
	新潟焼山	噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報(平常) 2011年3月31日噴火予報(レベル1、平常)
	弥陀ヶ原	噴火予報(活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報(平常)
	焼岳	噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報(平常) 2011年3月31日噴火予報(レベル1、平常)
	乗鞍岳	噴火予報(活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報(平常)
	御嶽山	噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報(平常) 2008年3月31日噴火予報(レベル1、平常) 2014年9月27日火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2014年9月28日火口周辺警報(レベル3、入山規制)切替 2015年1月19日火口周辺警報(レベル3、入山規制)切替 2015年3月31日火口周辺警報(レベル3、入山規制)切替 2015年6月26日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2017年8月21日噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)
	白山	噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報(平常) 2015年9月2日噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)
	富士山	噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報(レベル1、平常)
	箱根山	噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報(平常) 2009年3月31日噴火予報(レベル1、平常) 2015年5月6日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2015年6月30日火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2015年9月11日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2015年11月20日噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)
	伊豆東部火山群	噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報(平常) 2011年3月31日噴火予報(レベル1、平常)
	伊豆・小笠原諸島	伊豆大島	噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)
新島		噴火予報(活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報(平常)
神津島		噴火予報(活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報(平常)
三宅島		噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日火口周辺警報(火口周辺危険) 2008年3月31日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2015年6月5日噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)
八丈島		噴火予報(活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報(平常)
青ヶ島		噴火予報(活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報(平常)

平成30年1月 地震・火山月報(防災編)

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
伊豆・小笠原諸島	ベヨネース列岩	噴火警報 (周辺海域警戒)	2007年12月1日噴火予報 (平常) 2017年3月24日噴火警報 (周辺海域警戒)
	西之島	火口周辺警報 (入山危険)	2007年12月1日噴火予報 (平常) 2013年11月20日火口周辺警報 (火口周辺危険) 2014年6月3日火口周辺警報 (入山危険) 2014年6月11日火口周辺警報 (入山危険) 切替 2015年2月24日火口周辺警報 (入山危険) 切替 2016年2月17日火口周辺警報 (入山危険) 切替 2016年8月17日火口周辺警報 (火口周辺危険) 2017年2月14日噴火予報 (活火山であることに留意) 2017年4月20日火口周辺警報 (入山危険)
	硫黄島	火口周辺警報 (火口周辺危険)	2007年12月1日火口周辺警報 (火口周辺危険)
	福徳岡ノ場	噴火警報 (周辺海域警戒)	2007年12月1日噴火警報 (周辺海域警戒)
九州地方・南西諸島	鶴見岳・伽藍岳	噴火予報 (レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報 (平常) 2016年7月26日噴火予報 (レベル1、活火山であることに留意)
	九重山	噴火予報 (レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報 (レベル1、平常)
	阿蘇山	噴火予報 (レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報 (レベル1、平常) 2011年5月16日火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2011年6月20日噴火予報 (レベル1、平常) 2013年9月25日火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2013年10月11日噴火予報 (レベル1、平常) 2013年12月27日火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2014年3月12日噴火予報 (レベル1、平常) 2014年8月30日火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2015年9月14日火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 2015年11月24日火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2016年10月8日火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 2016年12月20日火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2017年2月7日噴火予報 (レベル1、活火山であることに留意)
	雲仙岳	噴火予報 (レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報 (レベル1、平常)
	霧島山(えびの高原(硫黄山)周辺)	噴火予報 (レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報 (平常) 2014年10月24日火口周辺警報 (火口周辺危険) 2015年5月1日噴火予報 (平常) 2016年2月28日火口周辺警報 (火口周辺危険) 2016年3月29日噴火予報 (活火山であることに留意) 2016年12月6日噴火予報 (レベル1、活火山であることに留意) 2016年12月12日火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2017年1月13日噴火予報 (レベル1、活火山であることに留意) 2017年5月9日火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2017年10月31日噴火予報 (レベル1、活火山であることに留意)
	霧島山(新燃岳)	火口周辺警報 (レベル3、入山規制)	2007年12月1日噴火予報 (レベル1、平常) 2008年8月22日火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2008年10月29日噴火予報 (レベル1、平常) 2010年3月30日火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2010年4月16日噴火予報 (レベル1、平常) 2010年5月6日火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2011年1月26日火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 2011年1月31日火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 切替 2011年2月1日火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 切替 2011年3月22日火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 切替 2012年6月26日火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 切替 2013年10月22日火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2017年5月26日噴火予報 (レベル1、活火山であることに留意) 2017年10月5日火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2017年10月11日火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 2017年10月15日火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 切替 2017年10月31日火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 切替

平成30年1月 地震・火山月報(防災編)

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
九州地方・南西諸島	霧島山（御鉢）	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）
	桜島	火口周辺警報（レベル3、入山規制）	2007年12月1日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年2月3日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2008年2月20日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年4月8日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2008年7月14日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年7月28日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2008年8月28日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年2月2日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2009年2月19日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年3月2日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2009年3月10日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2009年4月24日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年7月19日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2010年9月30日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2010年10月13日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2012年3月12日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2012年3月21日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2015年8月15日噴火警報（レベル4、避難準備） 2015年9月1日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2015年11月25日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2016年2月5日火口周辺警報（レベル3、入山規制）
	薩摩硫黄島	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2012年11月29日噴火予報（レベル1、平常） 2013年6月4日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2013年7月10日噴火予報（レベル1、平常） 2017年1月5日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年2月24日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	口永良部島	火口周辺警報（レベル3、入山規制）	2007年12月1日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年1月25日噴火予報（レベル1、平常） 2008年9月4日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年10月27日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2009年3月18日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年8月4日噴火予報（レベル1、平常） 2009年9月27日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年10月30日噴火予報（レベル1、平常） 2011年12月15日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2012年1月20日噴火予報（レベル1、平常） 2014年8月3日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2014年8月7日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2015年5月29日噴火警報（レベル5、避難） 2015年10月21日噴火警報（レベル5、避難）切替 2016年6月14日火口周辺警報（レベル3、入山規制）
	諏訪之瀬島	火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）	2007年12月1日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）

注) 警報及び予報の発表履歴欄には、2007年12月1日の火山現象に関する警報・予報及び噴火警戒レベルの運用開始からの経過を示しています。この表では、主な活火山として、警報を発表している、または常時観測を行っている火山を示しています。また、ここで示すレベルは噴火警戒レベルを示しています。

(2) その他の活火山

以下の活火山(*印を除く)では2007年12月1日に噴火予報(平常)を発表しました。また、*印の活火山では、活火山として選定された2011年6月7日に噴火予報(平常)を発表し、**印の活火山では、活火山として選定された後の2017年12月5日に噴火予報(活火山であることに留意)を発表しました。その後、いずれも火山活動に特段の変化はなく、予報事項に変更はありません。

	火山名
北海道地方	知床硫黄山、羅臼岳、天頂山*、摩周、雄阿寒岳*、丸山、利尻山、恵庭岳、羊蹄山、ニセコ、渡島大島、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、ベルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山
東北地方	恐山、八幡平、鳴子、肘折、沼沢、燧ヶ岳
関東・中部地方	高原山、男体山**、赤城山、榛名山、横岳、妙高山、アカンダナ山
伊豆・小笠原諸島	利島、御蔵島、須美寿島、伊豆鳥島、孀婦岩、海形海山、海德海山、噴火浅根、北福德堆、南日吉海山、日光海山
中国・九州地方及び南西諸島	三瓶山、阿武火山群、由布岳、福江火山群、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島、硫黄島、西表島北北東海底火山

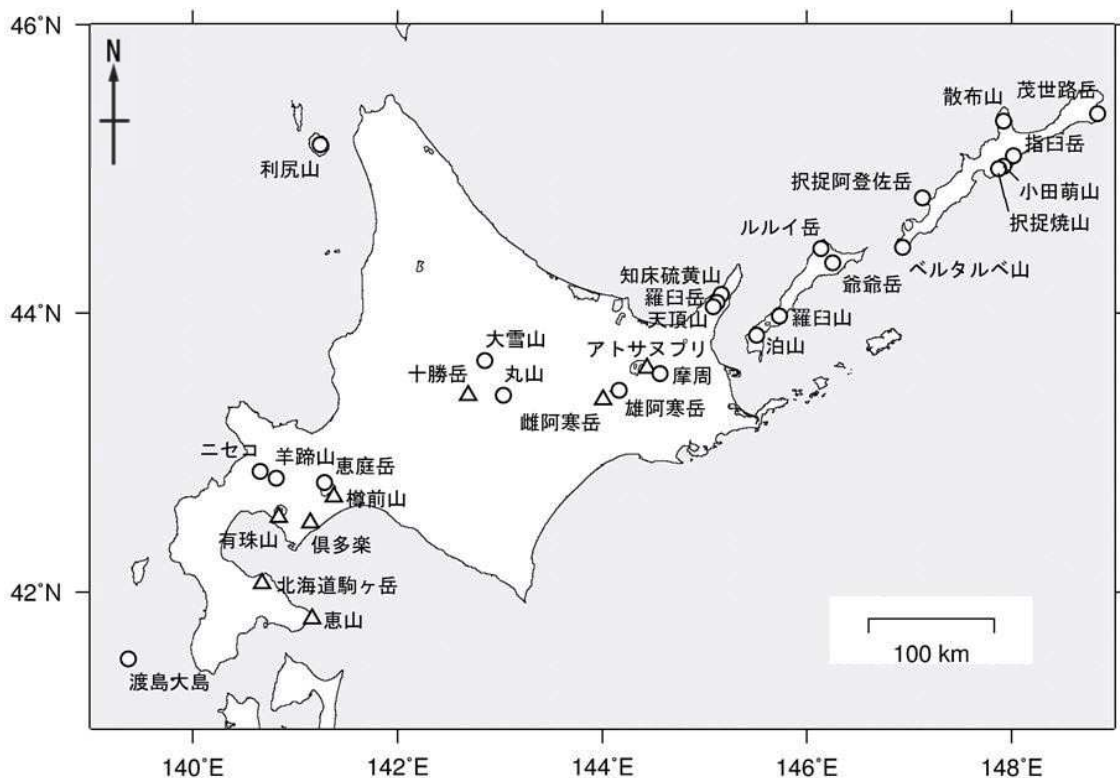
注) 2015年5月18日から(平常)は(活火山であることに留意)に変更しました。

管内月間火山概況（平成30年1月）

札幌管区気象台
地域火山監視・警報センター

噴火警報及び噴火予報の発表状況（1月31日現在）

警報・予報	噴火警戒レベル及びキーワード	該当火山
噴火予報	レベル1（活火山であることに留意）	アトサヌプリ、雌阿寒岳、十勝岳、樽前山、倶多楽、有珠山、北海道駒ヶ岳、恵山
	活火山であることに留意	知床硫黄山、羅臼岳、天頂山、摩周、雄阿寒岳、丸山、大雪山、利尻山、恵庭岳、羊蹄山、ニセコ、渡島大島、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、ベルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山



凡例	
噴火警戒レベル対象火山	▲：噴火警報発表中
噴火警戒レベル対象外の火山	●：噴火警報発表中
	△：噴火予報発表中
	○：噴火予報発表中

※噴火警戒レベルは、地域防災計画等でその活用が定められている火山で運用しています。

この管内月間火山概況は札幌管区気象台のホームページ(<http://www.jma-net.go.jp/sapporo/>)や気象庁のホームページ(http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php)でも閲覧することができます。

この資料は気象庁のほか、国土交通省北海道開発局、国土地理院、北海道大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所、国立研究開発法人産業技術総合研究所、北海道、地方独立行政法人北海道立総合研究機構地質研究所及び森町のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図25000（行政界・海岸線）』を使用しています（承認番号 平29情使、第798号）。

次回の管内月間火山概況（平成30年2月分）は平成30年3月8日に発表する予定です。

各火山の活動状況及び予報警報事項

主な火山の活動及び予報警報事項の状況は以下のとおりで、予報警報事項に変更はありません。

アトサヌプリ〔噴火予報(噴火警戒レベル1、活火山であることに留意)〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

雌阿寒岳〔噴火予報(噴火警戒レベル1、活火山であることに留意)〕

火山活動は概ね静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

大雪山〔噴火予報(活火山であることに留意)〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

十勝岳〔噴火予報(噴火警戒レベル1、活火山であることに留意)〕

火山活動は概ね静穏に経過しています。

一方、ここ数年、山体浅部の膨張、大正火口の噴煙量増加、地震増加、火山性微動の発生、発光現象及び地熱域の拡大などを確認しており、長期的にみると十勝岳の火山活動は高まる傾向にありますので、今後の火山活動の推移に注意してください。

樽前山〔噴火予報(噴火警戒レベル1、活火山であることに留意)〕

火山活動は概ね静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

一方、山頂溶岩ドーム周辺では、1999年以降、高温の状態が続いていますので、突発的な火山ガス等の噴出に注意してください。

倶多楽〔噴火予報(噴火警戒レベル1、活火山であることに留意)〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

有珠山〔噴火予報(噴火警戒レベル1、活火山であることに留意)〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

北海道駒ヶ岳〔噴火予報(噴火警戒レベル1、活火山であることに留意)〕

山頂の浅い所を震源とする規模の小さな地震が2017年11月26日に増加し、11月27日以降は概ね少なくなっているものの、以前の状態には戻っていません。地震活動以外の表面現象や地殻変動に変化はみられませんが、火山活動の推移に引き続き留意が必要です。

恵山〔噴火予報(噴火警戒レベル1、活火山であることに留意)〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

上記以外の火山の活動状況に特段の変化はなく、予報事項に変更はありません。

管内月間火山概況（平成30年1月）

仙台管区気象台
地域火山監視・警報センター

噴火警報及び噴火予報の発表状況（1月31日現在）

警報・予報	噴火警戒レベル 及びキーワード	該当火山
火口周辺警報	レベル2（火口周辺規制）	蔵王山
噴火予報	レベル1（活火山であることに留意）	岩木山、秋田焼山、岩手山、秋田駒ヶ岳、吾妻山、 安達太良山、磐梯山
	活火山であることに留意	恐山、八甲田山、十和田、八幡平、鳥海山、栗駒山、 鳴子、肘折、沼沢、燧ヶ岳

各火山の活動状況及び予報警報事項

主な火山の活動及び予報警報事項の状況は以下のとおりです。

蔵王山では、30日に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを1（活火山であることに留意）から2（火口周辺規制）に引き上げました。

その他の火山では、予報警報事項に変更はありません。

岩木山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

八甲田山〔噴火予報（活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

十和田〔噴火予報（活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

秋田焼山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

岩手山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

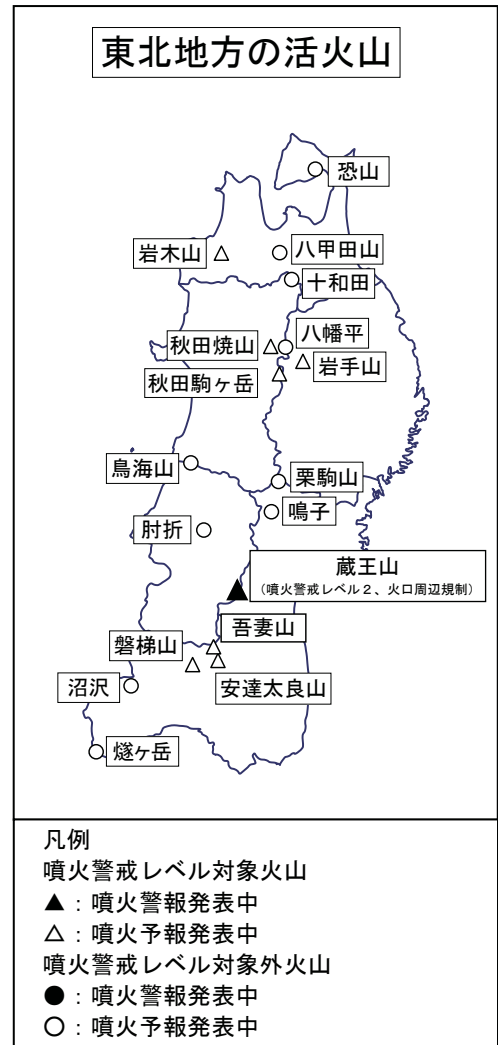
秋田駒ヶ岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山性地震は少ない状態で経過しています。

めだけ
女岳では地熱活動が続いていますので、今後の火山活動の推移に注意してください。

鳥海山〔噴火予報（活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。



栗駒山 [噴火予報 (活火山であることに留意)]

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

蔵王山 [火口周辺警報 (噴火警戒レベル 2、火口周辺規制)] ←30 日に噴火警戒レベルを 1 (活火山であることに留意) から 2 (火口周辺規制) に引き上げ

蔵王山では、28 日から 2 月 2 日 (期間外) にかけて火山性微動が 5 回発生しました。30 日 14 時 18 分に観測された火山性微動の最大振幅 (坊平観測点の上下成分) は、2010 年 9 月の観測開始以降最大となりました。坊平観測点及び熊野岳観測点に設置された傾斜計では、28 日の火山性微動に先行して山頂の南方向が隆起する地殻変動が観測され、火山性微動発生後も継続していました。

これらのことから、今後小規模な噴火が発生する可能性があるかと判断し、30 日 14 時 38 分に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを 2 (火口周辺規制) に引き上げました。

想定火口域 (馬の背カルデラ) から概ね 1.2km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

また、噴火時には、火口の風下側では火山灰や小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

吾妻山 [噴火予報 (噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意)]

火山活動に特段の変化はありませんでした。

大穴火口付近での熱活動は継続していますので、今後の火山活動の推移に注意してください。

入山する際には、火山ガスに注意してください。また、大穴火口付近で噴出現象が突発的に発生する可能性があることに留意してください。

安達太良山 [噴火予報 (噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意)]

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

磐梯山 [噴火予報 (噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意)]

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

上記以外の火山の活動状況に特段の変化はなく、予報警報事項に変更はありません。

※噴火警戒レベルは、地域防災計画等でその活用が定められている火山で運用しています。

この管内月間火山概況は、仙台管区気象台のホームページ (<http://www.jma-net.go.jp/sendai/>) や、気象庁ホームページ (http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php) でも閲覧することができます。

次回の管内月間火山概況 (平成30年 2 月分) は平成30年 3 月 8 日に発表する予定です。

この資料は気象庁のほか、国土交通省東北地方整備局、国土地理院、東北大学、弘前大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所、青森県及び公益財団法人地震予知総合研究振興会のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図25000 (行政界・海岸線)』を使用しています (承認番号 平29情使、第798号)。

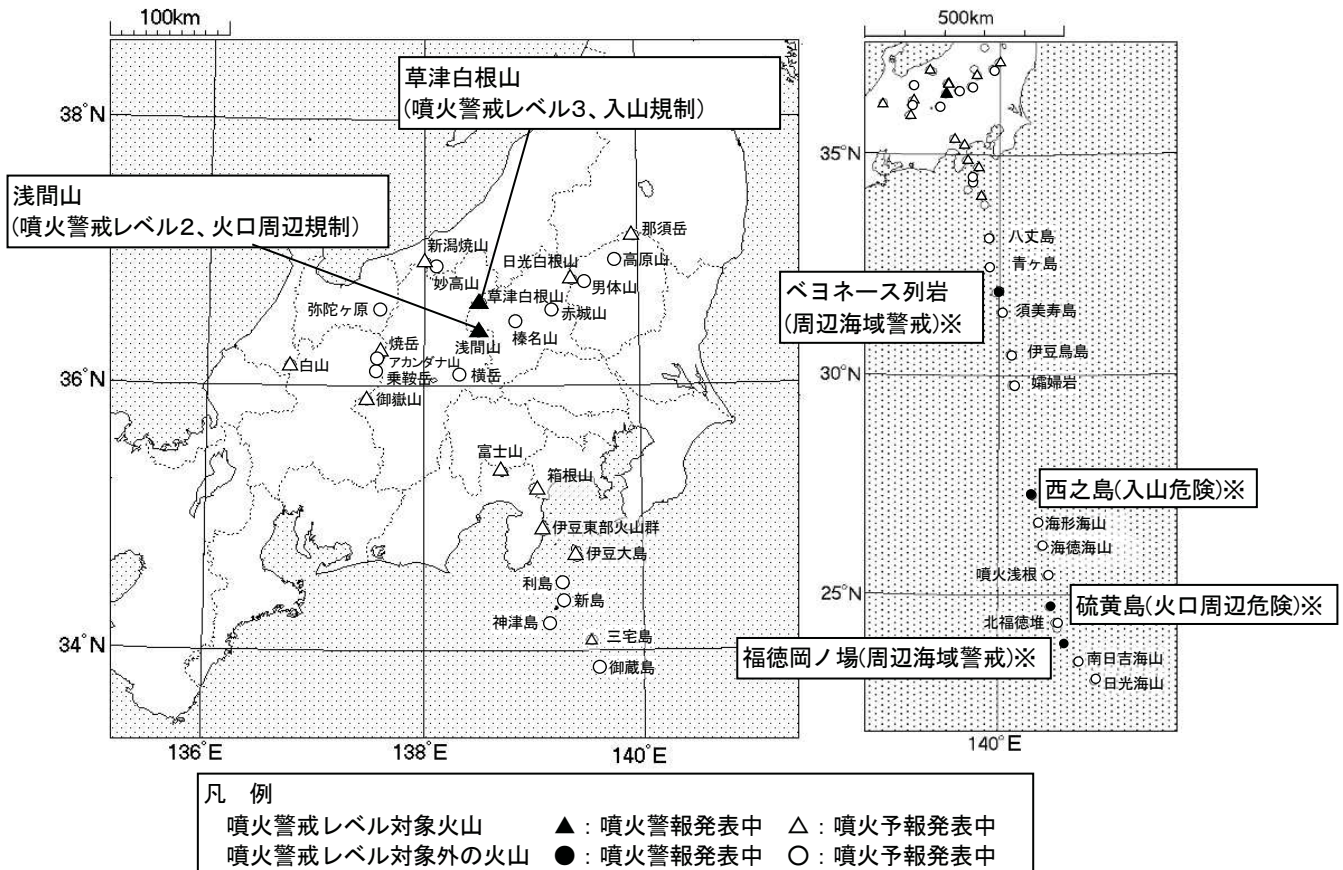
管内月間火山概況 (平成 30 年 1 月)

気象庁地震火山部
火山監視・警報センター

噴火警報及び噴火予報の発表状況 (1月31日現在)

警報・予報	噴火警戒レベル及びキーワード	該当火山
火口周辺警報	レベル3 (入山規制)	草津白根山
	入山危険	西之島※
	レベル2 (火口周辺規制)	浅間山
	火口周辺危険	硫黄島※
噴火警報 (周辺海域)	周辺海域警戒	ベヨネース列岩※、福徳岡ノ場※
噴火予報	レベル1 (活火山であることに留意)	那須岳、日光白根山、新潟焼山、焼岳、御嶽山白山、富士山、箱根山、伊豆東部火山群、伊豆大島、三宅島
	活火山であることに留意	高原山、男体山、赤城山、榛名山、横岳、妙高山、弥陀ヶ原、アカンダナ山、乗鞍岳、利島、新島、神津島、御蔵島、八丈島、青ヶ島、須美寿島、伊豆鳥島、孀婦岩、海形海山、海德海山、噴火浅根、北福徳堆、南日吉海山、日光海山

※印のついた火山は火山現象に関する海上警報も発表中です。



*噴火警戒レベルは、地域防災計画等でその活用が定められている火山で運用されています。

この管内月間火山概況は気象庁ホームページ (http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_d oc/monthly_vact.php) でも閲覧することができます。次回の管内月間火山概況 (平成 30 年 2 月分) は平成 30 年 3 月 8 日に発表する予定です。この資料は気象庁のほか、北陸地方整備局、関東地方整備局、中部地方整備局、国土地理院、海上保安庁、海上自衛隊、東北大学、東京大学、東京工業大学、名古屋大学、京都大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所、国立研究開発法人産業技術総合研究所、東京都、新潟県、長野県、岐阜県、神奈川県温泉地学研究所及び公益財団法人地震予知総合研究振興会のデータも利用して作成しています。資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 25000 (行政界・海岸線)』を使用しています (承認番号: 平 29 情使、第 798 号)。

各火山の活動状況及び予報警報事項

主な火山の活動及び予報警報事項の状況は以下のとおりです。23日に草津白根山に火口周辺警報（噴火警戒レベル3（入山規制））を発表しました。

その他の火山では、予報警報事項（警戒が必要な事項）に変更はありません。

那須岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

日光白根山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

草津白根山〔火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）〕 ←1月23日に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを1（活火山であることに留意）から3（入山規制）に引き上げ

23日10時02分頃、本白根山の鏡池北火砕丘の火口北側及び鏡池で噴火が発生しました。

23日に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを3（入山規制）に引き上げました。本白根山の火山活動は高まった状態となっており、当面は同程度の噴火が発生する可能性があります。本白根山鏡池付近から概ね2kmの範囲では噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石¹⁾に警戒して下さい。噴火時には、風下側で火山灰だけでなく小さな噴石¹⁾が風に流されて降るおそれがあるため注意して下さい。

白根山（湯釜付近）の火山活動に特段の変化はみられず、引き続き、白根山湯釜火口から概ね500mの範囲では、ごく小規模な火山灰等の噴出に注意してください。

浅間山〔火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）〕

山頂火口直下のごく浅い所を震源とする体を感じない火山性地震の活動は、2015年4月頃から高まった状態で経過しています。また、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量²⁾は、やや多い状態で経過しています。

今後も火口周辺に影響を及ぼす小規模な噴火が発生する可能性がありますので、山頂火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。登山者等は地元自治体等の指示に従って、危険な地域には立ち入らないでください。また、風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石に注意してください。

新潟焼山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

噴煙活動及び地震活動は、低下しています。

しかしながら、新潟焼山はこれまでも噴気活動の活発化を繰り返しているため、今後の活動の推移には注意してください。山頂から半径1km以内（想定火口内）では、地元自治体等により立入規制が実施されています。登山者等は地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

弥陀ヶ原〔噴火予報（活火山であることに留意）〕

立山地獄谷では熱活動が活発な状態が続いています。2012年6月以降の観測で噴気の拡大・活発化や温度の上昇傾向が確認されていますので、今後の火山活動の推移に注意してください。また、この付近では火山ガスに注意してください。

焼岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

2017年8月上旬に、規模は小さいながらも低周波地震とともに噴気が観測されたことから、今後の火山活動の推移に注意が必要です。

乗鞍岳〔噴火予報（活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

御嶽山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

噴煙活動や山頂直下付近の地震活動は緩やかな低下が続いており、火山活動の静穏化の傾向が続いています。

一方、2014年に噴火が発生した火口列の一部の噴気孔では、引き続き噴気が勢いよく噴出しています。状況によっては、火山灰等のごく小規模な噴出が突発的に発生する可能性があります。

噴気活動の活発な噴気孔から概ね500mの範囲では、突発的な火山灰等のごく小規模な噴出に注意が必要です。

地元自治体等が行う立入規制等に留意し、登山する際はヘルメットを持参するなどの安全対策をしてください。

白山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

富士山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

箱根山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

地震活動は低調で、顕著な地殻変動は観測されていませんが、大涌谷周辺の想定火口域では、噴気活動が活発なところがあります。大涌谷周辺の想定火口域では、噴気や火山ガスに引き続き注意してください。

伊豆東部火山群〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

伊豆大島〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

地殻変動観測によると、短期的な膨張と収縮を繰り返しながら、長期的には地下深部へのマグマ供給によると考えられる島全体の膨張傾向が続いています。

新島〔噴火予報（活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

神津島〔噴火予報（活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

三宅島〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山ガス放出量は、2016年6月以降は1日あたり数十トン以下に減少しており、少ない状態で経過しています。

主火孔における噴煙活動が継続していることから、火口内では火山灰等が突発的に噴出する可能性がありますので、山頂火口内及び主火孔から500m以内では火山灰噴出に警戒してください。

また、火山ガスの放出がわずかながら継続していることから、風下にあたる地域では火山ガスに注意してください。

八丈島〔噴火予報（活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

青ヶ島〔噴火予報（活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

ベヨネース列岩〔噴火警報（周辺海域警戒）及び火山現象に関する海上警報〕

15日に海上保安庁が実施した上空からの観測では、明神礁付近の海水面に、変色水、気泡、浮遊物、低温部等は確認されませんでした。

海上保安庁、第三管区海上保安本部によるこれまでの観測で、明神礁付近では火山活動によるとみられる変色水や気泡が時々観測されています。今後、小規模な海底噴火が発生する可能性がありますので、明神礁付近及び周辺海域では海底噴火に警戒してください。また、周辺海域では海底噴火による浮遊物（軽石等）に注意してください。

西之島〔火口周辺警報（入山危険）及び火山現象に関する海上警報〕

15日に海上保安庁が実施した上空からの観測では、噴火は確認されませんでした。

西之島では、2017年8月11日以降山頂火口からの噴火は確認されていません。しかし、噴火活動が2013年から2015年まで継続した後、休止期間を挟んで2017年4月に再開した経緯を踏まえると、今後も噴火が再開する可能性が考えられます。火口から概ね1.5kmの範囲では噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

硫黄島〔火口周辺警報（火口周辺危険）及び火山現象に関する海上警報〕

火山性地震は概ねやや少ない状態で経過しています。GNSS³⁾ 連続観測によると、地殻変動は隆起及び停滞を繰り返しています。

硫黄島の島内は全体に地温が高く、多くの噴気地帯や噴気孔があり、過去には各所で小規模な噴火が発生しています。火山活動はやや活発な状態で推移しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生すると予想されますので、従来から小規模な噴火が発生した地点（ミリオンダラーホール（旧噴火口）等）及びその周辺では噴火に警戒してください。

福徳岡ノ場〔噴火警報（周辺海域警戒）及び火山現象に関する海上警報〕

海上保安庁、第三管区海上保安本部、海上自衛隊及び気象庁によるこれまでの観測によると、福徳岡ノ場付近の海面には長期にわたり火山活動によるとみられる変色水等が確認されるなど、活動はやや活発な状態で経過しています。今後も小規模な海底噴火が発生すると予想されますので、周辺海域では海底噴火に警戒してください。また、周辺海域では海底噴火による浮遊物（軽石等）に注意してください。

上記以外の火山の活動状況に特段の変化はなく、予報事項に変更はありません。

- 1) 噴石について、その大きさによる風の影響の程度の違いによって到達範囲が大きく異なります。本文中「大きな噴石」とは「風の影響を受けず弾道を描いて飛散する大きな噴石」のことであり、「小さな噴石」とはそれより小さく「風に流されて降る小さな噴石」のことです。
- 2) 火口から放出される火山ガスには、マグマに溶けていた水蒸気や二酸化硫黄、硫化水素など様々な成分が含まれており、これらのうち、二酸化硫黄はマグマが浅部へ上昇するとその放出量が増加します。気象庁では、二酸化硫黄の放出量を観測し、火山活動の評価に活用しています。
- 3) GNSS (Global Navigation Satellite Systems) とは、GPSをはじめとする衛星測位システム全般を示す呼称です。

管内月間火山概況（平成 30 年 1 月）

気象庁地震火山部
火山監視・警報センター
大阪管区气象台地震火山課

噴火警報及び噴火予報の発表状況と活動状況

三瓶山〔噴火予報（活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。



この管内月間火山概況は気象庁ホームページ (http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php) でも閲覧することができます。次回の管内月間火山概況（平成 30 年 2 月分）は平成 30 年 3 月 8 日に発表する予定です。

この資料は気象庁のほか、国立研究開発法人防災科学技術研究所のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』を使用しています（承認番号：平 29 情使、第 798 号）。

管内月間火山概況 (平成 30 年 1 月)

福岡管区气象台
地域火山監視・警報センター

噴火警報及び噴火予報の発表状況 (1月31日現在)

警報・予報	噴火警戒レベル 及びキーワード	該当火山
火口周辺警報	レベル3(入山規制)	桜島、口永良部島、霧島山(新燃岳)
	レベル2(火口周辺規制)	諏訪之瀬島
噴火予報	レベル1(活火山であることに留意)	鶴見岳・伽藍岳、九重山、阿蘇山、雲仙岳、霧島山(えびの高原(硫黄山)周辺)、霧島山(御鉢)、薩摩硫黄島
	活火山であることに留意	阿武火山群、由布岳、福江火山群、霧島山、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島



噴火警戒レベルは、地域防災計画等でその活用が定められている火山で運用されています。

この管内月間火山概況は福岡管区气象台ホームページ (<http://www.jma-net.go.jp/fukuoka/>) や気象庁ホームページ (http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php) でも閲覧することができます。次回の管内月間火山概況(平成30年2月分)は平成30年3月8日に発表する予定です。

この資料は気象庁のほか、九州地方整備局、国土地理院、東京大学、京都大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所、国立研究開発法人産業技術総合研究所、大分県、長崎県、宮崎県、鹿児島県、屋久島町、十島村及び阿蘇火山博物館のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図25000(行政界・海岸線)』を使用しています(承認番号:平29情使、第798号)。

各火山の活動状況及び予報警報事項

主な火山の活動及び予報警報事項の状況は以下のとおりで、予報警報事項に変更はありません。

鶴見岳・伽藍岳 [噴火予報(噴火警戒レベル1、活火山であることに留意)]

火山活動に特段の変化はなく、噴火の兆候は認められません。

九重山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、活火山であることに留意)]

火山性地震は少ない状態で経過しましたが、2017年6月頃からB型地震¹⁾が時折発生しており、わずかに火山活動が高まっている可能性があります。今後の火山活動の推移に留意が必要です。

阿蘇山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、活火山であることに留意)]

振幅の小さな火山性地震が、多い状態で経過しました。

火山ガス(二酸化硫黄)の放出量²⁾は、15日は1日あたり1,500トン、16日は1,000トンでしたが、その後は600~900トンと減少しやや少ない状態になりました。

引き続き中岳第一火口内に緑色の湯だまり³⁾を確認し、湯だまり量は前月同様、中岳第一火口底の10割でした。

傾斜計⁴⁾及びGNSS⁵⁾連続観測では、火山活動に伴う特段の変化は認められません。

火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められませんが、火口内では土砂や火山灰が噴出する可能性があります。また、火口付近では火山ガスに注意してください。なお、地元自治体等が実施している立入規制等に留意してください。

雲仙岳 [噴火予報(噴火警戒レベル1、活火山であることに留意)]

火山活動に特段の変化はありませんが、2010年頃から普賢岳から平成新山直下の深さ1~2kmを震源とする火山性地震が時々発生していますので、今後の火山活動の推移に留意してください。

霧島山(えびの高原(硫黄山)周辺) [噴火予報(噴火警戒レベル1、活火山であることに留意)]

硫黄山付近では、19日02時30分頃、継続時間約1分の火山性微動が発生しました。火山性微動を観測したのは、2016年12月12日以来です。この微動に伴い、傾斜計で硫黄山付近がわずかに隆起する一時的な変動が認められました。微動の発生以降、火山性地震も一時的に増加し、19日には11回発生しましたが、その後は少ない状態で経過しています。

GNSS連続観測では、2017年7月頃から霧島山を挟む基線の伸びが継続しています。このことから、霧島山の深い場所でマグマの蓄積が続いていると考えられますので、火山活動に注意が必要です。

硫黄山火口内の活発な噴気域及び熱異常域とその周辺の概ね100mの範囲では、噴気孔からの高温の土砂や噴気、熱水等の規模の小さな噴出現象に十分注意してください。また、火山ガスにも注意が必要です。地元自治体等が行う立入規制に従うとともに、火口周辺や噴気孔の近くには留まらないでください。

活火山であることから、最新の火山情報の確認に努めてください。

噴火予報(噴火警戒レベル1、活火山であることに留意)の予報事項に変更はありません。

霧島山(新燃岳) [火口周辺警報(噴火警戒レベル3、入山規制)]

新燃岳では、2017年10月17日を最後に噴火は発生していません。

火山性地震は、やや多い状態で経過し、16日に357回発生するなど15日から17日にかけて一時的に増加しました。振幅の大きな地震や低周波地震⁶⁾も時々発生しました。また、継続時間の短い火山性微動が16日から17日にかけて発生しました。

傾斜計では、2017年10月16日以降、特段の変化は認められません。

GNSS連続観測では、2017年7月頃から霧島山を挟む基線の伸びが継続しています。このことから、霧島山の深い場所でマグマの蓄積が続いていると考えられます。

弾道を描いて飛散する大きな噴石⁷⁾が火口から概ね2kmまで、火砕流⁸⁾が概ね1kmまで達する可能性があります。そのため、火口から概ね2kmの範囲では警戒してください。

風下側では火山灰だけでなく小さな噴石⁷⁾(火山れき⁹⁾)が遠方まで風に流されて降るおそれ

があるため注意してください。

また、爆発的噴火¹⁰⁾に伴う大きな空振による窓ガラスの破損や降雨時の土石流にも注意してください。

地元自治体等が発表する火山ガスの情報にも留意してください。

きりしまやま おほち
霧島山（御鉢） [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

火山活動に特段の変化はなく、噴火の兆候は認められません。

さくらじま
桜島 [火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）]

桜島では、噴火活動が継続しています。

南岳山頂火口では、噴火¹¹⁾が12回発生し、このうち爆発的噴火¹⁰⁾は4回でした。昭和火口では、8日03時59分に噴火が発生し、弾道を描いて飛散する大きな噴石が5合目（昭和火口より500～800m）まで達しました。爆発的噴火は発生しませんでした。

始良カルデラ（鹿児島湾奥部）の地下深部へのマグマ供給が継続しており、今後も噴火活動が継続すると考えられます。

昭和火口及び南岳山頂火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。

風下側では火山灰だけでなく小さな噴石（火山れき⁹⁾）が遠方まで風に流されて降るため注意してください。爆発的噴火に伴う大きな空振によって窓ガラスが割れるなどのおそれがあるため注意してください。また、降雨時には土石流に注意してください。

さつまいおうじま
薩摩 硫黄島 [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

火山活動に特段の変化はありませんが、硫黄岳山頂火口では噴煙活動が続いていますので、火山灰等が噴出する可能性があります。また、火口付近では火山ガスに注意してください。なお、地元自治体を実施している立入規制等に留意してください。

くちのえらぶじま
口永良部島 [火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）]

火山性地震は、概ね多い状態で経過しています。火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は、1日あたり200～300トンで、2014年8月の噴火前（1日あたり概ね100トン以下）よりも概ねやや多い状態で経過しています。引き続き噴火の可能性があります。

新岳火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。向江浜地区から新岳の南西にかけての火口から海岸までの範囲では、火砕流に警戒してください。

風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

すわのせじま
諏訪之瀬島 [火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）]

おたけ
御岳火口では、噴火が時々発生しました。

今後も火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されますので、火口から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

上記以外の火山の活動状況に変化はなく、予報事項に変更はありません。

- 1) 火山性地震のうち、P波、S波の相が不明瞭で、比較的周期が長く、火口周辺の比較的浅い場所で発生する地震と考えられています。火道内の火山ガスの移動やマグマの発泡など火山性流体の動きで発生すると考えられています。B型地震の増加は、山体浅部の火山活動の活発化を意味していることから発生状況には注意が必要です。
- 2) 火口から放出される火山ガスには、マグマに溶けていた二酸化硫黄、硫化水素や水蒸気など様々な成分が含まれており、これらのうち、二酸化硫黄はマグマの蓄積の増加や浅部への上昇等でその放出量が増加します。気象庁では、二酸化硫黄の放出量を観測し、火山活動の評価に活用しています。
- 3) 活動静穏期の中岳第一火口には、地下水などを起源とする約 40~60°Cの緑色の湯がたまっており、これを湯だまりと呼んでいます。火山活動が活発化するにつれ、湯だまり温度が上昇・噴湯して湯量の減少や濁りがみられ、その過程で土砂を噴き上げる土砂噴出現象等が起こり始めることが知られています。
- 4) 火山活動による山体の傾きを精密に観測する機器。火山体直下へのマグマの貫入等により変化が観測されることがあります。1 μ radian (マイクロラジアン) は1 km先が1 mm 上下するような変化です。
- 5) GNSS (Global Navigation Satellite Systems) とは、GPS をはじめとする衛星測位システム全般を示す呼称です。
- 6) 浅い場所を震源とする主に1~3 Hz の低周波成分が卓越した火山性地震 (B型地震) です。火山によっては、過去の事例から、火山活動が活発化すると多発する傾向がある事が知られています。
- 7) 噴石については、その大きさによる風の影響の程度の違いによって到達範囲が大きく異なります。本文中「大きな噴石」とは「風の影響を受けず弾道を描いて飛散する大きな噴石」のことであり、「小さな噴石」とはそれより小さく「風に流されて降る小さな噴石」のことです。
- 8) 火砕流とは、火山灰や岩塊、空気や水蒸気が一体となって急速に山体を流下する現象です。火砕流の速度は時速数十 km から時速百 km 以上、温度は数百°Cにも達することがあります。
- 9) 霧島山・桜島では「火山れき」の用語が地元で定着していると考えられることから、付加表現しています。
- 10) 新燃岳・諏訪之瀬島では、火道内の爆発による地震を伴い、火口周辺の観測点で一定基準以上の空気の振動を観測した噴火を爆発的噴火としています。桜島では、火道内の爆発による地震を伴い、爆発音、体に感じる空気の振動、噴石の火口外への飛散、または、气象台や島内の観測点で一定基準以上の空気の振動のいずれかを観測した噴火を爆発的噴火としています。
- 11) 桜島では噴火活動が活発なため、噴火のうち、爆発的な噴火もしくは噴煙量が中量以上 (概ね噴煙の高さが火口縁上 1,000m以上) の噴火の回数を計数しています。資料の噴火回数はこの回数を示します。また、基準に達しない噴火は、ごく小規模な噴火として噴火回数に含めていません。

管内月間火山概況（平成30年1月）

気象庁地震火山部
火山監視・警報センター
沖縄気象台地震火山課

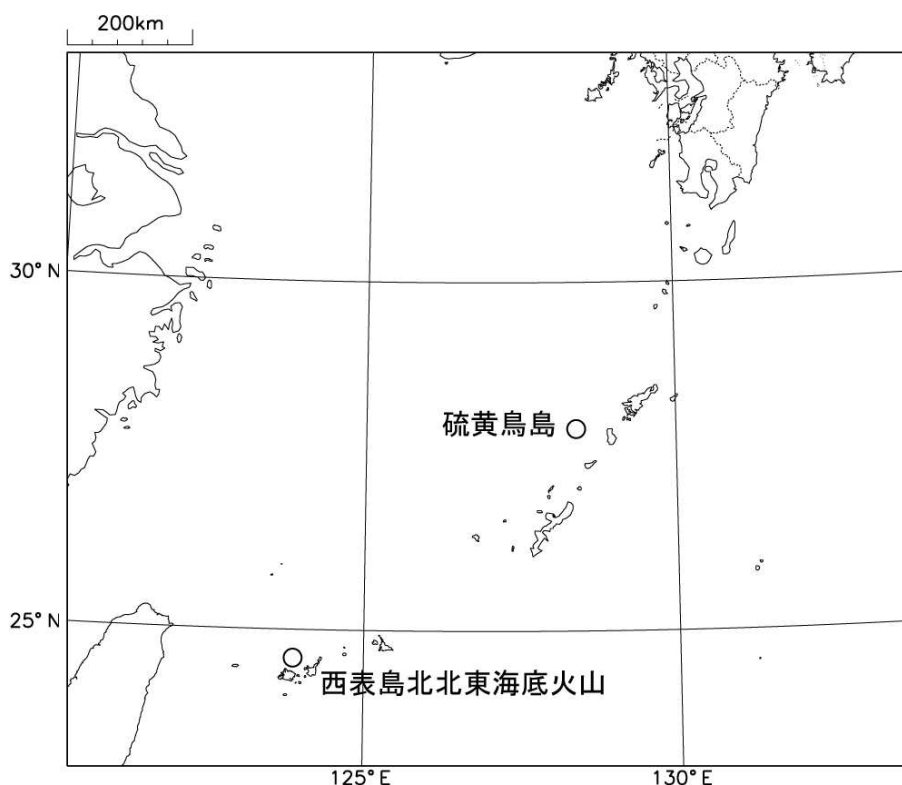
噴火警報及び噴火予報の発表状況と活動状況

硫黄島 [噴火予報（活火山であることに留意）]

15日に実施した海上からの観測では、火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

西表島北北東海底火山 [噴火予報（活火山であることに留意）]

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。



この管内月間火山概況は気象庁ホームページ (http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php) でも閲覧することができます。次回の管内月間火山概況（平成30年2月分）は平成30年3月8日に発表する予定です。

この資料は、第十一管区海上保安本部のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』を使用しています（承認番号：平29情使、第798号）。

表 平成30年1月の火山現象に関する特別警報、警報、予報及び情報等の発表履歴

火山名	特別警報、警報及び予報の状況	発表した火山現象に関する特別警報・警報・予報・情報		概要
		種類、号数等	発表日時	
草津白根山	火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、火口周辺規制)	火口周辺警報	5日 11時05分	23日に、本白根山の鏡池北火砕丘の火口北側及び鏡池で噴火が発生。23日に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを3(入山規制)に引き上げ。噴煙、火山性地震・微動等火山活動の状況。上空からの観測による火口や地熱域等の状況。
	火口周辺警報 (噴火警戒レベル3、入山規制)	火口周辺警報	5日 11時50分	
		解説情報 第1号～20号	23日 16時40分	
			24日 10時00分	
24日 12時05分				
24日 16時00分				
25日 10時00分				
25日 16時00分				
26日 10時00分				
26日 14時00分				
26日 16時20分				
27日 10時00分				
27日 16時00分				
28日 10時00分				
28日 13時40分				
28日 16時00分				
29日、30日、31日 10時00分 16時00分				
火山活動解説資料	23日 13時00分 23日 18時00分 24日 16時45分 28日 15時00分			
霧島山 (新燃岳)	火口周辺警報 (噴火警戒レベル3、入山規制)	解説情報 第1号～10号	4日、9日、12日、15日 16時00分 16日 10時50分 17日、19日、22日、26日、29日 16時00分	15日から17日にかけて増加した火山性地震の状況。噴煙、火山性地震・微動等火山活動の状況。現地調査による火山ガス等の状況。
桜島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル3、入山規制)	解説情報 第1号～8号	4日、9日、12日、15日、19日、22日、26日、29日 16時00分	噴火の状況。噴煙、火山性地震・微動等火山活動の状況。現地調査による火山ガス等の状況。
		降灰予報(速報)	18日 10時32分	噴火発生から1時間以内に予想される降灰量分布や小さな噴石の落下範囲を予想。
		降灰予報(詳細)	15日 12時10分 15日 13時31分 15日 15時53分 15日 21時24分 18日 10時47分	噴火発生から6時間先までに予想される降灰量分布や降灰開始時刻を予想。
口永良部島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル3、入山規制)	解説情報 第1号～8号	4日、9日、12日、15日、19日、22日、26日、29日 16時00分	噴煙、火山性地震等火山活動の状況。現地調査による火山ガス等の状況。
蔵王山	噴火予報(噴火警戒レベル1、活火山であることを留意)	解説情報(臨時) 第1号	30日 04時50分	今後小規模な噴火が発生する可能性がある判断し、30日に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを2(火口周辺規制)に引き上げ。噴気、火山性地震・微動等火山活動の状況。上空からの観測による地熱域等の状況。
		火山活動解説資料	30日 07時30分	
	火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、火口周辺規制)	火口周辺警報	30日 14時38分	
		解説情報 第2号	31日 16時00分	

平成30年1月 地震・火山月報(防災編)

蔵王山	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 2、火口周辺規制)	火山活動解説資料	31日 17時40分	噴気、火山性地震・微動等火山活動の状況。 上空からの観測による地熱域等の状況。
浅間山	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 2、火口周辺規制)	解説情報 第1号～9号	1日、5日、8日、 12日、15日、19日、 22日、26日、29日 16時00分	噴煙、火山性地震・微動等火山活動の状況。 現地調査による火山ガス等の状況。
霧島山(えび の高原(硫黄 山)周辺)	噴火予報(噴火警戒 レベル1、活火山で あることに留意)	解説情報(臨時) 第1号	19日 16時10分	19日に発生した火山性微動、地殻変動等火 山活動の状況。

注) 表中、解説情報とは「火山の状況に関する解説情報」のことである。霧島山(新燃岳)、桜島、口永良部島、諏訪之瀬島においては、毎日02時から3時間毎に8回降灰予報(定時)を発表している。草津白根山においては、23日13時以降、毎日02時から3時間毎に8回降灰予報(定時)を発表している。蔵王山においては、30日15時20分以降、毎日02時から3時間毎に8回降灰予報(定時)を発表している。

●世界の主な地震

平成30年(2018年)1月に世界で発生したマグニチュード(M)6.0以上または被害を伴った地震の震央分布を図1に示す。また、その震源要素等を表1に示す。

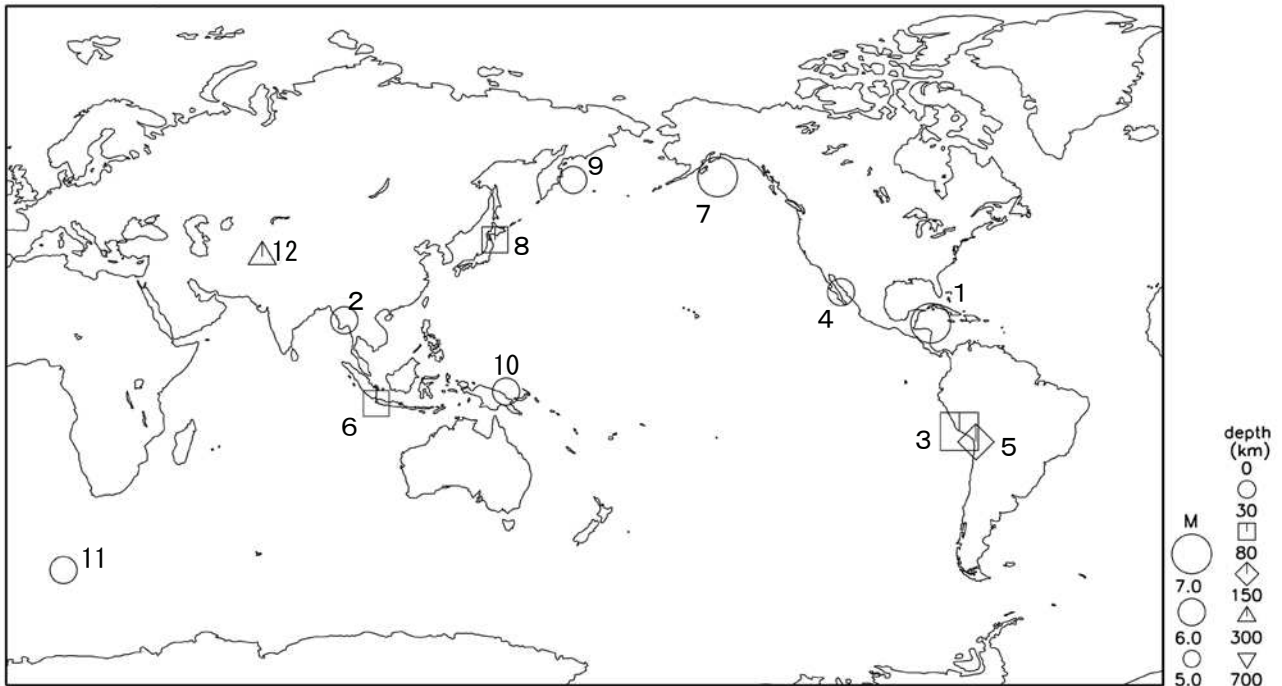


図1 平成30年(2018年)1月に世界で発生したM6.0以上または被害を伴った地震の震央分布

表1 平成30年(2018年)1月に世界で発生したM6.0以上または被害を伴った地震の震源要素等

番号	地震発生時刻	緯度	経度	深さ(km)	mb	Mj	Mw	震央地名	備考(被害状況など)	北西	遠地
1	10日11時51分	N17° 28.5'	W083° 31.2'	10			(7.5)	ホンジュラス北方			○
2	12日03時26分	N18° 21.8'	E096° 4.7'	9			6.0	ミャンマー			
3	14日18時18分	S15° 45.5'	W074° 42.6'	39			(7.1)	ペルー沿岸			○
4	20日01時17分	N26° 40.8'	W111° 6.4'	10			6.3	カリフォルニア湾			
5	21日10時06分	S18° 53.3'	W069° 37.0'	111			6.3	チリ北部			
6	23日15時34分	S07° 11.7'	E105° 55.1'	44			6.0	インドネシア、ジャワ島			
7	23日18時31分	N56° 2.8'	W149° 4.4'	25			(7.9)	アラスカ湾			○
8	24日19時51分	N41° 0.5'	E142° 26.8'	34		6.3	(6.4)	青森県東方沖			
9	25日11時10分	N55° 24.2'	E166° 28.7'	9			6.2	コマンドル諸島			
10	27日07時47分	S03° 30.8'	E145° 50.9'	10			6.3	ニューギニア島北部			
11	29日01時03分	S53° 3.7'	E009° 41.0'	10			6.6	アフリカ南西方			
12	31日16時07分	N36° 32.6'	E070° 48.9'	191			6.1	アフガニスタン、ヒンドゥークシ			

- ・震源要素は米国地質調査所(USGS)ホームページの” Earthquake Archive Search & URL Builder” (<http://earthquake.usgs.gov/earthquakes/search/>) による(2018年2月1日現在)。ただし、日本付近で発生した地震の震源要素、Mjの欄に記載したマグニチュード、Mwの欄に括弧を付して記載したモーメントマグニチュードは、気象庁による。
- ・被害状況は、出典のないものはOCHA(UN Office for the Coordination of Humanitarian Affairs: 国連人道問題調整事務所)、国内は、総務省消防庁による。
- ・地震発生時刻は日本時間[日本時間=協定世界時+9時間]である。
- ・「北西」欄の○印は、気象庁が北西太平洋域に提供している北西太平洋津波情報(NWPTA)(地震・火山月報(防災編)2005年5月号参照)を発表したことを表す。
- ・「遠地」欄の○印は、気象庁が「遠地地震に関する情報」を発表したことを表す。
- ・深さに「*」を付したものは、気象庁によるCMT解のセントロイドの深さを表す。

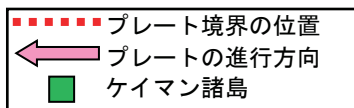
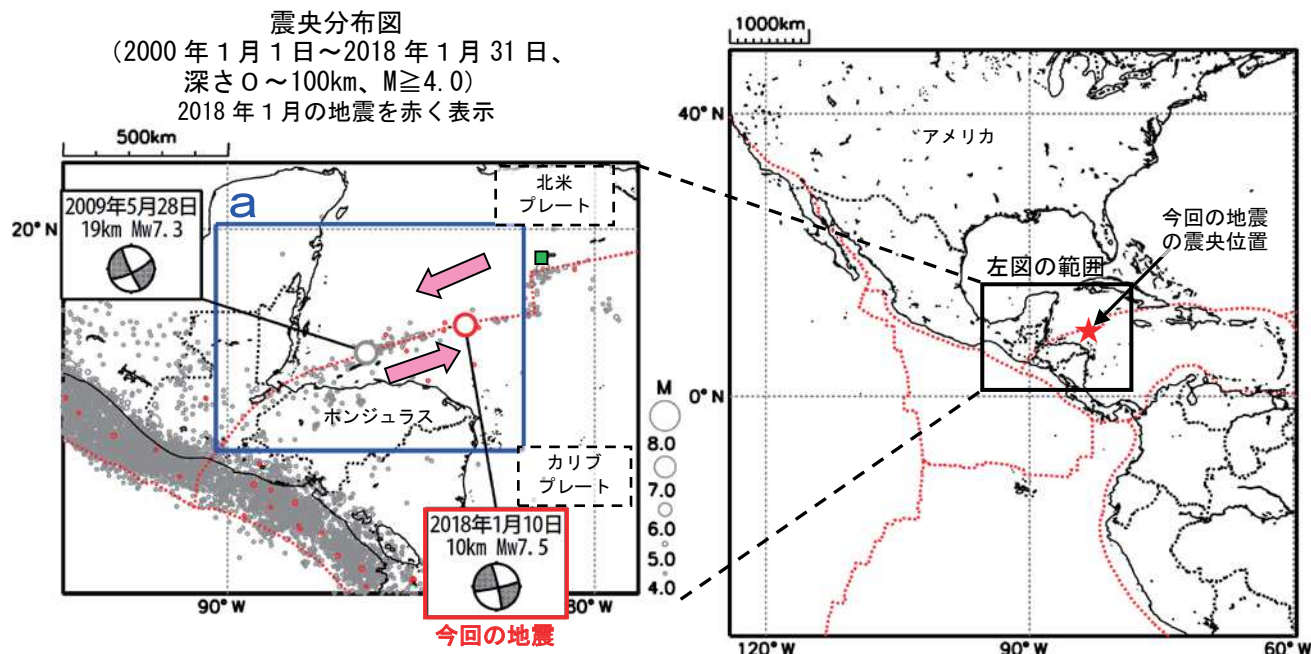
1月10日 ホンジュラス北方の地震

2018年1月10日11時51分(日本時間、以下同じ)にホンジュラス北方の深さ10kmでMw7.5の地震が発生した。この地震は発震機構(気象庁によるCMT解)が西北西-東南東方向に張力軸を持つ横ずれ断層型で、北米プレートとカリブプレートの境界で発生した。

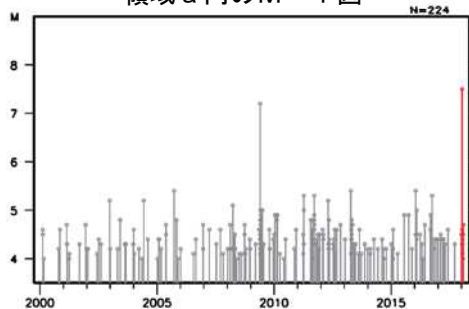
気象庁は、この地震に対して、同日12時18分に遠地地震に関する情報(日本への津波の影響なし)を発表した。この地震によりケイマン諸島(イギリス領)で26cmの津波を観測した。

2000年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺(領域a)で、2009年5月28日に発生したMw7.3の地震では、死者7人等の被害が生じている。

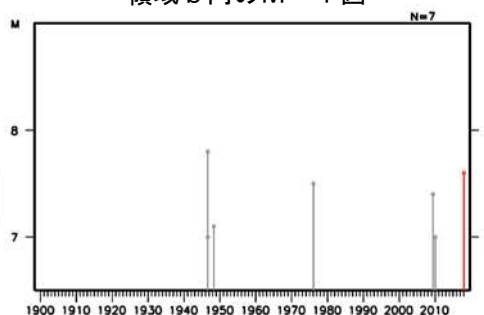
1900年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺(領域b)では、M7.0以上の地震が時々発生し、周辺で被害をもたらしている。1976年2月4日のMw7.5の地震では、グアテマラで死者2万人以上の被害が生じた。また、2010年1月13日のMw7.1の地震では、ハイチで死者30万人以上の被害が生じた。



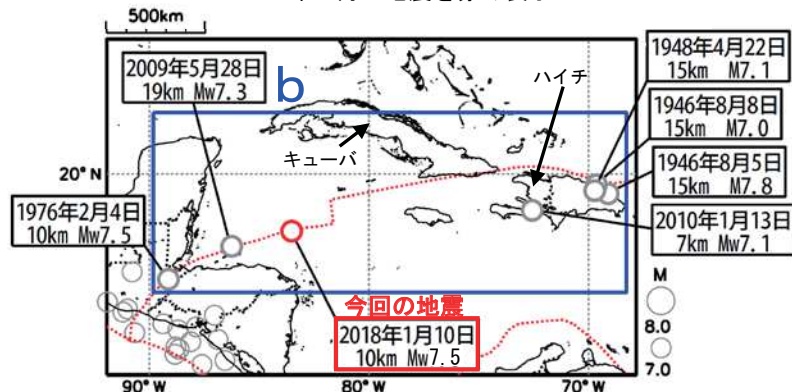
領域 a 内の M-T 図



領域 b 内の M-T 図



震央分布図
(1900年1月1日~2018年1月31日、
深さ0~100km、 $M \geq 7.0$)
2018年1月の地震を赤く表示



※本資料中、(上図) 今回の地震と2009年5月28日の地震の発震機構とMwは気象庁、震源要素は米国地質調査所(USGS)による(2018年1月31日現在)。(下図) 今回の地震と2009年5月28日の地震、2010年1月13日の地震のMwは気象庁、1900年~2013年の震源要素は国際地震センター(ISCJEM)、2014年以降の震源要素はUSGSによる。今回の地震の津波の高さは、米国海洋大気庁(NOAA)による。過去の地震の被害は、宇津の「世界の被害地震の表」による。プレート境界の位置と進行方向はBird(2003)*より引用。

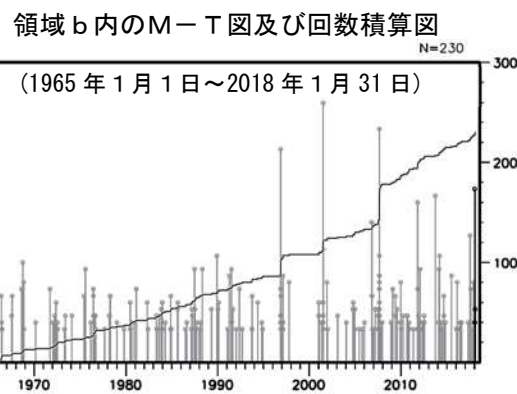
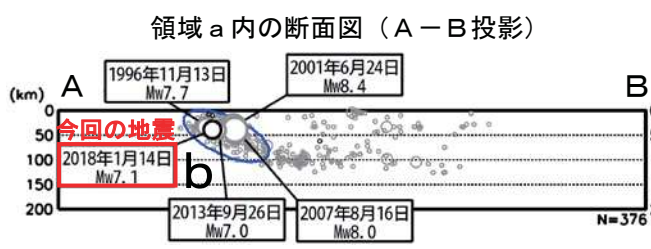
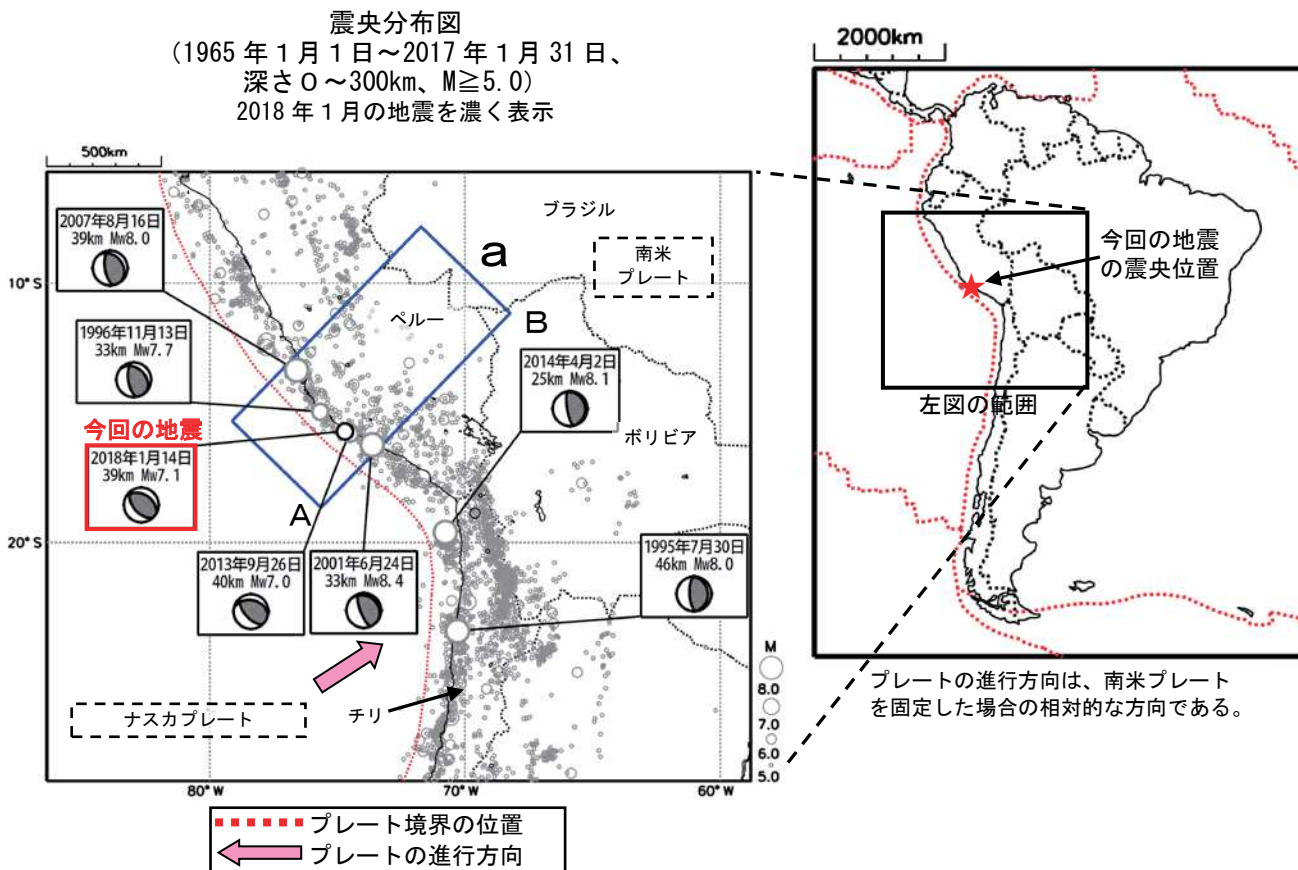
*参考文献 Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.

1月14日 ペルー沿岸の地震

2018年1月14日18時18分(日本時間、以下同じ)にペルー沿岸の深さ39kmでMw7.1の地震が発生した。この地震は発震機構(気象庁によるCMT解)が北東-南西方向に圧力軸を持つ逆断層型で、沈み込むナスカプレートと南米プレートの境界付近で発生した。

気象庁は、この地震に対して、同日18時42分に遠地地震に関する情報(日本への津波の影響なし)を発表した。

1965年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺(領域a)では、M6.0以上の地震が度々発生するなど地震活動が活発な領域である。今回の地震から東南東方向に約100km離れた場所では、2001年6月24日にMw8.4の地震が発生し、死者139人、負傷者2,687人の被害が生じた。また、この地震により太平洋沿岸の広い範囲で津波が観測され、ペルーでは数m、チリのアリカで129cmなどの津波を観測した。日本国内でも根室市花咲で最大の高さ28cmの津波を観測した。



※本資料中、今回の地震と2007年8月16日(Mw8.0)、2013年9月26日(Mw7.0)、2014年4月2日(Mw8.1)の地震の発震機構とMwは気象庁、その他の地震の発震機構とMwはGlobal CMTによる。その他の地震の震源要素は米国地質調査所(USGS)による(2018年1月31日現在)。2001年6月24日の地震の被害は宇津の「世界の被害地震の表」、津波の高さは、米国海洋大気庁(NOAA)及び気象庁による。プレート境界の位置と進行方向はBird(2003)*より引用。

*参考文献 Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.

1月23日 アラスカ湾の地震

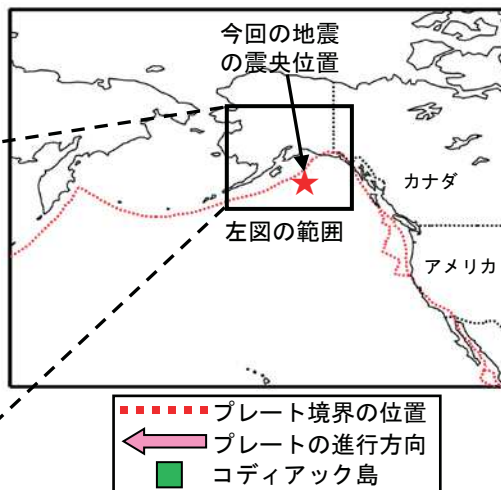
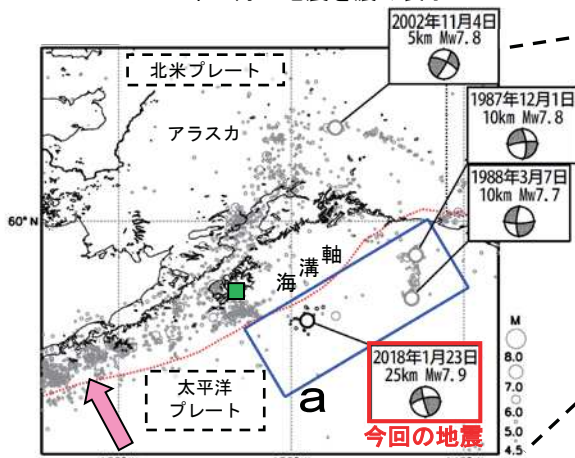
2018年1月23日18時31分(日本時間、以下同じ)にアラスカ湾の深さ25kmでMw7.9の地震が発生した。この地震は発震機構(気象庁によるCMT解)が西北西-東南東方向に張力軸を持つ横ずれ断層型で、北米プレートの下に沈み込む前の太平洋プレート内部で発生した。今回の地震の発生後、今回の地震も含めM4.0以上の地震が85回発生している(1月31日現在)。

気象庁は、この地震に対して、同日18時56分に遠地地震に関する情報(日本への津波の有無について調査中)、同日19時50分に遠地地震に関する情報(日本への津波の影響なし)を発表した。この地震によりコディアック島(アメリカ)で21cmの津波を観測した。この地震による被害はなかった。

1980年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺(領域a)では、時々M6を超える地震が発生しており、1990年前後には、1987年12月1日にMw7.8、1988年3月7日にMw7.7の地震が発生するなどまとまった地震活動がみられた。

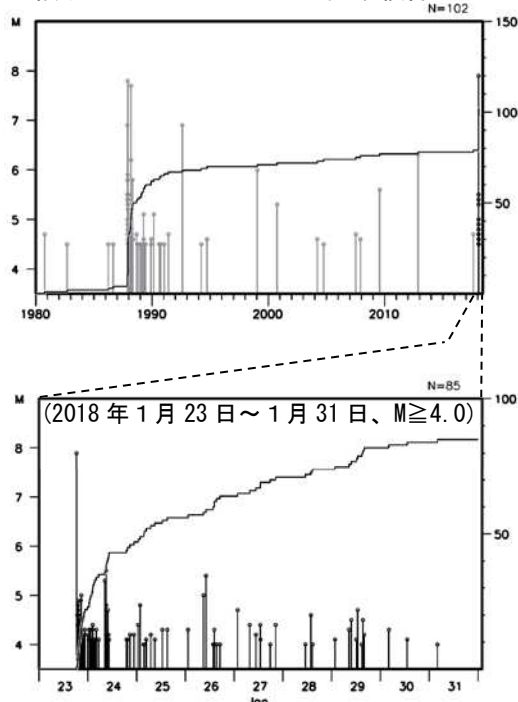
1900年以降の活動をみると、アラスカ周辺では、1964年3月28日に最大級規模の地震(アラスカ地震)(M9.2)が発生し、死者131人等の被害が生じている。

震央分布図①
(1980年1月1日~2018年1月31日、
深さ0~200km、M \geq 4.5)
2018年1月の地震を濃く表示

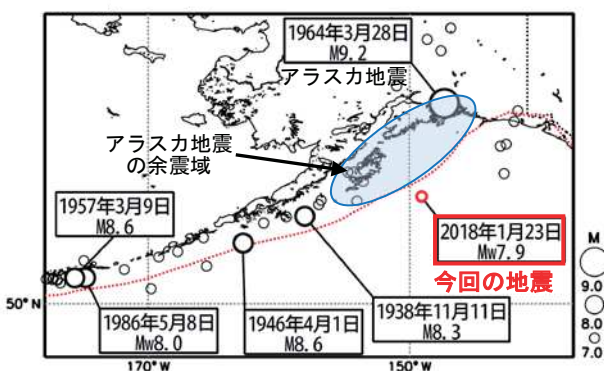


プレートの進行方向は、北米プレートを固定した場合の相対的な方向である。

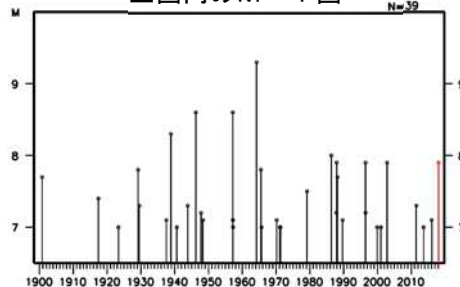
領域a内のM-T図及び回数積算図



震央分布図②
(1900年1月1日~2018年1月31日、
深さ0~200km、M \geq 7.0)
2018年1月の地震を赤く表示



上図内のM-T図



※本資料中、震央分布図①内の今回の地震の発震機構とMwは気象庁、その他の地震の発震機構とMwはGlobal CMTによる。今回の地震の被害状況は、OCHA (UN Office for the Coordination of Humanitarian Affairs: 国連人道問題調整事務所)による(2018年1月31日現在)。震央分布図②内の2013年以前の地震の震源要素は国際地震センター(ISCHEM)による。その他の震源要素はいずれも米国地質調査所(USGS)による(2018年1月31日現在)。1964年3月28日の地震(アラスカ地震)のMと被害は宇津の「世界の被害地震の表」による。津波の高さは、米国海洋大気庁(NOAA)による(2018年1月31日現在)。プレート境界の位置と進行方向はBird(2003)*より引用。*参考文献 Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.

● 世界の主な火山活動

平成30年(2018年)1月に噴火が報告された主な火山(日本を除く)*は以下のとおり。

シベルチ (Sheveluch) ロシア (図中A) 標高 3,283m

噴火が続くシベルチでは、1月10日に噴煙が海拔10-11kmまで上がる爆発的噴火が発生した。

マヨン (Mayon) フィリピン (図中B) 標高 2,462m

マヨンでは、1月13日に噴火が発生した。その後も、度々噴火が発生した。1月23日のニュース記事によると、約4万人が避難し、複数の空港が閉鎖された。1月28日から29日の間、大雨のために火山泥流が発生した。

カドバー島 (Kadovar) パプアニューギニア (図中C) 標高 365m

カドバー島では、1月5日に初めて噴火が確認された。南東側の海岸にできた溶岩ドームは成長を続け、高さは海拔50m、海岸から島の外に150-200mまで拡大している。カドバー島の住民591人が避難した。



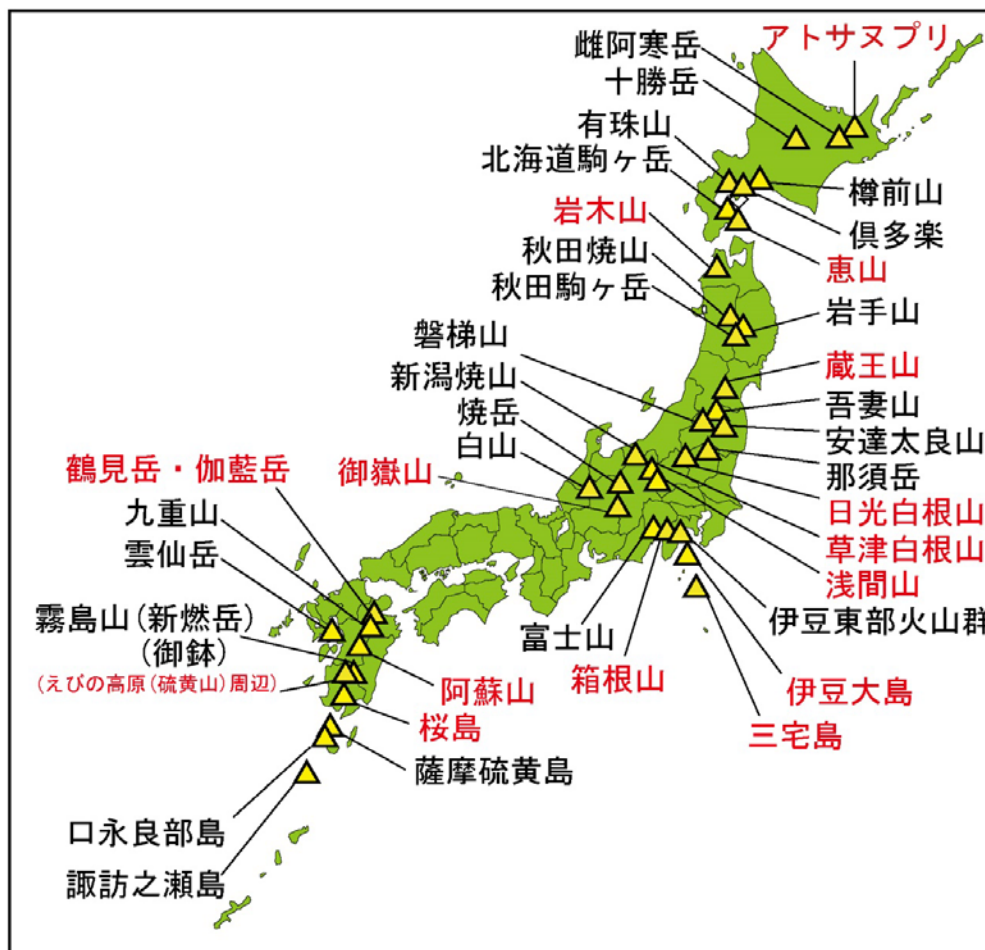
図 平成30年(2018年)1月に噴火した主な火山(日本を除く)*

* 米国スミソニアン自然史博物館のホームページ“Global Volcanism Program | Smithsonian / USGS Weekly Volcanic Activity Report”(http://www.volcano.si.edu/reports_weekly.cfm)による。日付は全て現地時間。火山名の読み方は、原則として気象庁:「火山観測指針(参考編)」による。

●特集. 噴火警戒レベル運用開始から10年

噴火警戒レベルは、火山活動の状況に応じて「警戒が必要な範囲」と防災機関や住民等の「とるべき防災対応」を5段階に区分して発表する指標で、噴火警報・噴火予報として発表している。

気象庁が常時観測を行っている50火山の中で、地元の火山防災協議会における避難計画の共同検討を通じて、市町村と都道府県の「地域防災計画」に噴火警戒レベルに応じた「警戒が必要な範囲」と「とるべき防災対応」が定められた火山から、順次噴火警戒レベルの運用を開始している（平成30年1月末時点において38火山で運用している）。



▲：噴火警戒レベルを運用している火山
赤字の火山名：噴火警戒レベル判定基準を公表している火山（平成30年1月末時点）

1. 噴火警戒レベル運用開始の経緯

- ・気象庁では、火山活動の状況が容易に理解できるよう、平成15年11月4日から「火山活動度レベル」をいくつかの火山で運用し、火山情報に付加して発表していた。これは0～5の6段階で火山の活動度を表すものであったが、内閣府の「火山情報等に対応した火山防災対策検討会」において、当該レベルが火山現象に中心をおき、受け手の住民側にとって切迫度がイメージできず適切な防災行動に活用しづらい点が指摘され、噴火時等の避難行動等を踏まえ区分された新しいレベルに変更するよう提言された
- ・新しいレベルの名称を「噴火警戒レベル」とすることが適切と提言された
- ・噴火警戒レベルは、平成19年12月1日に16火山で運用開始

2. 噴火警戒レベルの区分

噴火警戒レベルは1から5の5段階で、各レベルに住民等のとるべき防災対応等に対応したキーワードが設定されている。運用開始時においては、レベル1のキーワードは「平常」であったが、活火山であることを適切に理解できるよう、平成27年5月18日に「活火山であることに留意」に改めた。

種別	名称	対象範囲	レベルとキーワード		説明		
					火山活動の状況	住民等の行動	登山者・入山者への対応
特別 警報	噴火警報 (居住地域) 又は 噴火警報	居住地域 及び それより 火口側	レベル5 避難		居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生、あるいは切迫している状態にある。	危険な居住地域からの避難等が必要(状況に応じて対象地域や方法を判断)。	
			レベル4 避難準備		居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生すると予想される(可能性が高まってきている)。	警戒が必要な居住地域での避難の準備、要配慮者の避難等が必要(状況に応じて対象地域を判断)。	
警報	噴火警報 (火口周辺) 又は 火口周辺警報	火口から 居住地域 近くまで 火口周辺	レベル3 入山規制		居住地域の近くまで重大な影響を及ぼす(この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ)噴火が発生、あるいは発生すると予想される。	通常の生活(今後の火山活動の推移に注意。入山規制)。状況に応じて要配慮者の避難準備等。	登山禁止・入山規制等、危険な地域への立入規制等(状況に応じて規制範囲を判断)。
			レベル2 火口周辺規制		火口周辺に影響を及ぼす(この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ)噴火が発生、あるいは発生すると予想される。	通常の生活。	火口周辺への立入規制等(状況に応じて火口周辺の規制範囲を判断)。
予報	噴火予報	火口内等	レベル1 活火山であることに留意		火山活動は静穏。火山活動の状態によって、火口内で火山灰の噴出等が見られる(この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ)。	通常の生活。	特になし(状況に応じて火口内への立入規制等)。

噴火警報と噴火警戒レベル

3. 噴火警報の名称及び略称、警戒事項等のキーワード

- ・わかりやすさと速報性の観点から、噴火警報に対象範囲を表す語(火口周辺または居住地域)を付した名称及びその略称、警戒事項等のキーワードを設定
- ・噴火警戒レベルが運用されている火山はレベルとキーワードを、運用されていない火山についても警戒事項等のキーワード(火口周辺危険または入山危険等)を付して発表

4. 噴火警戒レベルの活用にあたっての留意点

- ・火山の状況によっては、異常が観測されずに噴火する場合もあり、レベルの発表が必ずしも段階を追って順番通りになるとは限らない(下がる時も同様)
- ・各レベルで想定する火山活動の状況及び噴火時等の防災対応に係る対象地域や具体的な対応方法は、地域により異なる
- ・降雨時の土石流等レベル表の対象外の現象についても注意が必要であり、その場合には大雨情報等其他の情報にも注意する必要がある

5. 噴火警戒レベル運用開始からの経過

平成19年12月1日に噴火警戒レベルの運用を開始して以降、15火山で噴火警戒レベル2以上の噴火警報、火口周辺警報を発表している(平成30年1月末時点)。このうち、平成27年5月29日に口永良部島で噴火警報(噴火警戒レベル5、避難)を発表し、平成27年8月15日に桜島で噴火警報(噴火警戒レベル4、避難準備)を発表した。

6. 噴火警戒レベル判定基準の公表

噴火警戒レベルを運用している全国の火山について、噴火警戒レベルの判定基準の精査作業を行い精査が完了した火山から、順次気象庁ホームページ(以下URL)において公表している(平成30年1月末時点において15火山で公表)。

「噴火警戒レベルの判定基準」

<http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/keikailevelki.junn.html>

●付録1. 震度1以上を観測した地震の表

※ 震度データは、震度データベース検索 [気象庁ホームページ: <http://www.data.jma.go.jp/svd/eqdb/data/shindo/index.php>] で確認できる。震源要素及び震度は再調査後、修正することがある。確定した震源要素は地震月報(カタログ編) [気象庁ホームページ: <http://www.data.jma.go.jp/svd/eqev/data/bulletin/index.html>] に掲載する。

※ 震度データは都道府県別に掲載し、各観測点の末尾に計測震度(平成25年12月 地震・火山月報(防災編)の付録2参照)を記す。なお、*のついてる地点は、地方公共団体もしくは国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点、(注)を付した地震については、近接した地域でほぼ同時に発生した地震であるため震度の分離ができないことを示す。震源の深さの後に'D'を付した地震は、その深さに仮定して震源決定していることを示す。また、本文中で震源の深さに CMT 解による深さを採用している場合があり、本表の震源決定による深さと異なる場合がある。震度3以上を観測した地震については、震源要素を**太字**で表示する。

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
1	1 04 42	千葉県東方沖 茨城県 2 神栖市波崎* 2.4 神栖市溝口* 2.1 茨城鹿嶋市鉢形* 2.0 茨城鹿嶋市宮中* 2.0 稲敷市江戸崎* 1.9 ひたちなか市南神敷台* 1.7 潮来市堀之内* 1.6 稲敷市須賀津* 1.6 稲敷市結佐* 1.5 筑西市門井* 1.5 1 潮来市辻* 1.3 行方市麻生* 1.3 銚田市汲上* 1.3 小美玉市小川* 1.3 石岡市柿岡* 1.3 小美玉市上玉里* 1.2 行方市山田* 1.2 土浦市常名* 1.2 笠間市石井* 1.2 稲敷市伊佐津* 1.0 かすみがうら市大和田* 1.0 大洗町磯浜町* 1.0 水戸市内原町* 1.0 東海村東海* 0.9 ひたちなか市東石川* 0.9 桜川市羽田* 0.9 銚田市造谷* 0.9 小美玉市堅倉* 0.9 つくば市天王台* 0.8 銚田市銚田* 0.8 城里町石塚* 0.8 かすみがうら市上土田* 0.7 取手市寺田* 0.7 牛久市城中町* 0.7 行方市玉造* 0.7 土浦市藤沢* 0.7 桜川市岩瀬* 0.7 水戸市金町* 0.7 石岡市若宮* 0.7 桜川市真壁* 0.6 龍ヶ崎市役所* 0.6 常陸大宮市山方* 0.6 日立市助川小学校* 0.6 茨城町小堤* 0.6 つくば市研究学園* 0.6 石岡市八郷* 0.6 稲敷市役所* 0.6 笠間市下郷* 0.5 美浦村受領* 0.5 水戸市千波町* 0.5 千葉県 2 旭市萩園* 2.2 旭市二* 2.2 銚子市若宮町* 2.1 旭市南堀之内* 2.1 旭市高生* 2.1 銚子市川口町* 2.1 香取市仁良* 1.9 匝瑳市今泉* 1.7 匝瑳市八日市場* 1.5 香取市役所* 1.5 1 多古町多古* 1.4 山武市蓮沼* 1.4 香取市佐原諏訪* 1.3 成田市松子* 1.3 芝山町小池* 1.2 香取市羽根川* 1.2 横芝光町宮川* 1.2 山武市蓮沼* 1.2 山武市松尾町富士見台* 1.1 香取市佐原平田* 1.1 東庄町笹川* 1.1 成田市中台* 1.1 横芝光町栗山* 1.1 栄町安食台* 1.1 東金市日吉台* 1.0 神崎町神崎本宿* 1.0 九十九里町片貝* 0.9 山武市埴谷* 0.9 山武市松尾町五反田* 0.9 香取市岩部* 0.9 東金市東岩崎* 0.8 成田国際空港* 0.8 成田市猿山* 0.8 東金市東新宿* 0.7 千葉稲毛区園生町* 0.7 成田市役所* 0.7 千葉佐倉市海隣寺町* 0.7 市原市姉崎* 0.7 八千代市大和田新田* 0.7 富里市七栄* 0.7 印西市美瀬* 0.6 白井市復* 0.6 野田市鶴泰* 0.6 栃木県 1 真岡市石島* 1.2 芳賀町祖母井* 0.6 下野市笹原* 0.5	35° 48.5' N	141° 00.4' E	28km	M: 4.4
2	1 07 05	熊本県阿蘇地方 熊本県 2 阿蘇市内牧* 2.0 1 阿蘇市一の宮町* 1.3 南阿蘇村中松* 1.3 菊池市旭志* 0.6 大津町引水* 0.6	32° 56.7' N	131° 03.1' E	7km	M: 3.0
3	1 19 34	千葉県東方沖 千葉県 1 香取市仁良* 0.9 旭市高生* 0.7	35° 40.8' N	140° 48.1' E	19km	M: 2.9
4	1 21 39	岐阜県飛騨地方 長野県 1 松本市奈川* 0.6	36° 03.6' N	137° 34.2' E	9km	M: 2.5
5	1 23 10	宮城県沖 宮城県 2 石巻市北上町* 1.6 1 登米市豊里町* 1.3 女川町女川浜* 1.3 気仙沼市笹が陣* 1.2 石巻市桃生町* 1.1 気仙沼市赤岩* 0.9 南三陸町志津川* 0.9 南三陸町歌津* 0.9 気仙沼市唐桑町* 0.9 涌谷町新町裏* 0.9 石巻市雄勝町* 0.8 石巻市鮎川浜* 0.8 東松島市小野* 0.7 石巻市大街道南* 0.7 栗原市栗駒* 0.6 登米市中田町* 0.6 登米市東和町* 0.6 気仙沼市本吉町西川内* 0.5 石巻市泉町* 0.5 岩手県 1 一関市千厩町* 1.3 一関市室根町* 1.2 住田町世田米* 1.0 一関市藤沢町* 1.0 一関市東山町* 0.8 一関市大東町* 0.5	38° 18.7' N	141° 54.1' E	45km	M: 3.8
6	2 15 35	宮城県沖 岩手県 宮城県 1 一関市室根町* 1.1 一関市藤沢町* 1.1 一関市千厩町* 0.9 大船渡市大船渡町* 0.7 1 気仙沼市赤岩* 1.3 気仙沼市笹が陣* 1.3 気仙沼市唐桑町* 1.0 南三陸町志津川* 0.8	38° 42.2' N	142° 12.3' E	39km	M: 3.8
7	2 19 48	東京湾 埼玉県 3 草加市高砂* 2.8 さいたま大宮区天沼町* 2.5 2 さいたま浦和区高砂* 2.4 さいたま緑区中尾* 2.3 さいたま見沼区堀崎* 2.3 さいたま北区宮原* 2.2 春日部市谷原新田* 2.1 八潮市中央* 2.0 さいたま大宮区大門* 2.0 さいたま岩槻区本丸* 1.9 久喜市下早見* 1.9 狭山市入間川* 1.9 新座市野火止* 1.8 三郷市中央* 1.8 吉川市吉川* 1.8 川口市三ツ和* 1.7 入間市豊岡* 1.7 朝霞市本町* 1.7 春日部市粕壁* 1.7 越谷市越ヶ谷* 1.6 川越市旭町* 1.6 さいたま中央区下落合* 1.6 川口市中青木分室* 1.6 さいたま南区別所* 1.6 埼玉三芳町藤久保* 1.6 さいたま西区指扇* 1.6 白岡市千駄野* 1.6 久喜市菖蒲* 1.5 上尾市本町* 1.5 川口市青木* 1.5 加須市騎西* 1.5 春日部市金崎* 1.5 富士見市鶴馬* 1.5 1 熊谷市大里* 1.4 加須市大和根* 1.4 和光市広沢* 1.4 松伏町松伏* 1.4 鴻巣市川里* 1.3 所沢市北有楽町* 1.3 蕨市中央* 1.3 戸田市上戸田* 1.3 宮代町笠原* 1.3 杉戸町清地* 1.3 鴻巣市吹上富士見* 1.2 幸手市東* 1.2 さいたま桜区道場* 1.2 ふじみ野市福岡* 1.2	35° 39.1' N	139° 59.3' E	48km	M: 4.3

平成30年1月 地震・火山月報(防災編)

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		<p>ふじみ野市大井*1.2 志木市中宗岡*1.2 川島町下八ツ林*1.1 熊谷市江南*1.1 さいたま浦和区常盤*1.1 東松山市松葉町*1.1 鴻巣市中央*1.1 久喜市青葉*1.1 久喜市鷲宮*1.1 埼玉美里町木部*1.1 桶川市上日出谷*1.0 北本市本町*1.0 行田市南河原*1.0 久喜市栗橋*0.9 飯能市征矢町*0.9 行田市本丸*0.9 鶴ヶ島市三ツ木*0.9 伊奈町小室*0.9 越生町越生*0.9 加須市北川辺*0.9 吉見町下細谷*0.8 滑川町福田*0.7 嵐山町杉山*0.7 熊谷市桜町*0.7 蓮田市黒浜*0.7 熊谷市妻沼*0.7 毛呂山町中央*0.7 東松山市市ノ川*0.7 羽生市東*0.7 飯能市双柳*0.6 飯能市名栗*0.6 熊谷市宮町*0.6 ときがわ町桃木*0.6 日高市南平沢*0.6 深谷市花園*0.6 秩父市近戸町*0.5 長瀬町野上下郷*0.5</p>				
		<p>千葉県 3 千葉緑区おゆみ野*2.7 船橋市湊町*2.5 2 千葉中央区都町*2.4 千葉中央区中央港-2.3 習志野市鷺沼*2.2 市原市姉崎*2.2 木更津市富士見*2.2 千葉花見川区花島町*2.2 鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷*2.1 四街道市鹿渡*2.1 千葉稲毛区園生町*2.1 千葉中央区千葉市役所*2.0 浦安市日の出*2.0 八千代市大和田新田*2.0 市川市南八幡*1.9 白井市復*1.9 柏市旭町*1.9 君津市久留里市場*1.9 千葉若葉区小倉台*1.8 山武市埴谷*1.8 印西市大森*1.8 松戸市西馬橋*1.7 南房総市白浜町白浜*1.7 千葉美浜区ひび野*1.7 長南町長南*1.6 富津市下飯野*1.6 鋸南町下佐久間*1.6 野田市鶴泰*1.6 柏市柏*1.6 流山市平和台*1.6 浦安市猫実*1.6 千葉美浜区稲毛海岸*1.6 木更津市太田*1.6 東金市日吉台*1.5 大網白里市大網*1.5 千葉佐倉市海隣寺町*1.5 君津市久保*1.5 柏市大島田*1.5</p>				
		<p>茨城県 1 松戸市根本*1.3 我孫子市我孫子*1.3 印西市笠神*1.3 南房総市富浦町青木*1.3 野田市東宝珠花*1.2 成田市中台*1.2 印西市美瀬*1.2 袖ヶ浦市坂戸市場*1.2 茂原市道表*1.2 東金市東新宿*1.2 多古町多古*1.2 芝山町小池*1.2 山武市殿台*1.2 成田国際空港-1.1 八街市八街*1.1 栄町安食台*1.1 富里市七栄*1.1 南房総市谷向*1.1 東金市東岩崎*1.1 九十九里町片貝*1.1 長柄町大津倉*1.1 山武市松尾町富士見台*1.1 山武市蓮沼ニ*1.1 山武市蓮沼ハ*1.1 南房総市岩糸*1.0 旭市南堀之内*1.0 成田市役所*1.0 市原市国分寺台中央*1.0 長柄町桜谷*1.0 香取市仁良*1.0 横芝光町栗山*1.0 館山市長須賀*1.0 館山市北条*1.0 大多喜町大多喜*1.0 一宮町一宮*0.9 香取市役所*0.9 酒々井町中央台*0.8 成田市猿山*0.7 勝浦市墨名*0.6 鴨川市横渚*0.6 香取市佐原諏訪台*0.6 勝浦市新官*0.5 鴨川市八色*0.5 南房総市上堀*0.5 香取市佐原平田*0.5</p>				
		<p>栃木県 2 取手市寺田*1.7 坂東市岩井*1.6 取手市井野*1.5 笠間市石井*1.5 1 牛久市城中町*1.3 守谷市大柏*1.3 利根町布川*1.3 つくばみらい市福田*1.3 土浦市常名*1.3 取手市藤代*1.2 笠間市笠間*1.2 龍ヶ崎市役所*1.2 つくばみらい市加藤*1.1 石岡市柿岡*1.1 つくば市小莖*1.1 水戸市内原町*1.1 土浦市藤沢*1.1 稲敷市江戸崎甲*1.1 常総市水海道諏訪町*1.1 筑西市舟生*1.0 桜川市岩瀬*1.0 桜川市真壁*1.0 常総市新石下*1.0 笠間市中央*1.0 稲敷市伊佐津*1.0 小美玉市小川*0.9 牛久市中央*0.9 稲敷市結佐*0.9 茨城古河市下大野*0.9 筑西市門井*0.9 つくば市研究学園*0.9 茨城古河市仁連*0.9 桜川市羽田*0.9 美浦村受領*0.9 小美玉市上玉里*0.9 茨城町小堤*0.9 坂東市役所*0.9 かすみがうら市上土田*0.8 つくば市天王台*0.8 坂東市山*0.8 境町旭町*0.8 茨城鹿嶋市鉢形*0.8 笠間市下郷*0.7 小美玉市堅倉*0.7 常陸大宮市山方*0.7 石岡市若宮*0.7 石岡市八郷*0.7 常陸大宮市野口*0.7 阿見町中央*0.7 五霞町小福田*0.7 かすみがうら市大和田*0.7 下妻市本城町*0.7 土浦市田中*0.7 城里町石塚*0.7 常陸大宮市北町*0.5</p>				
		<p>東京都 2 市貝町市塙*1.9 真岡市石島*1.5 1 宇都宮市明保野町*1.1 栃木市岩舟町静*1.1 下野市笹原*1.1 益子町益子*1.0 宇都宮市中里町*0.9 鹿沼市晃望台*0.9 下野市田中*0.9 佐野市高砂町*0.8 芳賀町祖母井*0.8 日光市今市本町*0.8 下野市石橋*0.7 日光市中鉢石町*0.7 足利市大正町*0.7 栃木市旭町*0.7 茂木町茂木*0.7 栃木市藤岡町藤岡*0.6 日光市鬼怒川温泉大原*0.6 真岡市田町*0.6 日光市足尾町中才*0.5 日光市芹沼*0.5</p>				
		<p>神奈川県 2 東京北区西ヶ原*2.3 小平市小川町*2.3 東京北区神谷*2.2 東京江戸川区中央*2.2 東京練馬区光が丘*2.1 東京大田区本羽田*2.0 東京中野区中野*1.9 東京足立区神明南*1.9 東京江戸川区船堀*1.9 東京新宿区百人町*1.9 東京渋谷区本町*1.9 東京練馬区豊玉北*1.8 東京千代田区富士見*1.8 東京江戸川区鹿骨*1.8 東京足立区伊興*1.7 東京文京区本郷*1.7 東京品川区北品川*1.7 調布市西つじヶ丘*1.7 町田市中町*1.7 東村山市方*1.7 国分寺市戸倉*1.7 西東京市中町*1.7 東大和市中央*1.7 東京杉並区桃井*1.7 東京新宿区上落合*1.7 東京葛飾区立石*1.6 東京江東区越中島*1.6 東京品川区平塚*1.6 東京荒川区東尾久*1.6 東京板橋区相生町*1.6 清瀬市中里*1.5 東京中央区勝どき*1.5 東京練馬区東大泉*1.5 東京文京区大塚*1.5 八王子市堀之内*1.5</p>				
		<p>神奈川県 1 東京中央区築地*1.4 東京港区海岸*1.4 東京港区芝公園*1.4 東京大田区多摩川*1.4 東京世田谷区三軒茶屋*1.4 東京世田谷区成城*1.4 東京豊島区南池袋*1.4 町田市忠生*1.4 東京墨田区吾妻橋*1.3 東京国際空港*1.3 東京世田谷区世田谷*1.3 東京足立区千住中居町*1.3 町田市森野*1.3 小金井市本町*1.3 武蔵村山市本町*1.3 東京千代田区麴町*1.3 東京板橋区高島平*1.2 三鷹市野崎*1.2 日野市神明*1.2 多摩市関戸*1.2 稲城市東長沼*1.2 青梅市日向和田*1.2 東京港区白金*1.2 東京墨田区東向島*1.2 東京江東区森下*1.2 東京品川区広町*1.2 東京目黒区中央町*1.2 東京葛飾区金町*1.1 東京府中市朝日町*1.1 狛江市和泉本町*1.1 東京台東区東上野*1.1 東京江東区青海*1.1 東京江東区東陽*1.1 東京江東区亀戸*1.1 東京杉並区高井戸*1.1 東京中野区江古田*1.0 東京杉並区阿佐谷*1.0 東京足立区中央本町*1.0 東京中央区日本橋兜町*1.0 調布市小島町*1.0 東京新宿区西新宿*1.0 国分寺市本多*1.0 多摩市鶴牧*1.0 東京江東区枝川*1.0 清瀬市中清戸*0.9 瑞穂町箱根ヶ崎*0.9 あきる野市伊奈*0.9 東京板橋区板橋*0.9 八王子市石川町*0.9 立川市泉町*0.9 東京府中市寿町*0.9 武蔵野市吉祥寺南町*0.8 東京大田区蒲田*0.8 東京大田区大森東*0.8 東京世田谷区中町*0.8 東京墨田区横川*0.8 八王子市大横町*0.7 昭島市田中町*0.7 武蔵野市緑町*0.6 青梅市東青梅*0.5 国立市富士見台*0.5</p>				
		<p>神奈川県 2 横浜神奈川区神大寺*2.2 清川村煤ヶ谷*2.1 横浜港北区日吉本町*2.0 川崎川崎区宮前町*2.0</p>				

平成30年1月 地震・火山月報(防災編)

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		愛川町角田*2.0 横浜鶴見区末広町*1.9 横浜神奈川区広台太田町*1.9 相模原中央区上溝*1.9 横浜緑区十日市場町*1.7 横浜青葉区市ヶ尾町*1.7 川崎中原区小杉町*1.7 横浜中区山手町*1.6 横浜保土ヶ谷区上菅田町*1.6 横浜瀬谷区中屋敷*1.6 三浦市城山町*1.6 厚木市中町*1.6 横浜鶴見区馬場*1.5 横浜旭区川井宿町*1.5 川崎川崎区千鳥町*1.5 川崎宮前区宮前平*1.5 茅ヶ崎市茅ヶ崎=1.5 相模原緑区中野*1.5 1 横浜鶴見区鶴見*1.4 横浜西区浜松町*1.4 横浜港南区丸山台東部*1.4 横浜旭区今宿東町*1.4 横浜瀬谷区三ツ境*1.4 横浜青葉区榎が丘*1.4 大和市下鶴間*1.4 座間市緑ヶ丘*1.4 相模原中央区水郷田名*1.4 相模原南区磯部*1.4 相模原緑区橋本*1.4 横浜中区山吹町*1.3 横浜磯子区磯子*1.3 横浜磯子区洋光台*1.3 川崎中原区小杉陣屋町*1.3 相模原南区相模大野*1.3 相模原緑区大島*1.3 横浜中区山下町*1.2 横浜金沢区白帆*1.2 横浜戸塚区鳥が丘*1.2 横浜緑区鴨居*1.2 川崎川崎区中島*1.2 相模原中央区中央=1.2 横浜戸塚区平戸町*1.1 横浜旭区大池町*1.1 横浜旭区上白根町*1.1 横浜栄区小菅ヶ谷*1.1 川崎宮前区野川*1.1 川崎麻生区片平*1.1 藤沢市辻堂東海岸*1.1 秦野市曾屋=1.1 箱根町湯本*1.1 相模原緑区久保沢*1.1 横浜金沢区釜利谷南*1.0 横浜港北区大倉山*1.0 横浜都筑区池辺町*1.0 川崎高津区下作延*1.0 川崎多摩区登戸*1.0 綾瀬市深谷*1.0 小田原市荻窪*1.0 中井町比奈窪*1.0 湯河原町中央=1.0 横浜保土ヶ谷区神戸町*1.0 川崎幸区戸手本町*0.9 平塚市浅間町*0.9 藤沢市長後*0.9 海老名市大谷*0.9 横浜西区みなとみらい*0.9 伊勢原市伊勢原*0.9 松田町松田惣領*0.9 横浜中区日本大通*0.9 横浜港南区丸山台北部*0.8 南足柄市関本*0.8 神奈川大井町金子*0.8 横須賀市光の丘=0.8 横須賀市坂本町*0.6 相模原緑区小淵*0.6 群馬県 1 渋川市赤城町*1.3 邑楽町中野*1.1 大泉町日の出*0.8 沼田市白沢町*0.8 沼田市利根町*0.8 館林市美園町*0.8 千代田町赤岩*0.8 片品村東小川=0.7 前橋市粕川町*0.7 桐生市新里町*0.7 伊勢崎市西久保町*0.7 渋川市吹屋*0.7 伊勢崎市東町*0.6 太田市浜町*0.6 桐生市元宿町*0.6 桐生市黒保根町*0.6 板倉町板倉=0.5 太田市粕川町*0.5 沼田市西倉内町=0.5 安中市安中*0.5 山梨県 1 富士河口湖町長浜*1.4 大月市御大刀*1.1 笛吹市境川町藤壘*1.0 上野原市役所*1.0 山梨北杜市長坂町*0.8 富士河口湖町船津=0.8 笛吹市八代町南*0.7 上野原市上野原=0.6 長野県 1 中川村大草*0.5 静岡県 1 東伊豆町奈良本*1.2 伊豆市中伊豆グラウンド=1.0 伊豆の国市長岡*0.7 熱海市網代=0.5				
8	3 02 01	福島県中通り 山形県 福島県	37° 51.3' N	140° 23.4' E	9km	M: 3.4
		1 米沢市アルカディア=0.7 1 福島市五老内町*1.2 福島市桜木町*1.1 国見町藤田*1.0 桑折町東大隅*0.9 福島伊達市前川原*0.9 福島伊達市壘山町*0.7				
9	3 10 46	茨城県北部 茨城県	36° 20.4' N	140° 34.4' E	59km	M: 3.2
		1 日立市助川小学校*1.2 ひたちなか市南神敷台*0.9				
10	4 04 29	茨城県北部 茨城県	36° 29.0' N	140° 35.8' E	59km	M: 3.6
		2 日立市助川小学校*1.8 常陸大宮市北町*1.5 1 日立市十王町友部*1.3 東海村東海*1.3 常陸大宮市山方*1.3 那珂市瓜連*1.3 日立市役所*1.2 常陸太田市高柿町*1.0 城里町石塚*1.0 笠間市石井*0.9 大子町池田*0.9 常陸大宮市上小瀬*0.8 常陸太田市町屋町*0.7 ひたちなか市南神敷台*0.6 常陸大宮市中富町=0.6 福島県 1 浅川町浅川*0.5 栃木県 1 栃木那珂川町馬頭*1.0 大田原市湯津上*0.7 茂木町茂木*0.5 日光市鬼怒川温泉大原*0.5				
11	4 10 36	浦河沖 北海道	41° 53.4' N	143° 02.5' E	44km	M: 4.1
		2 浦河町潮見=1.5 1 えりも町えりも岬*1.0 浦河町築地*0.8 様似町栄町*0.7 広尾町並木通=0.5				
12	4 15 20	千葉県西北部 千葉県	35° 37.5' N	140° 07.2' E	72km	M: 3.8
		2 千葉中央区中央港=1.7 千葉中央区都町*1.7 千葉中央区千葉市役所*1.6 千葉緑区おゆみ野*1.5 1 長南町長南*1.4 千葉稲毛区園生町*1.4 船橋市湊町*1.4 千葉花見川区花島町*1.2 千葉若葉区小倉台*1.1 千葉美浜区ひび野=1.1 千葉美浜区稲毛海岸*1.1 東金市日吉台*1.1 市原市姉崎*1.1 習志野市鷺沼*1.0 浦安市日の出=1.0 山武市埴谷*0.9 東金市東新宿=0.9 山武市蓮沼ニ*0.9 白井市復*0.8 君津市久留里市場*0.8 八千代市大和田新田*0.8 長柄町大津倉=0.7 多古町多古=0.6 山武市松尾町富士見台=0.5 一宮町一宮=0.5 埼玉県 1 宮代町笠原*0.8 草加市高砂*0.7 東京都 1 東京北区神谷*1.0 東京足立区伊興*1.0 東京江戸川区船堀*0.8 東京足立区神明南*0.7 東京江戸川区中央=0.7 調布市西つつじヶ丘*0.6 神奈川県 1 大和市下鶴間*0.6 相模原中央区上溝*0.5				
13	4 21 36	長野県南部 長野県	35° 51.6' N	137° 35.6' E	7km	M: 1.9
		1 木曾町新開*0.7				
14	5 11 02	富山県西部 石川県	36° 52.2' N	136° 58.8' E	14km	M: 4.0
		3 七尾市本府中町*2.7 七尾市袖ヶ江町*2.5 中能登町能登部下*2.5 2 中能登町末坂*2.4 中能登町井田*2.4 羽咋市旭町*2.2 宝達志水町子浦*2.1 羽咋市柳田町=2.0 志賀町末吉千古*1.8 かほく市浜北*1.7 穴水町大町*1.6 七尾市垣吉町*1.6 七尾市中島町中島*1.5 1 宝達志水町今浜*1.4 かほく市高松*1.4 七尾市能登島向田町*1.2 輪島市鳳至町=0.9 志賀町香能*0.8 志賀町富来領家町=0.7 津幡町加賀爪=0.6 富山県 2 高岡市伏木=2.4 氷見市加納*2.3 射水市本町*2.3 射水市橋下条*1.9 高岡市広小路*1.8				

平成30年1月 地震・火山月報(防災編)

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
15	5 11 02	<p>富山市婦中町笹倉*1.6</p> <p>1 富山市新桜町*1.4 射水市加茂中部*1.4 射水市小島*1.3 立山町吉峰=1.0 富山市山田湯*0.8 立山町芦嶺寺*0.8 富山市楡原*0.8 富山市八尾町福島=0.7 富山市石坂=0.6 富山朝日町道下=0.6 魚津市釈迦堂=0.6 富山市今泉*0.6 高岡市福岡町*0.5 魚津市本江*0.5</p> <p>岐阜県</p> <p>1 高山市上宝町本郷*1.1 高山市奥飛騨温泉郷栞尾*1.0 飛騨市河合町元田*0.5</p> <p>茨城県沖</p> <p>35° 53.7' N 140° 53.4' E 41km M: 4.5</p> <p>茨城県</p> <p>3 神栖市溝口*2.7</p> <p>2 鉦田市波上*2.3 茨城鹿嶋市宮中*2.3 小美玉市上玉里*1.8 潮来市辻*1.8 茨城鹿嶋市鉢形=1.8 行方市麻生*1.7 ひたちなか市南神敷*1.7 神栖市波崎*1.7 行方市山田*1.7 小美玉市小川*1.6 水戸市内原町*1.6 潮来市堀之内=1.5 鉦田市造谷*1.5 東海村東海*1.5 行方市玉造*1.5</p> <p>1 鉦田市鉦田=1.4 稲敷市須賀津*1.3 かすみがうら市上土田*1.3 笠間市石井*1.3 土浦市常名=1.3 土浦市藤沢*1.3 石岡市若宮*1.3 稲敷市結佐*1.3 稲敷市江戸崎甲*1.2 小美玉市堅倉*1.2 土浦市田中*1.1 笠間市中央*1.1 かすみがうら市大和田*1.1 石岡市柿岡=1.1 桜川市岩瀬*1.0 那珂市福田*1.0 日立市助川小学校*1.0 茨城町小堤*1.0 大子町池田*1.0 常陸大宮市山方*0.9 那珂市瓜連*0.9 つくば市天王台*0.9 筑西市舟生=0.9 つくば市研究学園*0.9 美浦村受領*0.8 桜川市羽田*0.8 笠間市笠間*0.8 稲敷市伊佐津*0.8 ひたちなか市東石川*0.8 取手市寺田*0.8 水戸市金町=0.8 大洗町磯浜町*0.8 つくば市小茎*0.8 筑西市門井*0.7 牛久市城中町*0.7 ひたちなか市山ノ上町=0.6 常陸大宮市北町*0.6</p> <p>千葉県</p> <p>2 旭市南堀之内*2.4 旭市高生*2.2 香取市仁良*2.1 旭市二*1.8 多古町多古=1.8 香取市役所*1.8 旭市萩園*1.7 東庄町笹川*1.7 匝瑳市八日市場ハ*1.7 香取市羽根川*1.7 香取市佐原諏訪台*1.5</p> <p>1 横芝光町栗山*1.4 山武市埴谷*1.4 成田市松子*1.4 銚子市川口町=1.3 銚子市若宮町*1.3 東金市日吉台*1.3 九十九里町片貝*1.3 山武市松尾町富士見台=1.3 山武市松尾町五反田*1.3 香取市岩部*1.2 山武市殿台*1.2 山武市蓮沼ハ*1.2 八街市八街*1.2 山武市蓮沼ニ*1.1 神崎町神崎本宿*1.1 芝山町小池*1.1 東金市東新宿=1.0 東金市東岩崎*1.0 野田市鶴奉*1.0 市原市姉崎*1.0 千葉中央区都町*0.9 千葉若葉区小倉台*0.9 八千代市大和田新田*0.9 富里市七栄*0.9 千葉美浜区ひび野=0.8 栄町安食台*0.7 千葉稲毛区園生町*0.6 千葉中央区中央港=0.6 一宮町一宮=0.5</p> <p>福島県</p> <p>1 須賀川市八幡山*0.5</p> <p>栃木県</p> <p>1 真岡市石島*1.4 真岡市田町*1.0 那須烏山市中央=0.8 益子町益子=0.7</p> <p>群馬県</p> <p>1 渋川市赤城町*0.6</p>				
16	6 00 31	<p>熊本県天草・芦北地方</p> <p>熊本県</p> <p>1 八代市平山新町=0.9</p>	32° 25.4' N	130° 31.0' E	9km	M: 2.7
17	6 00 54	<p>東京湾</p> <p>東京都</p> <p>4 東京渋谷区本町*3.9 町田市中町*3.8 東京港区海岸=3.8 調布市西つじヶ丘*3.6 東京葛飾区立石*3.5 東京品川区北品川*3.5 東京中央区勝どき*3.5</p> <p>3 東京中野区中野*3.4 東京練馬区豊玉北*3.4 東京足立区神明南*3.4 東京北区西ヶ原*3.3 東京練馬区光が丘*3.3 東京江戸川区中央=3.3 町田市森野*3.3 東京千代田区大手町=3.3 東京港区白金*3.3 東京新宿区上落合*3.3 東京世田谷区三軒茶屋*3.3 八王子市堀之内*3.2 西東京市中町*3.2 東京新宿区西新宿=3.2 東京葛飾区金町*3.2 東京大田区本羽田*3.2 東京世田谷区世田谷*3.1 東京世田谷区成城*3.1 東京千代田区富士見*3.1 東京港区南青山*3.1 東京練馬区東大泉*3.1 東京墨田区東向島*3.1 東京品川区平塚*3.1 東京目黒区中央町*3.1 東京豊島区南池袋*3.0 東京北区神谷*3.0 東京江東区青海=3.0 東京江東区越中島*3.0 東京国際空港=3.0 東京江戸川区船堀*3.0 稲城市東長沼*3.0 東京文京区大塚*3.0 東京杉並区桃井*3.0 東京台東区千束*2.9 東京板橋区相生町*2.9 東京港区芝公園*2.9 町田市忠生*2.9 小平市小川町*2.9 東京中野区中央*2.9 東京新宿区百人町*2.9 東京文京区本郷*2.9 東京荒川区東尾久*2.8 調布市小島町*2.8 狛江市和泉本町*2.8 東大和市中央*2.8 東京足立区中央本町*2.7 東京江東区枝川*2.7 東京足立区千住中居町*2.7 東京足立区伊興*2.7 東京江戸川区鹿骨*2.7 東京中央区築地*2.7 多摩市関戸*2.7 東京江東区森下*2.6 三鷹市野崎*2.6 国分寺市戸倉=2.6 東京大田区多摩川*2.6 清瀬市中里*2.6 東京中野区江古田*2.6 東京千代田区麴町*2.6 東京府中市朝日町*2.5 東京江東区東陽*2.5 東京江東区亀戸*2.5 東京中央区日本橋兜町*2.5 東京品川区広町*2.5 八王子市石川町*2.5 東京杉並区高井戸*2.5</p> <p>2 東京大田区蒲田*2.4 東京大田区大森東*2.4 日野市神明*2.4 東京台東区東上野*2.3 東京墨田区横川=2.3 東京墨田区吾妻橋*2.3 東京杉並区阿佐谷=2.3 東京板橋区高島平*2.3 東京板橋区板橋*2.3 武蔵野市吉祥寺南町*2.3 小金井市本町*2.3 東村山市本町*2.3 東京世田谷区中町*2.2 武蔵野市緑町*2.2 国分寺市本多*2.2 東村山市美住町*2.1 昭島市田中町*2.0 清瀬市中清戸*2.0 東久留米市本町*2.0 武蔵村山市本町*2.0 あきる野市伊奈*1.9 八王子市大横町=1.9 東京府中市寿町*1.9 多摩市鶴牧*1.9 青梅市日向和田*1.9 国立市富士見台*1.8 瑞穂町箱根ヶ崎*1.7 羽村市緑ヶ丘*1.5 立川市泉町*1.5</p> <p>1 青梅市東青梅=1.4 福生市福生*1.2 檜原村本宿*1.2 日の出町平井*1.1 伊豆大島町元町=1.1 伊豆大島町差木地=0.8 伊豆大島町波浮港*0.8 東京利島村東山=0.7</p> <p>4 相模原南区相模大野*3.9 横浜鶴見区馬場*3.6 横浜神奈川区神大寺*3.6 横浜神奈川区広台太田町*3.5 横浜港北区日吉本町*3.5 横浜戸塚区鳥が丘*3.5 横浜緑区十日市場町*3.5 横浜青葉区榎が丘*3.5 川崎宮前区宮前平*3.5 大和市下鶴間*3.5 横浜保土ヶ谷区上菅田町*3.4 横浜瀬谷区三ツ境*3.4 横浜青葉区市ヶ尾町*3.4 川崎川崎区宮前町*3.4 横浜鶴見区末広町*3.3 横浜中区山手町=3.3 横浜瀬谷区中屋敷*3.3</p>	35° 38.6' N	140° 01.3' E	71km	M: 4.7
		<p>神奈川県</p>				

平成30年1月 地震・火山月報(防災編)

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		横浜鶴見区鶴見*3.2 横浜港南区丸山台東部*3.2 横浜旭区今宿東町*3.2 横浜旭区川井宿町*3.2 横浜緑区鴨居*3.2 横浜中区山吹町*3.1 川崎川崎区千鳥町*3.1 川崎中原区小杉町*3.1 座間市緑ヶ丘*3.1 相模原中央区中央*3.1 相模原中央区上溝*3.1 横浜旭区大池町*3.0 横浜都筑区池辺町*3.0 川崎宮前区野川*3.0 茅ヶ崎市茅ヶ崎*3.0 愛川町角田*3.0 相模原緑区橋本*3.0 川崎多摩区登戸*2.9 横浜中区山下町*2.9 相模原南区磯部*2.9 横浜磯子区磯子*2.8 横浜磯子区洋光台*2.8 川崎麻生区片平*2.8 藤沢市辻堂東海岸*2.8 横浜保土ヶ谷区神戸町*2.7 横浜金沢区白帆*2.7 横浜金沢区釜利谷南*2.7 横浜戸塚区平戸町*2.7 川崎川崎区中島*2.7 川崎幸区戸手本町*2.7 川崎高津区下作延*2.7 綾瀬市深谷*2.7 厚木市中町*2.7 横浜西区みなとみらい*2.7 清川村煤ヶ谷*2.7 横浜西区浜松町*2.7 相模原中央区水郷田名*2.7 横浜中区日本大通*2.6 川崎中原区小杉陣屋町*2.6 横浜港北区綱島西*2.6 横浜旭区上白根町*2.6 横浜泉区和泉町*2.6 相模原緑区大島*2.6 相模原緑区中野*2.6 横浜金沢区寺前*2.5 横浜港北区大倉山*2.5 藤沢市大庭*2.5 藤沢市長後*2.5 二宮町中里*2.5 横浜泉区岡津町*2.5 2 横浜戸塚区戸塚町*2.4 横浜港南区丸山台北部*2.4 藤沢市打戻*2.4 三浦市城山町*2.4 海老名市大谷*2.4 寒川町宮山*2.4 箱根町湯本*2.4 横浜南区六ツ川*2.3 横浜栄区小菅ヶ谷*2.3 横浜青葉区美しが丘*2.3 横浜都筑区茅ヶ崎*2.3 相模原緑区久保沢*2.3 川崎麻生区万福寺*2.2 横浜栄区桂台南*2.1 横須賀市光の丘*2.1 秦野市曾屋*2.1 中井町比奈窪*2.1 山北町山北*2.1 平塚市浅間町*2.0 小田原市荻窪*2.0 横浜南区大岡*1.9 藤沢市朝日町*1.9 逗子市桜山*1.9 厚木市下津古久*1.9 湯河原町中央*1.9 横須賀市坂本町*1.8 大磯町月京*1.8 神奈川大井町金子*1.8 伊勢原市伊勢原*1.7 南足柄市関本*1.7 松田町松田惣領*1.7 葉山町堀内*1.6 秦野市平沢*1.6 鎌倉市御成町*1.5 1 小田原市久野*1.4 相模原緑区小淵*1.4 開成町延沢*1.3 相模原緑区与瀬*1.3 真鶴町岩*1.2 相模原緑区若柳*1.1 3 坂東市岩井*3.0 筑西市舟生*2.8 取手市寺田*2.7 つくばみらい市福田*2.7 つくば市小茎*2.7 笠間市石井*2.7 常総市水海道諏訪町*2.6 笠間市中央*2.6 坂東市馬立*2.6 土浦市藤沢*2.6 常総市新石下*2.6 牛久市城中町*2.5 茨城古河市仁連*2.5 石岡市柿岡*2.5 土浦市常名*2.5 2 水戸市内原町*2.4 取手市井野*2.4 つくばみらい市加藤*2.4 龍ヶ崎市役所*2.3 笠間市笠間*2.3 境町旭町*2.3 守谷市大柏*2.3 筑西市門井*2.3 石岡市若宮*2.2 坂東市役所*2.2 笠間市下郷*2.2 かすみがうら市上土田*2.2 桜川市羽田*2.2 下妻市鬼怒*2.2 小美玉市小川*2.2 牛久市中央*2.2 小美玉市上玉里*2.2 桜川市真壁*2.1 茨城古河市下大野*2.1 稲敷市江戸崎*2.1 小美玉市堅倉*2.1 坂東市山*2.1 石岡市八郷*2.0 つくば市天王台*2.0 つくば市研究学園*2.0 五霞町小福田*2.0 土浦市田中*2.0 取手市藤代*2.0 稲敷市伊佐津*1.9 稲敷市結佐*1.9 八千代町菅谷*1.9 城里町石塚*1.9 桜川市岩瀬*1.9 利根町布川*1.9 茨城町小堤*1.8 下妻市本城町*1.8 美浦村受領*1.8 阿見町中央*1.8 常陸大宮市野口*1.8 かすみがうら市大和田*1.7 行方市玉造*1.7 稲敷市役所*1.7 結城市結城*1.7 常陸大宮市山方*1.7 河内町源清田*1.7 日立市十王町友部*1.6 神栖市溝口*1.6 筑西市下中山*1.6 城里町阿波山*1.5 東海村東海*1.5 鉾田市造谷*1.5 鉾田市汲上*1.5 茨城古河市長谷町*1.5 茨城鹿嶋市鉢形*1.5 水戸市千波町*1.5 1 水戸市金町*1.4 ひたちなか市南神敷台*1.4 常陸大宮市北町*1.4 潮来市辻*1.4 城里町徳蔵*1.3 行方市麻生*1.3 鉾田市鉾田*1.3 那珂市福田*1.3 那珂市瓜連*1.3 常陸太田市金井町*1.2 日立市助川小学校*1.2 稲敷市須賀津*1.2 行方市山田*1.2 大子町池田*1.2 潮来市堀之内*1.1 高萩市安良川*1.1 常陸大宮市高部*1.1 常陸大宮市上小瀬*1.1 ひたちなか市東石川*1.1 常陸太田市高柿町*1.0 常陸太田市町屋町*0.9 常陸大宮市中富町*0.9 日立市役所*0.7 常陸太田市町田町*0.6 3 真岡市石島*2.9 市貝町市塙*2.9 下野市田中*2.5 鹿沼市晃望台*2.5 2 宇都宮市明保野町*2.4 佐野市高砂町*2.4 下野市笹原*2.4 益子町益子*2.3 足利市大正町*2.2 栃木市岩舟町静*2.2 壬生町通町*2.2 下野市石橋*2.2 真岡市荒町*2.1 日光市今市本町*2.0 栃木市旭町*2.0 鹿沼市今宮町*2.0 真岡市田町*1.9 大田原市湯津上*1.9 芳賀町祖母井*1.9 栃木市藤岡町藤岡*1.9 栃木市大平町富田*1.8 茂木町茂木*1.8 日光市鬼怒川温泉大原*1.8 高根沢町石末*1.8 佐野市葛生東*1.8 鹿沼市口栗野*1.8 日光市芹沼*1.7 野木町丸林*1.7 佐野市田沼町*1.7 宇都宮市中里町*1.7 小山市神鳥谷*1.7 日光市中鉢石町*1.5 栃木市都賀町家中*1.5 栃木市西方町本城*1.5 矢板市本町*1.5 1 日光市瀬川*1.4 日光市湯元*1.4 日光市足尾町中才*1.4 日光市日蔭*1.4 塩谷町玉生*1.4 那須塩原市塩原庁舎*1.4 宇都宮市旭*1.4 佐野市中町*1.4 上三川町しらさぎ*1.3 宇都宮市塙田*1.3 栃木市万町*1.3 小山市中央町*1.3 日光市藤原*1.2 那須塩原市あたご町*1.2 那須烏山市中央*1.2 栃木さくら市氏家*1.1 茂木町北高岡天矢場*1.1 日光市中宮祠*1.0 那須町寺子*1.0 栃木さくら市喜連川*0.9 栃木那珂川町馬頭*0.8 栃木那珂川町小川*0.8 日光市足尾町通洞*0.7 大田原市黒羽田町*0.7 那須烏山市大金*0.7 那須塩原市中塩原*0.6 那須塩原市鍋掛*0.5 群馬県 3 邑楽町中野*2.7 2 渋川市赤城町*2.3 太田市西本町*2.2 大泉町日の出*2.2 桐生市新里町*2.1 千代田町赤岩*2.1 沼田市利根町*2.0 前橋市粕川町*2.0 伊勢崎市西久保町*2.0 館林市美園町*2.0 桐生市元宿町*1.9 桐生市黒保根町*1.9 みどり市東町*1.9 みどり市大間々町*1.9 太田市浜町*1.8 沼田市西倉内町*1.8 沼田市白沢町*1.8 伊勢崎市東町*1.7 館林市城町*1.7 板倉町板倉*1.7 群馬明和町新里*1.7 片品村東小川*1.6 渋川市吹屋*1.6 沼田市下久屋町*1.6 太田市粕川町*1.6 前橋市堀越町*1.5 安中市安中*1.5 前橋市鼻毛石町*1.5 桐生市織姫町*1.5 1 前橋市富士見町*1.4 甘楽町小幡*1.4 高崎市吉井町吉井川*1.3 太田市大原町*1.3 みどり市笠懸町*1.3 群馬昭和田村糸井*1.2 伊勢崎市今泉町*1.2 伊勢崎市境*1.2 太田市新田金井町*1.2 渋川市伊香保町*1.1 藤岡市鬼石*1.1 富岡市七日市*1.1 吉岡町下野田*1.1 神流町神ヶ原*1.1 玉村町下新田*1.1 片品村鎌田*1.1 高崎市新町*1.1 神流町生利*1.0 高崎市高松町*1.0 富岡市妙義町*1.0 東吾妻町奥田*0.9 前橋市大手町*0.8				

平成30年1月 地震・火山月報(防災編)

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		埼玉県				安中市松井田町*0.8 渋川市北橋町*0.7 みなかみ町鹿野沢*0.7 前橋市駒形町*0.7 渋川市村上*0.6 高崎市箕郷町*0.6 東吾妻町原町*0.6 前橋市昭和町*0.6 渋川市有馬*0.6 渋川市石原*0.6 川場村谷地*0.5 高崎市足門町*0.5 群馬上野村川和*0.5 下仁田町下小坂*0.5 中之条町日影*0.5 東吾妻町本宿*0.5 3 朝霞市本町*3.3 新座市野火止*3.3 春日部市柏壁*3.2 さいたま緑区中尾*3.1 さいたま大宮区天沼町*3.1 三郷市中央*3.0 草加市高砂*3.0 八潮市中央*2.9 富士見市鶴馬*2.9 春日部市金崎*2.9 埼玉三芳町藤久保*2.9 さいたま浦和区高砂*2.9 久喜市下早見*2.9 宮代町笠原*2.8 川口市三ツ和*2.8 さいたま南区別所*2.8 和光市広沢*2.8 白岡市千駄野*2.8 狭山市入間川*2.8 加須市騎西*2.7 さいたま中央区下落合*2.7 久喜市青葉*2.7 川口市中青木分室*2.7 吉川市吉川*2.7 加須市大利根*2.6 幸手市東*2.6 杉戸町清地*2.6 さいたま北区宮原*2.6 所沢市北有楽町*2.6 川越市旭町*2.5 蕨市中央*2.5 入間市豊岡*2.5 志木市中宗岡*2.5 2 熊谷市大里*2.4 久喜市菖蒲*2.4 川越市新宿町*2.4 川口市青木*2.4 春日部市谷原新田*2.4 伊奈町小室*2.4 さいたま大宮区大門*2.4 さいたま見沼区堀崎*2.4 さいたま岩槻区本丸*2.3 ふじみ野市大井*2.3 熊谷市江南*2.3 鴻巣市吹上富士見*2.3 久喜市栗橋*2.3 久喜市鷲宮*2.3 上尾市本町*2.3 越谷市越ヶ谷*2.3 戸田市上戸田*2.3 川島町下八ツ林*2.3 さいたま西区指扇*2.3 さいたま桜区道場*2.2 鴻巣市中央*2.2 ふじみ野市福岡*2.2 鴻巣市川里*2.2 吉見町下細谷*2.2 松伏町松伏*2.1 加須市北川辺*2.1 さいたま浦和区常盤*2.1 東松山市松葉町*2.1 所沢市並木*2.0 桶川市上日出谷*2.0 北本市本町*1.9 蓮田市黒浜*1.9 埼玉美里町木部*1.9 羽生市東*1.8 ときがわ町桃木*1.8 行田市南河原*1.8 加須市三俣*1.8 東松山市市ノ川*1.8 鶴ヶ島市三ツ木*1.7 滑川町福田*1.7 行田市本丸*1.7 毛呂山町中央*1.6 飯能市双柳*1.6 熊谷市桜町*1.6 熊谷市妻沼*1.6 嵐山町杉山*1.5 越生町越生*1.5 長瀨町野上下郷*1.5 1 熊谷市宮町*1.4 飯能市征矢町*1.4 坂戸市千代田*1.4 日高市南平沢*1.4 深谷市川本*1.2 深谷市花園*1.2 小川町大塚*1.2 飯能市名栗*1.2 秩父市上町*1.2 秩父市近戸町*1.2 鳩山町大豆戸*1.1 東秩父村御堂*1.1 上里町七本木*1.1 埼玉神川町下阿久原*1.0 ときがわ町玉川*1.0 深谷市仲町*1.0 深谷市岡部*1.0 秩父市荒川*1.0 本庄市本庄*0.9 秩父市熊木町*0.9 皆野町皆野*0.9 長瀨町本野上*0.9 小鹿野町小鹿野*0.9 寄居町寄居*0.9 飯能市相生*0.9 横瀬町横瀬*0.8 小鹿野町役場両神庁舎*0.6 秩父市中津川*0.6 千葉県
		千葉県				3 千葉中央区都町*3.3 船橋市湊町*3.2 流山市平和台*3.2 千葉花見川区花島町*3.2 千葉稲毛区園生町*3.2 野田市鶴奉*3.1 鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷*3.1 白井市復*3.1 千葉中央区中央港*3.0 松戸市西馬橋*3.0 市原市姉崎*3.0 八千代市大和田新田*3.0 市川市南八幡*2.9 柏市旭町*2.9 柏市柏*2.9 習志野市鷺沼*2.8 浦安市日の出*2.7 千葉若葉区小倉台*2.7 木更津市富士見*2.7 千葉緑区おゆみ野*2.7 松戸市根本*2.7 柏市大島田*2.7 千葉中央区千葉市役所*2.7 浦安市猫実*2.6 野田市東宝珠花*2.5 富津市下飯野*2.5 鋸南町下佐久間*2.5 2 長南町長南*2.4 千葉美浜区ひび野*2.4 千葉美浜区稲毛海岸*2.4 四街道市鹿渡*2.4 君津市久留里市場*2.4 南房総市富浦町青木*2.4 我孫子市我孫子*2.3 印西市大森*2.3 千葉佐倉市海隣寺町*2.2 館山市長須賀*2.2 南房総市谷向*2.2 館山市北条*2.1 君津市久保*2.1 南房総市岩糸*2.1 香取市役所*2.0 木更津市太田*2.0 袖ヶ浦市坂戸市場*2.0 東金市日吉台*1.9 長柄町大津倉*1.9 山武市埴谷*1.9 印西市笠神*1.8 印西市美瀬*1.8 栄町安食台*1.8 長柄町桜谷*1.8 鴨川市横渚*1.7 成田市中台*1.7 市原市国分寺台中央*1.7 茂原市道表*1.6 東金市東新宿*1.6 八街市八街*1.6 旭市南堀之内*1.6 南房総市上堀*1.6 南房総市白浜町白浜*1.6 神崎町神崎本宿*1.5 芝山町小池*1.5 鴨川市八色*1.5 香取市佐原平田*1.5 いすみ市国府台*1.5 香取市仁良*1.5 山武市蓮沼二*1.5 大網白里市大網*1.5 成田国際空港*1.5 成田市役所*1.5 1 東金市東岩崎*1.4 九十九里町片貝*1.4 香取市佐原諏訪台*1.4 香取市羽根川*1.4 山武市殿台*1.4 山武市蓮沼ハ*1.4 成田市松子*1.4 酒々井町中央台*1.4 富里市七栄*1.4 大多喜町大多喜*1.4 横芝光町宮川*1.3 横芝光町栗山*1.3 南房総市久枝*1.3 南房総市千倉町瀬戸*1.3 多古町多古*1.3 いすみ市岬町長者*1.2 一宮町一宮*1.2 睦沢町下之郷*1.2 白子町関*1.2 香取市岩部*1.2 山武市松尾町富士見台*1.2 匝瑳市八日市場ハ*1.1 山武市松尾町五反田*1.1 成田市猿山*1.1 勝浦市墨名*1.1 匝瑳市今泉*1.0 勝浦市新官*0.9 鴨川市天津*0.9 長生村本郷*0.9 鴨川市内浦*0.6 2 玉川村小高*1.7 福島県
		山梨県				1 白河市東*1.3 白河市新白河*1.1 白河市大信*1.1 棚倉町棚倉中居野*1.0 田村市大越町*1.0 郡山市湖南町*1.0 須賀川市岩瀬支所*0.9 田村市常葉町*0.9 浪江町幾世橋*0.9 南会津町松戸原*0.9 須賀川市八幡山*0.9 矢祭町東館*0.9 西郷村熊倉*0.8 白河市郭内*0.8 鏡石町不時沼*0.8 古殿町松川新桑原*0.8 天栄村下松本*0.7 下郷町塩生*0.7 浅川町浅川*0.7 田村市都路町*0.7 田村市滝根町*0.7 いわき市三和町*0.7 いわき市錦町*0.7 南会津町田島*0.6 檜葉町北田*0.6 天栄村湯本支所*0.6 郡山市朝日*0.6 いわき市小名浜*0.5 2 富士河口湖町長浜*2.2 笛吹市境川町藤壘*1.7 大月市御太刀*1.7 上野原市上野原*1.6 上野原市役所*1.6 富士河口湖町船津*1.6 忍野村忍草*1.5 山中湖村山中*1.5 1 甲府市飯田*1.4 都留市上谷*1.4 山梨北杜市長坂町*1.3 甲府市相生*1.2 笛吹市役所*1.2 西桂町小沼*1.2 甲府市下曾根町*1.1 昭和町押越*1.1 甲斐市下今井*1.1 笛吹市八代町南*1.1 甲州市塩山上於首*1.1 甲州市勝沼町勝沼*1.1 大月市大月*1.1 小菅村小菅小学校*1.0 笛吹市春日居町寺本*0.9 甲州市塩山下於首*0.9 甲州市役所*0.9 富士吉田市上吉田*0.9 大月市役所*0.9 富士河口湖町勝山*0.9 山梨市牧丘町窪平*0.9 山梨北杜市明野町*0.8 身延町大磯小磯*0.8 甲府市古閑町*0.7 鳴沢村役場*0.7 山梨北杜市健康ランド須玉*0.5 静岡県
		静岡県				2 伊豆市中伊豆グラウンド*2.3 熱海市網代*2.1 東伊豆町奈良本*2.1 沼津市戸田*1.8 富士宮市野中*1.8 熱海市中央町*1.7 伊豆の国市長岡*1.7 河津町田中*1.6 富士市大淵*1.6 富士宮市弓沢町*1.5 富士市吉永*1.5 1 熱海市泉*1.4 静岡駿河区曲金*1.4 西伊豆町宇久須*1.3 函南町平井*1.3 静岡葵区駒形通*1.3

平成30年1月 地震・火山月報(防災編)

地震番号	震源時日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		静岡清水区蒲原新栄*1.3 小山町藤曲*1.2 伊豆の国市田京*1.1 御殿場市萩原=1.1 東伊豆町稲取*1.0 伊豆の国市四日町*1.0 富士市永田町*1.0 伊東市大原=0.9 静岡葵区追手町市役所*0.9 静岡清水区千歳町=0.9 松崎町江奈*0.8 西伊豆町仁科*0.8 伊豆市八幡*0.8 富士市岩瀬*0.8 長泉町中土狩*0.8 藤枝市岡部町岡部*0.8 静岡葵区追手町県庁*0.8 沼津市高島本町*0.7 三島市東本町=0.7 富士市本市場*0.7 御殿場市茶沢沢*0.7 静岡清水区由比北田*0.6 伊豆市市山*0.5 下田市中*0.5 宮城県 1 岩沼市桜*0.7 新潟県 1 南魚沼市六日町=0.8 南魚沼市塩沢庁舎*0.8 長岡市山古志竹沢*0.7 南魚沼市塩沢小学校*0.6 長野県 1 長野南牧村海ノ口*1.3 佐久市中込*1.1 茅野市葛井公園*0.8 小海町豊里*0.7 長野川上村大深山*0.7 佐久穂町畑*0.7 軽井沢町追分=0.6 長野高森町下市田*0.6 中川村大草*0.5				
18	6 01 07	千葉県東方沖 千葉県 1 銚子市若宮町*1.2 旭市萩園*0.9 銚子市川口町=0.7 旭市高生*0.6 香取市仁良*0.6 多古町多古=0.5	35° 48.8' N	140° 57.9' E	30km	M: 3.2
19	6 03 11	熊本県熊本地方 熊本県 1 熊本西区春日=0.5	32° 40.2' N	130° 42.2' E	15km	M: 2.5
20 (注)	6 04 37 6 04 38	伊豆半島東方沖 伊豆大島近海 静岡県 3 東伊豆町奈良本*3.0 2 河津町田中*1.9 東伊豆町稲取*1.8 下田市中*1.6 伊豆市中伊豆グラウンド=1.6 1 熱海市泉*1.3 下田市加増野=1.2 函南町平井*1.1 伊豆の国市四日町*1.1 伊豆の国市長岡*1.1 西伊豆町仁科*0.8 熱海市網代=0.8 三島市東本町=0.8 長泉町中土狩*0.7 西伊豆町宇久須*0.6 熱海市中央町*0.6 伊東市大原=0.6 千葉県 2 鋸南町下佐久間*1.6 1 南房総市富浦町青木*1.1 館山市長須賀=0.6 東京都 2 伊豆大島町元町=1.5 1 東京利島村東山=1.2 東京中野区中野*0.8 国分寺市戸倉=0.8 新島村本村*0.7 国分寺市本多*0.6 町田市忠生*0.6 伊豆大島町差木地=0.5 神奈川県 2 湯河原町中央=1.7 1 中井町比奈窪*1.1 厚木市中町*1.1 横浜泉区岡津町*1.0 横浜金沢区白帆*0.8 大磯町月京*0.6 横浜中区山手町=0.6	34° 51.1' N 34° 50.6' N	139° 15.2' E 139° 14.5' E	12km 10km	M: 4.4 M: 3.7
21	6 05 47	伊豆半島東方沖 千葉県 3 鋸南町下佐久間*2.7 南房総市富浦町青木*2.6 2 富津市下飯野*1.9 館山市北条*1.8 南房総市千倉町瀬戸*1.7 館山市長須賀=1.7 南房総市谷向*1.6 南房総市岩*1.5 南房総市久枝*1.5 木更津市富士見*1.5 1 君津市久留里市場*1.4 君津市久保*1.4 南房総市上堀=1.2 市原市姉崎*1.1 南房総市白浜町白浜*1.0 長南町長南*0.9 袖ヶ浦市坂戸市場*0.8 鴨川市横濱*0.8 木更津市太田=0.7 勝浦市墨名=0.7 千葉美浜区ひび野=0.7 鴨川市八色=0.6 静岡県 3 東伊豆町奈良本*3.0 伊豆市中伊豆グラウンド=2.6 2 伊豆の国市長岡*2.1 伊東市大原=2.0 河津町田中*1.9 長泉町中土狩*1.9 伊豆の国市四日町*1.8 東伊豆町稲取*1.6 函南町平井*1.6 熱海市網代=1.6 三島市東本町=1.6 熱海市泉*1.5 伊豆の国市田京*1.5 1 下田市中*1.3 三島市大社町*1.3 沼津市高島本町*1.2 富士宮市弓沢町=1.2 富士宮市野中*1.2 静岡清水町堂庭*1.2 熱海市中央町*1.0 下田市加増野=1.0 南伊豆町下賀茂*1.0 伊豆市八幡*1.0 伊豆市小立野*1.0 西伊豆町宇久須*0.9 西伊豆町仁科*0.8 富士市吉永*0.8 松崎町江奈*0.5 埼玉県 2 所沢市北有楽町*1.5 1 入間市豊岡*0.7 和光市広沢*0.7 狭山市入間川*0.7 鶴ヶ島市三ツ木*0.6 さいたま北区宮原*0.5 東京都 2 伊豆大島町元町=1.9 東京利島村東山=1.5 1 国分寺市本多*1.4 国分寺市戸倉=1.3 新島村本村*1.3 東京中野区中野*1.2 伊豆大島町差木地=1.2 町田市忠生*1.2 伊豆大島町波浮港*1.0 東京千代田区大手町=1.0 町田市森野*0.9 小平市小川町*0.9 小金井市本町*0.8 東京中野区江古田*0.8 新島村大原=0.8 日野市神明*0.8 東京新宿区上落合*0.7 東京大田区本羽田*0.7 東京江戸川区中央=0.7 八王子市堀之内*0.7 東京府中市朝日町*0.6 調布市西つつじヶ丘*0.6 東京練馬区東大泉*0.6 東京杉並区高井戸*0.5 東京世田谷区成城*0.5 東京練馬区光が丘*0.5 青梅市日向和田*0.5 東京品川区平塚*0.5 三鷹市野崎*0.5 神奈川県 2 湯河原町中央=2.3 小田原市荻窪*2.0 厚木市中町*1.8 三浦市城山町*1.8 横浜金沢区白帆*1.7 中井町比奈窪*1.7 横浜泉区岡津町*1.7 横浜西区浜松町*1.6 横須賀市光の丘=1.6 横浜中区山手町=1.5 厚木市下津古久*1.5 横浜保土ヶ谷区上菅田町*1.5 1 横浜金沢区寺前*1.4 真鶴町岩*1.4 横浜旭区川井宿町*1.3 横浜瀬谷区三ツ境*1.3 川崎中原区小杉町*1.3 横須賀市坂本町*1.3 横浜金沢区釜利谷南*1.2 横浜緑区十日市場町*1.2 横浜栄区小菅ヶ谷*1.2 横浜神奈川区神大寺*1.2 横浜中区山下町*1.2 横浜磯子区磯子*1.2 横浜磯子区洋光台*1.2 横浜瀬谷区中屋敷*1.1 藤沢市辻堂東海岸*1.1 綾瀬市深谷*1.1 横浜旭区大池町*1.1 相模原南区磯部*1.1 横浜鶴見区末広町*1.0 大磯町月京*1.0 松田町松田惣領*1.0 愛川町角田*1.0 清川村煤ヶ谷*1.0 相模原中央区上溝*1.0 横浜神奈川区広台太田町*1.0 川崎宮前区宮前平*1.0 横浜保土ヶ谷区神戸町*1.0 大和市下鶴間*1.0 海老名市大谷*1.0 秦野市曾屋=0.9 南足柄市関本*0.9 横浜中区日本大通*0.9 横浜港南区丸山台東部*0.9 横浜旭区今宿東町*0.9	34° 51.1' N 34° 50.6' N	139° 14.7' E 139° 14.5' E	11km 10km	M: 4.5 M: 3.7

平成30年1月 地震・火山月報(防災編)

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		相模原南区相模大野*0.9 相模原緑区中野*0.9 相模原中央区水郷田名*0.8 川崎宮前区野川*0.8 箱根町湯本*0.8 横浜旭区上白根町*0.7 相模原緑区久保沢*0.7 鎌倉市御成町*0.6 藤沢市朝日町*0.6 茅ヶ崎市茅ヶ崎*0.6 平塚市浅間町*0.5 山梨県 1 大月市御太刀*0.9 笛吹市八代町南*0.7				
22	6 06 13	伊豆半島東方沖 静岡県 1 東伊豆町奈良本*1.0	34° 51.3' N	139° 14.8' E	12km	M: 2.6
23	6 09 26	兵庫県南西部 兵庫県 2 加古川市志方町*1.5 1 姫路市安田*0.8	34° 49.4' N	134° 45.4' E	15km	M: 3.0
24	6 13 06	浦河沖 北海道 1 函館市泊町*0.6 函館市川汲町*0.6 浦河町潮見*0.6	41° 58.7' N	142° 30.0' E	49km	M: 3.8
25	6 20 30	奄美大島近海 鹿児島県 2 瀬戸内町請島*2.1 1 瀬戸内町加計呂麻島*0.9 瀬戸内町与路島*0.6	27° 57.5' N	129° 18.4' E	15km	M: 3.5
26	6 22 45	青森県東方沖 青森県 2 野辺地町田狭沢*1.6 野辺地町野辺地*1.6 階上町道仏*1.5 1 五戸町古館*1.4 青森南部町平*1.4 三戸町在府小路町*1.3 青森南部町苦米地*1.3 八戸市内丸*1.3 東通村白糠*1.3 八戸市南郷*1.2 八戸市湊町*1.2 東通村砂子又沢内*1.2 横浜町林ノ脇*1.1 東北町上北南*1.1 おいらせ町中下田*1.1 平内町東田沢*1.1 三沢市桜町*1.1 五戸町倉石中市*1.1 むつ市金曲*1.0 六戸町大落瀬*1.0 七戸町森ノ上*1.0 青森南部町沖田面*1.0 外ヶ浜町蟹田*0.9 佐井村長後*0.8 むつ市大畑町中島*0.8 むつ市川内町*0.8 七戸町七戸*0.8 東北町塔ノ沢山*0.8 十和田市奥瀬*0.7 東通村砂子又蒲谷地*0.7 おいらせ町上明堂*0.7 六ヶ所村尾駈*0.6 十和田市西二番町*0.5 岩手県 2 盛岡市藪川*1.6 1 軽米町軽米*1.2 盛岡市洪民*1.0 二戸市浄法寺町*0.9 八幡平市田頭*0.9 岩手洋野町種市*0.5 盛岡市山王町*0.5 北海道 1 函館市泊町*1.3	40° 42.5' N	142° 41.4' E	22km	M: 4.5
27	7 08 45	島根県西部 島根県 1 大田市仁摩町仁万*1.1 川本町川本*0.6 大田市温泉津町小浜*0.5	35° 06.2' N	132° 26.2' E	13km	M: 2.9
28	7 11 23	宮城県沖 宮城県 2 気仙沼市赤岩*1.5 気仙沼市笹が陣*1.5 1 気仙沼市唐桑町*1.1 南三陸町志津川*0.9 登米市東和町*0.7 石巻市北上町*0.7 石巻市桃生町*0.7 岩手県 1 大船渡市大船渡町*1.2 大船渡市猪川町*1.2 一関市千厩町*1.0 一関市室根町*0.9 陸前高田市高田町*0.7 一関市藤沢町*0.7	38° 53.2' N	141° 58.4' E	49km	M: 3.9
29	7 18 19	茨城県沖 福島県 2 白河市表郷*1.8 白河市東*1.5 白河市新白河*1.5 泉崎村泉崎*1.5 1 郡山市湖南町*1.4 棚倉町棚倉中居野*1.3 玉川村小高*1.3 いわき市小名浜*1.2 天栄村下松本*1.2 浅川町浅川*1.2 鏡石町不時沼*1.1 古殿町松川新桑原*1.1 田村市滝根町*1.1 郡山市開成*1.1 白河市八幡小路*1.1 矢祭町戸塚*1.1 須賀川市岩瀬支所*1.1 白河市郭内*1.0 郡山市朝日*0.9 いわき市錦町*0.9 石川町長久保*0.9 田村市大越町*0.9 白河市大信*0.9 本宮市白岩*0.9 矢祭町東館*0.8 本宮市本宮*0.8 須賀川市八幡山*0.8 大玉村南小屋*0.8 棚倉町棚倉館ヶ丘*0.7 川俣町五百田*0.7 いわき市三和町*0.7 浪江町幾世橋*0.6 いわき市平四ツ波*0.6 二本松市油井*0.6 田村市常葉町*0.5 田村市都路町*0.5 古殿町松川横川*0.5 茨城県 2 東海村東海*2.4 ひたちなか市南神敷台*2.3 水戸市千波町*2.0 高萩市安良川*1.9 笠間市石井*1.9 水戸市内原町*1.9 日立市助川小学校*1.9 鉾田市汲上*1.9 常陸太田市金井町*1.8 水戸市金町*1.8 那珂市福田*1.6 土浦市常名*1.6 茨城鹿嶋市宮中*1.6 日立市十王町友部*1.6 常陸大宮市上小瀬*1.5 高萩市本町*1.5 小美玉市上玉里*1.5 笠間市笠間*1.5 ひたちなか市山ノ上町*1.5 1 日立市役所*1.4 笠間市中央*1.4 茨城町小堤*1.4 茨城鹿嶋市鉢形*1.4 鉾田市造谷*1.4 ひたちなか市東石川*1.3 大子町池田*1.3 城里町石塚*1.3 常陸太田市高柿町*1.3 北茨城市磯原町*1.2 那珂市瓜連*1.2 石岡市柿岡*1.2 笠間市下郷*1.2 潮来市堀之内*1.2 かすみがうら市上土田*1.2 行方市山田*1.2 小美玉市堅倉*1.1 土浦市藤沢*1.1 下妻市鬼怒*1.1 筑西市門井*1.1 大洗町磯浜町*1.1 常陸大宮市北町*1.1 常陸大宮市野口*1.1 小美玉市小川*1.1 下妻市本城町*1.0 行方市麻生*1.0 鉾田市鉾田*1.0 牛久市城中町*1.0 神栖市溝口*0.9 石岡市若宮*0.9 桜川市岩瀬*0.9 桜川市羽田*0.9 常総市新石下*0.9 つくば市天王台*0.9 潮来市辻*0.9 稲敷市江戸崎甲*0.9 筑西市舟生*0.9 常陸大宮市山方*0.9 かすみがうら市大和田*0.9 土浦市田中*0.8 つくば市研究学園*0.8 城里町徳蔵*0.8 桜川市真壁*0.8 坂東市山*0.8 稲敷市須賀津*0.8 取手市寺田*0.8 常陸大宮市高部*0.8 行方市玉造*0.7 常陸太田市町屋町*0.7 美浦村受領*0.7 阿見町中央*0.7 石岡市八郷*0.7 つくば市小茎*0.6 常総市水海道諏訪町*0.6 常陸太田市町田町*0.6 稲敷市伊佐津*0.5 城里町阿波山*0.5 牛久市中央*0.5 栃木県 2 市貝町市塙*1.6 大田原市湯津上*1.5 益子町益子*1.5 那須烏山市中央*1.5 1 真岡市石島*1.2 茂木町茂木*1.2 那須烏山市大金*1.2 芳賀町祖母井*1.1	36° 17.6' N	141° 04.2' E	47km	M: 4.4

平成30年1月 地震・火山月報(防災編)

地震番号	震源時 日時分	震源地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		宇都宮市中里町*=1.0 真岡市田町*=0.9 下野市田中*=0.9 下野市笹原*=0.9 真岡市荒町*=0.8 栃木那珂川町馬頭*=0.7 栃木那珂川町小川*=0.7 日光市中鉢石町*=0.7 宇都宮市明保野町=0.7 那須烏山市役所*=0.7 日光市鬼怒川温泉大原*=0.5				
		群馬県 1 渋川市赤城町*=0.8 桐生市黒保根町*=0.5 沼田市利根町*=0.5				
		埼玉県 1 宮代町笠原*=0.5				
		千葉県 1 香取市役所*=1.3 香取市仁良*=1.2 香取市佐原平田=1.0 香取市佐原諏訪台*=1.0 旭市南堀之内*=0.9 旭市二*=0.9 野田市鶴奉*=0.8 八千代市大和田新田*=0.8 旭市萩園*=0.7 芝山町小池*=0.7 山武市埴谷*=0.7 香取市羽根川*=0.6 成田国際空港=0.6 成田市松子*=0.6 習志野市鷺沼*=0.6 柏市旭町=0.6 白井市復*=0.6 富里市七栄*=0.5				
30	8 04 56	周防灘 山口県 1 防府市寿=1.1 防府市西浦*=0.5	34° 03.5' N	131° 46.5' E	17km	M: 3.1
31	9 00 56	瀬戸内海中部 愛媛県 1 今治市吉海町*=1.3 今治市宮窪町*=1.2 今治市南宝来町二丁目=0.7 今治市菊間町*=0.6	34° 02.7' N	133° 03.6' E	15km	M: 3.1
32	9 05 52	伊予灘 山口県 3 周防大島町久賀*=2.7 2 上関町長島*=2.4 周防大島町小松*=2.3 周防大島町東和総合支所*=2.3 防府市西浦*=2.0 周防大島町平野*=2.0 山口市秋徳東*=1.9 周防大島町西安下庄*=1.9 山口市前町=1.7 柳井市大島*=1.7 平生町平生*=1.6 防府市寿=1.6	33° 46.5' N	132° 12.3' E	57km	M: 4.3
		広島県 1 岩国市今津=1.4 山口市阿知須*=1.4 岩国市横山*=1.3 光市中央*=1.3 美祿市秋芳町秋吉*=1.2 岩国市本郷町本郷*=1.2 柳井市南町*=1.2 山口市秋徳二島*=1.2 山口市龜山町*=1.1 周南市富田*=1.1 岩国市由宇町*=1.1 上関町室津*=1.1 田布施町下田布施=1.1 和木町和木*=1.0 山口市小郡下郷*=1.0 下松市大手町*=1.0 岩国市周東町下久原*=0.9 山口市徳地堀*=0.8 周南市岐山通り*=0.8 光市岩田*=0.8 萩市川上*=0.7 美祿市大嶺町*=0.7 宇部市東須恵*=0.7 山陽小野田市日の出*=0.7 山口市阿東徳佐*=0.7 周南市熊毛中央町*=0.7 岩国市玖珂総合支所*=0.7 萩市土原=0.6 周南市桜馬場通り*=0.6 宇部市常盤町*=0.6 長門市三隅*=0.5 阿武町奈古*=0.5				
		2 呉市二河町*=2.2 府中町大通り*=1.9 坂町役場*=1.9 呉市宝町=1.8 呉市広*=1.8 江田島市沖美町*=1.8 呉市音戸町*=1.8 江田島市大柿町*=1.7 呉市川尻町*=1.7 呉市倉橋町鷹ヶ巣=1.7 呉市安浦町*=1.7 広島中区羽衣町*=1.6 海田町上市*=1.6 呉市下蒲刈町*=1.5 安芸高田市向原町長田*=1.5 広島安佐北区可部南*=1.5				
		1 大竹市小方*=1.4 廿日市市津田*=1.4 北広島町有田=1.3 広島南区宇品海岸*=1.3 大崎上島町中野*=1.3 三原市焼山*=1.2 大崎上島町東野*=1.2 呉市蒲刈町*=1.2 広島西区己斐*=1.2 広島安芸区中野*=1.2 安芸高田市向原町*=1.1 東広島市黒瀬町=1.1 呉市豊町*=1.1 廿日市市宮島町*=1.1 江田島市江田島町*=1.1 広島安佐南区祇園*=1.0 熊野町役場*=1.0 広島中区上八丁堀=1.0 広島佐伯区利松*=1.0 安芸太田町中筒賀*=0.9 東広島市福富町*=0.9 廿日市市下平良*=0.9 三原市円一町=0.9 大崎上島町木江*=0.9 東広島市西条栄町*=0.8 呉市豊浜町*=0.8 安芸太田町戸河内*=0.8 三原市本郷南*=0.8 世羅町西上原*=0.7 東広島市河内町*=0.7 安芸高田市美土里町*=0.6 北広島町川小田*=0.6 尾道市瀬戸田町*=0.6 竹原市中央*=0.6 北広島町都志見=0.5 三原市館町*=0.5 三原市久井町*=0.5 尾道市向島町*=0.5 北広島町豊平郵便局*=0.5 東広島市豊栄町*=0.5 呉市郷原町*=0.5 安芸高田市甲田町*=0.5 神石高原町油木*=0.5 廿日市市吉和*=0.5				
		愛媛県 2 八幡浜市五反田*=2.2 西予市明浜町*=2.2 松山市中島大浦*=2.2 宇和島市三間町*=2.2 西予市野村町=2.1 宇和島市吉田町*=2.0 大洲市大洲*=2.0 大洲市長浜*=1.9 伊方町湊浦*=1.8 今治市菊間町*=1.8 内子町平岡*=1.7 八幡浜市保内町*=1.7 西予市宇和町*=1.7 西予市三瓶町*=1.5 愛南町船越*=1.5 大洲市肱川町*=1.5 松野町松丸*=1.5				
		1 宇和島市住吉町=1.4 宇和島市津島町*=1.4 久万高原町久万*=1.3 今治市吉海町*=1.2 松山市北条辻*=1.2 宇和島市丸穂*=1.2 愛南町柏*=1.2 八幡浜市広瀬=1.1 内子町内子*=1.1 今治市大三島町*=1.0 松山市富久町*=1.0 伊予市双海町*=1.0 愛媛鬼北町近永*=1.0 伊予市下吾川*=0.9 松山市北持田町=0.9 西条市丹原町鞍瀬=0.8 今治市大西町*=0.8 大洲市河辺町*=0.8 伊方町三崎*=0.8 今治市上浦町*=0.8 砥部町総津*=0.8 砥部町宮内*=0.8 上島町弓削*=0.7 内子町小田*=0.7 伊方町三机*=0.7 西予市城川町*=0.7 愛南町城辺*=0.7 今治市宮窪町*=0.7 愛媛鬼北町下鍵山*=0.6 東温市南方*=0.6 今治市南宝来町二丁目=0.5				
		熊本県 2 産山村山鹿*=1.5				
		大分県 1 阿蘇市波野*=1.1 2 姫島村役場*=2.1 国東市田深*=2.1 国東市鶴川=1.8 豊後高田市御玉*=1.7 大分市佐賀関*=1.7 竹田市直入町*=1.5				
		1 国東市国見町西方寺=1.4 国東市国見町伊美*=1.4 国東市武蔵町*=1.4 大分市新春日町*=1.4 豊後高田市香々地*=1.3 豊後高田市真玉*=1.2 国東市安岐町*=1.2 杵築市南杵築*=1.2 宇佐市上田*=1.1 大分市舞鶴町*=1.1 日出町役場*=1.1 豊後大野市清川町*=1.1 別府市天間=1.0 臼杵市臼杵*=1.0 大分市明野北=0.9 杵築市山香町*=0.9 津久見市宮本町*=0.9 中津市植野*=0.8 豊後大野市千歳町*=0.8 津久見市立花町*=0.6 佐伯市蒲江蒲江浦=0.6 竹田市竹田小学校*=0.6				
		島根県 1 吉賀町六日市*=0.7 益田市常盤町*=0.7 邑南町淀原*=0.7 吉賀町柿木村柿木*=0.5				
		高知県 1 宿毛市桜町*=1.3 佐川町役場*=1.2 宿毛市片島=0.9 黒潮町佐賀*=0.9 梶原町広野*=0.5 四万十町大正*=0.5				
		宮崎県 1 高千穂町三田井=0.9				
33	9 06 58	鹿児島湾 鹿児島県 1 鹿児島市喜入町*=0.8	31° 22.9' N	130° 38.2' E	6km	M: 2.4
34	9 07 22	愛知県西部 長野県 1 売木村役場*=1.0	35° 14.6' N	137° 14.0' E	47km	M: 2.9

平成30年1月 地震・火山月報(防災編)

地震番号	震源時日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
35	9 13 43	岐阜県 愛知県 岩手県沖 岩手県 青森県 宮城県	39° 38.0' N	142° 06.2' E	49km	M: 4.1
		1 土岐市肥田*=1.0 八百津町八百津*=1.0 川辺町中川辺*=0.5 1 豊田市足助町*=0.5 3 宮古市鉾ヶ崎=2.6 山田町大沢*=2.6 宮古市五月町*=2.5 2 宮古市田老*=2.2 山田町八幡町=2.1 宮古市川井*=1.9 釜石市中妻町*=1.8 釜石市只越町=1.7 1 宮古市茂市*=1.4 住田町世田米*=1.4 花巻市大迫町=1.3 遠野市宮守町*=1.3 大船渡市猪川町=1.2 花巻市大迫総合支所*=1.2 遠野市青笹町*=1.2 野田村野田*=1.2 一関市大東町=1.2 一関市室根町*=1.2 宮古市長沢=1.1 田野畑村田野畑=1.1 一関市千厩町*=1.1 田野畑村役場*=1.1 普代村銅屋*=1.1 大槌町小鎗*=1.0 宮古市区界*=1.0 大船渡市大船渡町=1.0 矢巾町南矢幅*=0.9 盛岡市山王町=0.9 盛岡市藪川*=0.9 陸前高田市高田町*=0.8 久慈市枝成沢=0.8 岩泉町岩泉*=0.8 葛巻町葛巻元木=0.7 八幡平市田頭*=0.7 盛岡市馬場町*=0.7 盛岡市渋民*=0.7 奥州市胆沢区*=0.6 大船渡市盛町*=0.6 一関市東山町*=0.6 久慈市長内町*=0.5 金ヶ崎町西根*=0.5 1 階上町道仏*=1.1 青森南部町苦米地*=0.8 青森南部町平*=0.8 八戸市内丸*=0.7 八戸市湊町=0.7 五戸町古館=0.6 1 気仙沼市赤岩=1.2 気仙沼市唐桑町*=0.9 気仙沼市笹が陣*=0.6				
36	10 07 20	千葉県東方沖 茨城県 千葉県	35° 25.3' N	141° 13.9' E	34km	M: 4.7
		1 石岡市柿岡=0.6 笠間市石井*=0.6 1 銚子市若宮町*=1.4 旭市南堀之内*=1.3 旭市高生*=1.2 旭市萩園*=1.2 銚子市川口町=1.1 長南町長南*=1.1 香取市役所*=1.1 旭市ニ*=1.0 香取市仁良*=0.9 市原市姉崎*=0.9 東金市日吉台*=0.8 山武市蓮沼ニ*=0.8 多古町多古=0.8 千葉中央区都町*=0.7 香取市佐原平田=0.7				
37	10 07 30	千葉県東方沖 茨城県 千葉県	35° 25.3' N	141° 12.7' E	32km	M: 5.2
		2 神栖市溝口*=1.8 小美玉市上玉里*=1.7 神栖市波崎*=1.6 稲敷市結佐*=1.6 潮来市辻*=1.5 1 筑西市舟生=1.3 河内町源清田*=1.3 稲敷市伊佐津*=1.3 取手市井野*=1.2 稲敷市須賀津*=1.2 茨城鹿嶋市鉢形=1.2 鉾田市汲上*=1.2 潮来市堀之内=1.2 笠間市石井*=1.2 美浦村受領*=1.1 龍ヶ崎市役所*=1.1 行方市麻生*=1.1 稲敷市江戸崎甲*=1.1 石岡市柿岡=1.1 鉾田市鉾田=1.0 土浦市常名=0.9 つくば市天王台*=0.9 利根町布川=0.9 坂東市岩井=0.9 2 旭市南堀之内*=2.2 長南町長南*=2.0 旭市高生*=1.9 旭市萩園*=1.9 銚子市若宮町*=1.9 横芝光町宮川*=1.9 市原市姉崎*=1.9 いすみ市岬町長者*=1.9 長生村本郷*=1.8 白子町関*=1.8 匝瑳市今泉*=1.8 旭市ニ*=1.8 横芝光町栗山*=1.8 多古町多古=1.8 陸沢町下之郷*=1.8 いすみ市国府台*=1.8 香取市羽根川*=1.7 九十九里町片貝*=1.7 東金市日吉台*=1.7 山武市蓮沼ニ*=1.7 匝瑳市八日市場ハ*=1.7 香取市役所*=1.7 山武市蓮沼ハ*=1.6 千葉中央区都町*=1.6 銚子市川口町=1.6 一宮町一宮=1.5 山武市松尾町五反田*=1.5 大網白里市大網*=1.5 香取市仁良*=1.5 印西市大森*=1.5 東庄町笹川*=1.5 東金市東岩崎*=1.5 1 東金市東新宿=1.4 芝山町小池*=1.4 香取市佐原平田=1.4 山武市埴谷*=1.4 山武市殿台*=1.4 千葉中央区中央港=1.4 印西市笠神*=1.4 館山市長須賀=1.4 館山市北条*=1.4 勝浦市墨名=1.4 勝浦市新官*=1.4 君津市久留里市場*=1.4 鋸南町下佐久間*=1.4 いすみ市大原*=1.4 浦安市日の出=1.3 八街市八街*=1.3 山武市松尾町富士見台=1.3 茂原市道表*=1.3 鴨川市横渚*=1.3 千葉美浜区ひび野=1.3 松戸市西馬橋*=1.3 成田市役所*=1.3 成田国際空港=1.2 成田市松子*=1.2 大多喜町大多喜*=1.2 千葉佐倉市海隣寺町*=1.2 南房総市谷向*=1.2 野田市鶴奉*=1.1 長柄町大津倉=1.1 香取市佐原諏訪台*=1.1 香取市岩部*=1.1 千葉中央区千葉市役所*=1.1 千葉若葉区小倉台*=1.1 神崎町神崎本宿*=1.1 鴨川市八色=1.1 千葉緑区おゆみ野*=1.0 千葉美浜区稲毛海岸*=1.0 千葉花見川区花島町*=1.0 鴨川市内浦=0.9 木更津市太田=0.8 南房総市上堀=0.7 柏市旭町=0.7 栃木県 埼玉県				
		1 真岡市田町*=0.6 益子町益子=0.5 1 宮代町笠原*=1.4 春日部市谷原新田*=1.3 さいたま緑区中尾*=1.2 草加市高砂*=1.1 さいたま南区別所*=1.0 川口市三ツ和*=1.0 八潮市中央*=1.0 吉川市吉川*=1.0 加須市大和根*=0.9 川口市青木*=0.9 さいたま中央区下落合*=0.9 春日部市金崎*=0.9 白岡市千駄野*=0.8 富士見市鶴馬*=0.8 三郷市中央*=0.8 鴻巣市吹上富士見*=0.8 蕨市中央*=0.8 杉戸町清地*=0.8 入間市豊岡*=0.8 志木市中宗岡*=0.8 久喜市青葉*=0.8 戸田市上戸田*=0.7 久喜市菖蒲*=0.7 さいたま浦和区高砂*=0.7 久喜市下早見=0.6 東京都				
		1 東京江戸川区船堀*=1.4 東京江東区森下*=1.3 東京江東区越中島*=1.2 東京江東区枝川*=1.2 東京荒川区東尾久*=1.2 東京足立区神明南*=1.2 東京足立区千住中居町*=1.2 東京北区神谷*=1.1 東京千代田区大手町=1.0 東京墨田区東向島*=1.0 東京江東区亀戸*=0.9 東京板橋区高島平*=0.9 東京足立区伊興*=0.9 東京葛飾区金町*=0.9 東京江東区青海=0.8 東京国際空港=0.8 東京大田区本羽田*=0.8 東京大田区多摩川*=0.7 東京中央区勝どき*=0.7 東京品川区北品川*=0.7 東京江戸川区鹿骨*=0.7 東京品川区平塚*=0.5 神奈川県				
		1 横浜神奈川区広台太田町*=1.2 横浜中区山手町=1.2 川崎川崎区千鳥町*=0.9 川崎川崎区中島*=0.9 湯河原町中央=0.9 川崎幸区戸手本町*=0.8 茅ヶ崎市茅ヶ崎=0.8 川崎宮前区野川*=0.7 三浦市城山町*=0.7 横須賀市光の丘=0.6 静岡県				
		1 東伊豆町奈良本*=0.8 伊豆市中伊豆グラウンド=0.7 河津町田中*=0.6 伊豆の国市長岡*=0.6				
38	10 08 38	茨城県南部 茨城県	35° 58.3' N	140° 02.9' E	62km	M: 3.3
		1 つくば市小荊*=1.1 筑西市舟生=0.8 土浦市常名=0.6 取手市寺田*=0.6 桜川市真壁*=0.5				
39	10 08 57	鳥取県中部 鳥取県	35° 25.7' N	133° 49.7' E	8km	M: 1.9
		1 北栄町土下*=0.5				
40	10 11 08	岩手県内陸南部 岩手県	39° 25.8' N	141° 43.0' E	70km	M: 3.3
		1 宮古市茂市*=0.6 花巻市大迫総合支所*=0.6 住田町世田米*=0.5 釜石市中妻町*=0.5 一関市大東町=0.5				

平成30年1月 地震・火山月報(防災編)

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
41	10 20 03	日高地方中部 北海道 2 むかわ町松風* 1 函館市泊町* 1 函館市北栄* 1 苫小牧市旭町* 1 苫小牧市末広町* 1 本別町北2丁目* 1 新ひだか町三石旭町* 1 日高地方日高町門別* 2 階上町道仏* 1 東通村砂子又沢内* 1 八戸市湊町* 1 盛岡市薮川*	42° 31.3' N	142° 27.9' E	125km	M: 4.3 函館市新浜町* 千歳市若草* 厚真町鹿沼* 千歳市支笏湖温泉* 南幌町栄町* 南幌町栄町* 新千歳空港* 室蘭市寿町* 北広島市共栄* むかわ町穂別* 函館市川汲町* 安平町早来北進* 札幌厚別区もみじ台* 登別市桜木町* 江別市緑町* 安平町追分柏が丘* 恵庭市京町* 札幌南区真駒内* 胆振伊達市大滝区本町* 新ひだか町静内山手町* 登別市鉾山* 大間町大間* 東通村砂子又蒲谷地* 八戸市内丸* 久慈市枝成沢*
42	10 23 37	岩手県沖 青森県 1 階上町道仏* 1 青森南部町苦米地* 岩手県 1 軽米町軽米*	40° 15.5' N	142° 14.6' E	41km	M: 3.8 八戸市湊町* 八戸市内丸* 三戸町在府小路町* 青森南部町平*
43	11 05 05	千葉県北東部 千葉県 1 横芝光町宮川* 1 横芝光町栗山* 1 山武市蓮沼二* 1 山武市壘谷* 1 香取市仁良*	35° 42.9' N	140° 43.0' E	50km	M: 3.4 芝山町小池* 旭市南堀之内* 東金市日吉台* 多古町多古* 成田市松子* 東金市東岩崎* 山武市松尾町富士見台* 旭市二* 東金市東新宿*
44	12 01 07	秋田県内陸南部 秋田県 1 大仙市神宮寺*	39° 29.0' N	140° 25.3' E	9km	M: 2.0
45	12 01 55	宮城県沖 岩手県 1 一関市東山町* 1 一関市千厩町* 宮城県 1 気仙沼市唐桑町*	38° 40.0' N	141° 29.2' E	70km	M: 3.5 南三陸町志津川* 石巻市北上町* 女川町女川浜*
46	12 06 28	岐阜県飛騨地方 岐阜県 1 高山市高根町*	36° 00.8' N	137° 24.7' E	8km	M: 2.0
47	12 08 31	岩手県沖 岩手県 1 遠野市青笹町* 1 花巻市大迫総合支所* 1 宮古市鉾ヶ崎*	39° 41.3' N	142° 05.0' E	51km	M: 3.7
48	12 21 17	熊本県阿蘇地方 熊本県 2 阿蘇市一の宮町* 1 阿蘇市内牧* 大分県 1 由布市庄内町*	32° 57.0' N	131° 02.9' E	8km	M: 3.1 南阿蘇村中松* 阿蘇市波野* 産山村山鹿* 熊本高森町高森* 菊池市旭志*
49	12 21 18	熊本県阿蘇地方 熊本県 1 南阿蘇村中松*	32° 57.0' N	131° 02.9' E	8km	M: 2.4
50	13 08 56	宮城県沖 岩手県 2 一関市千厩町* 1 一関市藤沢町* 1 一関市東山町* 1 大船渡市大船渡町* 2 登米市石越町* 1 石巻市北上町* 1 気仙沼市笹が陣* 1 栗原市志波姫* 1 南三陸町志津川* 1 宮城美里町北浦* 1 宮城美里町木間塚* 1 栗原市鶯沢* 1 大崎市古川三日町* 1 松島町高城* 1 石巻市鮎川浜*	38° 41.3' N	141° 40.4' E	65km	M: 3.9 一関市室根町* 奥州市胆沢区* 奥州市衣川区* 北上市相去町* 一関市東山町* 花巻市東和町* 住田町世田米* 陸前高田市高田町* 一関市川崎町* 登米市豊里町* 登米市南方町* 石巻市桃生町* 登米市登米町* 石巻市泉町* 登米市東和町* 登米市迫町* 気仙沼市赤岩* 東松島市矢本* 仙台宮城野区苦竹* 登米市米山町* 栗原市一迫* 栗原市栗駒* 岩沼市桜* 栗原市築館* 栗原市若柳* 名取市増田* 石巻市前谷地* 栗原市金成* 大崎市古川北町* 仙台青葉区大倉*
51	13 11 05	鹿児島湾 鹿児島県 1 鹿児島市喜入町*	31° 22.9' N	130° 38.2' E	6km	M: 2.6
52	13 14 37	茨城県北部 福島県 2 矢祭町戸塚* 1 白河市郭内* 1 いわき市錦町* 1 古殿町松川横川* 茨城県 2 常陸太田市大中町*	36° 48.0' N	140° 32.5' E	9km	M: 3.9 矢祭町東館* 棚倉町棚倉中居野* 浅川町浅川* 白河市新白河* 玉川村小高* 白河市東* 古殿町松川新桑原* 田村市都路町* 棚倉町棚倉館ヶ丘* 日立市助川小学校* 大子町池田*

平成30年1月 地震・火山月報(防災編)

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		1 高萩市安良川*=1.2 常陸太田市町田町*=1.0 笠間市笠間*=1.0 ひたちなか市南神敷台*=1.0 東海村東海*=1.0 常陸大宮市山方*=1.0 日立市役所*=0.9 ひたちなか市東石川*=0.9 常陸太田市高柿町*=0.8 北茨城市磯原町*=0.8 笠間市石井*=0.8 土浦市常名=0.8 常陸太田市町屋町=0.7 高萩市本町*=0.7 水戸市内原町*=0.6 那珂市福田*=0.6 城里町石塚*=0.6 笠間市中央*=0.6 常陸大宮市上小瀬*=0.5 那珂市瓜連*=0.5 常陸大宮市北町*=0.5 日立市十王町友部*=0.5				
53	14 03 13	栃木県 1 宇都宮市明保野町=0.5				
		長野県南部 1 上松町駅前通り*=0.9 木曾町新開*=0.6	35° 45.2' N	137° 45.5' E	6km	M: 2.8
54	14 18 07	浦河沖 北海道	41° 56.2' N	143° 02.8' E	41km	M: 4.7
		4 浦河町潮見=4.0 3 浦河町築地*=2.9 様似町栄町*=2.5 2 函館市泊町*=1.9 浦幌町桜町*=1.9 広尾町並木通=1.6 十勝大樹町東本通*=1.6 十勝大樹町生花*=1.5 浦河町野深=1.5 広尾町白樺通=1.5 幕別町忠類錦町*=1.5 1 函館市新浜町*=1.4 新冠町北星町*=1.4 えりも町えりも岬*=1.3 新ひだか町三石旭町*=1.2 新ひだか町静内山手町=1.1 むかわ町穂別*=1.1 函館市川汲町*=1.1 札幌東区元町*=1.0 新ひだか町静内御幸町*=0.9 安平町早来北准*=0.9 えりも町目黒*=0.9 えりも町本町=0.8 豊頃町茂岩本町*=0.8 本別町北2丁目=0.8 安平町追分柏が丘*=0.8 江別市緑町*=0.7 新得町2条*=0.7 帯広市東6条*=0.7 登別市桜木町*=0.7 厚真町鹿沼=0.7 更別村更別*=0.7 本別町向陽町*=0.6 恵庭市京町*=0.6 帯広市東4条=0.6 千歳市若草*=0.6 千歳市支笏湖温泉*=0.6 鹿部町宮浜*=0.6 白糠町西1条*=0.5 士幌町士幌*=0.5 釧路市音別町尺別=0.5				
		青森県 2 東通村砂子又沢内*=1.9 1 東通村砂子又蒲谷地=1.4 野辺地町田狭沢*=1.3 青森南部町平*=1.3 大間町大間*=1.3 むつ市金曲=1.2 むつ市大畑町中島*=1.2 階上町道仏*=1.2 八戸市南郷*=1.1 七戸町森ノ上*=1.0 東北町上北南*=1.0 野辺地町野辺地*=1.0 七戸町七戸*=0.8 青森南部町苔米地*=0.8 五戸町古館=0.7 五戸町倉石中市*=0.7 外ヶ浜町蟹田*=0.7 むつ市川内町*=0.7 六ヶ所村尾駈=0.6 八戸市湊=0.5 八戸市内丸*=0.5 横浜町林ノ脇*=0.5 東通村尻屋*=0.5				
		岩手県 1 盛岡市薮川*=0.6				
55	15 03 12	伊豆大島近海	34° 50.8' N	139° 15.1' E	11km	M: 3.4
		静岡県 3 東伊豆町奈良本*=2.8 1 河津町田中*=1.1 東伊豆町稲取*=0.8 伊豆市中伊豆グラウンド=0.8 下田市中*=0.6 熱海市泉*=0.5				
		神奈川県 1 湯河原町中央=0.7				
56	15 05 05	鹿児島湾 鹿児島県 1 鹿児島市喜入町*=1.1	31° 22.9' N	130° 38.3' E	6km	M: 2.2
57	15 23 56	青森県下北地方 青森県 1 佐井村長後*=0.5	41° 11.1' N	140° 49.3' E	10km	M: 2.4
58	16 08 43	青森県下北地方 青森県 1 むつ市脇野沢*=1.4 佐井村長後*=1.0	41° 11.2' N	140° 49.3' E	10km	M: 2.8
59	16 13 16	京都府南部 京都府 1 京都左京区花脊*=0.7 京都右京区京北周山町*=0.7	35° 15.0' N	135° 41.3' E	7km	M: 2.4
60	16 14 13	宮崎県北部平野部 宮崎県 1 宮崎美郷町田代*=0.5	32° 25.3' N	131° 34.1' E	53km	M: 2.5
61	16 15 40	福島県沖 福島県 1 白河市新白河*=1.1 川俣町五百田*=0.9 田村市都路町*=0.7 本宮市本宮*=0.6 檜葉町北田*=0.6 大玉村南小屋=0.5	37° 12.5' N	141° 19.5' E	21km	M: 3.9
62	16 17 58	福島県沖 福島県 1 田村市都路町*=1.3 檜葉町北田*=1.1 川内村下川内=1.0 福島広野町下北迫大谷地原*=0.9	37° 07.0' N	141° 08.5' E	50km	M: 3.5
63	16 18 49	釧路沖 北海道 2 根室市落石東*=2.1 根室市厚床*=2.0 浜中町湯沸=1.8 根室市牧の内*=1.8 浜中町霧多布*=1.7 根室市瑠瑠瑠*=1.7 別海町常盤=1.6 厚岸町尾幌=1.5 1 標茶町塘路*=1.4 標津町北2条*=1.3 中標津町養老牛=1.2 弟子屈町弟子屈*=1.0 別海町西春別*=1.0 別海町本別海*=0.8 標茶町川上*=0.6 厚岸町真栄*=0.6 根室市弥栄=0.6	42° 52.0' N	145° 27.4' E	64km	M: 4.1
64	17 00 07	沖縄本島近海 鹿児島県 2 知名町瀬利覚=1.8 1 伊仙町伊仙*=1.0 和泊町国頭=0.7 知名町知名*=0.5	27° 24.6' N	128° 38.7' E	43km	M: 3.4
65	17 11 41	和歌山県北部 和歌山県 1 和歌山市一番丁*=0.5	34° 12.1' N	135° 10.1' E	6km	M: 2.2
66	17 14 35	淡路島付近 兵庫県 1 淡路市久留麻*=1.4 淡路市郡家*=1.4 三木市細川町=1.1 洲本市五色町都志*=0.9 明石市中崎=0.6	34° 26.8' N	134° 53.4' E	10km	M: 3.2

平成30年1月 地震・火山月報(防災編)

地震 番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		明石市相生*0.6 神戸垂水区日向*0.6 南あわじ市福良=0.5				
67	17 18 48	熊本県熊本地方 熊本県 1 宇城市豊野町*1.1 熊本西区春日=0.9	32° 42.5' N	130° 44.2' E	11km	M: 2.5
68	17 19 47	奄美大島近海 鹿児島県 1 瀬戸内町西古見=1.0 瀬戸内町与路島*1.0 瀬戸内町請島*0.8 瀬戸内町古仁屋*0.6	27° 58.5' N	129° 24.9' E	31km	M: 3.5
69	18 05 36	沖縄本島近海 鹿児島県 1 知名町瀬利覚=0.8	27° 15.5' N	128° 24.6' E	47km	M: 3.4
70	18 10 51	父島近海 東京都 2 小笠原村父島西町=2.3 小笠原村父島三日月山=2.2 小笠原村母島=1.8	27° 20.2' N	142° 15.8' E	67km	M: 5.2
71	18 18 30	上川地方南部 北海道 1 富良野市若松町=0.6	43° 21.0' N	142° 28.3' E	10km	M: 2.3
72	19 08 22	千葉県北東部 茨城県 2 神栖市波崎*1.9 1 石岡市柿岡=0.5 稲敷市江戸崎甲*0.5 稲敷市須賀津*0.5 千葉県 2 銚子市若宮町*2.0 1 銚子市川口町=1.3 旭市高生*1.3 旭市萩園*1.0 芝山町小池*0.9 香取市仁良*0.9 一宮町一宮=0.8 旭市南堀之内*0.8 東金市日吉台*0.7 野田市鶴奉*0.7 山武市埴谷*0.6 山武市蓮沼ハ*0.6 千葉中央区都町*0.6 山武市松尾町富士見台=0.6 山武市蓮沼ニ*0.5 市原市姉崎*0.5	35° 43.1' N	140° 51.6' E	9km	M: 3.8
73	19 15 43	茨城県北部 茨城県 1 日立市助川小学校*0.6	36° 31.5' N	140° 33.8' E	56km	M: 2.8
74	19 15 45	長野県南部 長野県 2 伊那市高遠町荊口=1.6 南箕輪村役場*1.5 1 伊那市長谷溝口*1.4 箕輪町中箕輪*0.7 伊那市下新田*0.6 諏訪市高島*0.6 塩尻市木曾平沢*0.6	35° 52.7' N	138° 05.4' E	7km	M: 3.2
75	19 21 00	根室半島南東沖 北海道 2 根室市落石東*2.2 根室市瑠瑠瑠*2.1 中標津町丸山*1.9 根室市牧の内*1.9 別海町常盤=1.7 標津町北2条*1.6 根室市厚床*1.6 別海町本別海*1.6 根室市豊里=1.6 1 浜中町霧多布*1.3 根室市弥栄=1.3 標茶町塘路*1.2 浜中町湯沸=0.9 釧路市幸町=0.9 白糠町西1条*0.8 厚岸町真栄*0.7 弟子屈町弟子屈*0.7 標茶町川上*0.6 標津町薫別*0.5	43° 31.5' N	146° 22.7' E	81km	M: 4.7
76	20 07 10	日向灘 宮崎県 1 延岡市北浦町古江*0.7 延岡市北川町川内名白石*0.5	32° 48.4' N	132° 08.2' E	36km	M: 3.1
77	21 00 13	茨城県北部 茨城県 1 日立市助川小学校*0.5	36° 41.7' N	140° 38.9' E	11km	M: 2.6
78	21 08 15	福島県会津 福島県 2 柳津町大成沢=1.9 三島町宮下*1.5 1 会津美里町高田庁舎*1.0 柳津町柳津*0.9 西会津町登世島*0.9 西会津町野沢=0.7 福島金山町川口*0.6	37° 25.5' N	139° 41.9' E	4km	M: 3.0
79	21 11 25	福島県中通り 福島県 1 鮫川村赤坂中野*1.3 古殿町松川新桑原*1.3 浅川町浅川*1.0 古殿町松川横川=0.9 棚倉町棚倉中居野=0.8 いわき市錦町*0.6	37° 03.2' N	140° 34.8' E	7km	M: 3.2
80	21 15 15	静岡県中部 静岡県 2 富士宮市野中*1.8 島田市中央町=1.5 藤枝市岡出山*1.5 1 焼津市宗高*1.4 焼津市本町*1.4 静岡葵区駒形通*1.3 静岡菊川市赤土*1.3 西伊豆町一色*1.2 静岡駿河区曲金=1.1 松崎町江奈*1.1 掛川市長谷*1.1 藤枝市岡部岡部*1.1 伊豆市中伊豆グラウンド=1.0 掛川市西大淵*1.0 富士市大淵*1.0 東伊豆町奈良本*1.0 浜松天竜区春野町*1.0 河津町田中*0.9 静岡葵区梅ヶ島*0.9 藤枝市瀬戸新屋*0.7 島田市金谷代官町*0.7 下田市中*0.6 静岡菊川市堀之内*0.6 島田市川根町家山=0.6 牧之原市静波*0.6 川根本町東藤川*0.5 浜松天竜区佐久間町*0.5 東伊豆町稲取*0.5 山梨県 1 富士河口湖町船津=0.6 山梨南部町栄小学校*0.6 岐阜県 1 恵那市上矢作町*0.8 愛知県 1 新城市矢部=0.9	34° 54.7' N	138° 15.6' E	25km	M: 3.7
81	22 01 24	浦河沖 北海道 1 浦河町潮見=1.0	41° 56.5' N	143° 02.0' E	41km	M: 3.0
82	22 01 27	岩手県沖 岩手県 1 普代村銅屋*1.0	40° 08.5' N	141° 57.3' E	16km	M: 3.2

平成30年1月 地震・火山月報(防災編)

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
83	23 02 58	長野県中部 長野県	36° 27.6' N	137° 58.7' E	13km	M: 2.7
		1 坂城町坂城*0.8 筑北村坂井*0.8 千曲市杭瀬下*0.7 麻績村麻*0.7 千曲市上山田温泉*0.7 松川村役場*0.5				
84	23 04 42	群馬県南部 群馬県	36° 22.0' N	139° 14.5' E	14km	M: 3.0
		2 桐生市元宿町*1.5 1 伊勢崎市西久保町*1.3 前橋市粕川町*1.2 伊勢崎市東町*1.2 太田市大原町*1.2 みどり市大間々町*0.9 桐生市織姫町*0.8 太田市西本町*0.7 伊勢崎市今泉町*0.6 太田市浜町*0.6 館林市美園町*0.5 みどり市笠懸町*0.5 桐生市新里町*0.5				
		栃木県 1 栃木市岩舟町静*0.9 足利市大正町*0.7				
85	23 11 32	福岡県筑後地方 福岡県	33° 05.4' N	130° 32.3' E	12km	M: 2.4
		1 みやま市高田町*0.9				
86	23 12 05	奄美大島近海 鹿児島県	27° 55.4' N	128° 50.4' E	42km	M: 3.4
		1 瀬戸内町与路島*1.1 伊仙町伊仙*0.9 瀬戸内町加計呂麻島*0.5				
87	23 14 59	京都府南部 京都府	35° 01.6' N	135° 36.6' E	10km	M: 2.9
		1 亀岡市余部町*1.4 亀岡市安町*1.2 京都中京区西ノ京*0.9 京都右京区嵯峨*0.9 京都下京区河原町塩小路*0.8 京都西京区榎原*0.8 久御山町田井*0.7 京都右京区太秦*0.7 京都西京区大枝*0.6 南丹市園部町小桜町*0.6 南丹市八木町八木*0.6 京都山科区西野*0.6 京都上京区藪ノ内町*0.6 京都中京区河原町御池*0.5 京都北区中川*0.5 京都山科区安朱川向町*0.5 宇治市宇治琵琶*0.5				
		大阪府 1 能勢町今西*0.8 豊能町余野*0.7 能勢町役場*0.6				
88	23 16 17	鳥取県中部 鳥取県	35° 24.8' N	133° 50.7' E	11km	M: 3.6
		2 倉吉市葵町*2.4 湯梨浜町龍島*2.0 北栄町土下*1.8 倉吉市関金町大鳥居*1.7 湯梨浜町久留*1.7 北栄町由良宿*1.7 1 鳥取市青谷町青谷*1.3 三朝町大瀬*1.3 日南町霞*1.3 日南町生山*1.1 鳥取市気高町浜村*1.1 鳥取市鹿野町鹿野*1.1 江府町江尾*1.0 倉吉市岩倉長峯*1.0 琴浦町赤碓中学校*0.8 琴浦町徳万*0.8 湯梨浜町泊*0.8 鳥取市鹿野町鹿野小学校*0.8 鳥取市福部町細川*0.6				
		岡山県 1 鏡野町上齋原*1.2 真庭市蒜山上福田*1.0 真庭市蒜山下福田*0.8 真庭市蒜山下和*0.6 真庭市禾津*0.6 新庄村役場*0.5 津山市加茂町*0.5				
89	23 23 21	福島県浜通り 福島県	37° 02.7' N	140° 40.8' E	16km	M: 3.5
		1 古殿町松川新桑原*1.4 浅川町浅川*1.1 古殿町松川横川*0.9 玉川村小高*0.8 いわき市三和町*0.8 いわき市錦町*0.7 棚倉町棚倉中居野*0.6				
		茨城県 1 日立市助川小学校*0.6				
90	24 02 32	茨城県沖 茨城県	36° 19.1' N	140° 52.9' E	38km	M: 4.3
		3 日立市助川小学校*2.9 水戸市内原町*2.6 2 ひたちなか市南神敷台*2.3 高萩市安良川*2.2 日立市役所*2.2 常陸大宮市北町*2.1 常陸大宮市上小瀬*2.1 笠間市石井*2.0 ひたちなか市山ノ上町*2.0 水戸市千波町*1.9 東海村東海*1.8 常陸大宮市山方*1.8 那珂市福田*1.8 城里町石塚*1.8 土浦市常名*1.8 ひたちなか市東石川*1.7 茨城県小堤*1.7 境町旭町*1.7 笠間市笠間*1.6 常陸大宮市野口*1.6 城里町徳蔵*1.6 常陸太田市大町*1.6 石岡市柿岡*1.6 高萩市本町*1.6 鉾田市汲上*1.6 土浦市藤沢*1.5 つくば市天王台*1.5 常陸太田市町田町*1.5 小美玉市上玉里*1.5 1 日立市十王町友部*1.4 笠間市中央*1.4 常陸大宮市高部*1.4 那珂市瓜連*1.4 小美玉市小川*1.4 小美玉市堅倉*1.4 かすみがうら市上土田*1.4 鉾田市造谷*1.4 常陸太田市金井町*1.3 石岡市岩宮*1.3 つくば市研究学園*1.3 茨城県鹿嶋市宮中*1.3 筑西市門井*1.3 大洗町磯浜町*1.3 茨城県鹿嶋市鉢形*1.2 常陸太田市高柿町*1.2 桜川市羽田*1.2 鉾田市鉾田*1.2 大子町池田*1.2 常陸太田市町屋町*1.2 取手市寺田*1.2 牛久市城中町*1.2 土浦市田中*1.1 行方市山田*1.1 笠間市下郷*1.1 常総市新石下*1.1 常総市水海道諏訪町*1.1 北茨城市磯原町*1.1 稲敷市江戸崎甲*1.0 かすみがうら市大和田*1.0 桜川市真壁*1.0 石岡市八郷*0.9 城里町阿波山*0.9 桜川市岩瀬*0.9 坂東市役所*0.9 潮来市辻*0.8 美浦村受領*0.8 八千代町菅谷*0.8 五霞町小福田*0.8 つくば市小荊*0.8 下妻市本城町*0.8 龍ヶ崎市役所*0.7 潮来市堀之内*0.7 行方市玉造*0.7 行方市麻生*0.7 常陸大宮市中富町*0.7 阿見町中央*0.6 下妻市鬼怒*0.6 守谷市大柏*0.6 福島県 2 玉川村小高*2.1 天栄村下松本*2.1 白河市新白河*2.0 古殿町松川新桑原*2.0 鏡石町不時沼*1.9 泉崎村泉崎*1.9 石川町長久保*1.8 須賀川市八幡山*1.8 白河市表郷*1.8 郡山市湖南町*1.7 白河市大信*1.7 白河市東*1.7 須賀川市八幡町*1.6 矢吹町一本木*1.6 浅川町浅川*1.6 棚倉町棚倉中居野*1.6 矢祭町戸塚*1.5 郡山市開成*1.5 須賀川市岩瀬支所*1.5 1 白河市八幡小路*1.4 田村市常葉町*1.4 田村市都路町*1.4 本宮市本宮*1.4 本宮市白岩*1.4 二本松市油井*1.3 二本松市針道*1.3 中島村滑津*1.3 郡山市朝日*1.3 小野町中通*1.2 田村市滝根町*1.2 福島伊達市霊山町*1.2 田村市船引町*1.2 田村市大越町*1.2 いわき市三和町*1.2 白河市郭内*1.2 檜葉町北田*1.1 二本松市金色*1.1 古殿町松川横川*1.1 福島市五老内町*1.1 須賀川市長沼支所*1.1 川俣町五百田*1.0 矢祭町東館*1.0 大玉村南小屋*1.0 大玉村玉井*1.0 小野町小野新町*1.0 西郷村熊倉*0.9 天栄村湯本支所*0.9 川内村上川内早渡*0.9 浪江町幾世橋*0.9 飯館村伊丹沢*0.9 塙町塙*0.8 葛尾村落合落合*0.8				

平成30年1月 地震・火山月報(防災編)

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		双葉町両竹*0.8 富岡町本岡*0.7 平田村永田*0.7 いわき市平四ツ波*0.7 三春町大町*0.7 棚倉町棚倉館ヶ丘*0.6 福島伊達市梁川町*0.6 福島市飯野町*0.6 川内村下川内*0.6 いわき市錦町*0.5 鮫川村赤坂中野*0.5 いわき市小名浜*0.5 檜枝岐村上河原*0.5 芳賀町祖母井*1.6 市貝町市埜*1.5 那須烏山市中央*1.5 1 宇都宮市明保野町*1.4 真岡市石島*1.4 日光市中鉢石町*1.3 大田原市湯津上*1.3 下野市笹原*1.3 宇都宮市中里町*1.2 益子町益子*1.2 茂木町茂木*1.2 栃木那珂川町馬頭*1.2 栃木那珂川町小川*1.2 真岡市田町*1.1 日光市鬼怒川温泉大原*1.0 下野市田中*1.0 那須町寺子*1.0 鹿沼市晃望台*0.9 小山市神島谷*0.9 茂木町北高岡天矢場*0.8 日光市今市本町*0.8 那須烏山市大金*0.8 下野市石橋*0.8 鹿沼市今宮町*0.8 那須烏山市役所*0.7 真岡市荒町*0.7 栃木さくら市喜連川*0.7 日光市足尾町中才*0.6 上三川町しらさぎ*0.6 鹿沼市口栗野*0.5 日光市日蔭*0.5 大田原市黒羽田町*0.5 日光市湯元*0.5 那須塩原市塩原庁舎*0.5 日光市芹沼*0.5 栃木市旭町*0.5 宮城県 1 岩沼市桜*0.7 群馬県 1 沼田市利根町*1.2 渋川市赤城町*1.2 桐生市黒保根町*0.9 片品村東小川*0.7 沼田市西倉内町*0.6 伊勢崎市西久保町*0.5 片品村鎌田*0.5 埼玉県 1 久喜市下早見*0.8 桶川市上日出谷*0.6 宮代町笠原*0.6 杉戸町清地*0.5 さいたま見沼区堀崎*0.5 千葉県 1 野田市鶴奉*1.4 白井市復*1.3 香取市仁良*0.7 野田市東宝珠花*0.7 柏市旭町*0.7 柏市柏*0.7 香取市役所*0.6 鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷*0.6 香取市佐原平田*0.5				
91	24 03 21	茨城県沖 茨城県	36° 19.5' N	140° 52.9' E	38km	M: 3.2
		1 日立市助川小学校*0.5				
92	24 04 54	宮城県沖 岩手県 宮城県	38° 10.3' N	141° 40.2' E	50km	M: 3.7
		1 一関市藤沢町*0.7 1 石巻市桃生町*1.1 女川町女川浜*0.9 石巻市鮎川浜*0.5				
93	24 12 14	小笠原諸島西方沖 東京都	26° 40.0' N	140° 27.0' E	464km	M: 5.4
		1 小笠原村母島*0.8				
94	24 12 24	北海道南西沖 北海道	42° 23.9' N	139° 21.0' E	18km	M: 3.4
		1 八雲町熊石雲石町*0.6 せたな町瀬棚区北島歌*0.5				
95	24 13 25	茨城県沖 茨城県	36° 33.7' N	141° 04.8' E	33km	M: 3.9
		2 日立市助川小学校*1.6 1 ひたちなか市南神敷台*1.2 日立市役所*1.1 水戸市千波町*1.1 鉾田市汲上*1.0 土浦市常名*0.9 笠間市石井*0.8 ひたちなか市東石川*0.8 稲敷市江戸崎甲*0.7 牛久市城中町*0.7 常陸大宮市上小瀬*0.6 茨城鹿嶋市鉢形*0.6 小美玉市小川*0.6 水戸市金町*0.6 高萩市本町*0.5 取手市寺田*0.5 筑西市門井*0.5 笠間市笠間*0.5 千葉県 1 香取市仁良*0.5				
96	24 19 51	青森県東方沖 北海道	41° 00.5' N	142° 26.8' E	34km	M: 6.3
		4 様似町栄町*3.6 3 函館市泊町*3.3 函館市新浜町*3.3 十勝大樹町東本通*3.0 新篠津村第4 7 線*3.0 むかわ町松風*3.0 浦河町潮見*3.0 浦幌町桜町*3.0 新冠町北星町*2.9 厚真町鹿沼*2.9 苫小牧市旭町*2.9 えりも町えりも岬*2.8 南幌町栄町*2.8 浦河町築地*2.8 幕別町忠類錦町*2.7 新千歳空港*2.7 苫小牧市末広町*2.7 新ひだか町静内山手町*2.7 厚真町京町*2.6 釧路市音別町中園*2.6 帯広市東4条*2.6 帯広市東6条*2.5 芽室町東2条*2.5 安平町早来北進*2.5 函館市日ノ浜町*2.5 千歳市若草*2.5 長沼町中央*2.5 新ひだか町静内御幸町*2.5 新ひだか町三石旭町*2.5 浦河町野深*2.5 恵庭市京町*2.5 函館市大森町*2.5 千歳市北栄*2.5 札幌北区篠路*2.5 2 恵庭市漁平*2.4 渡島北斗市中央*2.4 室蘭市寿町*2.4 札幌東区元町*2.3 知内町重内*2.3 札幌清田区平岡*2.3 白老町大町*2.3 日高地方日高町門別*2.3 十勝清水町南4条*2.3 更別村更別*2.3 釧路市阿寒町阿寒湖温泉*2.3 札幌北区太平*2.3 中札内村東2条*2.2 壮瞥町滝之町*2.2 十勝大樹町生花*2.2 広尾町並木通*2.2 江別市緑町*2.2 白糠町西1条*2.2 函館市美原*2.2 むかわ町穂別*2.2 札幌白石区北郷*2.2 平取町振内*2.2 鹿追町東町*2.2 音更町元町*2.2 千歳市支笏湖温泉*2.2 岩見沢市北村赤川*2.1 中富良野町本町*2.1 新得町2条*2.1 胆振伊達市梅本*2.1 土幌町土幌*2.1 北広島市共栄*2.1 幕別町本町*2.1 十勝池田町西1条*2.1 洞爺湖町洞爺町*2.1 札幌北区新琴似*2.1 登別市桜木町*2.1 札幌南区真駒内*2.1 安平町追分柏が丘*2.1 釧路町別保*2.1 当別町白樺*2.1 標津町北2条*2.1 厚沢部町新町*2.1 別海町西春別*2.0 札幌手稲区前田*2.0 上ノ国町大留*2.0 函館市川汲町*2.0 倶知安町南1条*2.0 七飯町桜町*2.0 岩見沢市栗沢町東本町*2.0 七飯町本町*2.0 北見市公園町*2.0 新ひだか町静内御園*2.0 渡島森町砂原*2.0 胆振伊達市大滝区本町*2.0 札幌厚別区もみじ台*2.0 妹背牛町妹背牛*1.9 洞爺湖町栄町*1.9 石狩市花川*1.9 石狩市花畔*1.9 広尾町白樺通*1.9 釧路市黒金町*1.9 釧路市阿寒町中央*1.9 美唄市西5条*1.9 真狩村真狩*1.9 留寿都村留寿都*1.9 木古内町木古内*1.9 倶知安町北4条*1.9 豊頃町茂岩本町*1.9 乙部町緑町*1.8 ニセコ町中央通*1.8 白老町緑丘*1.8 北見市南仲町*1.8 岩見沢市鳩が丘*1.8 鹿部町宮浜*1.8 別海町常盤*1.8 本別町北2丁目*1.8 福島町福島*1.8 江別市高砂町*1.8 上土幌町上土幌*1.8 三笠市幸町*1.8 栗山町松風*1.8 北竜町和*1.7 沼田町沼田*1.7 月形町円山公園*1.7 足寄町南1条*1.7 砂川市西6条*1.7 厚岸町真栄*1.7 大空町東藻琴*1.7 中標津町丸山*1.7 岩見沢市5条*1.7 渡島森町御幸町*1.7 訓子府町東町*1.7 別海町本別海*1.7 日高地方日高町日高*1.7 せたな町北檜山区徳島*1.7 厚沢部町木間内*1.7				

平成30年1月 地震・火山月報(防災編)

地震番号	震源時日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		<p>長万部町平里*1.7 えりも町目黒*1.7 上士幌町清水谷*1.7 足寄町上螺湾=1.6 札幌豊平区月寒東*1.6 標茶町塘路*1.6 占冠村中央*1.6 美幌町東3条=1.6 渡島北斗市本町*1.6 大空町女満別西3条*1.6 滝川市大町=1.6 赤井川村赤井川*1.6 根室市落石東*1.6 美唄市西3条*1.6 本別町向陽町*1.6 新十津川町中央*1.6 新ひだか町静内農屋*1.6 えりも町本町=1.6 夕張市若菜=1.6 秩父別町役場*1.6 弟子屈町弟子屈*1.6 釧路町仲町*1.6 富良野市若松町=1.6 富良野市末広町*1.6 札幌西区琴似*1.5 函館市尾札部町=1.5 南富良野町役場*1.5 札幌中央区南4条*1.5 平取町本町*1.5 登別市鉱山=1.5 美瑛町忠別*1.5 由仁町新光*1.5 豊浦町大岸*1.5</p>				
		<p>1 石狩市聚富=1.4 札幌中央区北2条=1.4 芦別市旭町=1.4 奈井江町奈井江*1.4 当麻町3条*1.4 清里町羽衣町*1.4 小清水町小清水*1.4 湧別町栄町*1.4 室蘭市山手町=1.4 弟子屈町美里=1.4 釧路市幸町=1.4 釧路市音別町尺別=1.4 標茶町川上*1.4 鶴居村鶴居東*1.4 根室市瑠璃瑠*1.4 平取町仁世宇=1.3 幕別町忠類明和=1.3 黒松内町黒松内*1.3 深川市1条*1.3 小樽市勝納町=1.3 知内町小谷石=1.2 北見市常呂町常呂*1.2 北見市留辺蘂町栄町*1.2 檜山江差町姥神=1.2 斜里町本町=1.2 幾別市北2条*1.2 中標津町養老牛=1.1 南富良野町幾寅=1.1 津別町幸町*1.1 厚岸町尾幌=1.1 檜山江差町中歌町*1.1 上富良野町大町=1.1 浜中町湯沸=1.0 浜中町霧多布*1.0 留萌市幸町*1.0 興部町興部*1.0 蘭越町蘭越*1.0 標津町古多糠=1.0 岩内町高台=1.0 旭川市宮前1条=1.0 余市町朝日町=1.0 弟子屈町サウンチサップ*1.0 北竜町竜石=1.0 石狩市厚田*1.0 置戸町拓殖*1.0 石狩市浜益*0.9 八雲町熊石雲石町*0.9 羅臼町緑町*0.9 渡島松前町福山=0.9 北見市留辺蘂町上町=0.8 根室市牧の内*0.8 八雲町上の湯=0.8 新得町トムラウシ*0.8 陸別町陸別*0.8 標津町薫別*0.8 島牧村泊*0.7 遠軽町丸瀬布金湧山=0.6 渡島松前町清部=0.6 羅臼町春日=0.6 北見市留辺蘂町富士見*0.5 上ノ国町小砂子*0.5</p>				
		<p>青森県</p> <p>4 五戸町古館=3.7 野辺地町野辺地*3.6 七戸町森ノ上*3.6 五戸町倉石中市*3.6 青森南部町平*3.6 野辺地町田狭沢*3.5 八戸市南郷*3.5 おいらせ町中下田*3.5</p> <p>3 平内町小湊=3.4 東通村砂子又沢内*3.4 八戸市内丸*3.3 階上町道仏*3.3 青森南部町苦米地*3.2 八戸市湊町=3.2 東北町上北南*3.2 おいらせ町上明堂*3.1 むつ市金曲=3.1 むつ市金谷*3.1 三沢市桜町*3.0 六戸町大落瀬*3.0 横浜町林ノ脇*3.0 横浜町寺下*3.0 東北町塔ノ沢山*3.0 東通村砂子又蒲谷地=2.9 七戸町七戸*2.9 三戸町在府小路町*2.9 むつ市大畑町中島*2.9 むつ市川内町*2.9 青森南部町沖田面*2.8 外ヶ浜町蟹田*2.8 青森市花園=2.7 六ヶ所村尾駈=2.7 平内町東田沢*2.7 十和田市西十二番町*2.6 新郷村戸来*2.6 東通村白糠*2.6 青森市中央*2.6 十和田市西二番町*2.5</p> <p>2 蓬田村蓬田*2.4 つがる市柏*2.4 つがる市稲垣町*2.4 十和田市奥瀬*2.4 田子町田子*2.4 むつ市脇野沢*2.4 大間町大間*2.4 つがる市車力町*2.3 六ヶ所村出戸=2.3 青森市浪岡*2.3 五所川原市栄町=2.3 五所川原市敷島町*2.3 藤崎町水木*2.2 八戸市島守=2.2 佐井村長後*2.2 五所川原市金木町*2.2 つがる市木造*2.2 中泊町中里*2.2 藤崎町西豊田*2.1 むつ市大畑町奥薬研=2.1 東通村尻屋*2.1 七戸町北天間館=2.0 今別町今別*2.0 鶴田町鶴田*2.0 田舎館村田舎館*2.0 平川市猿賀*1.9 五所川原市相内*1.9 板柳町板柳*1.9 つがる市森田町*1.9 鱒ヶ沢町本町=1.9 外ヶ浜町平館*1.8 風間浦村易国間*1.8 黒石市市ノ町*1.8 鱒ヶ沢町舞戸町*1.7 外ヶ浜町三厩*1.6 弘前市弥生=1.6 弘前市城東中央*1.6 五所川原市太田=1.6 平川市柏木町*1.5 佐井村佐井*1.5</p> <p>1 中泊町小泊*1.4 弘前市賀田*1.4 深浦町深浦岡町=1.3 西目屋村田代*1.3 平川市碓ヶ関*1.1 弘前市和田町=1.1 弘前市五所*1.1 大鱒町大鱒*1.0 深浦町深浦中沢*0.8 深浦町岩崎*0.8 深浦町長慶平=0.7</p>				
		<p>岩手県</p> <p>4 盛岡市藪川*3.5</p> <p>3 八幡平市田頭*3.2 軽米町軽米*3.2 二戸市浄法寺町*3.1 矢巾町南矢幅*3.1 花巻市材木町*3.0 滝沢市鶉飼*2.9 盛岡市洪民*2.8 二戸市福岡=2.8 紫波町紫波中央駅前*2.8 普代村銅屋*2.8 盛岡市山王町=2.8 一戸町高善寺*2.7 八幡平市大更=2.7 八幡平市野駄*2.7 北上市柳原町=2.7 岩手洋野町種市=2.6 二戸市石切所*2.6 花巻市東和町*2.6 北上市相去町*2.6 奥州市江刺区*2.6 岩手町五日市*2.5 八幡平市叭田*2.5 九戸村伊保内*2.5 久慈市枝成沢=2.5 花巻市石鳥谷町*2.5 岩手洋野町大野*2.5 奥州市胆沢区*2.5</p> <p>2 宮古市区界*2.4 野田村野田*2.4 花巻市大迫町=2.4 金ヶ崎町西根*2.4 奥州市水沢区大鐘町=2.4 宮古市川井*2.3 釜石市中妻町*2.3 一関市千厩町*2.3 奥州市水沢区佐倉河*2.3 久慈市川崎町=2.2 葛巻町葛巻元木=2.2 遠野市青笹町*2.2 奥州市前沢区*2.2 宮古市田老*2.1 盛岡市馬場町*2.1 雫石町千刈田=2.1 遠野市宮守町*2.1 平泉町平泉*2.1 花巻市大迫総合支所*2.0 一関市花泉町*2.0 宮古市五月町*2.0 奥州市衣川区*2.0 久慈市長内町*2.0 山田町大沢*2.0 大船渡市大船渡町=2.0 住田町世田米*2.0 山田町八幡町=1.9 宮古市銀ヶ崎=1.9 一関市室根町*1.9 宮古市茂市*1.8 一関市藤沢町*1.8 西和賀町川尻*1.8 西和賀町沢内川舟*1.8 雫石町西根上駒木野=1.8 葛巻町役場*1.8 西和賀町沢内太田*1.7 釜石市只越町=1.7 葛巻町消防分署*1.7 一関市大東町=1.6 一関市竹山町*1.6 久慈市山形町*1.6 岩泉町岩泉*1.6 田野畑村役場*1.6</p>				
		<p>宮城県</p> <p>1 宮古市長沢=1.4 大槌町小釜*1.4 一関市東山町*1.4 岩泉町大川*1.3 田野畑村田野畑=1.3 大船渡市猪川町=1.3 大船渡市盛町*1.2 陸前高田市高田町*1.2 一関市川崎町*0.9</p> <p>3 登米市迫町*3.0 登米市米山町*2.6 涌谷町新町裏=2.5 登米市中田町=2.5 登米市登米町*2.5 登米市南方町*2.5 石巻市桃生町*2.5</p> <p>2 宮城美里町木間塚*2.4 石巻市大街道南*2.3 栗原市若柳*2.2 大崎市古川三日町=2.2 丸森町鳥屋*2.2 石巻市前谷地*2.2 松島町高城=2.1 気仙沼市赤岩=2.0 栗原市築館*2.0 栗原市一迫*2.0 大崎市古川北町*2.0 大崎市松山*2.0 東松島市矢本*2.0 気仙沼市笹か陣*1.9 栗原市栗駒=1.9 栗原市志波姫*1.9 栗原市高清水*1.9 登米市豊里町*1.9 南三陸町志津川=1.9 角田市角田*1.9 大河原町新南*1.9 石巻市相野谷*1.9 大崎市鹿島台*1.8 岩沼市桜*1.8 利府町利府*1.8 気仙沼市唐桑町*1.8 宮城加美町中新田*1.7 栗原市花山*1.7 栗原市金成*1.7 大崎市古川大崎=1.6 大崎市岩出山*1.6 名取市増田*1.6 宮城川崎町前川*1.6 色麻町四竈*1.6 宮城美里町北浦*1.6 蔵王町円田*1.5 宮城加美町小野田*1.5</p>				

平成30年1月 地震・火山月報(防災編)

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		亙理町下小路*1.5 山元町浅生原*1.5 栗原市鶯沢*1.5 1 仙台空港=1.4 塩竈市旭町*1.4 大衡村大衡*1.4 栗原市瀬峰*1.3 登米市東和町*1.3 登米市石越町*1.3 仙台青葉区作並*1.3 仙台宮城野区苦竹*1.3 仙台若林区遠見塚*1.3 大崎市三本木*1.2 白石市亙理町*1.2 石巻市北上町*1.2 東松島市小野*1.2 大郷町粕川*1.2 宮城加美町宮崎*1.1 仙台青葉区落合*1.1 仙台宮城野区五輪=1.1 仙台太白区山田*1.1 仙台区将監*1.1 石巻市泉町=1.1 女川町女川浜*1.0 富谷市富谷*1.0 登米市津山町*1.0 仙台青葉区雨宮*1.0 気仙沼市本吉町西川内=1.0 気仙沼市本吉町津谷*1.0 大和町吉岡*1.0 村田町村田*0.9 七ヶ浜町東宮浜*0.9 仙台青葉区大倉=0.8 南三陸町歌津*0.8 石巻市大瓜=0.7 2 井川町北川尻*2.1 鹿角市花輪*2.1 大仙市高梨*2.1 三種町豊岡*2.0 横手市大雄*2.0 大館市桜町*1.9 大館市比内町扇田*1.8 小坂町小坂砂森*1.8 北秋田市米内沢*1.8 大仙市太田町太田*1.8 秋田美郷町土崎*1.7 大仙市刈和野*1.7 潟上市昭和大久保*1.6 北秋田市花園町=1.6 北秋田市新田目*1.6 大仙市大曲花園町*1.6 大館市早口*1.5 秋田美郷町六郷東根=1.5 八郎潟町大道*1.5 由利本荘市西目町沼田*1.5 由利本荘市前郷*1.5 1 能代市二ツ井町上台*1.4 潟上市天王*1.4 秋田市雄和妙法*1.4 にかほ市平沢*1.4 大館市比内町味増内=1.4 上小阿仁村小沢田*1.4 横手市雄物川町今宿=1.4 東成瀬村田子内*1.4 大仙市北長野*1.4 藤里町藤琴*1.3 秋田市山王=1.3 湯沢市沖鶴=1.3 湯沢市川連町*1.3 羽後町西馬音内*1.3 東成瀬村椿川*1.3 能代市常盤山谷=1.3 能代市上町*1.3 大仙市神宮寺*1.2 仙北市角館町東勝楽丁=1.2 仙北市角館町小勝田*1.2 五城目町西磯ノ目=1.2 潟上市飯田川下虻川*1.2 秋田市雄和女米木=1.2 由利本荘市矢島町矢島町*1.2 横手市十文字町*1.2 横手市平鹿町浅舞*1.2 能代市緑町=1.2 仙北市田沢湖生保内宮ノ後*1.1 由利本荘市岩谷町*1.1 にかほ市金浦*1.1 にかほ市象潟町浜ノ田*1.1 横手市増田町増田*1.1 横手市大森町*1.1 能代市追分町*1.1 大仙市南外*1.1 三種町鶴川*1.1 仙北市西木町上松木内*1.1 北秋田市阿仁水無*1.0 横手市山内土淵*1.0 湯沢市寺沢*1.0 湯沢市佐竹町*1.0 大瀧村中央*1.0 由利本荘市東由利老方*1.0 仙北市田沢湖生保内上清水*0.9 仙北市西木町上荒井*0.9 三種町鹿渡*0.9 男鹿市角間崎*0.9 由利本荘市石脇=0.9 大仙市協和境唐松岳*0.9 由利本荘市鳥海町伏見*0.9 由利本荘市岩城内道川*0.9 秋田市八橋運動公園*0.8 仙北市田沢湖田沢*0.8 湯沢市横堀*0.8 横手市安田柳堤地内*0.8 湯沢市皆瀬*0.7 男鹿市船川*0.6 山形県 2 中山町長崎*2.2 村山市中央*2.0 酒田市飛鳥*1.7 1 鶴岡市藤島*1.4 酒田市山田*1.4 上山市河崎*1.4 天童市老野森*1.4 山辺町緑ヶ丘*1.4 南陽市三間通*1.4 高島町高島*1.4 山形川西町上小松*1.4 酒田市亀ヶ崎=1.3 酒田市本町*1.3 遊佐町舞鶴*1.3 河北町谷地=1.3 遊佐町遊佐=1.2 庄内町余目*1.2 大蔵村清水*1.2 米沢市林泉寺*1.2 最上町向町*1.1 西川町大井沢*1.1 飯豊町椿*1.1 庄内町狩川*1.0 大蔵村肘折*1.0 寒河江市中央*1.0 米沢市アルカディア=1.0 真室川町新町*0.9 東根市中央*0.9 大江町左沢*0.9 酒田市観音寺*0.8 大石町緑町*0.8 鮭川村佐渡*0.8 鶴岡市温海川=0.7 福島県 2 国見町藤田*1.9 双葉町両竹*1.9 桑折町東大隅*1.6 南相馬市小高区*1.6 新地町谷地小屋*1.5 南相馬市鹿島区西町*1.5 1 郡山市湖南町*1.4 浪江町幾世橋=1.4 相馬市中村*1.3 いわき市小名浜=1.2 福島市松木町=1.1 田村市滝根町*1.1 南相馬市原町区三島町=1.1 郡山市朝日=1.0 須賀川市八幡山*1.0 会津坂下町市中三番甲*1.0 天栄村下松本*0.9 いわき市三和町=0.7 南相馬市鹿島区栢窪=0.5 茨城県 2 常陸太田市金井町*1.5 1 つくば市天王台*1.0 石岡市柿岡=0.9 常陸大宮市中富町=0.8 土浦市常名=0.8 筑西市舟生=0.8 笠間市石井*0.7 群馬県 1 群馬明和町新里*1.1 邑楽町中野*0.9 埼玉県 1 春日部市谷原新田*1.3 加須市大利根*1.2 宮代町笠原*1.2 行田市本丸*1.0 久喜市栗橋*0.9 さいたま市中央区下落合*0.9 久喜市鷲宮*0.8 春日部市金崎*0.7 千葉県 1 浦安市日の出=1.1 千葉中央区都町*0.9 新潟県 1 村上市岩船駅前*1.3 97 24 22 55 福島県沖 宮城県 37° 24.7' N 141° 15.4' E 60km M: 4.2 2 岩沼市桜*1.8 山元町浅生原*1.7 角田市角田*1.7 1 名取市増田*1.4 亙理町下小路*1.4 石巻市桃生町*1.3 塩竈市旭町*1.3 仙台若林区遠見塚*1.2 丸森町上滝=1.2 丸森町鳥屋*1.2 大崎市松山*1.2 大崎市鹿島台*1.1 大崎市古川大崎=1.1 宮城川崎町前川*1.1 東松島市小野*1.1 宮城美里町木間塚*1.0 仙台空港=1.0 大崎市古川三日町=1.0 大河原町新南*1.0 利府町利府*1.0 仙台宮城野区五輪=0.9 南三陸町志津川=0.9 柴田町船岡=0.9 仙台青葉区雨宮*0.9 大衡村大衡*0.8 白石市亙理町*0.8 東松島市矢本*0.8 蔵王町円田*0.8 松島町高城=0.8 七ヶ浜町東宮浜*0.8 登米市中田町=0.8 宮城加美町中新田*0.7 仙台区将監*0.7 登米市迫町*0.7 仙台宮城野区苦竹*0.6 大郷町粕川*0.6 石巻市大街道南*0.5 多賀城市中央*0.5 福島県 2 田村市都路町*2.3 相馬市中村*2.3 二本松市油井*2.2 檜葉町北田*2.2 福島伊達市霊山町*2.0 飯館村伊丹沢*2.0 田村市常葉町*1.9 二本松市金色*1.9 大玉村南小屋=1.8 本宮市白岩*1.8 田村市船引町=1.8 二本松市針道*1.8 川俣町五百田*1.7 福島伊達市梁川町*1.7 新地町谷地小屋*1.7 須賀川市岩瀬支所*1.6 双葉町両竹*1.6 いわき市三和町=1.6 本宮市本宮*1.6 須賀川市八幡山*1.5 桑折町東大隅*1.5 川内村下川内=1.5 浅川町浅川*1.5 浪江町幾世橋=1.5 小野町小野新町*1.5 いわき市平四ツ波*1.5 1 須賀川市八幡町*1.4 大玉村玉井*1.4 天栄村下松本*1.4 福島伊達市保原町*1.4 川内村上川内早渡*1.4 玉川村小高*1.3 福島伊達市前川原*1.3 国見町藤田*1.3 福島伊達市月館町*1.3 福島広野町下北迫大谷地原*1.3 田村市滝根町*1.2 鏡石町不時沼*1.2 葛尾村落合落合*1.2 南相馬市鹿島区栢窪=1.2 小野町中通*1.1 田村市大越町*1.1 郡山市朝日=1.1 白河市新白河*1.1 大熊町野上*1.1 福島市桜木町*1.1 南相馬市原町区三島町=1.1 福島市飯野町*1.1 平田村永田*1.1 福島市五老内町*1.0 棚倉町棚倉中居野=1.0 南相馬市原町区本町*1.0 南相馬市鹿島区西町*1.0 郡山市開成*0.9				

平成30年1月 地震・火山月報(防災編)

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		福島市松木町=0.9 石川町長久保*=0.9 古殿町松川新桑原*=0.9 郡山市湖南町*=0.8 川内村上川内小山平*=0.8 泉崎村泉崎*=0.8 矢祭町戸塚*=0.8 富岡町本岡*=0.7 いわき市小名浜=0.6 古殿町松川横川=0.6 福島広野町下北苗代替*=0.5 岩手県 1 一関市千厩町*=0.7 一関市室根町*=0.7 一関市藤沢町*=0.7 山形県 1 米沢市アルカディア=0.6 茨城県 1 日立市助川小学校*=1.2 日立市役所*=1.1 日立市十王町友部*=0.8 大子町池田*=0.7 常陸大宮市北町*=0.5				
98	25 09 09	広島県南東部 岡山県 広島県	34° 36.9' N	133° 07.0' E	21km	M: 3.1 1 新見市唐松*=0.5 1 世羅町小国*=1.1 広島三次市吉舎町*=0.8 福山市松永町=0.6 安芸高田市向原町長田*=0.6 神石高原町油木*=0.6 広島府中市上下町上下*=0.5
99	25 09 37	千葉県東方沖 茨城県	35° 52.3' N	140° 54.5' E	18km	M: 3.5 1 稲敷市江戸崎甲*=0.7
100	25 10 44	山梨県東部・富士五湖 山梨県	35° 32.6' N	138° 56.2' E	25km	M: 2.9 1 山中湖村山中*=0.9 富士河口湖町船津=0.6
101	25 12 04	静岡県西部 静岡県	34° 42.4' N	137° 58.3' E	11km	M: 2.3 1 掛川市西大淵*=1.1 掛川市長谷*=1.0 静岡菊川市赤土*=0.8
102	25 12 17	千葉県北東部 千葉県	35° 43.2' N	140° 41.6' E	49km	M: 3.3 1 旭市南堀之内*=1.0 横芝光町宮川*=1.0 多古町多古=0.9 香取市仁良*=0.7 芝山町小池*=0.7 東金市日吉台*=0.5 山武市松尾町富士見台=0.5 成田市松子*=0.5
103	25 18 25	茨城県沖 福島県	36° 43.9' N	141° 09.9' E	40km	M: 3.8 2 川俣町五百田*=1.8 白河市新白河*=1.7 1 郡山市開成*=1.4 田村市都路町*=1.4 天栄村下松本*=1.3 泉崎村泉崎*=1.2 浅川町浅川*=1.2 二本松市油井*=1.2 川内村下川内=1.2 須賀川市岩瀬支所*=1.1 二本松市金色*=1.1 小野町中通*=1.1 田村市常葉町*=1.0 西郷村熊倉*=1.0 福島伊達市霊山町*=1.0 本宮市本宮*=1.0 大玉村南小屋=1.0 川内村上川内早渡*=1.0 田村市大越町*=1.0 棚倉町棚倉中居野=0.9 矢祭町東館*=0.9 いわき市錦町*=0.9 檜葉町北田*=0.9 玉川村小高*=0.9 白河市東*=0.9 浪江町幾世橋=0.9 白河市大信*=0.9 小野町小野新町*=0.9 田村市船引町=0.9 須賀川市長沼支所*=0.9 福島市五老内町*=0.9 郡山市湖南町*=0.9 飯館村伊丹沢*=0.8 いわき市平四ツ波*=0.8 二本松市針道*=0.8 天栄村湯本支所*=0.8 白河市郭内=0.8 鏡石町不時沼*=0.8 いわき市三和町=0.8 葛尾村落合落合*=0.8 本宮市白岩*=0.7 郡山市朝日=0.7 石川町長久保*=0.7 田村市滝根町*=0.7 福島市桜木町*=0.7 大玉村玉井*=0.7 福島伊達市梁川町*=0.6 矢祭町戸塚*=0.6 福島市飯野町*=0.6 須賀川市八幡山*=0.5 大熊町野上*=0.5 双葉町両竹*=0.5 茨城県 1 日立市十王町友部*=1.2 日立市助川小学校*=1.0 高萩市安良川*=1.0 北茨城市磯原町*=1.0 笠間市石井*=1.0 大子町池田*=1.0 高萩市本町*=0.8 笠間市笠間*=0.8 水戸市内原町*=0.7 東海村東海*=0.7 常陸大宮市北町*=0.7 桜川市岩瀬*=0.5 日立市役所*=0.5 栃木県 1 益子町益子=0.9 大田原市湯津上*=0.7 那須町寺子*=0.7 群馬県 1 渋川市赤城町*=0.6
104	26 00 21	茨城県北部 茨城県	36° 48.7' N	140° 34.8' E	7km	M: 3.2 1 日立市助川小学校*=0.6
105	26 07 59	愛媛県南予 愛媛県	33° 19.2' N	132° 26.9' E	39km	M: 3.5 1 宇和島市吉田町*=1.1 宇和島市丸穂*=1.0 松野町松丸*=1.0 伊方町三崎*=0.9 宇和島市三間町*=0.9 伊方町湊浦*=0.8 砥部町総津*=0.7 愛媛鬼北町下鍵山*=0.6 西予市野村町=0.6 伊予市中山町*=0.5 西予市明浜町*=0.5 八幡浜市五反田*=0.5 愛媛鬼北町近永*=0.5 内子町小田*=0.5 高知県 1 宿毛市桜町*=0.8
106	26 12 07	茨城県沖 茨城県	36° 37.4' N	140° 59.8' E	47km	M: 4.0 2 日立市助川小学校*=1.7 東海村東海*=1.6 1 高萩市安良川*=1.4 大子町池田*=1.4 高萩市本町*=1.2 笠間市石井*=1.2 日立市十王町友部*=1.2 常陸大宮市北町*=1.2 那珂市瓜連*=1.1 笠間市中央*=1.0 ひたちなか市南神敷台*=1.0 水戸市内原町*=1.0 常陸太田市町屋町=1.0 桜川市岩瀬*=1.0 城里町石塚*=0.9 土浦市常名=0.9 笠間市笠間*=0.9 城里町阿波山*=0.8 常陸大宮市山方*=0.8 筑西市門井*=0.8 常陸太田市高柿町*=0.8 水戸市金町=0.7 ひたちなか市東石川*=0.7 日立市役所*=0.6 桜川市羽田*=0.6 小美玉市堅倉*=0.6 石岡市若宮*=0.5 常陸大宮市上小瀬*=0.5 福島県 1 棚倉町棚倉中居野=1.0 いわき市平四ツ波*=0.9 白河市新白河*=0.9 玉川村小高*=0.9 いわき市三和町=0.9 本宮市白岩*=0.8 鏡石町不時沼*=0.6 天栄村下松本*=0.6 浅川町浅川*=0.6 郡山市開成*=0.5 郡山市朝日=0.5 いわき市錦町*=0.5 川内村上川内小山平*=0.5 いわき市小名浜=0.5 栃木県 1 真岡市石島*=0.9 茂木町茂木*=0.7 真岡市田町*=0.6
107	26 13 19	千葉県南部 千葉県	35° 17.6' N	140° 16.6' E	19km	M: 2.9 1 睦沢町下之郷*=1.3 長南町長南*=1.2 一宮町一宮=0.6 大多喜町大多喜*=0.5

平成30年1月 地震・火山月報(防災編)

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
108	26 14 53	奄美大島近海 鹿児島県 奄美市住用町西仲間*0.6 奄美市名瀬港町=0.5	28° 14.3' N	129° 27.4' E	32km	M: 3.1
109	26 16 24	千葉県南部 千葉県 睦沢町下之郷*0.8 長南町長南*0.6	35° 17.8' N	140° 16.9' E	18km	M: 2.8
110	26 16 28	茨城県沖 茨城県 日立市助川小学校*1.1	36° 41.9' N	140° 52.9' E	22km	M: 2.8
111	26 17 44	宮城県沖 宮城県 石巻市桃生町*0.7	38° 14.4' N	141° 42.2' E	51km	M: 3.5
112	26 18 00	埼玉県南部 埼玉県 桶川市上日出谷*1.6 川島町下八ツ林*1.6 1 東松山市松葉町*1.4 東松山市市ノ川*1.1 北本市本町*1.0 吉見町下細谷*0.7 滑川町福田*0.5 嵐山町杉山*0.5 さいたま西区指扇*0.5	35° 58.7' N	139° 28.0' E	9km	M: 2.9
113	26 23 36	紀伊水道 和歌山県 1 由良町里*1.3 日高川町土生*1.2 御坊市菌*0.9 湯浅町青木*0.8 和歌山日高町高家*0.6	33° 53.5' N	135° 06.0' E	14km	M: 3.2
114	27 03 11	宮城県沖 岩手県 3 一関市東山町*2.6 2 一関市室根町*2.4 一関市花泉町*2.3 一関市千厩町*2.2 一関市藤沢町*2.2 住田町世田米*2.0 大船渡市大船渡町=1.9 一関市大東町=1.8 奥州市前沢区*1.7 釜石市中妻町*1.7 陸前高田市高田町*1.5 北上市相去町*1.5 奥州市衣川区*1.5 1 大船渡市盛町*1.4 奥州市胆沢区*1.4 一関市川崎町*1.3 大船渡市猪川町=1.3 遠野市青笹町*1.2 矢巾町南矢幅*1.1 金ヶ崎町西根*1.1 平泉町平泉*1.1 花巻市東和町*1.1 釜石市只越町=1.1 遠野市宮守町*1.1 一関市竹山町*1.1 盛岡市薮川*1.0 宮古市区界*1.0 山田町八幡町=0.9 奥州市江刺区*0.9 山田町大沢*0.8 北上市柳原町=0.8 盛岡市山王町=0.8 花巻市大迫町=0.8 花巻市石鳥谷町*0.8 宮古市川井*0.7 花巻市大迫総合支所*0.6 宮古市鍛ヶ崎=0.6 宮古市田老*0.6 宮古市五月町*0.5 盛岡市洺民*0.5 奥州市水沢区大鐘町=0.5 奥州市水沢区佐倉河*0.5 久慈市枝成沢=0.5 盛岡市馬場町*0.5 宮城県 3 石巻市桃生町*2.8 登米市南方町*2.6 石巻市大街道南*2.6 2 涌谷町新町裏=2.4 東松島市矢本*2.4 栗原市高清水*2.3 登米市東和町*2.3 宮城美里町木間塚*2.3 石巻市泉町=2.3 松島町高城=2.3 女川町女川浜*2.3 気仙沼市赤岩=2.2 登米市石越町*2.2 南三陸町歌津*2.2 気仙沼市唐桑町*2.2 大崎市鹿島台*2.2 岩沼市桜*2.2 栗原市一迫*2.2 大衡村大衡*2.2 登米市中田町=2.2 栗原市瀬峰*2.1 宮城川崎町前川*2.0 石巻市北上町*2.0 石巻市相野谷*2.0 登米市米山町*2.0 登米市迫町*2.0 名取市増田*2.0 栗原市栗駒=2.0 栗原市金成*1.9 南三陸町志津川=1.9 気仙沼市笹が陣*1.9 東松島市小野*1.9 宮城美里町北浦*1.9 仙台青葉区大倉=1.9 石巻市前谷地*1.8 塩竈市旭町*1.8 仙台青葉区作並*1.8 大崎市松山*1.8 石巻市鮎川浜*1.8 亘理町下小路*1.8 仙台区将監*1.7 多賀城市中央*1.7 栗原市若柳*1.7 栗原市花山*1.7 登米市豊里町*1.7 登米市登米町*1.6 利府町利府*1.6 宮城加美町中新田*1.6 大崎市古川大崎=1.6 石巻市大瓜=1.5 大崎市古川三日町=1.5 登米市津山町*1.5 七ヶ浜町東宮浜*1.5 大郷町粕川*1.5 栗原市鶯沢*1.5 1 気仙沼市本吉町津谷*1.4 栗原市築館*1.4 大崎市古川北町*1.3 仙台空港=1.3 柴田町船岡=1.3 山元町浅生原*1.3 仙台宮城野区苦竹*1.3 石巻市雄勝町*1.3 仙台青葉区落合*1.2 大崎市岩出山*1.2 色麻町四竈*1.2 蔵王町円田*1.2 大河原町新南*1.2 気仙沼市本吉町西川内=1.2 栗原市志波姫*1.1 仙台若林区遠見塚*1.1 角田市角田*1.1 丸森町鳥屋*1.1 宮城加美町小野田*1.0 富谷市富谷*1.0 仙台宮城野区五輪=1.0 仙台太白区山田*0.9 村田町村田*0.9 大和町吉岡*0.9 仙台青葉区雨宮*0.8 白石市亘理町*0.8 大崎市三本木*0.7 丸森町上滝=0.5 福島県 2 福島伊達市霊山町*1.5 1 新地町谷地小屋*1.4 飯館村伊丹沢*1.4 福島伊達市梁川町*1.3 桑折町東大隅*1.2 田村市都路町*1.2 南相馬市鹿島区栞窪=1.2 相馬市中村*1.1 南相馬市鹿島区西町*1.1 双葉町両竹*1.0 国見町藤田*1.0 川俣町五百田*0.9 田村市大越町*0.9 福島伊達市前川原*0.8 檜葉町北田*0.8 福島市五老内町*0.8 二本松市針道*0.8 南相馬市原町区三島町=0.8 二本松市油井*0.7 本宮市本宮*0.7 田村市船引町=0.7 田村市常葉町*0.7 福島市桜木町*0.7 川内村下川内=0.6 浪江町幾世橋=0.6 福島伊達市保原町*0.6 いわき市三和町=0.5 小野町中通*0.5 福島市松木町=0.5 青森県 1 階上町道仏*0.9 秋田県 1 大仙市大曲花園町*0.6 仙北市西木町上桧木内*0.5 山形県 1 最上町向町*0.9 天童市老野森*0.9 大蔵村肘折*0.7 大蔵村清水*0.7 東根市中央*0.7 河北町谷地=0.7 戸沢村古口*0.6 新庄市東谷地田町=0.6 中山町長崎*0.6 真室川町新町*0.5	38° 14.3' N	141° 36.6' E	63km	M: 4.5
115	27 15 00	東海地方 東京都 1 神津島村金長=1.0 神津島村役場*0.6	33° 36.3' N	138° 40.2' E	24km	M: 4.3
116	28 04 43	岩手県沖 北海道 2 函館市泊町*1.6 1 様似町栄町*0.8 青森県 2 階上町道仏*2.1 八戸市南郷*1.8 東通村砂子又沢内*1.8 八戸市内丸*1.7 三沢市桜町*1.7 五戸町古館=1.7 青森南部町苦米地*1.7 おいっせ町中下田*1.6 野辺地町田狭沢*1.6	40° 07.1' N	142° 25.4' E	35km	M: 4.9

平成30年1月 地震・火山月報(防災編)

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		八戸市湊町=1.5 野辺地町野辺地*=1.5 青森南部町平*=1.5 1 六戸町犬落瀬*=1.4 東北町上北南*=1.4 三戸町在府小路町*=1.3 七戸町七戸*=1.3 七戸町森ノ上*=1.3 おいらせ町上明堂*=1.2 むつ市金曲=1.2 むつ市大畑町中島*=1.2 青森市花園=1.1 横浜町林ノ脇*=1.1 横浜町寺下*=1.1 六ヶ所村尾駈=1.0 むつ市川内町*=1.0 五戸町倉石中市*=1.0 六ヶ所村出戸=0.9 十和田市西二番町*=0.9 外ヶ浜町蟹田*=0.9 青森南部町沖田面*=0.9 東通村砂子又蒲谷地=0.9 東通村白糠*=0.9 十和田市西十二番町*=0.8 十和田市奥瀬*=0.8 八戸市島守=0.8 東北町塔ノ沢山*=0.8 田子町田子*=0.7 平内町東田沢*=0.7 佐井村長後*=0.7 むつ市脇野沢*=0.6 2 普代村銅屋*=2.1 盛岡市薮川*=2.0 盛岡市洪民*=1.7 野田村野田*=1.5 1 二戸市浄法寺町*=1.4 矢巾町南矢幅*=1.4 軽米町軽米*=1.3 滝沢市鶴飼*=1.3 一戸町高善寺*=1.2 八幡平市田頭*=1.2 紫波町紫波中央駅前*=1.2 岩手洋野町種市=1.2 宮古市五月町*=1.1 宮古市田老*=1.1 久慈市川崎町=1.1 久慈市枝成沢=1.1 北上市相去町*=1.1 岩手町五日市*=1.0 宮古市鉾ヶ崎=1.0 久慈市長内町*=1.0 盛岡市山王町=1.0 宮古市川井*=1.0 奥州市江刺区*=1.0 八幡平市大更=0.9 岩手洋野町大野*=0.9 花巻市大迫総合支所*=0.9 奥州市胆沢区*=0.9 釜石市中妻町*=0.8 九戸村伊保内*=0.8 葛巻町葛巻元木=0.8 山田町大沢*=0.8 遠野市青笹町*=0.8 遠野市宮守町*=0.8 一関市室根町*=0.8 釜石市只越町=0.7 宮古市区界*=0.7 住田町世田米*=0.7 一関市千蔵町*=0.7 山田町八幡町=0.7 田野畑村役場*=0.7 花巻市石鳥谷町*=0.7 二戸市福岡=0.6 雫石町千刈田=0.6 雫石町西根上駒木野=0.6 岩泉町岩泉*=0.6 葛巻町消防分署*=0.6 田野畑村田野畑=0.6 大船渡市大船渡町=0.6 北上市柳原町=0.6 盛岡市馬場町*=0.6 葛巻町役場*=0.5 二戸市石切所*=0.5 花巻市大迫町=0.5 一関市大東町=0.5 1 登米市米山町*=0.8 登米市迫町*=0.8 石巻市桃生町*=0.8 気仙沼市唐桑町*=0.7 栗原市若柳*=0.5 登米市南方町*=0.5				
117	28 07 22	鳥取県中部 鳥取県 1 倉吉市葵町*=1.2 北栄町土下*=1.1	35° 25.5' N	133° 49.8' E	9km	M: 2.4
118	28 18 24	新潟県中越地方 新潟県 1 十日町市下条*=0.9 十日町市水口沢*=0.8	37° 12.3' N	138° 45.9' E	7km	M: 2.5
119	28 18 49	宮古島近海 沖縄県 1 宮古島市下地*=1.0 宮古島市平良狩俣*=0.6 宮古島市伊良部長浜*=0.5	24° 44.8' N	125° 10.5' E	49km	M: 3.7
120	29 12 59	青森県東方沖 北海道 青森県 1 函館市泊町*=1.0 1 八戸市湊町=1.4 八戸市南郷*=1.3 野辺地町田狭沢*=1.3 野辺地町野辺地*=1.3 青森南部町苦米地*=1.3 階上町道仏*=1.3 八戸市内丸*=1.2 青森南部町平*=1.2 五戸町古館=1.2 五戸町倉石中市*=1.2 東北町塔ノ沢山*=1.0 東北町上北南*=0.9 おいらせ町中下田*=0.9 七戸町森ノ上*=0.9 東通村白糠*=0.8 三沢市桜町*=0.8 青森南部町沖田面*=0.7 おいらせ町上明堂*=0.7 三戸町在府小路町*=0.6 平内町東田沢*=0.6 むつ市金曲=0.5 横浜町林ノ脇*=0.5 岩手県 1 盛岡市薮川*=1.3 軽米町軽米*=0.7 盛岡市山王町=0.5 八幡平市田頭*=0.5	40° 59.4' N	142° 25.0' E	37km	M: 4.4
121	29 19 21	浦河沖 北海道 1 新ひだか町三石旭町*=1.4 浦河町潮見=0.9 新ひだか町静内山手町=0.7 新ひだか町静内御幸町*=0.7 浦河町築地*=0.7 安平町追分柏が丘*=0.6 浦河町野深=0.5	42° 03.1' N	142° 28.6' E	64km	M: 3.9
122	30 04 04	和歌山県南方沖 和歌山県 1 串本町串本*=0.5	33° 30.0' N	135° 49.5' E	25km	M: 2.7
123	30 08 42	青森県東方沖 青森県 2 八戸市南郷*=1.6 1 八戸市湊町=1.3 八戸市内丸*=1.2 五戸町倉石中市*=1.2 野辺地町野辺地*=1.0 七戸町森ノ上*=1.0 青森南部町苦米地*=1.0 青森南部町平*=1.0 階上町道仏*=1.0 五戸町古館=0.9 東通村砂子又沢内*=0.9 青森南部町沖田面*=0.9 三戸町在府小路町*=0.7 むつ市川内町*=0.6 おいらせ町中下田*=0.6 横浜町林ノ脇*=0.5 むつ市金曲=0.5 三沢市桜町*=0.5 北海道 1 函館市泊町*=1.0 岩手県 1 二戸市浄法寺町*=1.0 軽米町軽米*=0.9	41° 01.9' N	142° 24.7' E	32km	M: 4.2
124	30 09 25	宮城県沖 岩手県 2 一関市千蔵町*=2.3 一関市室根町*=1.9 住田町世田米*=1.7 一関市大東町=1.6 大船渡市猪川町=1.5 1 大船渡市大船渡町=1.4 一関市藤沢町*=1.3 盛岡市薮川*=1.2 奥州市衣川区*=1.2 一関市東山町*=1.2 矢巾町南矢幅*=1.1 陸前高田市高田町*=1.1 釜石市只越町=1.0 一関市花泉町*=1.0 奥州市前沢区*=0.9 北上市相去町*=0.9 大船渡市盛町*=0.9 一関市川崎町*=0.9 山田町八幡町=0.8 遠野市宮守町*=0.7 山田町大沢*=0.6 宮古市田老*=0.6 遠野市青笹町*=0.6 宮古市区界*=0.6 平泉町平泉*=0.6 一関市竹山町*=0.6 北上市柳原町=0.5 金ヶ崎町西根*=0.5 宮城県 2 南三陸町志津川=2.4 石巻市桃生町*=2.0 南三陸町歌津*=1.7 女川町女川浜*=1.7 気仙沼市唐桑町*=1.6 石巻市大街道南*=1.6 涌谷町新町裏=1.6 松島町高城=1.6 石巻市北上町*=1.5 石巻市相野谷*=1.5 東松島市矢本*=1.5 登米市東和町*=1.5 登米市迫町*=1.5 1 気仙沼市笹か陣*=1.4 登米市中田町=1.4 登米市豊里町*=1.4 大崎市古川三日町=1.4 大崎市古川北町*=1.4 石巻市前谷地*=1.4 気仙沼市赤岩=1.3 登米市米山町*=1.3 登米市登米町*=1.2 気仙沼市本吉町西川内=1.2 宮城美里町北浦*=1.2 宮城美里町木間塚*=1.2 名取市増田*=1.2 石巻市泉町=1.2 登米市南方町*=1.1 栗原市若柳*=1.1 石巻市大瓜=1.1	38° 32.2' N	141° 49.0' E	49km	M: 4.5

平成30年1月 地震・火山月報(防災編)

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		石巻市鮎川浜*=1.1 仙台宮城野区五輪=1.0 仙台若林区遠見塚*=1.0 大崎市松山*=1.0 大崎市鹿島台*=1.0 仙台空港=1.0 石巻市雄勝町*=1.0 角田市角田*=0.9 仙台宮城野区苦竹*=0.9 東松島市小野*=0.9 登米市津山町*=0.8 山元町浅生原*=0.8 気仙沼市本吉町津谷*=0.8 栗原市金成*=0.7 大崎市古川大崎=0.7 栗原市高清水*=0.7 栗原市栗駒=0.6 栗原市築館*=0.6 栗原市志波姫*=0.6 蔵王町円田*=0.6 利府町利府*=0.6 亶理町下小路*=0.6 七ヶ浜町東宮浜*=0.5 柴田町船岡=0.5				
125	30 11 35	福島県 1 相馬市中村*=0.9 南相馬市鹿島区西町*=0.6	32° 51.7' N	130° 36.2' E	2km	M: 1.8
		熊本県熊本地方 熊本県 2 玉名市天水町*=2.2				
126	30 11 39	京都府南部 京都府 1 亀岡市安町=0.5	35° 03.5' N	135° 34.4' E	12km	M: 2.6
127	30 13 09	日高地方中部 北海道 1 むかわ町穂別*=1.4 平取町振内*=1.1 新ひだか町三石旭町*=1.1 新冠町北星町*=1.0 千歳市支笏湖温泉*=1.0 広尾町白樺通=0.9 安平町追分柏が丘*=0.8 浦河町潮見=0.8 安平町早来北進*=0.8 日高地方日高町門別*=0.7 千歳市若草*=0.7 新ひだか町静内御幸町*=0.6 新千歳空港=0.6 浦河町野深=0.6 恵庭市京町*=0.6 浦河町築地*=0.6 新ひだか町静内山手町=0.6 新得町2条*=0.5 幕別町忠類錦町*=0.5 新ひだか町静内御園=0.5	42° 28.3' N	142° 36.8' E	42km	M: 3.8
128	31 01 13	奄美大島近海 鹿児島県 1 奄美市名瀬港町=1.2 奄美市名瀬幸町*=0.7	28° 33.9' N	129° 28.8' E	0km	M: 3.5
129	31 05 11	浦河沖 北海道 3 新冠町北星町*=2.9 浦河町潮見=2.5 2 新ひだか町静内山手町=2.4 新ひだか町三石旭町*=2.4 浦河町築地*=2.4 浦河町野深=2.3 函館市新浜町*=2.3 新ひだか町静内御幸町*=2.1 函館市泊町*=2.1 函館市川汲町*=2.0 新ひだか町静内御園=2.0 様似町栄町*=1.6 南幌町栄町*=1.6 安平町早来北進*=1.6 江別市緑町*=1.5 1 恵庭市京町*=1.4 安平町追分柏が丘*=1.4 札幌東区元町*=1.3 えりも町えりも岬*=1.3 幕別町忠類錦町*=1.2 新ひだか町静内農屋*=1.2 厚真町鹿沼=1.2 平取町振内*=1.1 千歳市若草*=1.1 えりも町目黒*=1.1 むかわ町穂別*=1.1 十勝大樹町生花*=1.0 広尾町並木通=1.0 広尾町白樺通=1.0 北広島市共栄*=1.0 日高地方日高町門別*=1.0 小樽市勝納町=1.0 白老町大町=1.0 千歳市支笏湖温泉*=1.0 厚真町京町*=1.0 帯広市東4条=1.0 江別市高砂町=1.0 登別市木木町*=0.9 帯広市東6条*=0.9 鹿部町宮浜*=0.8 千歳市北栄=0.8 胆振伊達市大滝区本町*=0.8 登別市鉱山=0.8 札幌北区太平*=0.8 札幌南区真駒内*=0.8 札幌厚別区もみじ台*=0.8 札幌北区篠路*=0.8 函館市尾札部町=0.8 十勝大樹町東本通*=0.8 十勝清水町南4条=0.7 新千歳空港=0.7 新得町2条*=0.6 白老町緑丘*=0.6 苫小牧市旭町*=0.6 胆振伊達市梅本=0.6 札幌清田区平岡*=0.6 苫小牧市末広町=0.6 長万部町平里*=0.5 七飯町本町*=0.5 函館市美原=0.5 本別町北2丁目=0.5 本別町向陽町*=0.5 福島町福島*=0.5	42° 01.1' N	142° 35.4' E	62km	M: 4.7
		青森県 2 東通村砂子又沢内*=2.0 階上町道仏*=1.7 東通村砂子又蒲谷地=1.6 むつ市大畑町中島*=1.5 1 野辺地町田狭沢*=1.4 大間町大間*=1.4 八戸市南郷*=1.3 七戸町森ノ上*=1.3 青森南部町平*=1.3 野辺地町野辺地*=1.2 むつ市金曲=1.2 東北町上北南*=1.1 三沢市桜町*=1.0 おいらせ町中下田*=1.0 五戸町古館=0.9 外ヶ浜町蟹田*=0.9 八戸市湊町=0.9 むつ市川内町*=0.9 八戸市内丸*=0.9 横濱町林ノ脇*=0.9 横濱町寺下*=0.8 六ヶ所村尾駈=0.8 青森南部町苔米地*=0.8 七戸町七戸*=0.8 おいらせ町上明堂*=0.7 五戸町倉石中市*=0.7 青森南部町沖田面*=0.7 東北町塔ノ沢山*=0.7 東通村尻屋*=0.5				
		岩手県 1 盛岡市藪川*=1.0 軽米町軽米*=0.9 久慈市枝成沢=0.7 盛岡市山王町=0.5				
130	31 10 15	茨城県沖 茨城県 2 水戸市内原町*=2.0 東海村東海*=2.0 高萩市安良川*=1.9 日立市助川小学校*=1.9 笠間市石井*=1.8 ひたちなか市南神敷台*=1.6 水戸市金町=1.6 水戸市千波町*=1.5 1 日立市役所*=1.4 大子町池田*=1.4 土浦市常名=1.4 鉾田市汲上*=1.4 高萩市本町*=1.2 那珂市福田*=1.2 ひたちなか市東石川*=1.2 茨城町小堤*=1.2 日立市十王町友部*=1.1 茨城鹿嶋市宮中*=1.1 常陸大宮市山方*=1.1 北茨城市磯原町*=1.1 城里町石塚*=1.1 ひたちなか市山ノ上町=1.0 小美玉市堅倉*=1.0 常陸大宮市北町*=1.0 茨城鹿嶋市鉢形=1.0 笠間市中央*=1.0 かすみがうら市上土田*=1.0 鉾田市鉾田=1.0 鉾田市造谷*=1.0 常陸大宮市上小瀬*=1.0 常総市新石下*=1.0 常陸大宮市野口*=1.0 笠間市笠間*=1.0 常陸太田市金井町*=0.9 小美玉市上玉里*=0.9 かすみがうら市大和田*=0.9 土浦市田中*=0.9 土浦市藤沢*=0.9 石岡市柿岡=0.9 牛久市城中町*=0.9 つくば市研究学園*=0.9 小美玉市小川*=0.8 坂東市山*=0.8 筑西市門井*=0.8 石岡市若宮*=0.8 潮来市堀之内=0.7 常陸太田市高柿町*=0.7 行方市山田*=0.7 行方市麻生*=0.7 桜川市羽田*=0.7 那珂市瓜連*=0.7 大洗町磯浜町*=0.6 稲敷市江戸崎甲*=0.6 城里町徳蔵*=0.6 取手市寺田*=0.6 笠間市下郷*=0.6 つくば市天王台*=0.6 桜川市岩瀬*=0.5 筑西市舟生=0.5	36° 20.4' N	141° 00.8' E	46km	M: 4.5
		福島県 1 泉崎村泉崎*=0.9 白河市東*=0.9 棚倉町棚倉中居野=0.8 浅川町浅川*=0.8 白河市新白河*=0.8 いわき市小名浜=0.7 いわき市三和町=0.7 天栄村下松本*=0.7 田村市船引町=0.7 須賀川市八幡山*=0.6 鏡石町不時沼*=0.6 玉川村小高*=0.6 いわき市平四ツ波*=0.6 郡山市湖南町*=0.6 郡山市開成*=0.5 矢祭町戸塚*=0.5 川内村下川内=0.5				
		栃木県 1 真岡市石島*=1.2 市貝町市埜*=1.2 大田原市湯津上*=0.8 茂木町茂木*=0.8 下野市田中*=0.8 芳賀町祖母井*=0.7 那須烏山市中央=0.7 宇都宮市明保野町=0.6 真岡市田町*=0.6 益子町益子=0.6				
		群馬県 1 桐生市黒保根町*=0.5				
		千葉県 1 香取市仁良*=0.8 野田市鶴巻*=0.8 香取市役所*=0.7 香取市佐原平田=0.5 香取市佐原諏訪台*=0.5				

平成30年1月 地震・火山月報(防災編)

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯 度	経 度	深 さ	規 模
131	31 22 25	福島県沖 福島県 1 川内村下川内=0.5	36° 52.6' N	141° 07.8' E	48km	M: 3.1

●付録2. 過去1年間に震度1以上を観測した地震の最大震度別の月別回数
 <平成29年(2017年)2月～平成30年(2018年)1月>

	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	計	記事
平成29年(2017年)											
2月	85	44	13	2	1					145	「平成28年(2016年)熊本地震」の地震活動(震度1以上合計:18回) 福島県沖の地震活動(震度3:1回、震度2:3回、震度1:6回) 茨城県北部の地震活動(震度3:1回、震度2:7回、震度1:8回) 28日 福島県沖(震度5弱)
3月	99	44	12	2						157	「平成28年(2016年)熊本地震」の地震活動(震度1以上合計:25回)
4月	123	40	18	3						184	「平成28年(2016年)熊本地震」の地震活動(震度1以上合計:25回) 新潟県中越地方の地震活動(震度1以上合計:10回)
5月	114	42	6	2						164	「平成28年(2016年)熊本地震」の地震活動(震度1以上合計:28回)
6月	153	42	18	3		2				218	「平成28年(2016年)熊本地震」の地震活動(震度1以上合計:10回) 伊豆大島近海の地震活動(震度1以上合計:11回) 20日 豊後水道(震度5強) 25日 長野県南部(震度5強) 地震活動(震度4:2回、震度3:6回、震度2:13回、震度1:46回)
7月	115	48	9	2	2	1				177	「平成28年(2016年)熊本地震」の地震活動(震度5弱:1回、震度1以上合計:17回) 長野県南部の地震活動(震度1以上合計:10回) 1日 胆振地方中東部(震度5弱) 11日 鹿児島湾(震度5強) 地震活動(震度5強:1回、震度3:2回、震度1:18回)
8月	136	56	15	3						210	「平成28年(2016年)熊本地震」の地震活動(震度1以上合計:19回) 鹿児島湾の地震活動(震度1以上合計:21回) 茨城県北部の地震活動(震度1以上合計:13回)
9月	118	52	13	4		1				188	「平成28年(2016年)熊本地震」の地震活動(震度1以上合計:20回) 8日 秋田県内陸南部(震度5強) 地震活動(震度5強:1回、震度4:1回、震度3:2回、震度2:12回、震度1:33回)
10月	92	41	9		1					143	「平成28年(2016年)熊本地震」の地震活動(震度1以上合計:22回) 6日 福島県沖(震度5弱) 福島県中通りから茨城県北部にかけての地震活動(震度1以上合計:13回)
11月	95	34	11	4						144	「平成28年(2016年)熊本地震」の地震活動(震度1以上合計:15回) 鹿児島湾の地震活動(震度1以上合計:10回)
12月	96	34	9	3						142	「平成28年(2016年)熊本地震」の地震活動(震度1以上合計:14回)
平成30年(2018年)											
1月	80	37	11	3						131	
平成30年計	80	37	11	3	0	0	0	0	0	131	
過去1年計	1306	514	144	31	4	4	0	0	0	2003	(平成29年2月～平成30年1月)

注) 「記事」の欄には主に震度5弱以上を観測した地震、または震度1以上を10回以上観測した地震活動について記載した。

●付録3. 日本及びその周辺におけるマグニチュード(M)別の月別地震回数
 <平成29年(2017年)2月～平成30年(2018年)1月>

	M3.0 ～ M3.9	M4.0 ～ M4.9	M5.0 ～ M5.9	M6.0 ～ M6.9	M7.0 以上	計 M3.0 以上	計 M4.0 以上	記事
平成29年(2017年)								
2月	289	75	7			371	82	
3月	418	55	8			481	63	
4月	349	64	11			424	75	
5月	386	48	9	1		444	58	9日 宮古島近海 (M6.4)
6月	336	64	10			410	74	
7月	383	65	12	1		461	78	13日 日本海西部 (M6.3)
8月	371	54	8			433	62	
9月	388	63	13	3		467	79	8日 小笠原諸島西方沖 (M6.1) 21日 三陸沖 (M6.3) 27日 岩手県沖 (M6.1)
10月	415	76	7	1		499	84	6日 福島県沖 (M6.3)
11月	395	72	10	2		479	84	13日 三陸沖 (M6.0) 16日 八丈島東方沖 (M6.0)
12月	354	79	10	1		444	90	21日 鳥島近海 (M6.0)
平成30年(2018年)								
1月	385	80	9	1		475	90	24日 青森県東方沖 (M6.3)
平成30年計	385	80	9	1	0	475	90	
過去1年計	4469	795	114	10	0	5388	919	(平成29年2月～平成30年1月)

注) 日本及びその周辺: 原則、北緯20～49度、東経120～154度の範囲。「記事」の欄には主にM6.0以上の地震を記載した。

● 付録4. 緊急地震速報の提供状況

平成30年1月に緊急地震速報(警報)を発表した回数は2回であった。また、緊急地震速報(予報)を発表した回数は64回であった。

平成30年1月に発表した緊急地震速報(警報)

地震発生日時	震央地名	マグニチュード(M)	最大震度	予想最大震度	警報発表までの経過時間(秒)
平成30年01月05日11時02分	茨城県沖	4.5	3	5強	19.4
平成30年01月24日19時51分	青森県東方沖	6.3	4	5弱	4.4

※表中の「予想最大震度」は緊急地震速報(警報)で発表した予想震度の最大値、「警報発表までの経過時間(秒)」は地震検知から緊急地震速報(警報)第1報発表までの経過時間(秒)を示す。

平成19年10月～平成30年1月に発表した緊急地震速報の月別回数

年\月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
平成19年(2007年)										0(48)	0(33)	0(39)	0(120)
平成20年(2008年)	0(35)	0(41)	0(48)	1(42)	1(70)	3(75)	2(63)	0(47)	1(58)	0(46)	1(40)	0(57)	9(622)
平成21年(2009年)	0(44)	0(39)	0(34)	0(34)	0(24)	0(54)	0(36)	2(65)	0(47)	1(44)	0(39)	0(47)	3(507)
平成22年(2010年)	0(53)	1(44)	1(50)	0(36)	0(27)	0(35)	0(47)	0(51)	1(40)	1(50)	0(40)	1(34)	5(507)
平成23年(2011年)	0(50)	0(74)	45(1191)	26(770)	5(425)	5(304)	5(248)	3(239)	4(188)	1(163)	2(135)	1(136)	97(3923)
平成24年(2012年)	2(149)	3(141)	3(142)	2(128)	1(129)	3(118)	0(102)	1(107)	0(70)	0(109)	0(77)	1(134)	16(1406)
平成25年(2013年)	0(81)	2(99)	0(53)	3(103)	0(91)	0(83)	0(102)	2(97)	1(61)	0(80)	0(93)	1(67)	9(1010)
平成26年(2014年)	0(70)	0(70)	1(68)	0(62)	0(53)	0(57)	2(97)	1(96)	1(68)	0(84)	1(87)	0(75)	6(887)
平成27年(2015年)	0(67)	1(88)	0(90)	1(77)	3(71)	0(84)	1(74)	0(88)	0(81)	0(92)	1(86)	0(75)	7(973)
平成28年(2016年)	1(76)	0(71)	0(65)	20(228)	1(101)	2(89)	0(95)	0(71)	1(80)	3(92)	2(124)	1(86)	31(1178)
平成29年(2017年)	0(77)	0(72)	0(61)	0(60)	0(52)	1(55)	1(79)	1(73)	2(52)	1(53)	0(57)	1(77)	7(768)
平成30年(2018年)	2(64)												2(64)

※ 表中の数字は緊急地震速報(警報)の発表回数、()内の数字は緊急地震速報(予報)の発表回数を示す。

緊急地震速報(警報及び予報)の提供には、気象庁の地震計の観測データに加え、国立研究開発法人防災科学技術研究所の地震観測データを利用している。

1. 平成30年1月5日11時02分 茨城県沖の地震

発生した地震の概要(暫定値)

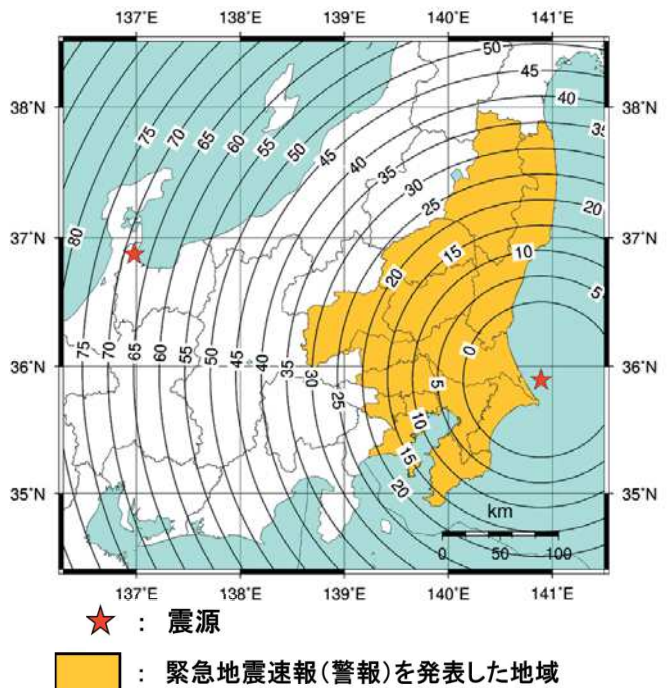
地震発生日時	震央地名	北緯	東経	深さ	M	最大震度
平成30年01月05日11時02分25.5秒	茨城県沖	35° 53.7′	140° 53.4′	41km	4.5	3
平成30年01月05日11時02分22.9秒	富山県西部	36° 52.2′	136° 58.8′	14km	4.0	3

緊急地震速報の詳細 (緊急地震速報(警報)は背景が灰色の時に発表)

地震波検知時刻		11時02分27.0秒 (羽咋)		震源要素					予測震度
提供時刻	経過時間	震央地名	北緯	東経	深さ	M			
第1報	11時02分32.0秒	5.0	石川県能登地方	36.9	136.8	10km	3.9	最大震度3程度以上	
第2報	11時02分32.3秒	5.3	富山県西部	36.9	137.0	10km	4.3	最大震度3程度以上	
第3報	11時02分37.1秒	10.1	富山県西部	36.9	137.0	10km	4.3	最大震度3程度以上	
第4報	11時02分46.4秒	19.4	茨城県沖	35.9	140.8	30km	6.4	※1	
第5報	11時02分54.9秒	27.9	茨城県沖	35.9	140.8	30km	6.4	※1	
第6報	11時02分57.1秒	30.1	茨城県沖	35.9	140.8	30km	6.4	※1	
第7報	11時03分10.9秒	43.9	茨城県沖	35.9	140.8	30km	5.9	※2	
第8報	11時03分30.0秒	63.0	茨城県沖	35.9	140.8	30km	5.9	※2	
第9報	11時03分41.6秒	74.6	茨城県沖	35.9	140.8	30km	5.9	※2	

- ※1 震度5強程度 茨城県南部
- 震度5弱 から5強程度 千葉県北東部
- 震度5弱程度 茨城県北部
- 震度4 から5弱程度 千葉県北西部
- 震度4程度 千葉県南部、東京都23区、埼玉県南部、栃木県南部、埼玉県北部、神奈川県東部、栃木県北部、群馬県南部、福島県浜通り、福島県中通り
- 震度3 から4程度 東京都多摩東部
- ※2 震度5弱程度 茨城県南部
- 震度4程度 千葉県北東部、千葉県北西部、茨城県北部、埼玉県南部、栃木県南部、埼玉県北部
- 震度3 から4程度 東京都23区

警報第1報発表から主要動到達までの時間及び警報発表対象地域の分布図



※ほぼ同時刻に発生した茨城県沖と富山県西部の地震を同一として処理したために、震度を過大に予測し、関東地方や福島県に緊急地震速報(警報)を発表した。詳細については、以下、気象庁ホームページ内の会議資料をご覧ください。

「緊急地震速報評価・改善検討会 技術部会(第8回)」

<http://www.data.jma.go.jp/svd/eqev/data/study-panel/ew-hyoka/t08/index.html>

2. 平成30年1月24日19時51分 青森県東方沖の地震

発生した地震の概要(暫定値)

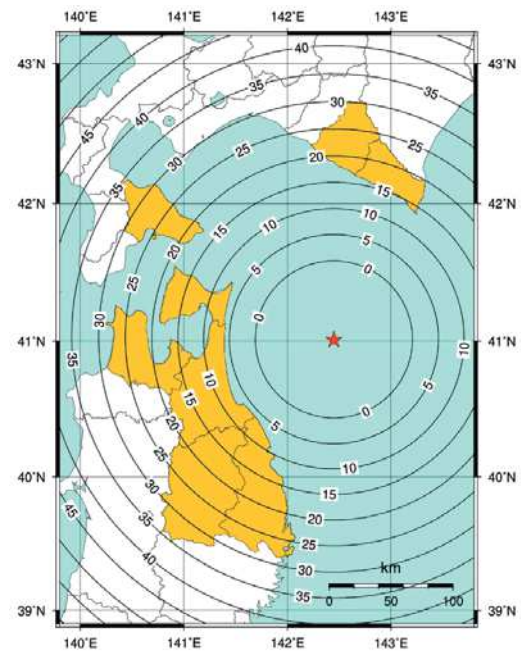
地震発生日時	震央地名	北緯	東経	深さ	M	最大震度
平成30年01月24日 19時51分19.5秒	青森県東方沖	41°00.5′	142°26.8′	34km	6.3	4

緊急地震速報の詳細 (緊急地震速報(警報)は背景が灰色の時に発表)

地震波検知時刻		19時51分34.6秒 (青森六ヶ所)		震源要素					予測震度
提供時刻	経過時間	震央地名	北緯	東経	深さ	M			
第1報	19時51分39.0秒	4.4	青森県東方沖	41.0	142.4	10km	6.6	※1	
第2報	19時51分40.8秒	6.2	青森県東方沖	41.1	142.4	10km	6.5	※1	
第3報	19時51分41.0秒	6.4	青森県東方沖	41.0	142.3	50km	6.3	※2	
第4報	19時51分42.0秒	7.4	青森県東方沖	41.0	142.7	10km	6.7	※3	
第5報	19時51分44.7秒	10.1	青森県東方沖	41.0	142.7	10km	6.6	※4	
第6報	19時51分46.1秒	11.5	青森県東方沖	41.1	142.7	10km	6.0	※5	
第7報	19時51分52.2秒	17.6	青森県東方沖	41.0	142.4	20km	6.1	※6	
第8報	19時51分59.7秒	25.1	青森県東方沖	41.0	142.4	20km	6.0	※7	
第9報	19時52分04.8秒	30.2	青森県東方沖	41.0	142.4	10km	6.0	※7	
第10報	19時52分24.0秒	49.4	青森県東方沖	41.0	142.5	10km	6.0	※7	
第11報	19時52分28.3秒	53.7	青森県東方沖	41.0	142.5	10km	6.0	※7	

- ※1 震度5弱程度 青森県三八上北
- 震度4から5弱程度 青森県下北
- 震度4程度 岩手県沿岸北部、岩手県内陸北部、日高地方東部、青森県津軽北部、渡島地方東部
- 震度3から4程度 日高地方中部
- ※2 震度5弱程度 青森県三八上北
- 震度4程度 青森県下北、岩手県内陸北部、岩手県沿岸北部、青森県津軽北部、渡島地方東部
- 震度3から4程度 日高地方東部
- ※3 震度5弱程度 青森県三八上北
- 震度4程度 青森県下北、岩手県沿岸北部、岩手県内陸北部、日高地方東部、青森県津軽北部、日高地方中部、渡島地方東部
- 震度3から4程度 胆振地方中東部
- ※4 震度4から5弱程度 青森県三八上北
- 震度4程度 青森県下北、岩手県沿岸北部、岩手県内陸北部、日高地方東部、青森県津軽北部、渡島地方東部
- ※5 震度4程度 青森県三八上北、青森県下北
- ※6 震度4程度 青森県三八上北、青森県下北、青森県津軽北部、渡島地方東部
- 震度3から4程度 岩手県沿岸北部
- ※7 震度4程度 青森県三八上北、青森県下北、渡島地方東部

警報第1報発表から主要動到達までの時間及び警報発表対象地域の分布図



★ : 震源

■ : 緊急地震速報(警報)を発表した地域

● 付録5. 長周期地震動階級1以上を観測した地震

平成30年1月に、長周期地震動階級※1以上を観測した地震の回数は1回であった。

平成25年3月～平成30年1月に長周期地震動階級1以上を観測した地震の月別回数
(平成25年3月28日の長周期地震動に関する観測情報(試行)***の提供開始以降)

年\月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
平成25年 (2013年)			1	4	1	0	0	1	1	1	1	1	11
平成26年 (2014年)	0	1	1	0	1	1	3	0	1	1	1	0	10
平成27年 (2015年)	0	3	0	1	2	0	2	0	0	0	1	0	9
平成28年 (2016年)	1	0	0	13	1	1	0	2	0	2	4	1	25
平成29年 (2017年)	1	2	0	0	0	1	2	0	1	1	0	1	9
平成30年 (2018年)	1												1

長周期地震動階級関連解説表

長周期地震動階級	人の体感・行動	室内の状況	備考
長周期地震動階級1	室内にいたほとんどの人が揺れを感じる。驚く人もいる。	ブラインドなど吊り下げものが大きく揺れる。	—
長周期地震動階級2	室内で大きな揺れを感じ、物に掴まりたいと感じる。物につかまらなると歩くことが難しいなど、行動に支障を感じる。	キャスター付き什器がわずかに動く。棚にある食器類、書棚の本が落ちることがある。	—
長周期地震動階級3	立っていることが困難になる。	キャスター付き什器が大きく動く。固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。	間仕切壁などにひび割れ・亀裂が入ることがある。
長周期地震動階級4	立っていることができず、はわないと動くことができない。揺れにほんろつされる。	キャスター付き什器が大きく動き、転倒するものがある。固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。	間仕切壁などにひび割れ・亀裂が多くなる。

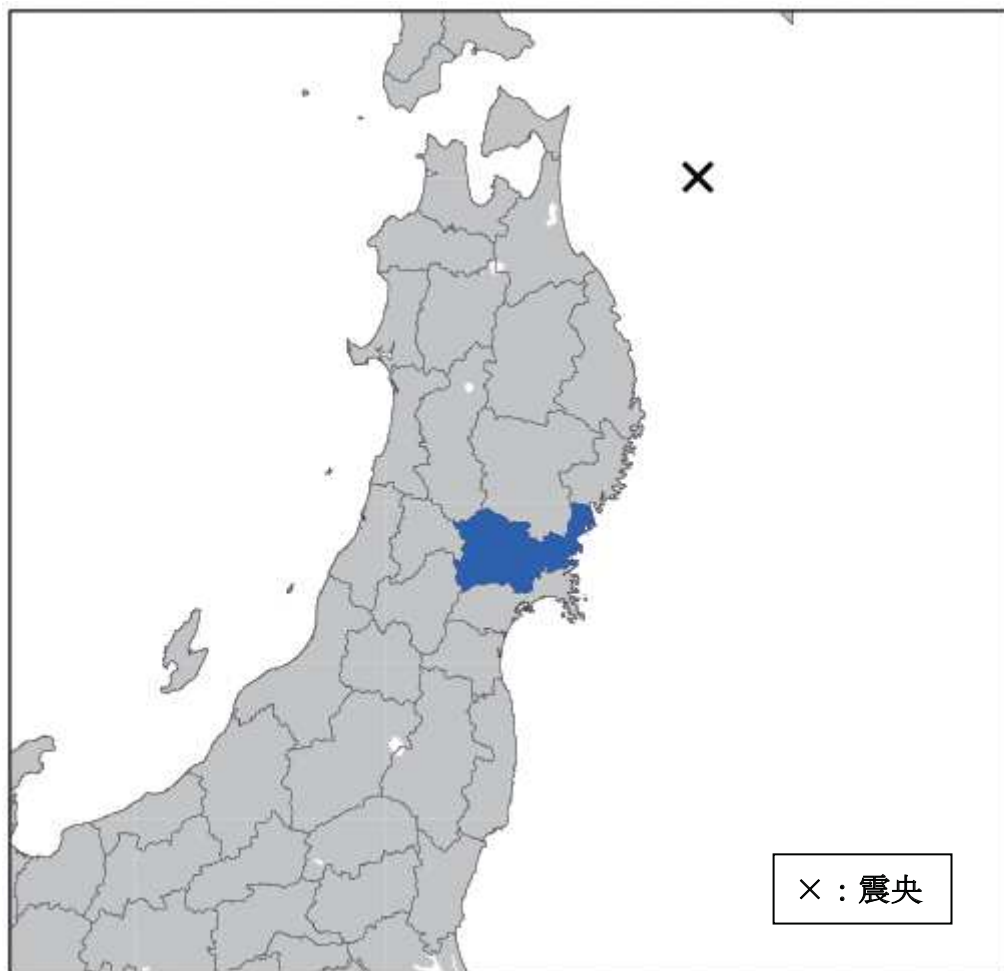
※ 長周期地震動階級に関する詳細は、平成29年12月号「付録10. 長周期地震動階級関連解説表」を参照。
 ※※ 長周期地震動に関する観測情報(試行)に関する詳細は、地震・火山月報(防災編)平成25年4月号「特集3. 長周期地震動に関する観測情報(試行)について」を参照。

1. 平成30年1月24日19時51分 青森県東方沖の地震

長周期地震動階級1以上を観測した地域・観測点

2018年1月24日19時51分 青森県東方沖 北緯41度00.5分 東経142度26.8分 深さ34km M6.3			
都道府県	地域	地点	長周期地震動階級
宮城県	宮城県北部	登米市中田町	1

長周期地震動階級1以上が観測された地域



長周期地震動階級の凡例: ■ 階級1 ■ 階級2 ■ 階級3 ■ 階級4

● 付録6. 地震・火山月報(防災編)で用いる震央地名

